

人権問題に関する別府市民意識調査  
報告書

令和3（2021）年3月

別 府 市



## はじめに

別府市では、平成8（1996）年3月に「別府市部落差別等をなくし人権を擁護する条例」を制定して、世界人権宣言および日本国憲法の精神にのっとり、差別のない平和で明るい『国際観光温泉文化都市』実現に向け取り組んでいるところであります。

平成12（2000）年12月には「人権教育及び人権啓発に関する法律」が施行され、平成19（2007）年2月に「別府市人権教育及び人権啓発基本計画」を策定し、「人権という普遍的文化が構築され、人権が尊重される心豊かな別府市を実現すること」を目標に、人権のまちづくりを推進しています。

しかしながら、近年では、急速な少子高齢化や国際化、情報化で社会は大きく変化し、子ども、高齢者や障がい者に対する虐待、外国人への差別やインターネット上の人権侵害、性別に関わる問題や東日本大震災に伴う放射能に対する風評被害など、新たな人権課題が発生しており、また課題そのものも以前より複雑化かつ多様化しています。

このような新しい人権課題や同和問題をはじめとする、さまざまな人権問題に対する市民のみなさまの人権意識を把握し、これまでの教育啓発活動の成果と今後取り組むべき課題を明らかにするため、平成6（1994）年に始め、今回で6回目となる「市民意識調査」を実施しました。

市民のみなさまには、この調査の結果及び調査により明らかになった成果や課題について報告します。

調査結果を分析した内容を考察し、「別府市人権教育及び人権啓発基本計画」をはじめとする、これからの別府市における人権行政の指針とする予定です。

最後になりますが、この調査にご協力いただきました市民のみなさまに心からお礼申し上げます。

令和3（2021）年3月  
別 府 市

# 目 次

一	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の設計	1
3	報告書の見方	1
4	回答状況の概要	2
5	調査結果の概要と課題	4
二	調査結果と分析	7
1	人権問題全般について	7
問 1	日本社会の人権尊重度について	7
問 2	人権問題の関心度について	10
問 3	関心のある人権問題について	13
問 4	人権を侵害された経験について	19
問 5	人権を侵害された時の対処のしかたについて	25
問 6	人権を侵害された時に相談できる機関や団体の認知度について	29
2	個別の人権問題について	33
問 7	女性の人権問題について	33
問 8	高齢者の人権問題について	38
問 9	子どもの人権問題について	42
問 10	障がい者の人権問題について	48
問 11	障がい者の合理的配慮の認知度について	53
問 12	外国人の人権問題について	56
問 13	ヘイトスピーチの認知度について	60
問 14	犯罪被害者やその家族の人権問題について	63
問 15	インターネットによる人権問題について	68
問 16	性的指向や性同一性障がいをはじめとする性的少数者の人権問題について	72
問 17	感染症患者などに関する人権問題について	76
問 18	東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故の発生による被災者に 関する人権問題について	80
3	部落差別問題について	84
問 19	被差別部落地区（旧同和地区）に対する差別意識について	84
問 20	部落差別問題（同和問題）の認知時期について	88
問 21	部落差別問題（同和問題）の認知過程について	91
問 22.23.24	被差別部落出身者に対する意識について	95
問 25	部落差別問題（同和問題）の現状認識について	106
問 26.27.28	部落差別問題（同和問題）についての学習機会について	110
問 29	学校や職場、日常生活の中での被差別部落出身者への差別について	123
問 30	被差別部落出身者への付き合いの態度について	127

問 31	結婚相手の条件について .....	130
問 32	被差別部落地区の人との結婚について .....	135
問 33	身元調査に対する考え方について .....	138
問 34	被差別部落への差別について .....	141
問 35	住宅の選定条件について .....	144
問 36	昔からある言い伝えや考え方に対する考え方について .....	146
問 37	人権に関する講演会や研修・学習会への参加状況について .....	148
問 38	人権問題について理解を深める効果的な方法について .....	151
問 39	人権問題の解決と自分との関係について .....	155
問 40	人権に関する宣言や法令の認知について .....	158
三	自由意見の記載内容の分析 .....	161
1	自由意見記載者の状況 .....	161
2	記載内容の状況 .....	161
3	自由意見記載内容の分析 .....	164
四	資料	調査票

## 一 調査の概要

### 1 調査の目的

別府市では、2017年に「すべての市民がお互いの尊厳と自己実現の権利を認め合い、異質の文化や考えが互いに交流できる『共生社会』」を基本理念とし、「人権という普遍的文化を別府市において構築し、人権が尊重されるこころ豊かな『国際観光温泉文化都市』を実現すること」を目標とした「別府市人権教育及び人権啓発基本計画」を策定し、人権のまちづくりを推進している。

本計画が来年度目標年度を迎えるため、次期計画策定の基礎資料とすることを目的に本調査を実施する。

### 2 調査の設計

#### 1) 調査対象及び対象者の抽出方法

別府市に住民登録している20歳以上の方の中から、無作為に2,040人を抽出した。

#### 2) 調査方法

郵送による配布及び回収

#### 3) 調査期間

令和2年11月2日(月)～11月27日(金)

#### 4) 調査企画

別府市

#### 5) 調査機関

調査主体 生活環境部 人権同和教育啓発課

### 3 報告書の見方

○図表中の「N」は集計対象者総数を表している。

○回答の割合を示す数値は、端数整理の関係で、単数回答結果の合計が100.0%にならない場合がある。

○複数回答を求めた設問では、集計対象者総数に対する割合を示しており、合計が100.0%を超える場合がある。

○図表中において「不明・無回答」とあるのは、回答の判別がつかないものや回答が示されていないものである。

○文章中の設問の選択肢について、文字数の多いものは簡素化している場合がある。

#### 4 回答状況の概要

##### 1) 全体的回答状況

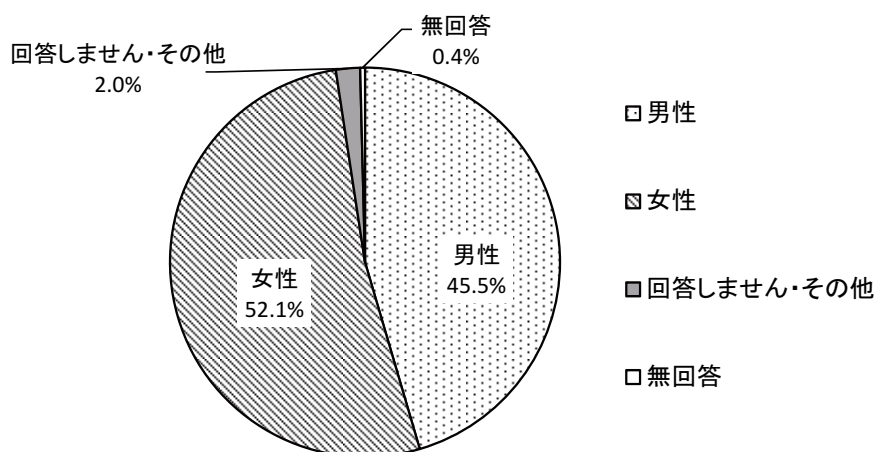
配布数	無効数	有効回答数	有効回答率
2,040	4	750	36.8%

配布数 2,040 名に対して、締め切り後に到着した数が 4 名となっており、有効回答数は 750 である。有効回答率は 36.8%である。

##### 2) 性別回答状況

###### 回答者の性別割合

	男性	女性	その他	不明・無回答	回答者数
回答数	341	391	15	3	750
性別割合(%)	45.5%	52.1%	2.0%	0.4%	100.0%

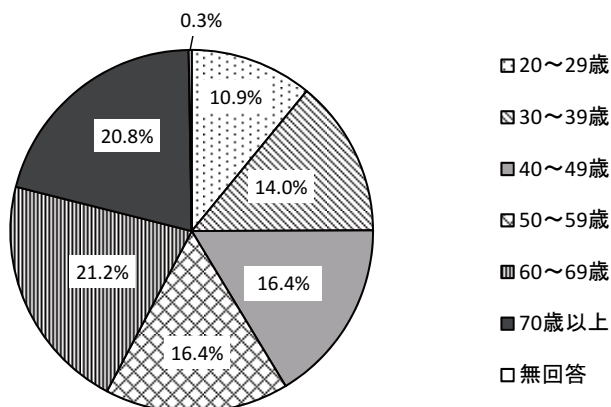


回答者全体に占める性別の割合は、男性が45.5%、女性が52.1%と女性の方が6.6ポイント高い。

### 3) 年齢層別回答状況

回答者の年齢層別割合

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	回答者数
回答者	82	105	123	123	159	156	2	750
割合(%)	10.9%	14.0%	16.4%	16.4%	21.2%	20.8%	0.3%	100.0%

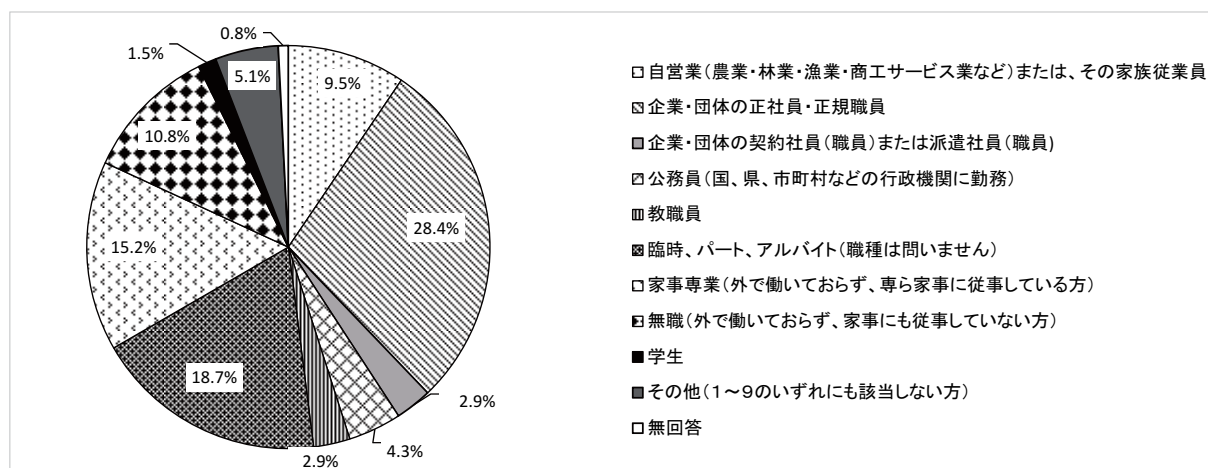


回答者の年齢層別割合は、20～29歳の年齢層では、10.9%と低く、高齢者ほど高い。

### 4) 職業別回答状況

回答者の職業別割合

	自営業 (農業・林業・漁業・ 商工サービス業など)または、 その家族従業員	企業・団体の正社員・ 正規職員	企業・団体の契約社員(職員) または派遣社員(職員)	公務員 (国、県、市町村などの行政 機関に勤務)	教職員	臨時、 パート、アルバイト (職種は問いません)	家事専業 (外で働いておらず、専ら 家事に従事している方)	無職(外 で働いておらず、家事にも 従事していない方)	学生	その他(1 ～9のいずれにも該当しない 方)	無回答	回答者数
回答数	71	213	22	32	22	140	114	81	11	38	6	750
割合(%)	9.5%	28.4%	2.9%	4.3%	2.9%	18.7%	15.2%	10.8%	1.5%	5.1%	0.8%	100.0%



「企業・団体の正社員・正規職員」が 28.4%で最も多く、次いで「臨時、パート、アルバイト(職種は問いません)」18.7%、「家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)」が 15.2%となっている。



## 5 調査結果の概要と課題

### 1) 人権問題全般について

①人権問題全般に対する尊重状況について、本市では、16.9%が「尊重されていると思う」、61.5%が「ある程度尊重されていると思う」となっており、あわせて一方、78.4%の人が肯定的な回答をしている。一方、大分県調査では、17.3%が「尊重されていると思う」、54.6%が「ある程度尊重されていると思う」と回答しており、あわせて71.9%の人が肯定的に回答しており、別府市の回答を下回っている。

これをみると、本市の人権の尊重意識は高いと言えるのではないかとと思われる。

②人権に対する関心度は、今回の調査では、「大変関心がある」が6.3%で、平成27年度調査時の8.0%よりも減少しているが、「大変関心がある」と「かなり関心がある」の合計では、今回調査が61.8%、平成27年度調査の58.2%よりも高くなっており、関心を持っている市民の割合が増加している。大分県調査では、「関心がある」及び「かなり関心がある」の割合は、47.0%となっており、本市よりも低い結果となっており、本市の人権問題に関する関心度は、かなり高いと言える。

③関心の高い人権問題をみると、「インターネットによる人権侵害」の58.0%が最も高く、次が「障がい者」の56.9%となっている。平成27年度調査時では、「障がい者」のほうが「インターネットによる人権侵害」よりも高くなっていた状況を鑑みると、携帯やパソコンの普及により、インターネットに関する人権問題の関心度が高まっている状況がうかがえる。

「女性」(43.2%)、「子ども」(43.2%)、「高齢者」(38.9%)の人権問題についても、4割前後の高い関心度を示しており、人権問題全般に対する教育や啓発にあわせて、個々の具体的な人権問題についても、考えていく必要がある。

人権問題に対する関心が高い「インターネット」、「女性」、「子ども」、「高齢者」、「障がい者」のすべての項目に対して、男性よりも女性のほうが関心度が高くなっており、女性の人権問題に対する関心の高さが顕著となっている。

④差別や人権侵害の経験について、「差別をされたと思ったことがない」と回答した人が平成27年度調査では、44.4%であったのが、今回調査では、35.7%に減少しており、差別や人権侵害があったと認識している人が増加していることがわかる。具体的には、平成27年度調査よりも経験度が高かった分野は、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」(30.7%)、「学校でのいじめ」(15.6%)、「職場での嫌がらせ」(15.5%)となっており、身近な社会で、人権の侵害が起こっており、人権侵害をしないことへの教育や啓発も重要であるが、それとともに、人権侵害が起こった時のセーフティネットとなる相談窓口や避難場所、カウンセリング、医療体制等の充実もさらに図っていく必要がある。

しかしながら、抗議や相談等をせずに、「何もしないでがまんした」人の割合は、平成27年度調査時は、20.7%であったが、今回調査では25.2%に増加しており、人権侵害が起こった場合に対処できる場の周知もあわせて実施していく必要がある。

## 2) 個別の人権問題について

### ①女性の人権問題

「男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」が最も多く 48.1%となっている。2番目が「強姦、強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春、ストーカー行為」の 47.6%、3番目が「職場における差別待遇」の 47.1%となっている。

年齢層別にみると、20～29 歳、30～39 歳の年齢層では、前述の2項よりも「男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」のほうが高くなっており、いずれの年齢層も過半数となっている。特に 20～29 歳では、70.7%と非常に高い。

### ②高齢者の人権問題

「悪徳商法の被害者が多いこと」が最も多く、55.6%と半数を超えている。平成 27 年度調査時に最も多かった「一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること」については、平成 27 年度調査の 59.6%から 50.8%に微減している。

「家庭内での看護や介護について、劣悪な扱いや虐待を受けること」については、平成 27 年度調査の 34.9%から 27.3%に減少しており、対策等がある程度進んでいるかと思われる。

### ③子どもの人権問題

子どもの人権問題は、どの項目も高く、関心の高さがうかがわれる。

最も高いのは、「いじめを受けること」(71.9%)で、平成 27 年度調査時の 69.3%をさらに上回る関心度となっている。「虐待を受けること」については、65.7%で、平成 27 年度調査時の 64.3%をわずかに上回る。

### ④障がい者の人権問題

「親亡きあと等の問題」(50.1%)が最も多く、次が「差別的な言動をされること」(48.7%)となっている。

障がい者に対する「合理的配慮」の周知度について、「聞いたことがあり、その内容等も知っている」と回答した人は、14.8%に対し、「聞いたことがない」は、54.7%と過半数となっており、周知を図っていく必要がある。

### ⑤日本に居住する外国人の人権問題

平成 27 年度調査結果と比較してみると、「風習や習慣などの違いが受け入れられないこと」が最も高く、40.3%となっている。平成 27 年度調査時の 34.7%を上回っており、外国人が多く居住する本市として、地域社会と外国人の相互理解をさらに進めていく必要がある。

その他、「犯罪被害者やその家族等の人権問題」、「インターネットによる人権侵害問題」、「性的指向や性同一障がいに関する人権問題」、「感染症患者等に関する人権問題」、「東日本大震災に伴う人権問題」等も含め、個別の人権問題に対する市民の課題意識を大切にした人権教育・啓発のあり方を検討する必要がある。

### 3) 部落差別問題(同和問題) について

- ①関心がある人権問題で、部落差別問題(同和問題)は、21.7%の関心度となっており、平成 27 年度調査時よりも 4.8 ポイント増加しており、関心度は高くなっている。
- ②部落差別問題(同和問題)の認識時期については、65.2%が「小・中・高」の学生時代に認識しており、認識方法については、「家族・親戚や友人・近所の人・職場の人」からが 33.6%、「学校の授業で」が 45.9%、「マスコミや行政の広報誌等」が 15.7%となっている。「家族・親戚、近所、職場」、及び「学校の授業」については、平成 27 年度調査よりも増加している。特に「学校の授業で」については、9.4 ポイント伸びており、学校教育での部落差別問題の教育の浸透が見受けられた。
- ③現在ある部落差別問題(同和問題)の具体的事象については、「結婚問題で反対されること」が 41.6%と一番高く、次が「身元調査をされること」の 31.9%となっている。
- ④子どもの被差別部落出身者との結婚について、「反対しない」と回答した人の割合は、平成 27 年度調査では、37.3%であったが、今回調査では、41.9%と、4.6 ポイント高くなっており、意識の改善が少しずつ進んでいる。「絶対に反対する」も平成 27 年度調査の 2.8%から今回調査では 2.4%に減少している。

### 4) 人権問題の解決のための啓発事業や市の取り組みについて

- ①人権に関する講演や研修会・学習会の参加状況は、平成 27 年度調査と比較すると、「1回も参加したことがない」は、平成 27 年度調査の 59.2%に対して今回は 56.1%と、減少している。特に「20～29 歳」の1～2回の参加率は、前回調査では 10.0%であったが、今回調査では 22.0%と、10 ポイント以上増加しており、若い世代の教育・啓発受講経験が高くなっている。
- ②人権啓発の手法として、市民が「効果的」と考えるものとして、最も高いのは、「テレビ、ラジオ、新聞などのマスコミや映画、ビデオを利用した啓発広報」の 51.5%となっている。「インターネットや Eメールを利用した啓発広報についても、30～39 歳では、46.7%と高く、携帯や SNS 等も含めて IT 技術を利用した啓発広報についても、今後は、さらに充実していく必要があると思われる。

### 5) 人権に関する宣言や法令についての認知度について

人権に関する法について、平成 28 年に「部落差別の解消の推進に関する法律」(部落差別解消推進法)が成立した。この法律では、部落差別は許されないものであることが宣言され、その解消のために国や地方公共団体は「相談体制の充実」や「教育及び啓発」に取り組むこととされている。

また、平成 28 年に「障害者差別解消法」が施行された。本法律は、障害者基本法の基本的な理念にのっとり、障害者基本法第 4 条の「差別の禁止」の規定を具体化するものとして位置づけられており、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項、行政機関等及び事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置等を定めることによって、差別の解消を推進することを目的としている。

さらに、「ヘイトスピーチ解消法」が平成 28 年 6 月に施行されている。

別府市では、「別府市部落差別等を解消し人権を擁護する条例」を設け、人権問題の解消に取り組んでいる。

これらの法令等の認知度を見てみると、「世界人権宣言」(34.9%)、「日本国憲法」(75.5%)は過半数の人が「知っている」が、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」(10.5%)、「部落差別解消推進法」(11.1%)、「障害者差別解消法」(10.8%)、「ヘイトスピーチ解消法」(10.1%)と、人権にまつわる法律等の認知度は、1割前後に留まっており、さらに啓発を進めていく必要がある。

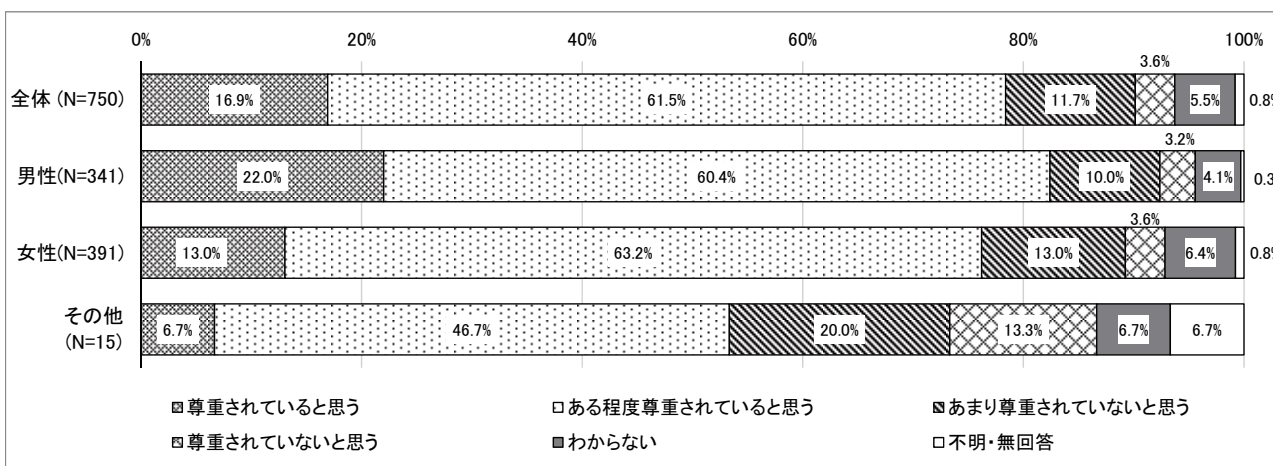
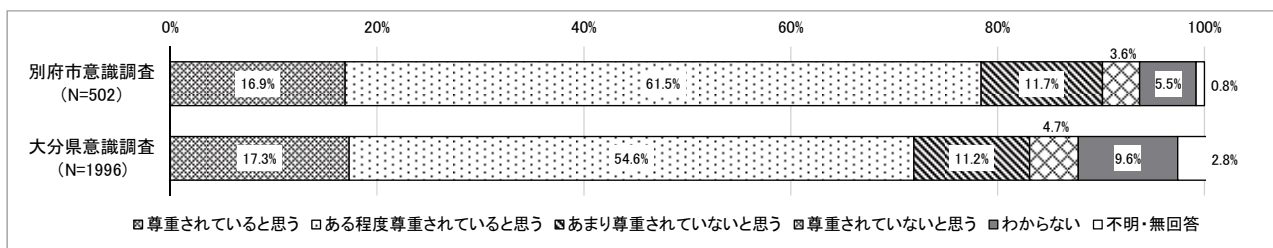
## 二 調査結果と分析

### 1. 人権問題全般について

問1 「基本的人権は侵すことのできない永久の権利である」と日本国憲法で保障されていますが、今の日本で人権は尊重されていると思いますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

#### 1) 全体及び性別の特徴

回答項目		尊重されていると思う	ある程度尊重されていると思う	あまり尊重されていないと思う	尊重されていないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	127	461	88	27	41	6	750
	度数(%)	16.9%	61.5%	11.7%	3.6%	5.5%	0.8%	100.0%
男性	回答数	75	206	34	11	14	1	341
	度数(%)	22.0%	60.4%	10.0%	3.2%	4.1%	0.3%	45.5%
女性	回答数	51	247	51	14	25	3	391
	度数(%)	13.0%	63.2%	13.0%	3.6%	6.4%	0.8%	52.1%
その他	回答数	1	7	3	2	1	1	15
	度数(%)	6.7%	46.7%	20.0%	13.3%	6.7%	6.7%	2.0%
無回答	回答数	0	1	0	0	1	1	3
	度数(%)	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.4%

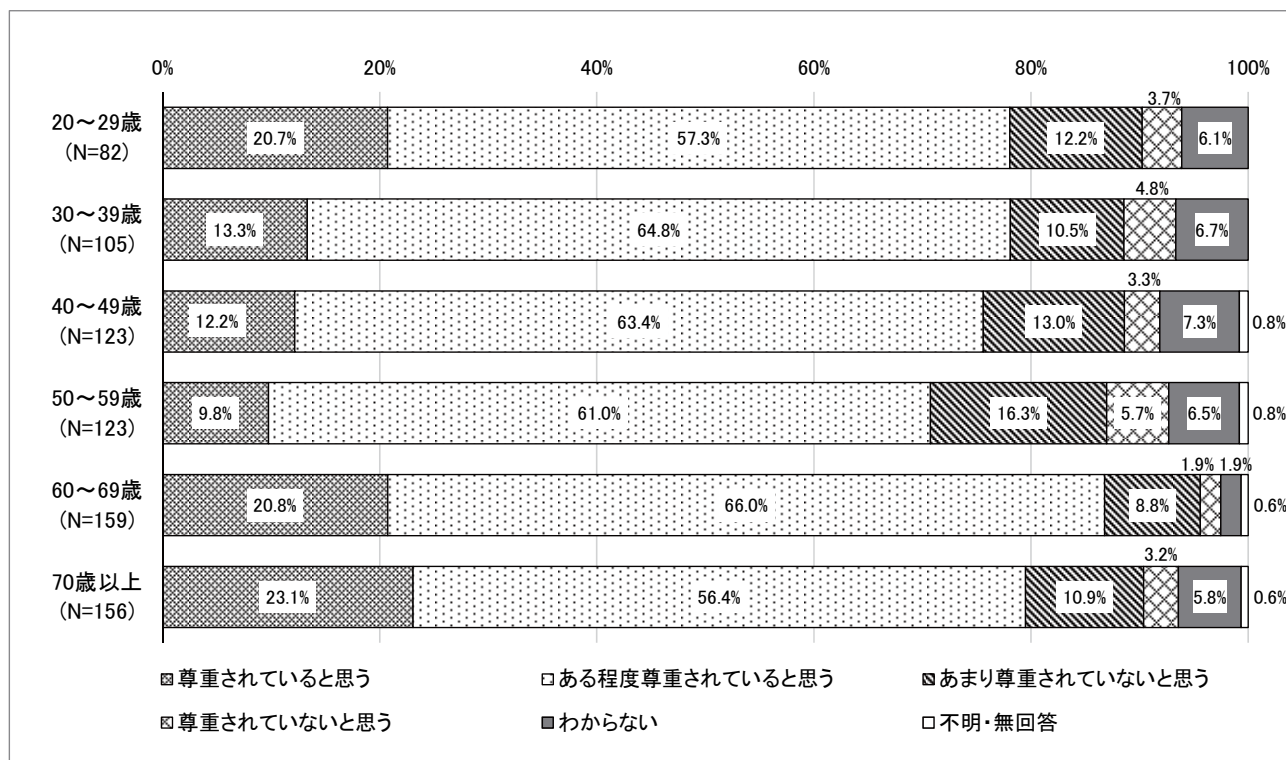


全体的にみると、「尊重されていると思う」または、「ある程度尊重されていると思う」と回答した人は、合わせて 78.4%となっている。「あまり尊重されてない」「尊重されてない」は、合わせて 15.3%となっている。

また、男性と女性を比べると、男性で「尊重されていると思う」(22.0%)と回答した人は、女性(13.0%)の 1.7 倍に上る。「尊重されていないと思う」及び「あまり尊重されていないと思う」の合計は、男性が 13.2%、女性が 16.6%で、これについても女性のほうが高い傾向にある。

## 2) 年齢層別特徴

回答項目		尊重されていると思う	ある程度尊重されていると思う	あまり尊重されていないと思う	尊重されていないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	17	47	10	3	5	0	82
	度数(%)	20.7%	57.3%	12.2%	3.7%	6.1%	0.0%	10.9%
30～39歳	回答数	14	68	11	5	7	0	105
	度数(%)	13.3%	64.8%	10.5%	4.8%	6.7%	0.0%	14.0%
40～49歳	回答数	15	78	16	4	9	1	123
	度数(%)	12.2%	63.4%	13.0%	3.3%	7.3%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	12	75	20	7	8	1	123
	度数(%)	9.8%	61.0%	16.3%	5.7%	6.5%	0.8%	16.4%
60～69歳	回答数	33	105	14	3	3	1	159
	度数(%)	20.8%	66.0%	8.8%	1.9%	1.9%	0.6%	21.2%
70歳以上	回答数	36	88	17	5	9	1	156
	度数(%)	23.1%	56.4%	10.9%	3.2%	5.8%	0.6%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	2	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.3%

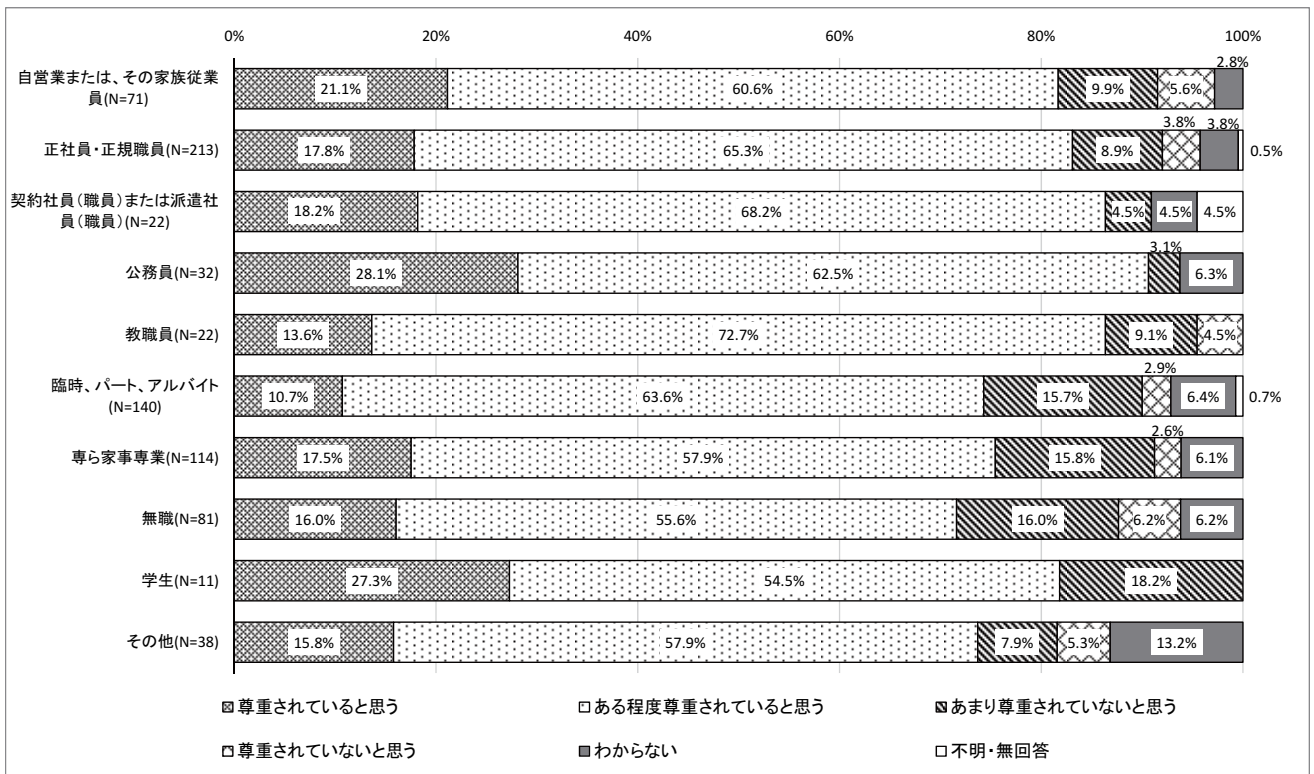


人権の尊重について、年齢別にみると、「尊重されていると思う」が2割を超えているのは、20～29歳、60～69歳、70歳以上となっている。

一方、30～39歳、40～49歳、50～59歳は、2割を切っており、特に50～59歳は、9.8%と1割を切っている。

3) 職業別特徴

回答項目		尊重されていると思う	ある程度尊重されていると思う	あまり尊重されていないと思う	尊重されていないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	15	43	7	4	2	0	71
	度数(%)	21.1%	60.6%	9.9%	5.6%	2.8%	0.0%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	38	139	19	8	8	1	213
	度数(%)	17.8%	65.3%	8.9%	3.8%	3.8%	0.5%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	4	15	1	0	1	1	22
	度数(%)	18.2%	68.2%	4.5%	0.0%	4.5%	4.5%	2.9%
公務員	回答数	9	20	1	0	2	0	32
	度数(%)	28.1%	62.5%	3.1%	0.0%	6.3%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	3	16	2	1	0	0	22
	度数(%)	13.6%	72.7%	9.1%	4.5%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	15	89	22	4	9	1	140
	度数(%)	10.7%	63.6%	15.7%	2.9%	6.4%	0.7%	18.7%
専ら家事専業	回答数	20	66	18	3	7	0	114
	度数(%)	17.5%	57.9%	15.8%	2.6%	6.1%	0.0%	15.2%
無職	回答数	13	45	13	5	5	0	81
	度数(%)	16.0%	55.6%	16.0%	6.2%	6.2%	0.0%	10.8%
学生	回答数	3	6	2	0	0	0	11
	度数(%)	27.3%	54.5%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	回答数	6	22	3	2	5	0	38
	度数(%)	15.8%	57.9%	7.9%	5.3%	13.2%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	1	0	0	0	2	3	6
	度数(%)	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	0.8%



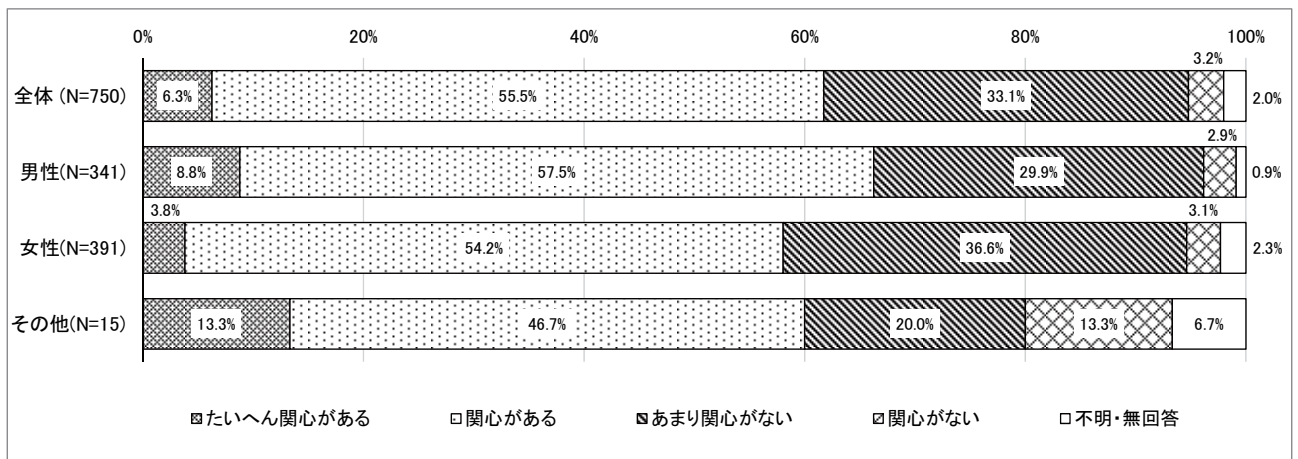
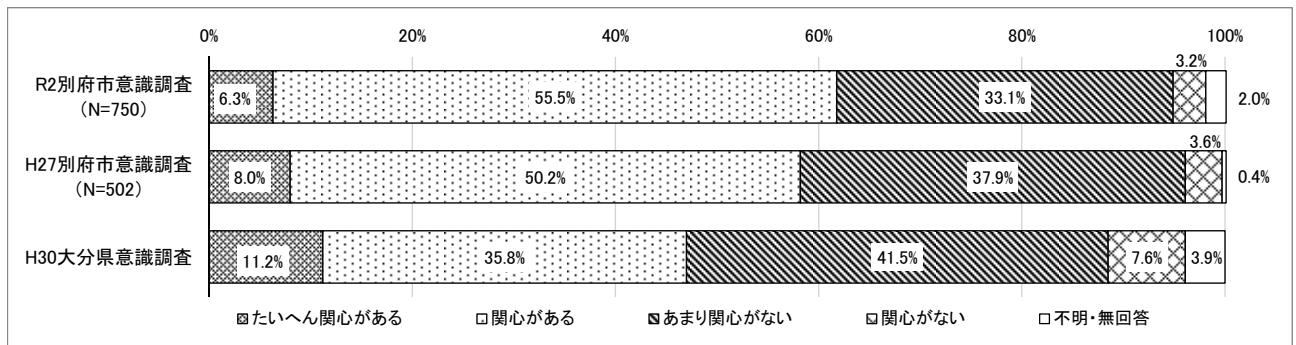
職業別にみても、人権が「尊重されていると思う」人の割合について、公務員、学生が3割弱で高くなっており、教職員、臨時、パート、アルバイト、その他の方が低い傾向にある。

一方、「あまり尊重されていないと思う」では、臨時、パート、アルバイト(15.7%)、専ら家事専業(15.8%)、無職(16.0%)、学生(18.2%)については1割を超えている。

問2 あなたは人権問題に、どの程度関心を持っていますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください

1)全体及び性別の特徴

回答項目		たいへん 関心がある	関心がある	あまり関心 がない	関心がない	不明・ 無回答	回答者数
全体	回答数	47	416	248	24	15	750
	度数(%)	6.3%	55.5%	33.1%	3.2%	2.0%	100.0%
男性	回答数	30	196	102	10	3	341
	度数(%)	8.8%	57.5%	29.9%	2.9%	0.9%	45.5%
女性	回答数	15	212	143	12	9	391
	度数(%)	3.8%	54.2%	36.6%	3.1%	2.3%	52.1%
その他	回答数	2	7	3	2	1	15
	度数(%)	13.3%	46.7%	20.0%	13.3%	6.7%	2.0%
無回答	回答数	0	1	0	0	2	3
	度数(%)	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.4%

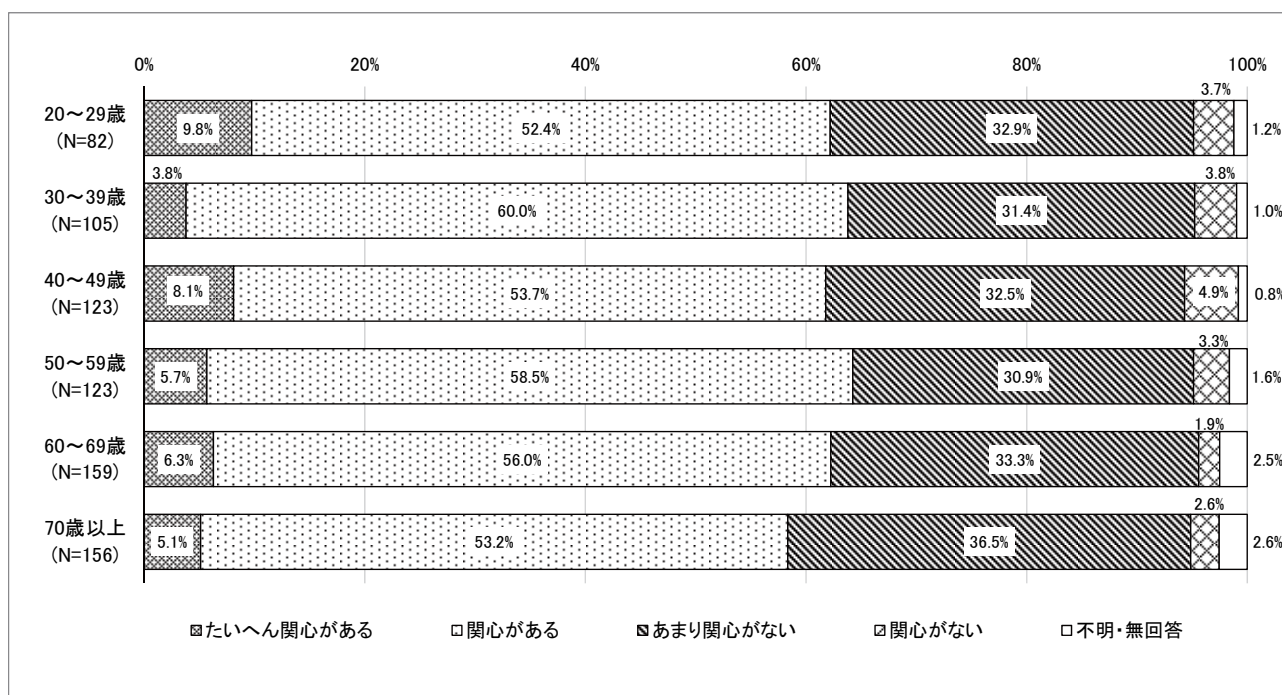


人権問題に対する関心度について、全体では、「たいへん関心がある」と「関心がある」を合わせて「人権問題に関心がある」グループとして見ると、約6割は人権問題に関心があると言える。

男性と女性を比べると、「たいへん関心がある」で男性が 8.8%、女性が 3.8%と男性の方が人権問題に強い関心を示しており、また、「人権問題に関心がある」グループとして見ても、男性が 66.3%、女性が 58.0%と、同じような傾向を示している。

2) 年齢層別特徴

回答項目		たいへん関心がある	関心がある	あまり関心がない	関心がない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	8	43	27	3	1	82
	度数(%)	9.8%	52.4%	32.9%	3.7%	1.2%	10.9%
30～39歳	回答数	4	63	33	4	1	105
	度数(%)	3.8%	60.0%	31.4%	3.8%	1.0%	14.0%
40～49歳	回答数	10	66	40	6	1	123
	度数(%)	8.1%	53.7%	32.5%	4.9%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	7	72	38	4	2	123
	度数(%)	5.7%	58.5%	30.9%	3.3%	1.6%	16.4%
60～69歳	回答数	10	89	53	3	4	159
	度数(%)	6.3%	56.0%	33.3%	1.9%	2.5%	21.2%
70歳以上	回答数	8	83	57	4	4	156
	度数(%)	5.1%	53.2%	36.5%	2.6%	2.6%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	2	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.3%

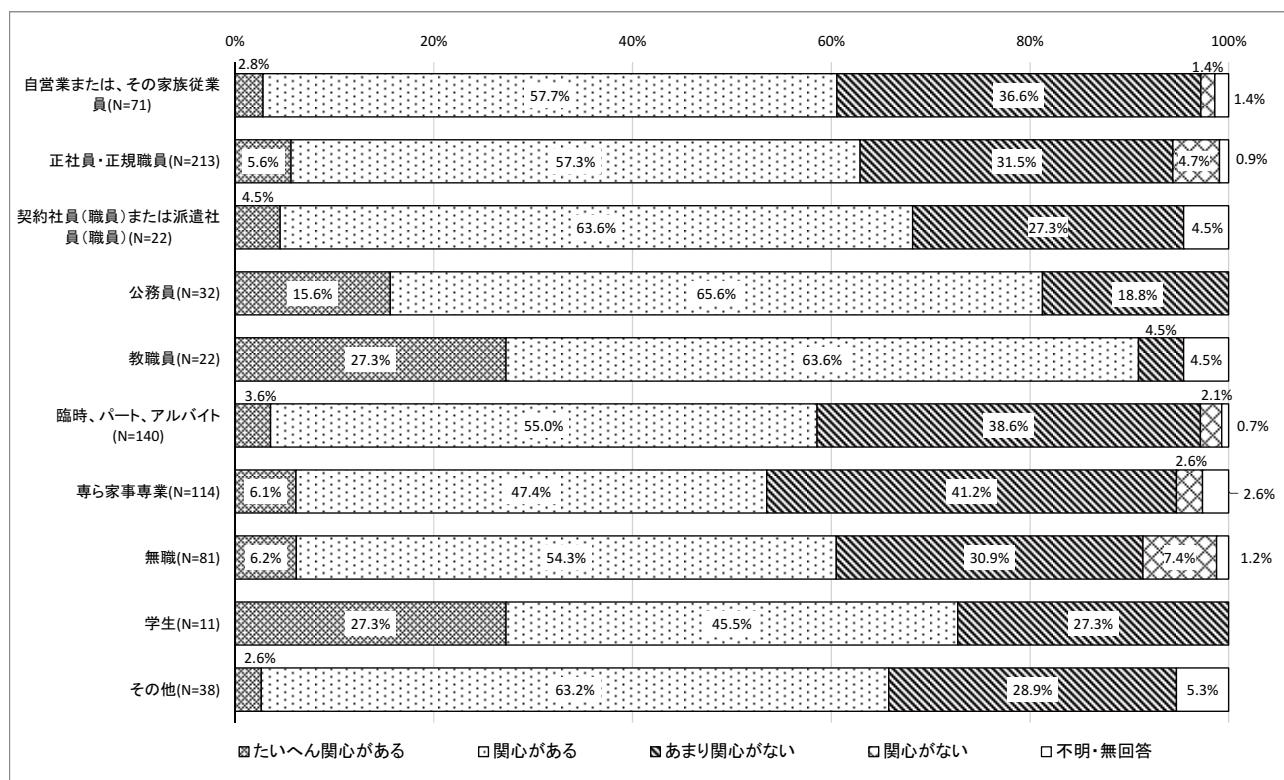


年齢別で見ると、70歳以上で、「人権問題に関心がある」グループが 58.3%に対して、他の年齢層では 61.8%～64.2%であるが、どの年齢層においても「人権問題に関心がある」グループが約 6割と高くなっている。逆に、「関心がない」と回答した割合が最も高かったのは 40～49歳の 4.9%である。



### 3) 職業別特徴

回答項目		たいへん関 心がある	関心がある	あまり関心 がない	関心がない	不明・無回 答	回答者数
自営業または、 その家族従業員	回答数	2	41	26	1	1	71
	度数(%)	2.8%	57.7%	36.6%	1.4%	1.4%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	12	122	67	10	2	213
	度数(%)	5.6%	57.3%	31.5%	4.7%	0.9%	28.4%
契約社員(職員)また は派遣社員(職員)	回答数	1	14	6	0	1	22
	度数(%)	4.5%	63.6%	27.3%	0.0%	4.5%	2.9%
公務員	回答数	5	21	6	0	0	32
	度数(%)	15.6%	65.6%	18.8%	0.0%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	6	14	1	0	1	22
	度数(%)	27.3%	63.6%	4.5%	0.0%	4.5%	2.9%
臨時、パート、 アルバイト	回答数	5	77	54	3	1	140
	度数(%)	3.6%	55.0%	38.6%	2.1%	0.7%	18.7%
専ら家事専業	回答数	7	54	47	3	3	114
	度数(%)	6.1%	47.4%	41.2%	2.6%	2.6%	15.2%
無職	回答数	5	44	25	6	1	81
	度数(%)	6.2%	54.3%	30.9%	7.4%	1.2%	10.8%
学生	回答数	3	5	3	0	0	11
	度数(%)	27.3%	45.5%	27.3%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	回答数	1	24	11	0	2	38
	度数(%)	2.6%	63.2%	28.9%	0.0%	5.3%	5.1%
無回答	回答数	0	0	2	1	3	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	50.0%	0.8%



職業別にみると、教職員の「関心がある」の割合が非常に高く、「あまり関心がない」においても非常に低い数値である。「あまり関心がない」「関心がない」の合わせた回答の割合が最も高かったのは専ら家事専業の43.8%である。

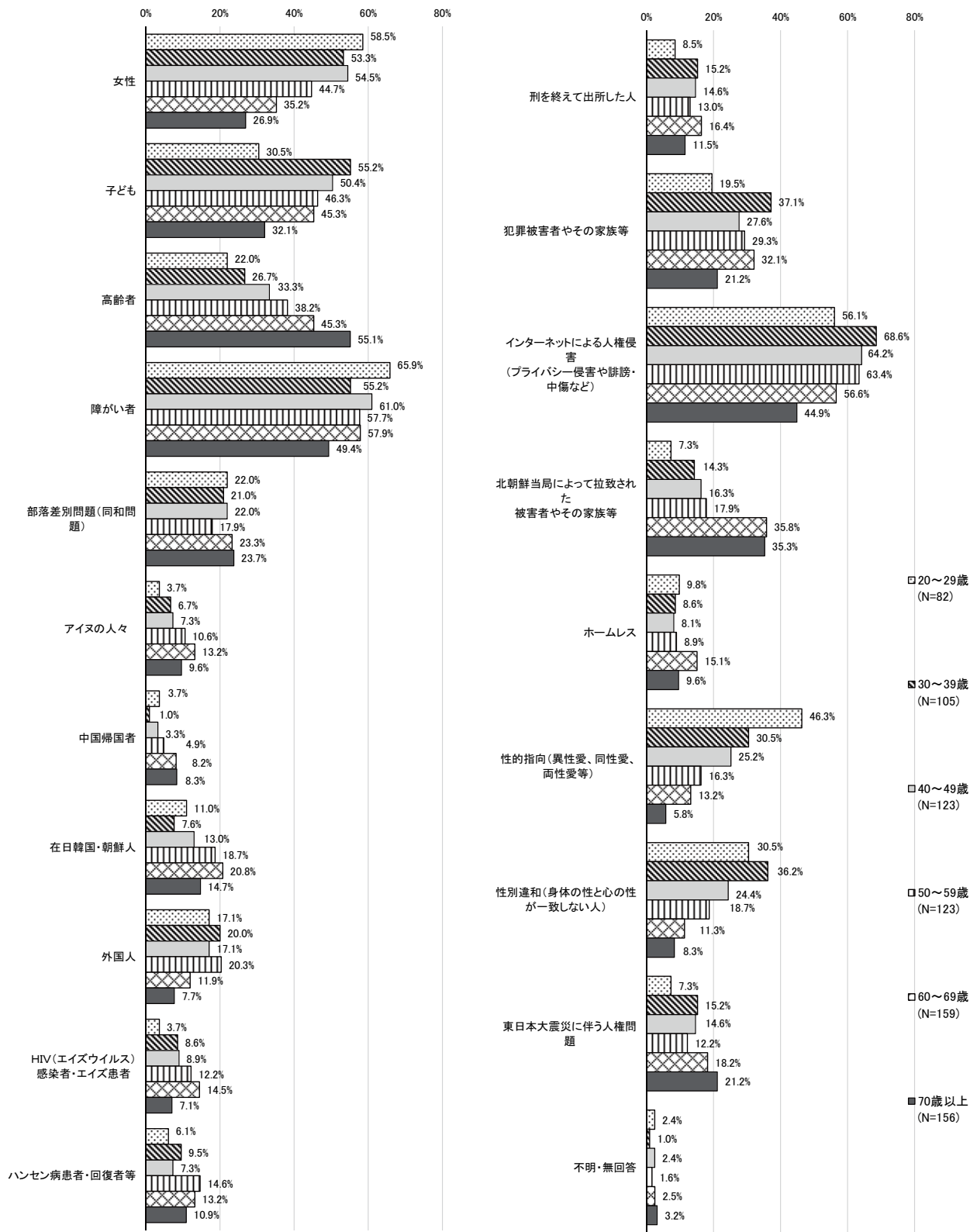
問3 日本における人権問題について、あなたの関心があるのはどの問題ですか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1) 全体及び性別の特徴

回答項目		女性	子ども	高齢者	障がい者	部落差別問題(同和問題)	アイヌの人々	中国帰国者
全体	回答数	324	324	292	427	163	68	40
	度数(%)	43.2%	43.2%	38.9%	56.9%	21.7%	9.1%	5.3%
男性	回答数	107	127	126	195	90	44	23
	度数(%)	31.4%	37.2%	37.0%	57.2%	26.4%	12.9%	6.7%
女性	回答数	211	190	162	223	67	22	16
	度数(%)	54.0%	48.6%	41.4%	57.0%	17.1%	5.6%	4.1%
その他	回答数	6	7	4	9	5	2	1
	度数(%)	40.0%	46.7%	26.7%	60.0%	33.3%	13.3%	6.7%
無回答	回答数	0	0	0	0	1	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%

回答項目		在日韓国・朝鮮人	外国人	HIV(エイズウイルス)感染者・エイズ患者	ハンセン病患者・回復者等	刑を終えて出所した人	犯罪被害者やその家族等	インターネットによる人権侵害
全体	回答数	112	112	72	80	101	209	435
	度数(%)	14.9%	14.9%	9.6%	10.7%	13.5%	27.9%	58.0%
男性	回答数	61	51	40	41	44	94	194
	度数(%)	17.9%	15.0%	11.7%	12.0%	12.9%	27.6%	56.9%
女性	回答数	48	57	31	36	54	110	230
	度数(%)	12.3%	14.6%	7.9%	9.2%	13.8%	28.1%	58.8%
その他	回答数	3	4	1	3	3	4	10
	度数(%)	20.0%	26.7%	6.7%	20.0%	20.0%	26.7%	66.7%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	1	1
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%

回答項目		北朝鮮当局によって拉致された被害者やその家族等	ホームレス	性的指向(異性愛、同性愛、両性愛等)	性別違和(身体の性と心の性が一致しない人)	東日本大震災に伴う人権問題	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	175	77	151	147	117	19	750
	度数(%)	23.3%	10.3%	20.1%	19.6%	15.6%	2.5%	100.0%
男性	回答数	85	33	60	54	54	7	341
	度数(%)	24.9%	9.7%	17.6%	15.8%	15.8%	2.1%	100.0%
女性	回答数	89	43	86	86	61	8	391
	度数(%)	22.8%	11.0%	22.0%	22.0%	15.6%	2.0%	100.0%
その他	回答数	1	1	5	7	2	2	15
	度数(%)	6.7%	6.7%	33.3%	46.7%	13.3%	13.3%	100.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	2	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	100.0%

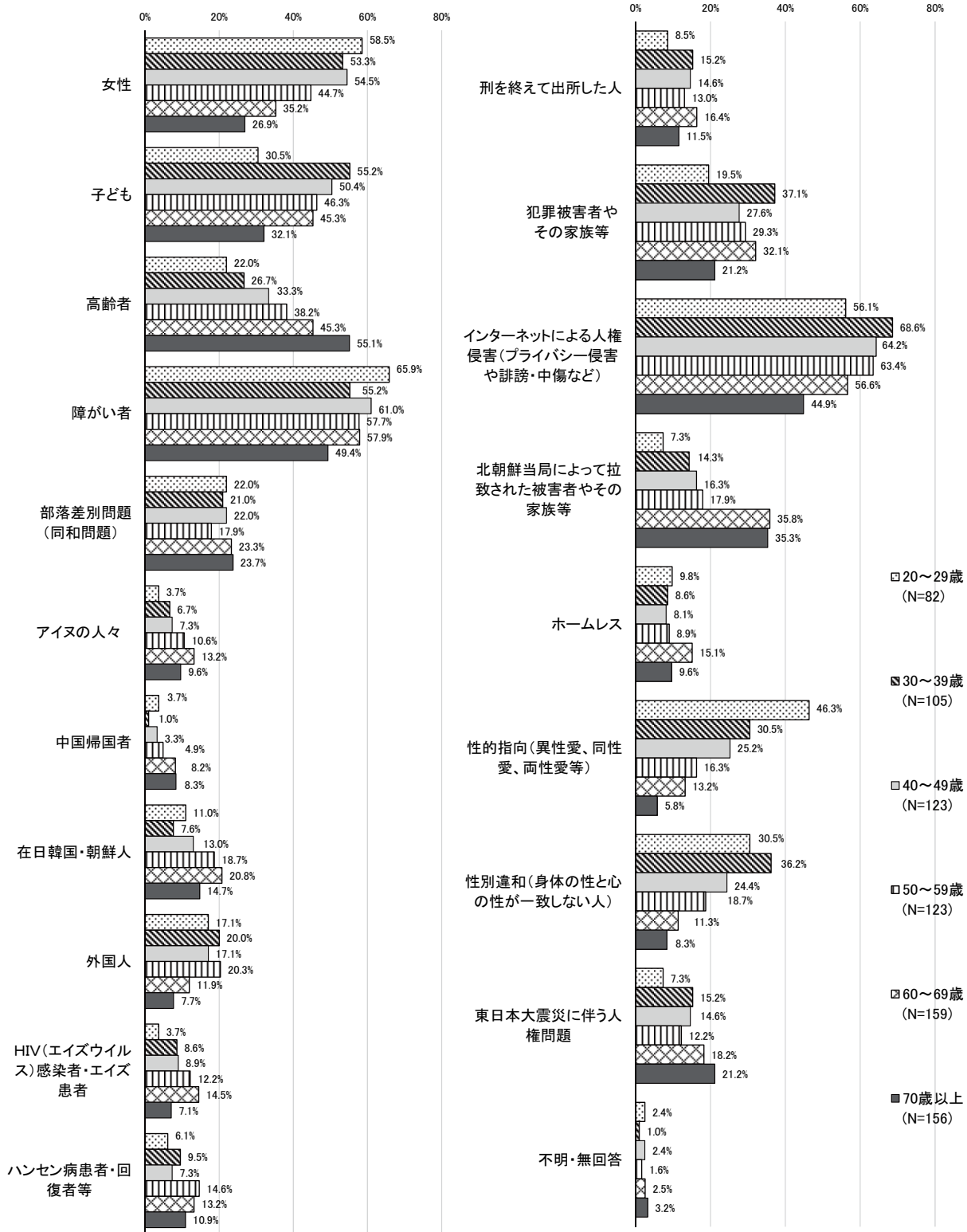


全体的にみると、「インターネットによる人権侵害」が 58.0%と最も高く、「障がい者の人権問題」(56.9%)、「女性の人権問題」、「子どもの人権問題」(43.2%)などに高い関心があると言える。

2) 年齢層別特徴

回答項目		女性	子ども	高齢者	障がい者	部落差別 問題(同和 問題)	アイヌの 人々	中国帰国 者	在日韓国・ 朝鮮人	外国人	HIV(エイズ ウイルス) 感染者・エイ ズ患者	ハンセン病 患者・回復 者等
20～29歳	回答数	48	25	18	54	18	3	3	9	14	3	5
	度数(%)	58.5%	30.5%	22.0%	65.9%	22.0%	3.7%	3.7%	11.0%	17.1%	3.7%	6.1%
30～39歳	回答数	56	58	28	58	22	7	1	8	21	9	10
	度数(%)	53.3%	55.2%	26.7%	55.2%	21.0%	6.7%	1.0%	7.6%	20.0%	8.6%	9.5%
40～49歳	回答数	67	62	41	75	27	9	4	16	21	11	9
	度数(%)	54.5%	50.4%	33.3%	61.0%	22.0%	7.3%	3.3%	13.0%	17.1%	8.9%	7.3%
50～59歳	回答数	55	57	47	71	22	13	6	23	25	15	18
	度数(%)	44.7%	46.3%	38.2%	57.7%	17.9%	10.6%	4.9%	18.7%	20.3%	12.2%	14.6%
60～69歳	回答数	56	72	72	92	37	21	13	33	19	23	21
	度数(%)	35.2%	45.3%	45.3%	57.9%	23.3%	13.2%	8.2%	20.8%	11.9%	14.5%	13.2%
70～79歳	回答数	42	50	86	77	37	15	13	23	12	11	17
	度数(%)	26.9%	32.1%	55.1%	49.4%	23.7%	9.6%	8.3%	14.7%	7.7%	7.1%	10.9%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		刑を終えて 出所した人	犯罪被害 者やその 家族等	インター ネットによ る人権侵 害	北朝鮮当 局によって 拉致された 被害者や その家族 等	ホームレス	性的指向 (異性愛、 同性愛、両 性愛など)	性別違和 (身体の性 と心の性が 一致しない 人)	東日本大 震災に伴う 人権問題	不明・無回 答	回答者数
20～29歳	回答数	7	16	46	6	8	38	25	6	2	82
	度数(%)	8.5%	19.5%	56.1%	7.3%	9.8%	46.3%	30.5%	7.3%	2.4%	10.9%
30～39歳	回答数	16	39	72	15	9	32	38	16	1	105
	度数(%)	15.2%	37.1%	68.6%	14.3%	8.6%	30.5%	36.2%	15.2%	1.0%	14.0%
40～49歳	回答数	18	34	79	20	10	31	30	18	3	123
	度数(%)	14.6%	27.6%	64.2%	16.3%	8.1%	25.2%	24.4%	14.6%	2.4%	16.4%
50～59歳	回答数	16	36	78	22	11	20	23	15	2	123
	度数(%)	13.0%	29.3%	63.4%	17.9%	8.9%	16.3%	18.7%	12.2%	1.6%	16.4%
60～69歳	回答数	26	51	90	57	24	21	18	29	4	159
	度数(%)	16.4%	32.1%	56.6%	35.8%	15.1%	13.2%	11.3%	18.2%	2.5%	21.2%
70～79歳	回答数	18	33	70	55	15	9	13	33	5	156
	度数(%)	11.5%	21.2%	44.9%	35.3%	9.6%	5.8%	8.3%	21.2%	3.2%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.3%



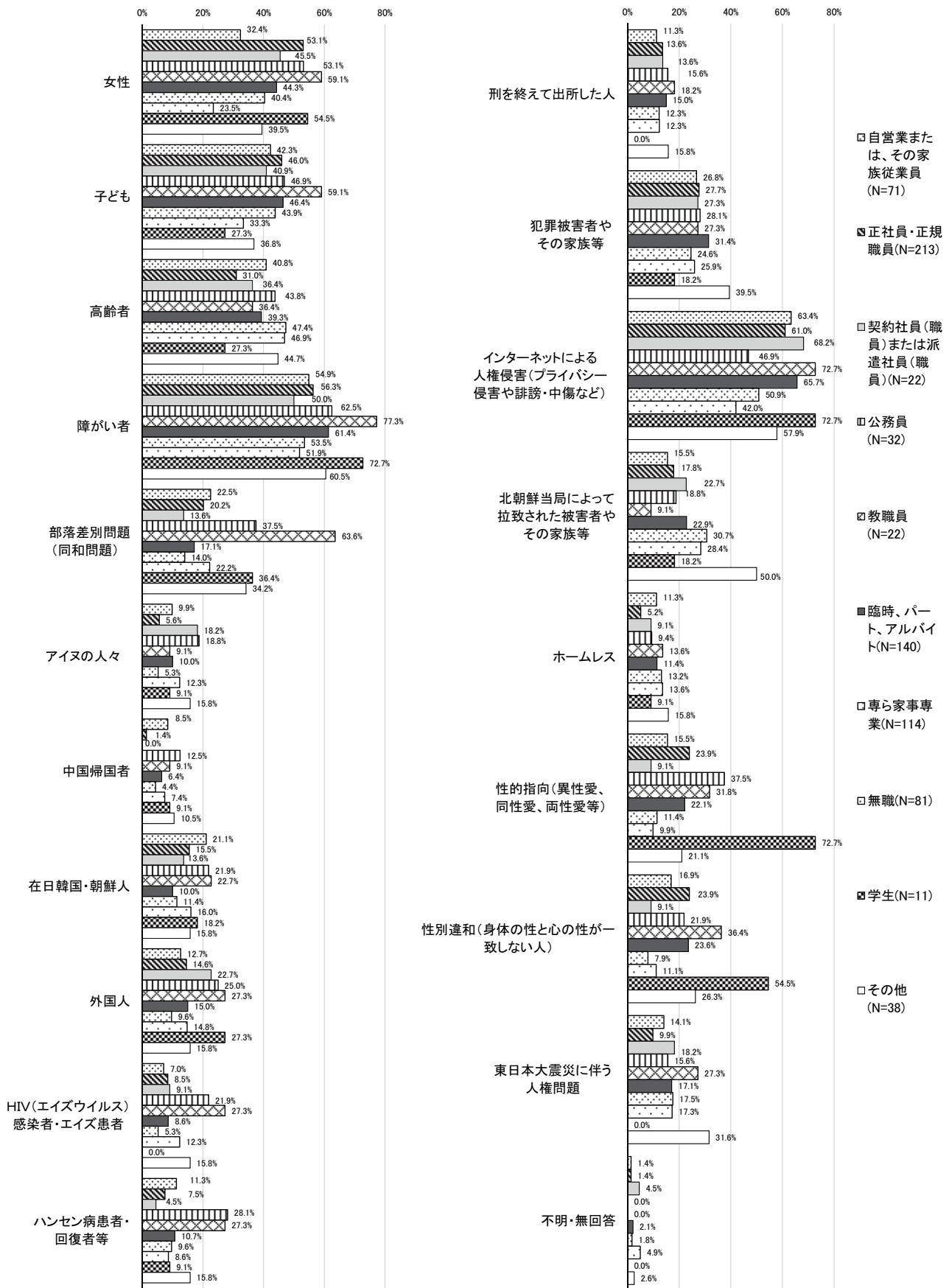
年齢別でみると、30～39歳で、「インターネットによる人権侵害」が 68.6%と高く、70歳以上では 44.9%で 23.7ポイントの差がある。

また、近年教育現場の課題として国が取り上げている「性的指向」は、20～29歳が 46.3%と高くなっている。

### 3) 職業別特徴

回答項目	女性	子ども	高齢者	障がい者	部落差別問題(同和問題)	アイヌの人々	中国帰国者	在日韓国・朝鮮人	外国人	HIV(エイズウイルス)感染者・エイズ患者	ハンセン病患者・回復者等	
自営業または、その家族従業員	回答数	23	30	29	39	16	7	6	15	9	5	8
	度数(%)	32.4%	42.3%	40.8%	54.9%	22.5%	9.9%	8.5%	21.1%	12.7%	7.0%	11.3%
正社員・正規職員	回答数	113	98	66	120	43	12	3	33	31	18	16
	度数(%)	53.1%	46.0%	31.0%	56.3%	20.2%	5.6%	1.4%	15.5%	14.6%	8.5%	7.5%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	10	9	8	11	3	4	0	3	5	2	1
	度数(%)	45.5%	40.9%	36.4%	50.0%	13.6%	18.2%	0.0%	13.6%	22.7%	9.1%	4.5%
公務員	回答数	17	15	14	20	12	6	4	7	8	7	9
	度数(%)	53.1%	46.9%	43.8%	62.5%	37.5%	18.8%	12.5%	21.9%	25.0%	21.9%	28.1%
教職員	回答数	13	13	8	17	14	2	2	5	6	6	6
	度数(%)	59.1%	59.1%	36.4%	77.3%	63.6%	9.1%	9.1%	22.7%	27.3%	27.3%	27.3%
臨時、パート、アルバイト	回答数	62	65	55	86	24	14	9	14	21	12	15
	度数(%)	44.3%	46.4%	39.3%	61.4%	17.1%	10.0%	6.4%	10.0%	15.0%	8.6%	10.7%
専ら家事専業	回答数	46	50	54	61	16	6	5	13	11	6	11
	度数(%)	40.4%	43.9%	47.4%	53.5%	14.0%	5.3%	4.4%	11.4%	9.6%	5.3%	9.6%
無職	回答数	19	27	38	42	18	10	6	13	12	10	7
	度数(%)	23.5%	33.3%	46.9%	51.9%	22.2%	12.3%	7.4%	16.0%	14.8%	12.3%	8.6%
学生	回答数	6	3	3	8	4	1	1	2	3	0	1
	度数(%)	54.5%	27.3%	27.3%	72.7%	36.4%	9.1%	9.1%	18.2%	27.3%	0.0%	9.1%
その他	回答数	15	14	17	23	13	6	4	6	6	6	6
	度数(%)	39.5%	36.8%	44.7%	60.5%	34.2%	15.8%	10.5%	15.8%	15.8%	15.8%	15.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目	刑を終えて出所した人	犯罪被害者やその家族等	インターネットによる人権侵害	北朝鮮当局によって拉致された被害者やその家族等	ホームレス	性的指向(異性愛、同性愛、両性愛など)	性別違和(身体の性と心の性が一致しない人)	東日本大震災に伴う人権問題	不明・無回答	回答者数	
自営業または、その家族従業員	回答数	8	19	45	11	8	11	12	10	1	71
	度数(%)	11.3%	26.8%	63.4%	15.5%	11.3%	15.5%	16.9%	14.1%	1.4%	100.0%
正社員・正規職員	回答数	29	59	130	38	11	51	51	21	3	213
	度数(%)	13.6%	27.7%	61.0%	17.8%	5.2%	23.9%	23.9%	9.9%	1.4%	100.0%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	3	6	15	5	2	2	2	4	1	22
	度数(%)	13.6%	27.3%	68.2%	22.7%	9.1%	9.1%	9.1%	18.2%	4.5%	100.0%
公務員	回答数	5	9	15	6	3	12	7	5	0	32
	度数(%)	15.6%	28.1%	46.9%	18.8%	9.4%	37.5%	21.9%	15.6%	0.0%	100.0%
教職員	回答数	4	6	16	2	3	7	8	6	0	22
	度数(%)	18.2%	27.3%	72.7%	9.1%	13.6%	31.8%	36.4%	27.3%	0.0%	100.0%
臨時、パート、アルバイト	回答数	21	44	92	32	16	31	33	24	3	140
	度数(%)	15.0%	31.4%	65.7%	22.9%	11.4%	22.1%	23.6%	17.1%	2.1%	100.0%
専ら家事専業	回答数	14	28	58	35	15	13	9	20	2	114
	度数(%)	12.3%	24.6%	50.9%	30.7%	13.2%	11.4%	7.9%	17.5%	1.8%	100.0%
無職	回答数	10	21	34	23	11	8	9	14	4	81
	度数(%)	12.3%	25.9%	42.0%	28.4%	13.6%	9.9%	11.1%	17.3%	4.9%	100.0%
学生	回答数	0	2	8	2	1	8	6	0	0	11
	度数(%)	0.0%	18.2%	72.7%	18.2%	9.1%	72.7%	54.5%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	回答数	6	15	22	19	6	8	10	12	1	38
	度数(%)	15.8%	39.5%	57.9%	50.0%	15.8%	21.1%	26.3%	31.6%	2.6%	100.0%
無回答	回答数	1	0	0	2	1	0	0	1	4	6
	度数(%)	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	100.0%



職業別に見ると、教職員が「障がい者の人権問題」(77.3%)、「インターネットによる人権侵害」(72.7%)、「部落差別問題(同和問題)」(63.6%)、「子どもの人権問題」(59.1%)の関心度が高い。

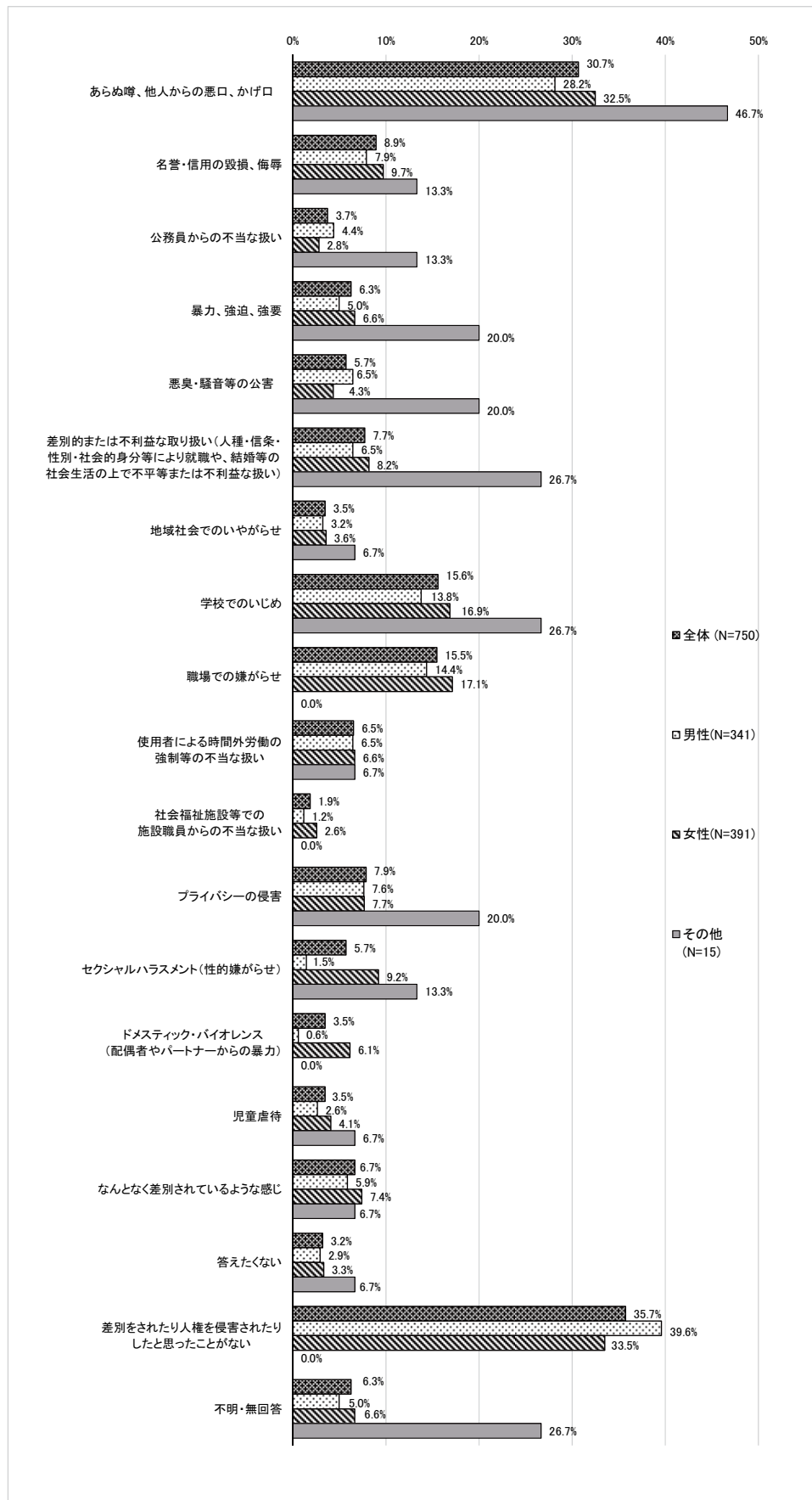
問4 あなた自身これまで差別されたり人権を侵害されたりしたと思っただけことがありますか。それはどのようなことで思いましたか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1) 全体及び性別の特徴

回答項目		あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	名誉・信用の毀損、侮辱	公務員からの不当な扱い	暴力、強迫、強要	悪臭・騒音等の公害	差別的または不利益な取り扱い(人種・信条・性別・社会的身分等により就職や、結婚等の社会生活の上で不平等または不利益な扱い)	地域社会での嫌がらせ	学校でのいじめ	職場での嫌がらせ	使用者による時間外労働の強制等の不当な扱い
		全体	回答数	230	67	28	47	43	58	26	117
	度数(%)	30.7%	8.9%	3.7%	6.3%	5.7%	7.7%	3.5%	15.6%	15.5%	6.5%
男性	回答数	96	27	15	17	22	22	11	47	49	22
	度数(%)	28.2%	7.9%	4.4%	5.0%	6.5%	6.5%	3.2%	13.8%	14.4%	6.5%
女性	回答数	127	38	11	26	17	32	14	66	67	26
	度数(%)	32.5%	9.7%	2.8%	6.6%	4.3%	8.2%	3.6%	16.9%	17.1%	6.6%
その他	回答数	7	2	2	3	3	4	1	4	0	1
	度数(%)	46.7%	13.3%	13.3%	20.0%	20.0%	26.7%	6.7%	26.7%	0.0%	6.7%
無回答	回答数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		社会福祉施設等での施設職員からの不当な扱い	プライバシーの侵害	セクシャルハラスメント(性的嫌がらせ)	ドメスティックバイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)	児童虐待	なんとなく差別されているような感じ	答えたくない	差別をされたり人権を侵害されたりしたと思っただけがない	不明・無回答	回答者数
		全体	回答数	14	59	43	26	26	50	24	268
	度数(%)	1.9%	7.9%	5.7%	3.5%	3.5%	6.7%	3.2%	35.7%	6.3%	100.0%
男性	回答数	4	26	5	2	9	20	10	135	17	341
	度数(%)	1.2%	7.6%	1.5%	0.6%	2.6%	5.9%	2.9%	39.6%	5.0%	45.5%
女性	回答数	10	30	36	24	16	29	13	131	26	391
	度数(%)	2.6%	7.7%	9.2%	6.1%	4.1%	7.4%	3.3%	33.5%	6.6%	52.1%
その他	回答数	0	3	2	0	1	1	1	0	4	15
	度数(%)	0.0%	20.0%	13.3%	0.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	26.7%	2.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.4%





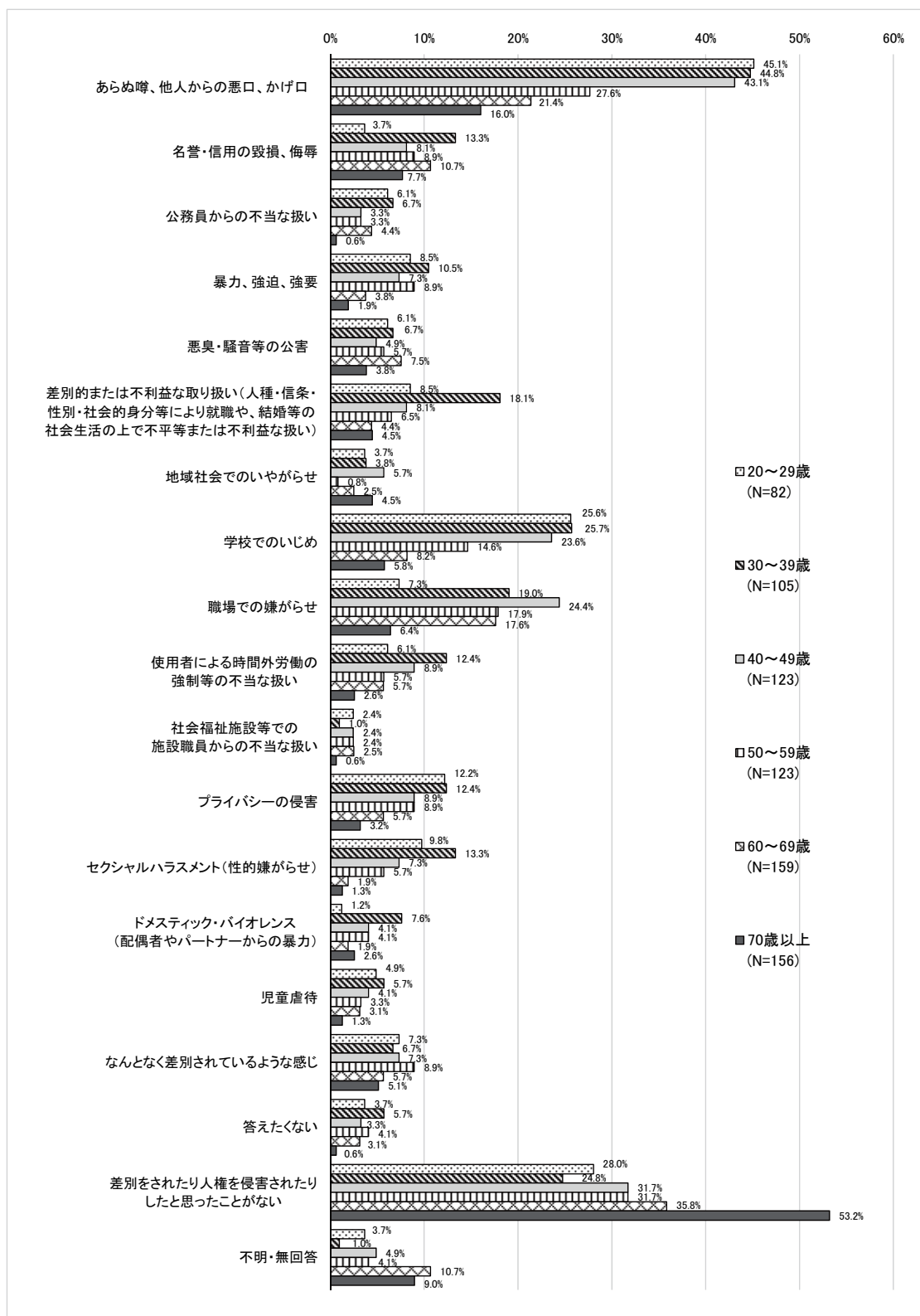
全体的にみると、「差別をされたり人権を侵害されたりしたと思ったことがない」が 35.7%である一方、人権侵害を受けたと思った内容では、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」(30.7%)、「学校でのいじめ」(15.6%)、「職場での嫌がらせ」(15.5%)、の順に多くなっている。

男性と女性を比べても、同じような傾向であるといえる。

2) 年齢層別特徴

回答項目		あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	名誉・信用の毀損、侮辱	公務員からの不当な扱い	暴力、強迫、強要	悪臭・騒音等の公害	差別的または不利益な取り扱い(人種・信条・性別・社会的身分等により就職や、結婚等の社会生活の上で不平等または不利益な扱い)	地域社会での嫌がらせ	学校でのいじめ	職場での嫌がらせ	使用者による時間外労働の強制等の不当な扱い
20～29歳	回答数	37	3	5	7	5	7	3	21	6	5
	度数(%)	45.1%	3.7%	6.1%	8.5%	6.1%	8.5%	3.7%	25.6%	7.3%	6.1%
30～39歳	回答数	47	14	7	11	7	19	4	27	20	13
	度数(%)	44.8%	13.3%	6.7%	10.5%	6.7%	18.1%	3.8%	25.7%	19.0%	12.4%
40～49歳	回答数	53	10	4	9	6	10	7	29	30	11
	度数(%)	43.1%	8.1%	3.3%	7.3%	4.9%	8.1%	5.7%	23.6%	24.4%	8.9%
50～59歳	回答数	34	11	4	11	7	8	1	18	22	7
	度数(%)	27.6%	8.9%	3.3%	8.9%	5.7%	6.5%	0.8%	14.6%	17.9%	5.7%
60～69歳	回答数	34	17	7	6	12	7	4	13	28	9
	度数(%)	21.4%	10.7%	4.4%	3.8%	7.5%	4.4%	2.5%	8.2%	17.6%	5.7%
70～79歳	回答数	25	12	1	3	6	7	7	9	10	4
	度数(%)	16.0%	7.7%	0.6%	1.9%	3.8%	4.5%	4.5%	5.8%	6.4%	2.6%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		社会福祉施設等での施設職員からの不当な扱い	プライバシーの侵害	セクシャルハラスメント(性的嫌がらせ)	ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)	児童虐待	なんとなく差別されているような感じ	答えたくない	差別をされたり人権を侵害されたりしたと思っただけ	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	2	10	8	1	4	6	3	23	3	82
	度数(%)	2.4%	12.2%	9.8%	1.2%	4.9%	7.3%	3.7%	28.0%	3.7%	100.0%
30～39歳	回答数	1	13	14	8	6	7	6	26	1	105
	度数(%)	1.0%	12.4%	13.3%	7.6%	5.7%	6.7%	5.7%	24.8%	1.0%	100.0%
40～49歳	回答数	3	11	9	5	5	9	4	39	6	123
	度数(%)	2.4%	8.9%	7.3%	4.1%	4.1%	7.3%	3.3%	31.7%	4.9%	100.0%
50～59歳	回答数	3	11	7	5	4	11	5	39	5	123
	度数(%)	2.4%	8.9%	5.7%	4.1%	3.3%	8.9%	4.1%	31.7%	4.1%	100.0%
60～69歳	回答数	4	9	3	3	5	9	5	57	17	159
	度数(%)	2.5%	5.7%	1.9%	1.9%	3.1%	5.7%	3.1%	35.8%	10.7%	100.0%
70～79歳	回答数	1	5	2	4	2	8	1	83	14	156
	度数(%)	0.6%	3.2%	1.3%	2.6%	1.3%	5.1%	0.6%	53.2%	9.0%	100.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%



年齢別にみると、「差別をされたり人権を侵害されたりしたと思っ

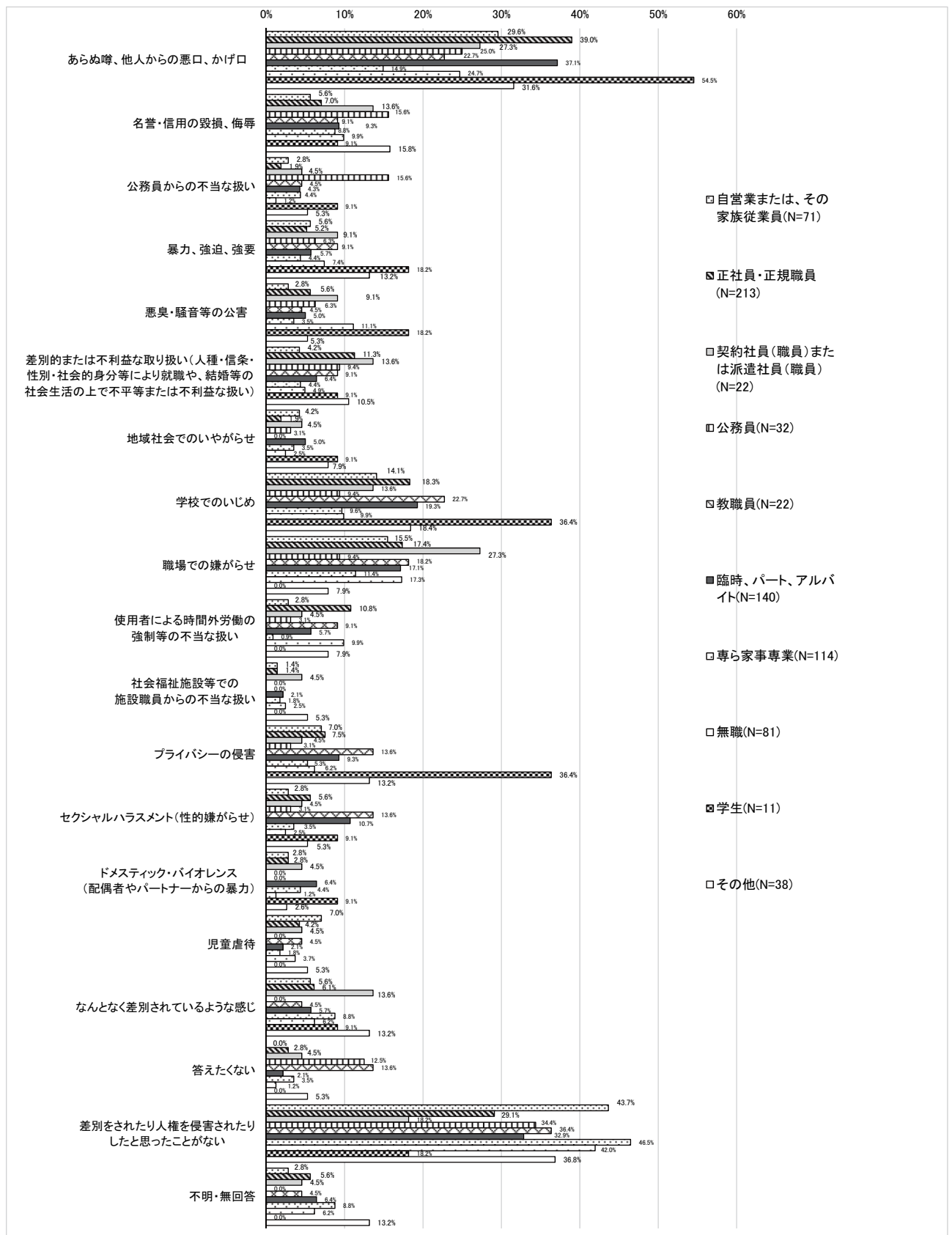
たことがない」で、70歳以上が53.2%で5割以上が「差別をされたり人権を侵害されたりしたと思っ

ラスメント」では、30～39歳で13.3%、「ドメスティック・バイオレンス」では、30～39歳で7.6%と他の年齢層に比べて高い数値を示している。30～39歳では「差別的または不利益な取り扱い(人種・信条・性別・社会的身分等により就職や、結婚等の社会生活の上で不平等または不利益な扱い)」が、18.1%と他の年齢層よりも高く、「使用者による時間外労働の強制等の不当な扱い」が、30～39歳の年齢層で12.4%と他の年齢層よりも高くなっている。

### 3) 職業別特徴

回答項目		あらぬ噂、他人からの悪口、かけ口	名誉・信用の毀損、侮辱	公務員からの不当な扱い	暴力、強迫、強要	悪臭・騒音等の公害	差別的または不利益な取り扱い(人種・信条・性別・社会的身分等により就職や、結婚等の社会生活の上で不平等または不利益な扱い)	地域社会での嫌がらせ	学校でのいじめ	職場での嫌がらせ	使用者による時間外労働の強制等の不当な扱い
		自営業または、その家族従業員	回答数 度数(%)	21 29.6%	4 5.6%	2 2.8%	4 5.6%	2 2.8%	3 4.2%	3 4.2%	10 14.1%
正社員・正規職員	回答数	83	15	4	11	12	24	4	39	37	23
	度数(%)	39.0%	7.0%	1.9%	5.2%	5.6%	11.3%	1.9%	18.3%	17.4%	10.8%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	6	3	1	2	2	3	1	3	6	1
	度数(%)	27.3%	13.6%	4.5%	9.1%	9.1%	13.6%	4.5%	13.6%	27.3%	4.5%
公務員	回答数	8	5	5	2	2	3	1	3	3	1
	度数(%)	25.0%	15.6%	15.6%	6.3%	6.3%	9.4%	3.1%	9.4%	9.4%	3.1%
教職員	回答数	5	2	1	2	1	2	0	5	4	2
	度数(%)	22.7%	9.1%	4.5%	9.1%	4.5%	9.1%	0.0%	22.7%	18.2%	9.1%
臨時、パート、アルバイト	回答数	52	13	6	8	7	9	7	27	24	8
	度数(%)	37.1%	9.3%	4.3%	5.7%	5.0%	6.4%	5.0%	19.3%	17.1%	5.7%
専ら家事専業	回答数	17	10	5	5	4	5	4	11	13	1
	度数(%)	14.9%	8.8%	4.4%	4.4%	3.5%	4.4%	3.5%	9.6%	11.4%	0.9%
無職	回答数	20	8	1	6	9	4	2	8	14	8
	度数(%)	24.7%	9.9%	1.2%	7.4%	11.1%	4.9%	2.5%	9.9%	17.3%	9.9%
学生	回答数	6	1	1	2	2	1	1	4	0	0
	度数(%)	54.5%	9.1%	9.1%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	36.4%	0.0%	0.0%
その他	回答数	12	6	2	5	2	4	3	7	3	3
	度数(%)	31.6%	15.8%	5.3%	13.2%	5.3%	10.5%	7.9%	18.4%	7.9%	7.9%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%

回答項目		社会福祉施設等での施設職員からの不当な扱い	プライバシーの侵害	セクシャルハラスメント(性的嫌がらせ)	ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)	児童虐待	なんとなく差別されているような感じ	答えたくない	差別をされたり人権を侵害されたりしたと思っただけ	不明・無回答	回答者数
		自営業または、その家族従業員	回答数 度数(%)	1 1.4%	5 7.0%	2 2.8%	2 2.8%	5 7.0%	4 5.6%	0 0.0%	31 43.7%
正社員・正規職員	回答数	3	16	12	6	9	13	6	62	12	213
	度数(%)	1.4%	7.5%	5.6%	2.8%	4.2%	6.1%	2.8%	29.1%	5.6%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	1	1	1	1	1	3	1	4	1	22
	度数(%)	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	13.6%	4.5%	18.2%	4.5%	2.9%
公務員	回答数	0	1	1	0	0	0	4	11	0	32
	度数(%)	0.0%	3.1%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	34.4%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	0	3	3	0	1	1	3	8	1	22
	度数(%)	0.0%	13.6%	13.6%	0.0%	4.5%	4.5%	13.6%	36.4%	4.5%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	3	13	15	9	3	8	3	46	9	140
	度数(%)	2.1%	9.3%	10.7%	6.4%	2.1%	5.7%	2.1%	32.9%	6.4%	18.7%
専ら家事専業	回答数	2	6	4	5	2	10	4	53	10	114
	度数(%)	1.8%	5.3%	3.5%	4.4%	1.8%	8.8%	3.5%	46.5%	8.8%	15.2%
無職	回答数	2	5	2	1	3	5	1	34	5	81
	度数(%)	2.5%	6.2%	2.5%	1.2%	3.7%	6.2%	1.2%	42.0%	6.2%	10.8%
学生	回答数	0	4	1	1	0	1	0	2	0	11
	度数(%)	0.0%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	18.2%	0.0%	1.5%
その他	回答数	2	5	2	1	2	5	2	14	5	38
	度数(%)	5.3%	13.2%	5.3%	2.6%	5.3%	13.2%	5.3%	36.8%	13.2%	5.1%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	3	2	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	0.8%

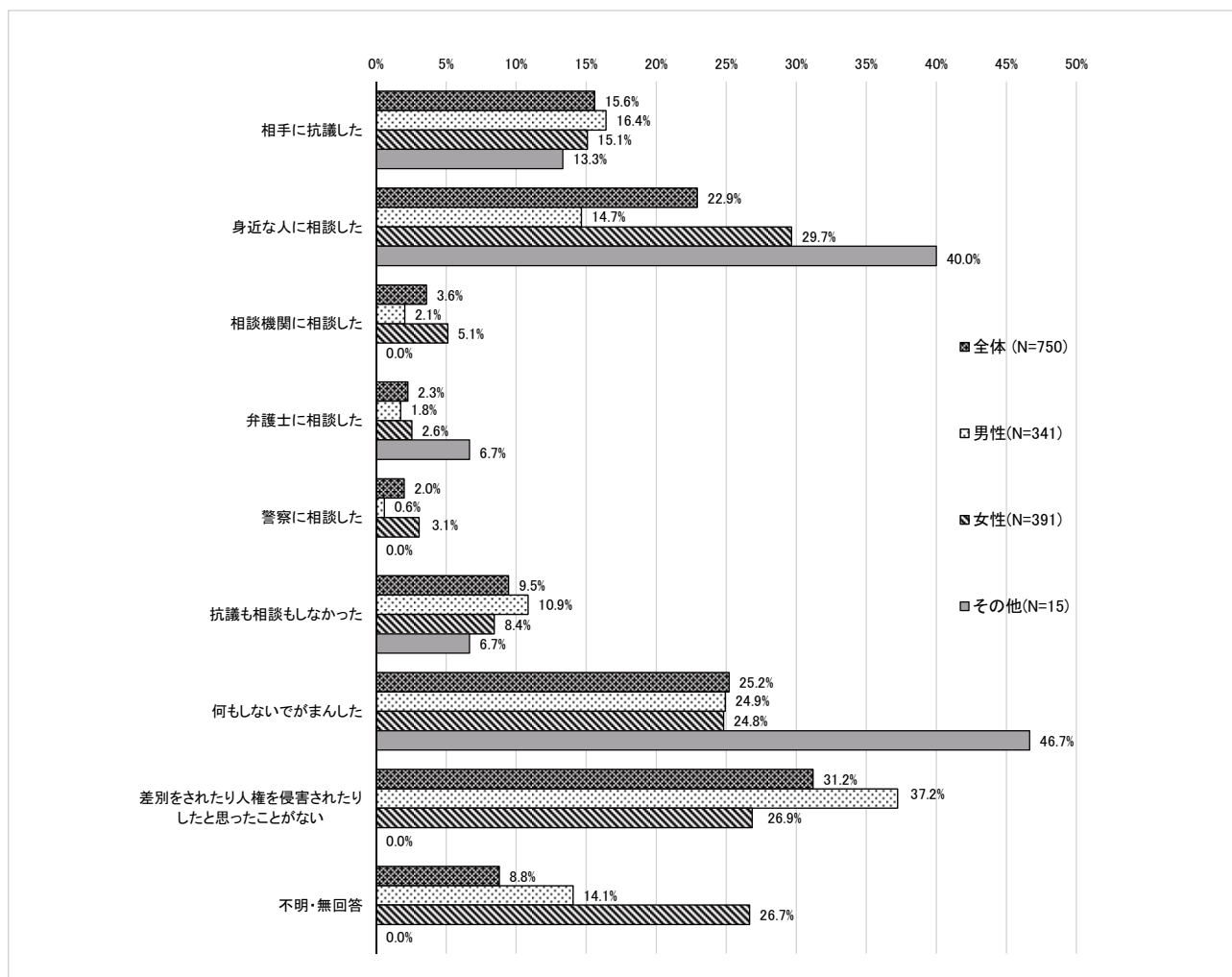


職業別にみると、学生(母数 11)は母数が小さいため数値が高くなることを考慮しながら見る必要があるが、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が 54.5%、「プライバシーの侵害」、「学校でのいじめ」がともに 36.4%と他の職業よりも多い。

問5 あなたは差別をされたり人権を侵害されたりしたときどのように対処しましたか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		相手に抗議した	身近な人に相談した	相談機関に相談した	弁護士に相談した	警察に相談した	抗議も相談もしなかった	何もしないでがまんした	差別をされたり人権を侵害されたりしたと思っ たことがない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	117	172	27	17	15	71	189	234	30	750
	度数(%)	15.6%	22.9%	3.6%	2.3%	2.0%	9.5%	25.2%	31.2%	8.8%	100.0%
男性	回答数	56	50	7	6	2	37	85	127	55	341
	度数(%)	16.4%	14.7%	2.1%	1.8%	0.6%	10.9%	24.9%	37.2%	14.1%	100.0%
女性	回答数	59	116	20	10	12	33	97	105	4	391
	度数(%)	15.1%	29.7%	5.1%	2.6%	3.1%	8.4%	24.8%	26.9%	26.7%	100.0%
その他	回答数	2	6	0	1	0	1	7	0	0	15
	度数(%)	13.3%	40.0%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%	46.7%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	1	0	0	2	89	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	11.9%	100.0%

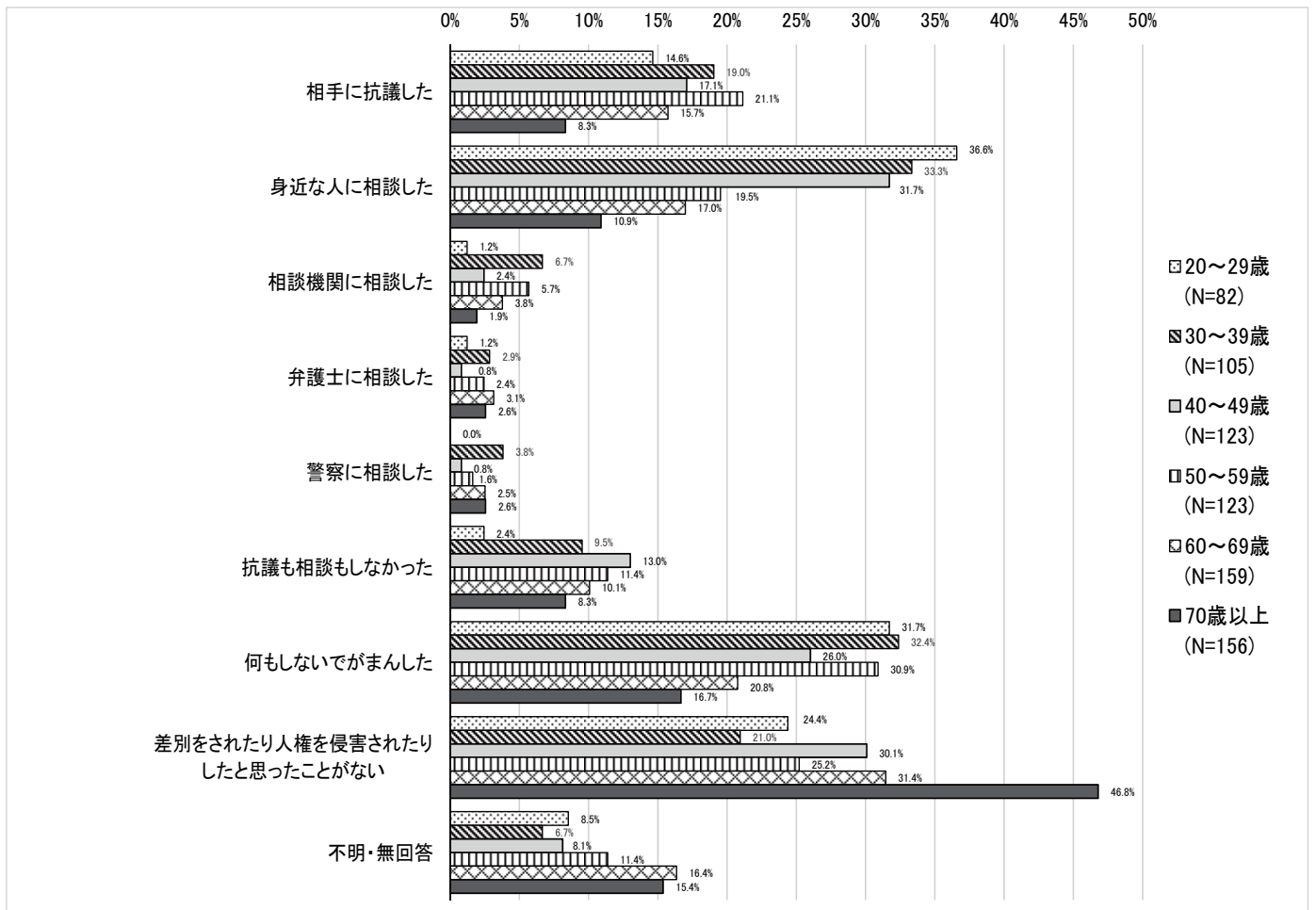


全体的にみると、自分が人権侵害をされた時の対応については、「身近な人に相談をした」が22.9%、「何もしないでがまんした」が25.2%で、「公的機関や弁護士等」に相談する人が少ないと言える。

男性と女性を比べると、女性で「身近な人に相談をした」が29.7%と男性の14.7%よりも非常に高くなっている。

## 2)年齢層別特徴

回答項目		相手に抗議した	身近な人に相談した	相談機関に相談した	弁護士に相談した	警察に相談した	抗議も相談もしなかった	何もしないで済みました	差別をされたり人権を侵害されたりしたと思っ たことがない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	12	30	1	1	0	2	26	20	7	82
	度数(%)	14.6%	36.6%	1.2%	1.2%	0.0%	2.4%	31.7%	24.4%	8.5%	10.9%
30～39歳	回答数	20	35	7	3	4	10	34	22	7	105
	度数(%)	19.0%	33.3%	6.7%	2.9%	3.8%	9.5%	32.4%	21.0%	6.7%	14.0%
40～49歳	回答数	21	39	3	1	1	16	32	37	10	123
	度数(%)	17.1%	31.7%	2.4%	0.8%	0.8%	13.0%	26.0%	30.1%	8.1%	16.4%
50～59歳	回答数	26	24	7	3	2	14	38	31	14	123
	度数(%)	21.1%	19.5%	5.7%	2.4%	1.6%	11.4%	30.9%	25.2%	11.4%	16.4%
60～69歳	回答数	25	27	6	5	4	16	33	50	26	159
	度数(%)	15.7%	17.0%	3.8%	3.1%	2.5%	10.1%	20.8%	31.4%	16.4%	21.2%
70歳以上	回答数	13	17	3	4	4	13	26	73	24	156
	度数(%)	8.3%	10.9%	1.9%	2.6%	2.6%	8.3%	16.7%	46.8%	15.4%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.3%



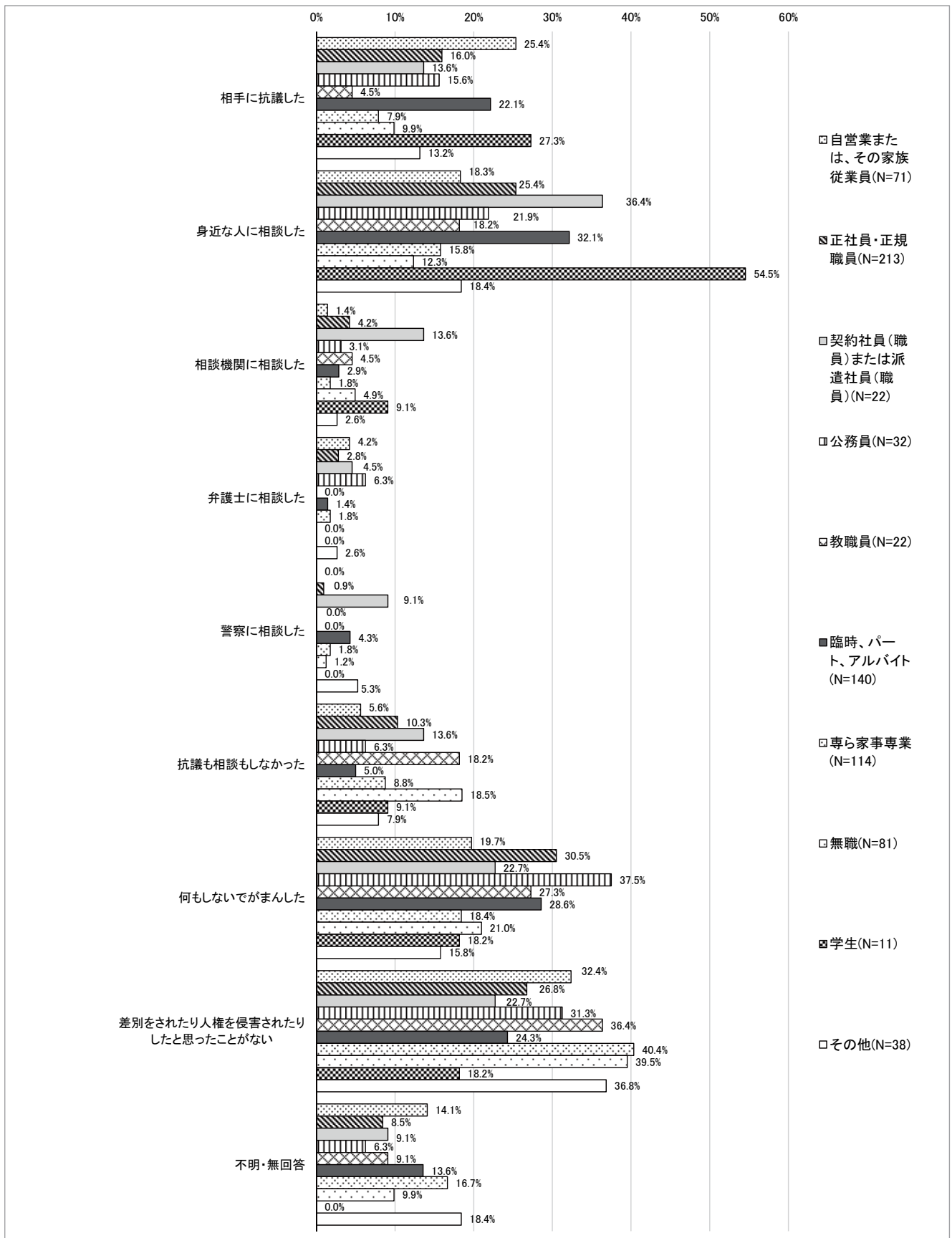
年齢別にみると、「身近な人に相談した」が 20～29 歳の年齢層で 36.6%と一番高く、年齢層が上がるに従って「身近な人に相談した」の割合は低くなっている。

70 歳以上では、「相手に抗議した」(8.3%)、「身近な人に相談した」(10.9%)人が少なく、「差別をされたり人権を侵害されたりしたと思っ  
たことがない」が 46.8%と他の年齢層よりも高い数値を示している。

### 3)職業別特徴

回答項目		相手に抗議した	身近な人に相談した	相談機関に相談した	弁護士に相談した	警察に相談した	抗議も相談もしなかった	何もしないでがまんした	差別をしたり人権を侵害されたりしたと思ったことがない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	18	13	1	3	0	4	14	23	10	71
	度数(%)	25.4%	18.3%	1.4%	4.2%	0.0%	5.6%	19.7%	32.4%	14.1%	100.0%
正社員・正規職員	回答数	34	54	9	6	2	22	65	57	18	213
	度数(%)	16.0%	25.4%	4.2%	2.8%	0.9%	10.3%	30.5%	26.8%	8.5%	100.0%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	3	8	3	1	2	3	5	5	2	22
	度数(%)	13.6%	36.4%	13.6%	4.5%	9.1%	13.6%	22.7%	22.7%	9.1%	100.0%
公務員	回答数	5	7	1	2	0	2	12	10	2	32
	度数(%)	15.6%	21.9%	3.1%	6.3%	0.0%	6.3%	37.5%	31.3%	6.3%	100.0%
教職員	回答数	1	4	1	0	0	4	6	8	2	22
	度数(%)	4.5%	18.2%	4.5%	0.0%	0.0%	18.2%	27.3%	36.4%	9.1%	100.0%
臨時、パート、アルバイト	回答数	31	45	4	2	6	7	40	34	19	140
	度数(%)	22.1%	32.1%	2.9%	1.4%	4.3%	5.0%	28.6%	24.3%	13.6%	100.0%
専ら家事専業	回答数	9	18	2	2	2	10	21	46	19	114
	度数(%)	7.9%	15.8%	1.8%	1.8%	1.8%	8.8%	18.4%	40.4%	16.7%	100.0%
無職	回答数	8	10	4	0	1	15	17	32	8	81
	度数(%)	9.9%	12.3%	4.9%	0.0%	1.2%	18.5%	21.0%	39.5%	9.9%	100.0%
学生	回答数	3	6	1	0	0	1	2	2	0	11
	度数(%)	27.3%	54.5%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	18.2%	0.0%	100.0%
その他	回答数	5	7	1	1	2	3	6	14	7	38
	度数(%)	13.2%	18.4%	2.6%	2.6%	5.3%	7.9%	15.8%	36.8%	18.4%	100.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	1	3	2	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	100.0%



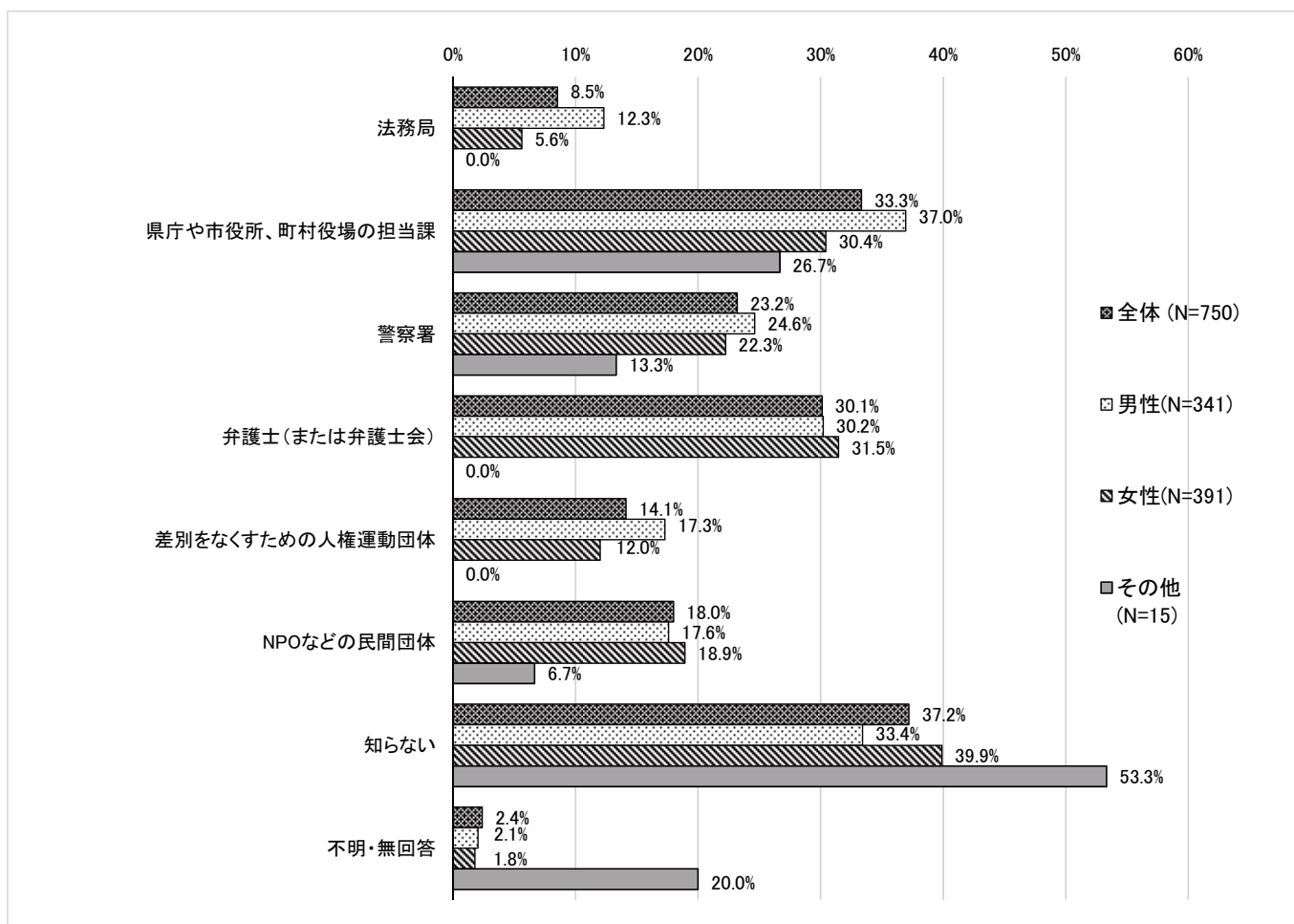


職業別でみると、学生で「相手に抗議した」が 27.3%と高く、「身近な人に相談した」が学生 54.5%と他の職業に比べて高い数値である。「何もしないでがまんした」が、公務員で 37.5%、正社員・正規職員で 30.5%と高い数値である。

問6 あなたは差別をされたり人権を侵害されたりしたと思った場合に相談できる機関（場所）や団体があることを知っていますか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

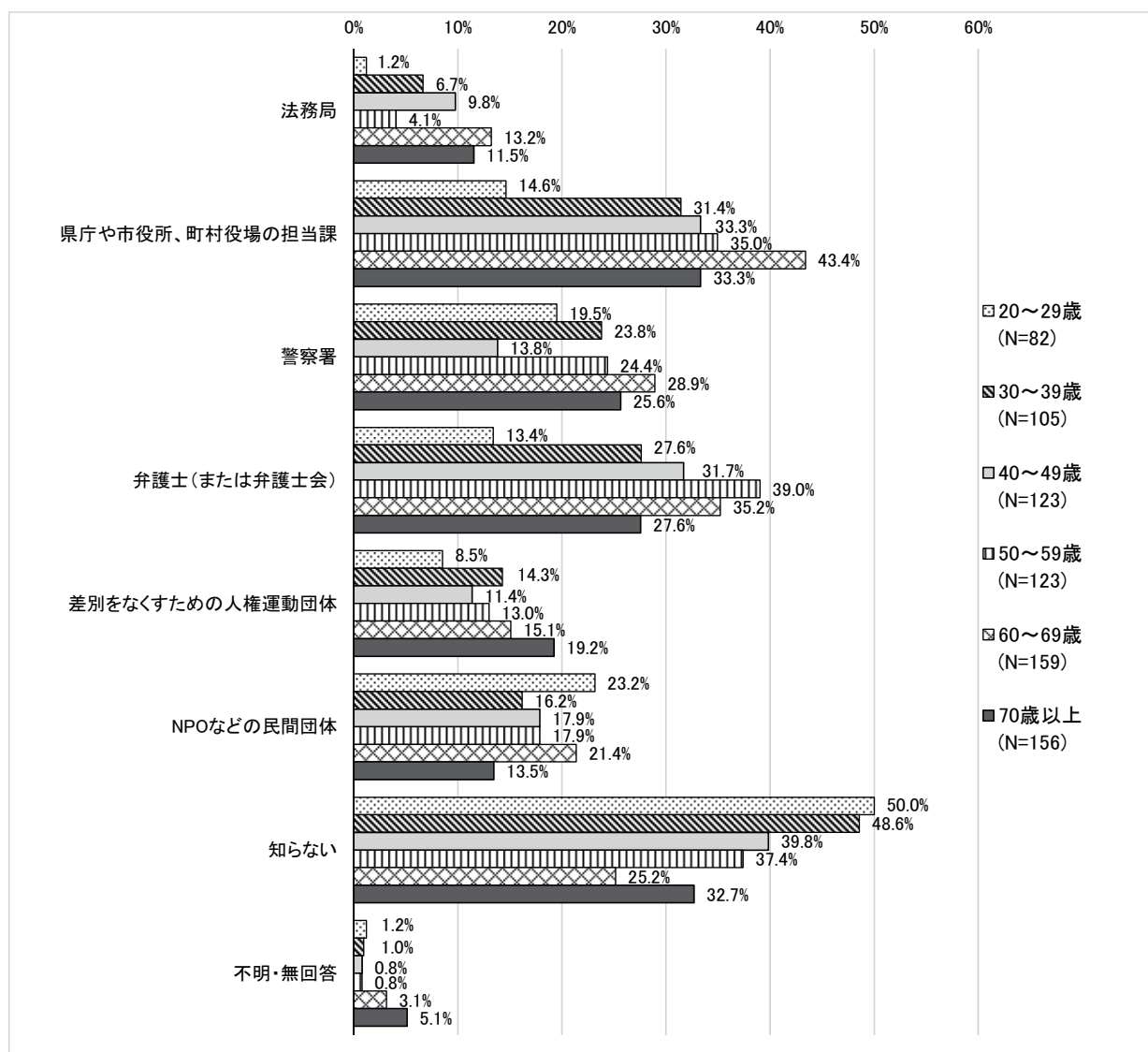
回答項目		法務局	県庁や市役所、町村役場の担当課	警察署	弁護士（または弁護士会）	差別をなくすための人権運動団体	NPOなどの民間団体	知らない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	64	250	174	226	106	135	279	18	750
	度数(%)	8.5%	33.3%	23.2%	30.1%	14.1%	18.0%	37.2%	2.4%	100.0%
男性	回答数	42	126	84	103	59	60	114	7	341
	度数(%)	12.3%	37.0%	24.6%	30.2%	17.3%	17.6%	33.4%	2.1%	45.5%
女性	回答数	22	119	87	123	47	74	156	7	391
	度数(%)	5.6%	30.4%	22.3%	31.5%	12.0%	18.9%	39.9%	1.8%	52.1%
その他	回答数	0	4	2	0	0	1	8	3	15
	度数(%)	0.0%	26.7%	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%	53.3%	20.0%	2.0%
無回答	回答数	0	1	1	0	0	0	1	1	3
	度数(%)	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.4%



全体的にみると、差別されたり人権侵害をされた時に相談出来る機関として「県庁や市役所、町村役場の担当課」、「弁護士」が30%強で、「知らない」が40%弱である。「法務局」が10%弱となっている。

## 2)年齢層別特徴

回答項目		法務局	県庁や市役所、町村役場の担当課	警察署	弁護士(または弁護士会)	差別をなくすための人権運動団体	NPOなどの民間団体	知らない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	1	12	16	11	7	19	41	1	82
	度数(%)	1.2%	14.6%	19.5%	13.4%	8.5%	23.2%	50.0%	1.2%	100.0%
30～39歳	回答数	7	33	25	29	15	17	51	1	105
	度数(%)	6.7%	31.4%	23.8%	27.6%	14.3%	16.2%	48.6%	1.0%	100.0%
40～49歳	回答数	12	41	17	39	14	22	49	1	123
	度数(%)	9.8%	33.3%	13.8%	31.7%	11.4%	17.9%	39.8%	0.8%	100.0%
50～59歳	回答数	5	43	30	48	16	22	46	1	123
	度数(%)	4.1%	35.0%	24.4%	39.0%	13.0%	17.9%	37.4%	0.8%	100.0%
60～69歳	回答数	21	69	46	56	24	34	40	5	159
	度数(%)	13.2%	43.4%	28.9%	35.2%	15.1%	21.4%	25.2%	3.1%	100.0%
70～79歳	回答数	18	52	40	43	30	21	51	8	156
	度数(%)	11.5%	33.3%	25.6%	27.6%	19.2%	13.5%	32.7%	5.1%	100.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%

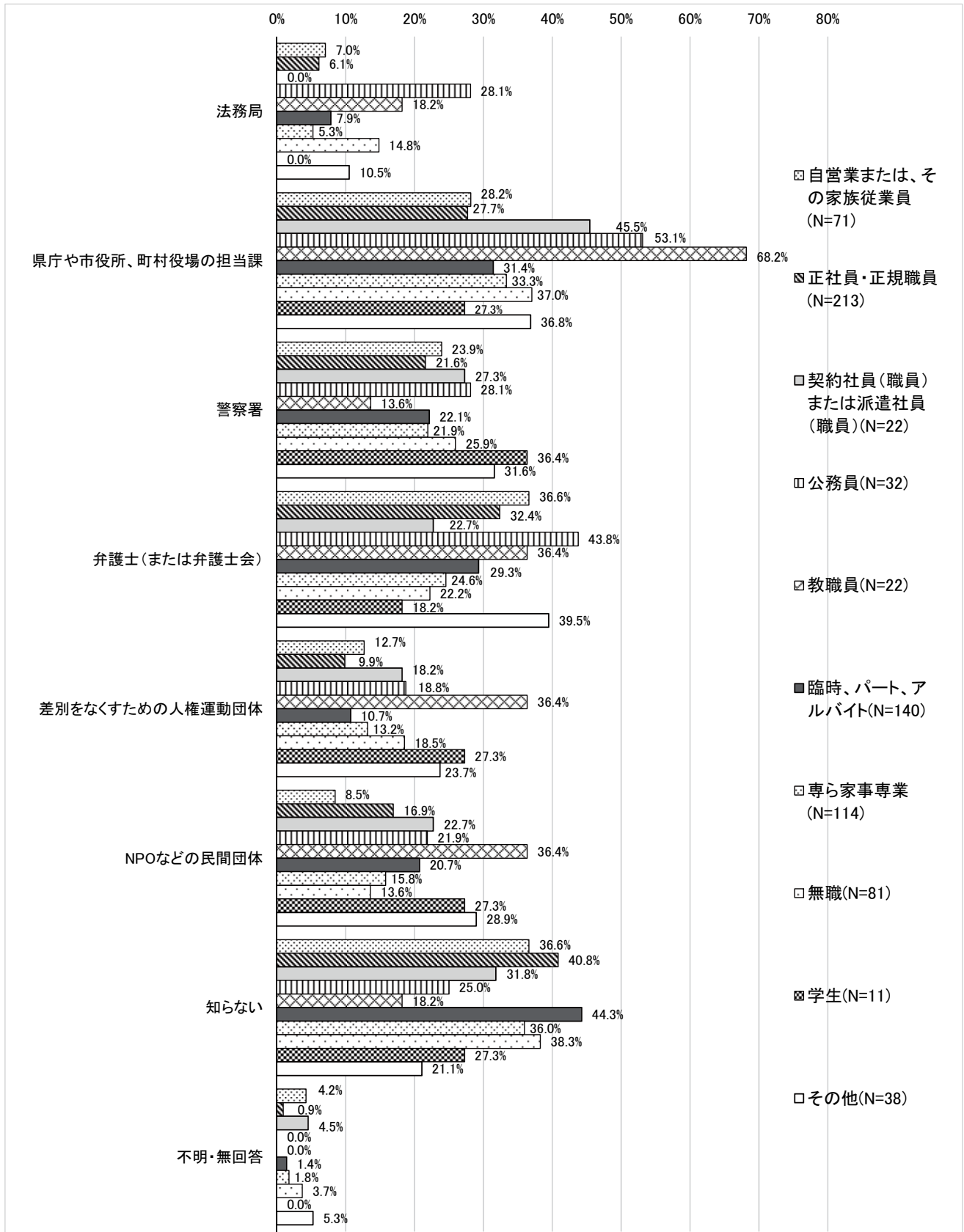


年齢別でみると、60～69歳の年齢層で「県庁や市役所、町村役場の担当課」が43.4%で、他の年齢層よりも高い。

「知らない」と回答した割合が高いのは、20～29歳の50.0%、30～39歳の48.6%である。

### 3)職業別特徴

回答項目		法務局	県庁や市役所、町村役場の担当課	警察署	弁護士(または弁護士会)	差別をなくすための人権運動団体	NPOなどの民間団体	知らない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	5	20	17	26	9	6	26	3	71
	度数(%)	7.0%	28.2%	23.9%	36.6%	12.7%	8.5%	36.6%	4.2%	100.0%
正社員・正規職員	回答数	13	59	46	69	21	36	87	2	213
	度数(%)	6.1%	27.7%	21.6%	32.4%	9.9%	16.9%	40.8%	0.9%	100.0%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	0	10	6	5	4	5	7	1	22
	度数(%)	0.0%	45.5%	27.3%	22.7%	18.2%	22.7%	31.8%	4.5%	100.0%
公務員	回答数	9	17	9	14	6	7	8	0	32
	度数(%)	28.1%	53.1%	28.1%	43.8%	18.8%	21.9%	25.0%	0.0%	100.0%
教職員	回答数	4	15	3	8	8	8	4	0	22
	度数(%)	18.2%	68.2%	13.6%	36.4%	36.4%	36.4%	18.2%	0.0%	100.0%
臨時、パート、アルバイト	回答数	11	44	31	41	15	29	62	2	140
	度数(%)	7.9%	31.4%	22.1%	29.3%	10.7%	20.7%	44.3%	1.4%	100.0%
専ら家事専業	回答数	6	38	25	28	15	18	41	2	114
	度数(%)	5.3%	33.3%	21.9%	24.6%	13.2%	15.8%	36.0%	1.8%	100.0%
無職	回答数	12	30	21	18	15	11	31	3	81
	度数(%)	14.8%	37.0%	25.9%	22.2%	18.5%	13.6%	38.3%	3.7%	100.0%
学生	回答数	0	3	4	2	3	3	3	0	11
	度数(%)	0.0%	27.3%	36.4%	18.2%	27.3%	27.3%	27.3%	0.0%	100.0%
その他	回答数	4	14	12	15	9	11	8	2	38
	度数(%)	10.5%	36.8%	31.6%	39.5%	23.7%	28.9%	21.1%	5.3%	100.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	1	1	2	3	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	50.0%	100.0%



職業別でみると、差別や人権侵害を受けた時の相談機関として、「法務局」を回答しているのは、公務員が28.1%、教職員が18.2%で他の職業より多い。「県庁や市役所、町村役場の担当課」と回答しているのも、教職員が68.2%、公務員が53.1%で他の職業より多い。

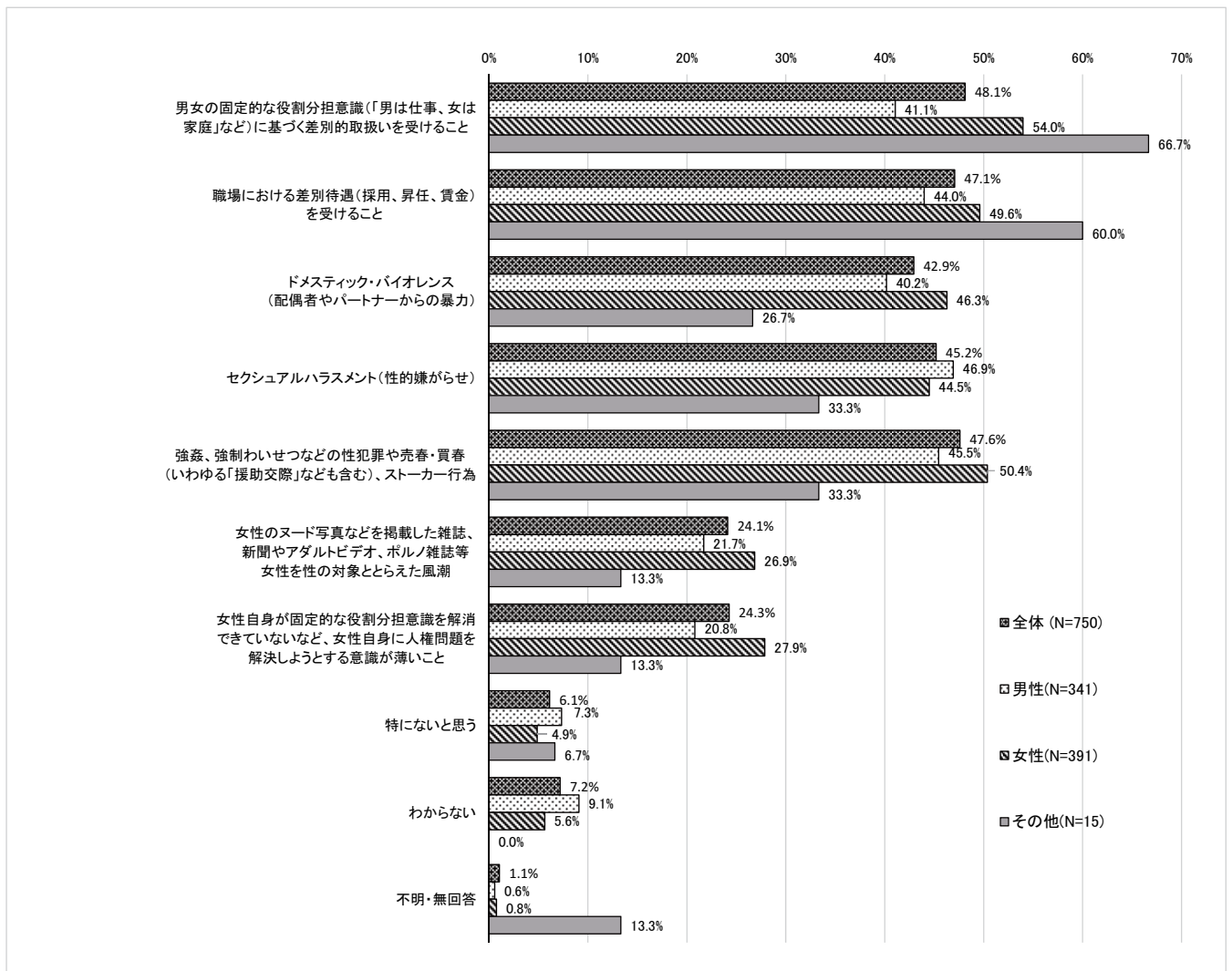
「知らない」と回答している割合が高いのは、臨時、パート、アルバイト(44.3%)、正社員・正規職員(40.8%)、無職(38.3%)、自営業または、その家族従業員(36.6%)である。

## 2. 個別の人権問題について

問7 あなたは女性に関することで現在どのような人権問題があると思いますか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

### 1)全体及び性別の特徴

回答項目		男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など)に基づく差別的取扱いを受けること	職場における差別待遇(採用、昇任、賃金)を受けること	ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)	セクシュアルハラスメント(性的嫌がらせ)	強姦、強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春(いわゆる「援助交際」なども含む)、ストーカー行為	女性のヌード写真などを掲載した雑誌、新聞やアダルトビデオ、ポルノ雑誌等女性を性の対象ととらえた風潮	女性自身が固定的な役割分担意識を解消できていないなど、女性自身に人権問題を解決しようとする意識が薄いこと	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
		回答数	度数(%)	回答数	度数(%)	回答数	度数(%)	回答数	度数(%)	回答数	度数(%)	
全体	回答数	361	353	322	339	357	181	182	46	54	8	750
	度数(%)	48.1%	47.1%	42.9%	45.2%	47.6%	24.1%	24.3%	6.1%	7.2%	1.1%	100.0%
男性	回答数	140	150	137	160	155	74	71	25	31	2	341
	度数(%)	41.1%	44.0%	40.2%	46.9%	45.5%	21.7%	20.8%	7.3%	9.1%	0.6%	45.5%
女性	回答数	211	194	181	174	197	105	109	19	22	3	391
	度数(%)	54.0%	49.6%	46.3%	44.5%	50.4%	26.9%	27.9%	4.9%	5.6%	0.8%	52.1%
その他	回答数	10	9	4	5	5	2	2	1	0	2	15
	度数(%)	66.7%	60.0%	26.7%	33.3%	33.3%	13.3%	13.3%	6.7%	0.0%	13.3%	2.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.4%

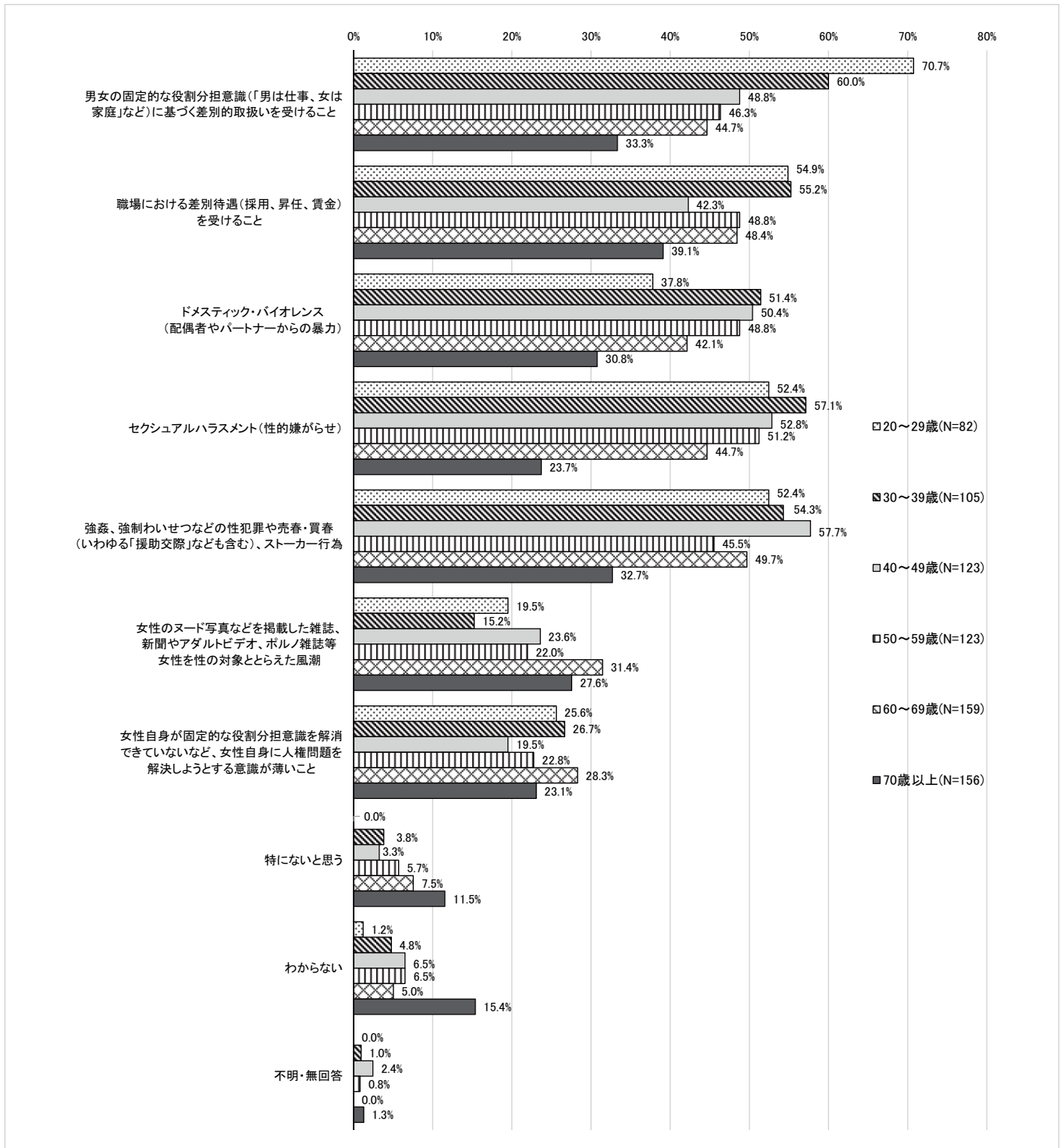


全体的にみると、「男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」(48.1%)が最も多く、次いで「強姦、強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春(いわゆる「援助交際」なども含む)、ストーカー行為」(47.6%)、「職場における差別待遇を受けること」(47.1%)となっている。

性別特徴では、「職場における差別待遇」の男性と女性の数値はさほど変わらないが、「男女の固定的役割分担」で 12.9 ポイント、「女性自身が固定的な役割分担意識を解消できていないなど、女性自身に人権問題を解決しようとする意識が薄いこと」で 7.1 ポイント、「ドメスティック・バイオレンス」で 6.1 ポイント、女性の方が高い。

## 2)年齢層別特徴

回答項目		男女の固定的な役割分担意識 (「男は仕事、女は家庭」など)に基づく差別的取扱いを受けること	職場における差別待遇 (採用、昇任、賃金)を受けること	ドメスティック・バイオレンス (配偶者やパートナーからの暴力)	セクシュアルハラスメント (性的嫌がらせ)	強姦、強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春(いわゆる「援助交際」なども含む)、ストーカー行為	女性のヌード写真などを掲載した雑誌、新聞やアダルトビデオ、ポルノ雑誌等女性を性的対象ととらえた風潮	女性自身が固定的な役割分担意識を解消できていないなど、女性自身に人権問題を解決しようとする意識が薄いこと	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	58	45	31	43	43	16	21	0	1	0	82
	度数(%)	70.7%	54.9%	37.8%	52.4%	52.4%	19.5%	25.6%	0.0%	1.2%	0.0%	100.0%
30～39歳	回答数	63	58	54	60	57	16	28	4	5	1	105
	度数(%)	60.0%	55.2%	51.4%	57.1%	54.3%	15.2%	26.7%	3.8%	4.8%	1.0%	100.0%
40～49歳	回答数	60	52	62	65	71	29	24	4	8	3	123
	度数(%)	48.8%	42.3%	50.4%	52.8%	57.7%	23.6%	19.5%	3.3%	6.5%	2.4%	100.0%
50～59歳	回答数	57	60	60	63	56	27	28	7	8	1	123
	度数(%)	46.3%	48.8%	48.8%	51.2%	45.5%	22.0%	22.8%	5.7%	6.5%	0.8%	100.0%
60～69歳	回答数	71	77	67	71	79	50	45	12	8	0	159
	度数(%)	44.7%	48.4%	42.1%	44.7%	49.7%	31.4%	28.3%	7.5%	5.0%	0.0%	100.0%
70歳以上	回答数	52	61	48	37	51	43	36	18	24	2	156
	度数(%)	33.3%	39.1%	30.8%	23.7%	32.7%	27.6%	23.1%	11.5%	15.4%	1.3%	100.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%



年齢別でみると、70歳以上の年齢層で「わからない」が多くなっている。

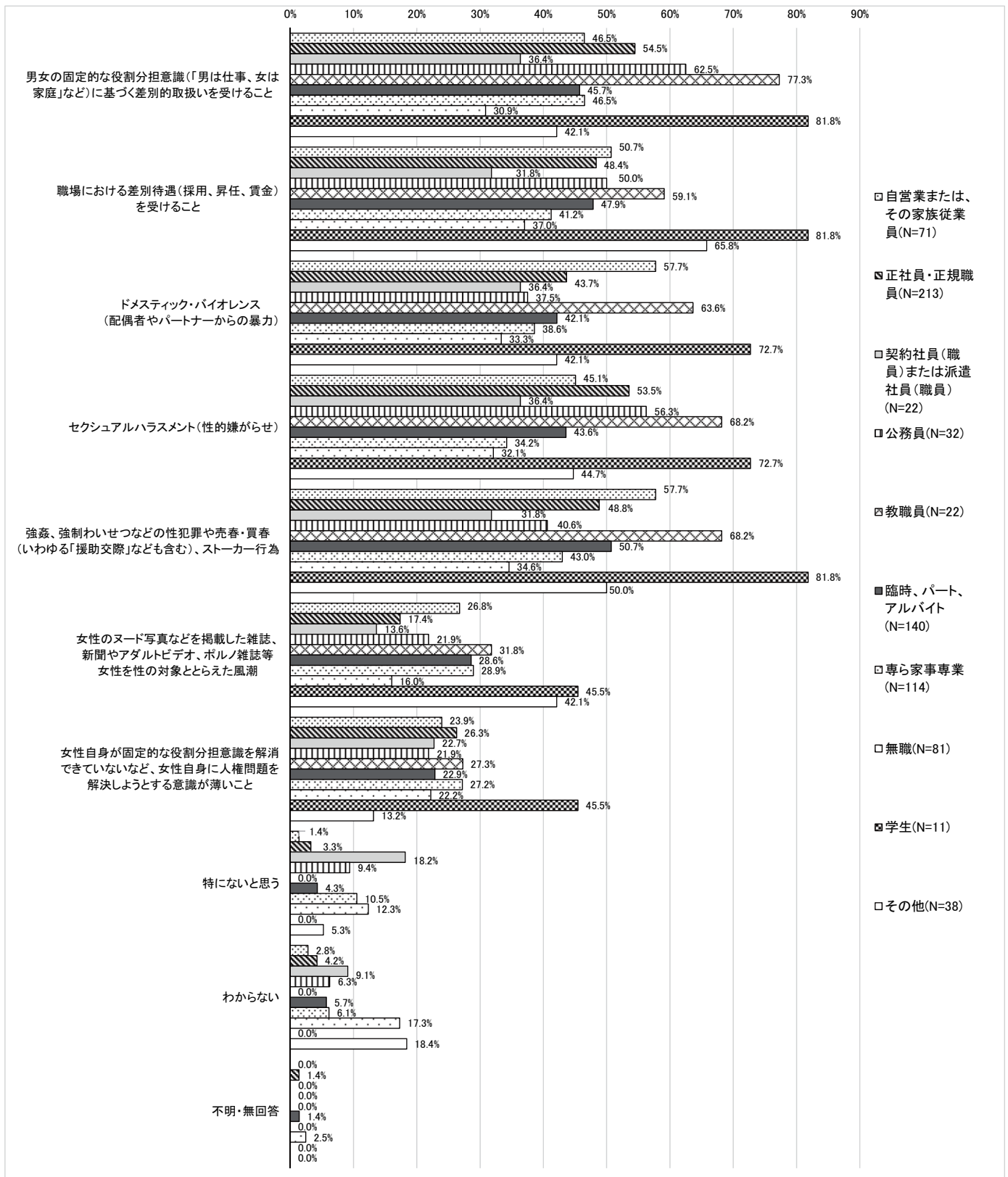
「男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」においては20～29歳で70.7%、30～39歳で60.0%と高い。「セクシュアルハラスメント」においては、30～39歳が57.1%で最も高い。



3)職業別特徴

回答項目	男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など)に基づく差別的取扱いを受けること	職場における差別待遇(採用、昇任、賃金)を受けること	ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)	セクシュアルハラスメント(性的嫌がらせ)	強姦、強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春(いわゆる「援助交際」なども含む)、ストーカー行為	女性のヌード写真などを掲載した雑誌、新聞やアダルトビデオ、ポルノ雑誌等女性を性の対象ととらえた風潮	
自営業または、その家族従業員	回答数	33	36	41	32	41	19
	度数(%)	46.5%	50.7%	57.7%	45.1%	57.7%	26.8%
正社員・正規職員	回答数	116	103	93	114	104	37
	度数(%)	54.5%	48.4%	43.7%	53.5%	48.8%	17.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	8	7	8	8	7	3
	度数(%)	36.4%	31.8%	36.4%	36.4%	31.8%	13.6%
公務員	回答数	20	16	12	18	13	7
	度数(%)	62.5%	50.0%	37.5%	56.3%	40.6%	21.9%
教職員	回答数	17	13	14	15	15	7
	度数(%)	77.3%	59.1%	63.6%	68.2%	68.2%	31.8%
臨時、パート、アルバイト	回答数	64	67	59	61	71	40
	度数(%)	45.7%	47.9%	42.1%	43.6%	50.7%	28.6%
専ら家事専業	回答数	53	47	44	39	49	33
	度数(%)	46.5%	41.2%	38.6%	34.2%	43.0%	28.9%
無職	回答数	25	30	27	26	28	13
	度数(%)	30.9%	37.0%	33.3%	32.1%	34.6%	16.0%
学生	回答数	9	9	8	8	9	5
	度数(%)	81.8%	81.8%	72.7%	72.7%	81.8%	45.5%
その他	回答数	16	25	16	17	19	16
	度数(%)	42.1%	65.8%	42.1%	44.7%	50.0%	42.1%
無回答	回答数	0	0	0	1	1	1
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%

回答項目	女性自身が固定的な役割分担意識を解消できていないなど、女性自身に人権問題を解決しようとする意識が薄いこと	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数	
自営業または、その家族従業員	回答数	17	1	2	0	71
	度数(%)	23.9%	1.4%	2.8%	0.0%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	56	7	9	3	213
	度数(%)	26.3%	3.3%	4.2%	1.4%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	5	4	2	0	22
	度数(%)	22.7%	18.2%	9.1%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	7	3	2	0	32
	度数(%)	21.9%	9.4%	6.3%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	6	0	0	0	22
	度数(%)	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	32	6	8	2	140
	度数(%)	22.9%	4.3%	5.7%	1.4%	18.7%
専ら家事専業	回答数	31	12	7	0	114
	度数(%)	27.2%	10.5%	6.1%	0.0%	15.2%
無職	回答数	18	10	14	2	81
	度数(%)	22.2%	12.3%	17.3%	2.5%	10.8%
学生	回答数	5	0	0	0	11
	度数(%)	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	回答数	5	2	7	0	38
	度数(%)	13.2%	5.3%	18.4%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	0	1	3	1	6
	度数(%)	0.0%	16.7%	50.0%	16.7%	0.8%

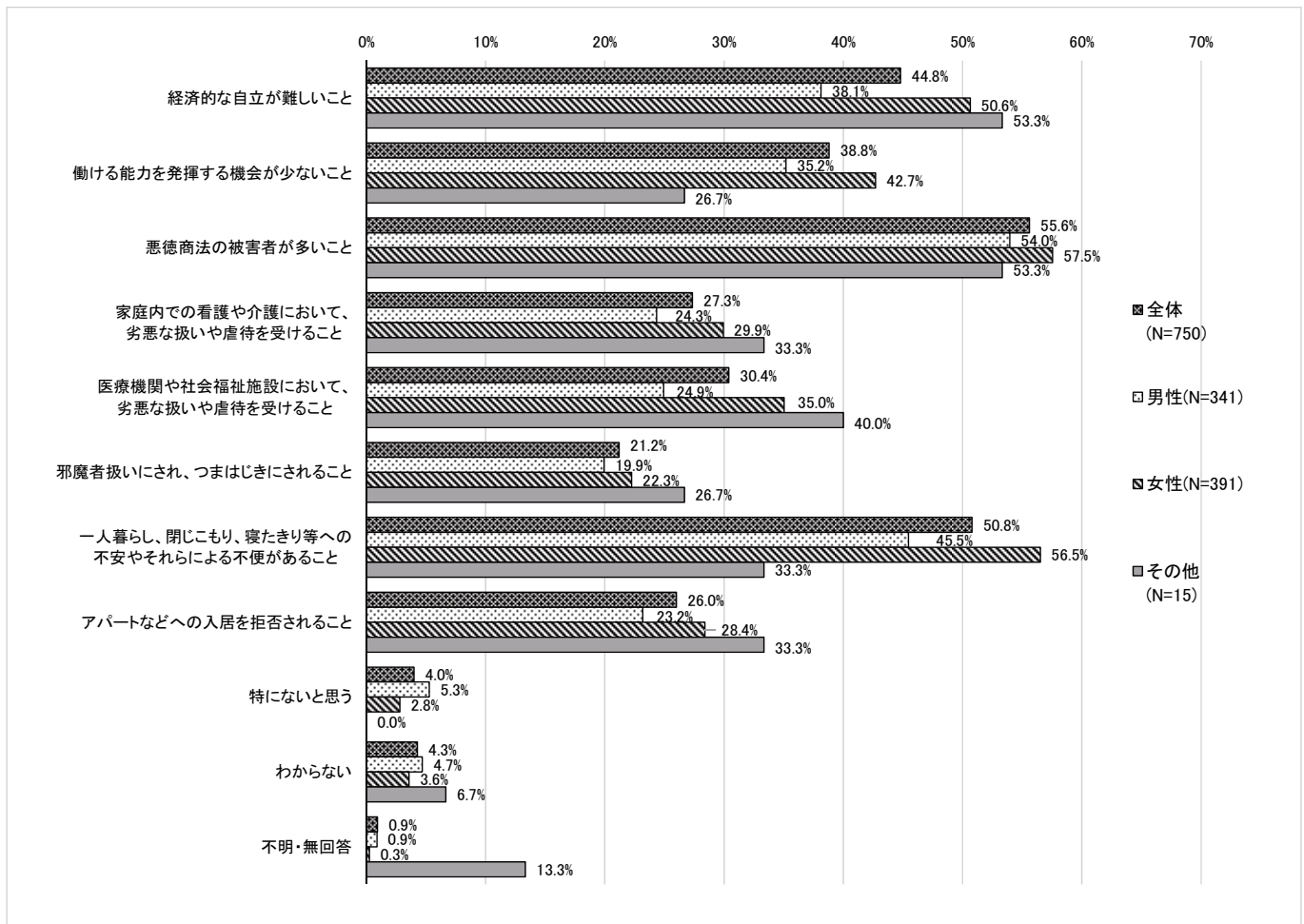


職業別でみると、「男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」は教職員 77.3%、公務員 62.5%、学生 81.8%、「職場における差別待遇(採用、昇進、賃金など)を受けること」は教職員 59.1%、学生 81.8%、「強姦、強制わいせつなどの性犯罪や買春・売春(いわゆる「援助交際」を含む)、ストーカー行為」は自営業またはその家族従業員 57.7%、教職員 68.2%、学生 81.8% が問題と感じている割合が高い。

問8 あなたは高齢者に関することで現在どのような人権問題があると思いますか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		経済的な自立が難しいこと	働ける能力を発揮する機会が少ないこと	悪徳商法の被害者が多いこと	家庭内での看護や介護において、劣悪な扱いや虐待を受けること	医療機関や社会福祉施設において、劣悪な扱いや虐待を受けること	邪魔者扱いにされ、つまはじきにされること	一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること	アパートなどへの入居を拒否されること	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	336	291	417	205	228	159	381	195	30	32	7	750
	度数(%)	44.8%	38.8%	55.6%	27.3%	30.4%	21.2%	50.8%	26.0%	4.0%	4.3%	0.9%	100.0%
男性	回答数	130	120	184	83	85	68	155	79	18	16	3	341
	度数(%)	38.1%	35.2%	54.0%	24.3%	24.9%	19.9%	45.5%	23.2%	5.3%	4.7%	0.9%	45.5%
女性	回答数	198	167	225	117	137	87	221	111	11	14	1	391
	度数(%)	50.6%	42.7%	57.5%	29.9%	35.0%	22.3%	56.5%	28.4%	2.8%	3.6%	0.3%	52.1%
その他	回答数	8	4	8	5	6	4	5	5	0	1	2	15
	度数(%)	53.3%	26.7%	53.3%	33.3%	40.0%	26.7%	33.3%	33.3%	0.0%	6.7%	13.3%	2.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.4%

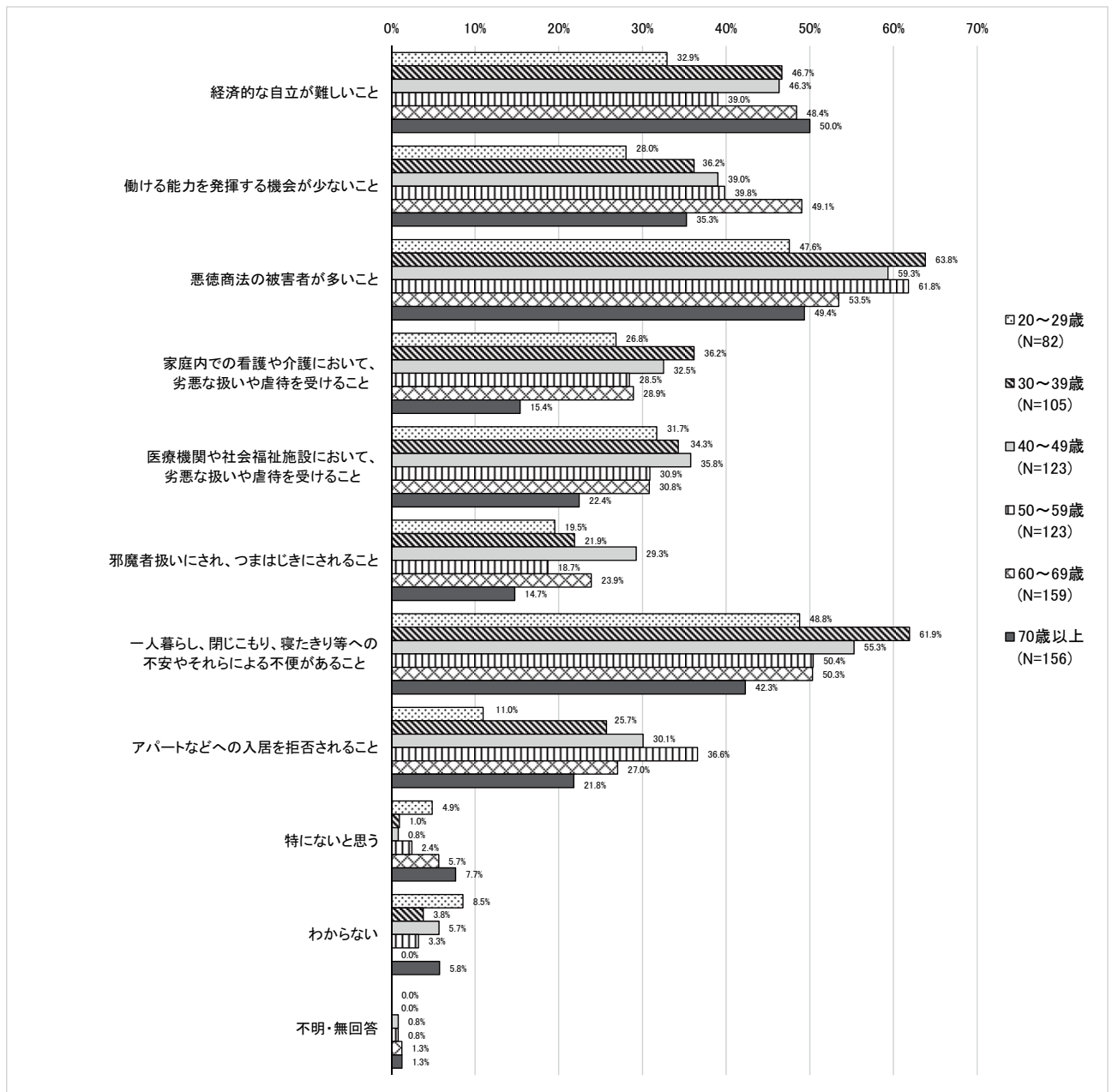


全体的にみると、「悪徳商法の被害者が多いこと」が最も高く 55.6%、次いで「一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること」50.8%、「経済的な自立が難しいこと」44.8%となっている。

男性と女性と比べると、「経済的な自立が難しいこと」においては、男性(38.1%))に比べ女性(50.6%)が 12.5 ポイント高くなっている。

## 2)年齢層別特徴

回答項目		経済的な自立が難しいこと	働ける能力を発揮する機会が少ないこと	悪徳商法の被害者が多いこと	家庭内での看護や介護において、劣悪な扱いや虐待を受けること	医療機関や社会福祉施設において、劣悪な扱いや虐待を受けること	邪魔者扱いにされ、つまはじきにされること	一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること	アパートなどへの入居を拒否されること	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
		回答数	度数(%)	回答数	度数(%)	回答数	度数(%)	回答数	度数(%)	回答数	度数(%)	回答数	度数(%)
20～29歳	回答数	27	23	39	22	26	16	40	9	4	7	0	82
	度数(%)	32.9%	28.0%	47.6%	26.8%	31.7%	19.5%	48.8%	11.0%	4.9%	8.5%	0.0%	10.9%
30～39歳	回答数	49	38	67	38	36	23	65	27	1	4	0	105
	度数(%)	46.7%	36.2%	63.8%	36.2%	34.3%	21.9%	61.9%	25.7%	1.0%	3.8%	0.0%	14.0%
40～49歳	回答数	57	48	73	40	44	36	68	37	1	7	1	123
	度数(%)	46.3%	39.0%	59.3%	32.5%	35.8%	29.3%	55.3%	30.1%	0.8%	5.7%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	48	49	76	35	38	23	62	45	3	4	1	123
	度数(%)	39.0%	39.8%	61.8%	28.5%	30.9%	18.7%	50.4%	36.6%	2.4%	3.3%	0.8%	16.4%
60～69歳	回答数	77	78	85	46	49	38	80	43	9	0	2	159
	度数(%)	48.4%	49.1%	53.5%	28.9%	30.8%	23.9%	50.3%	27.0%	5.7%	0.0%	1.3%	21.2%
70歳以上	回答数	78	55	77	24	35	23	66	34	12	9	2	156
	度数(%)	50.0%	35.3%	49.4%	15.4%	22.4%	14.7%	42.3%	21.8%	7.7%	5.8%	1.3%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.3%

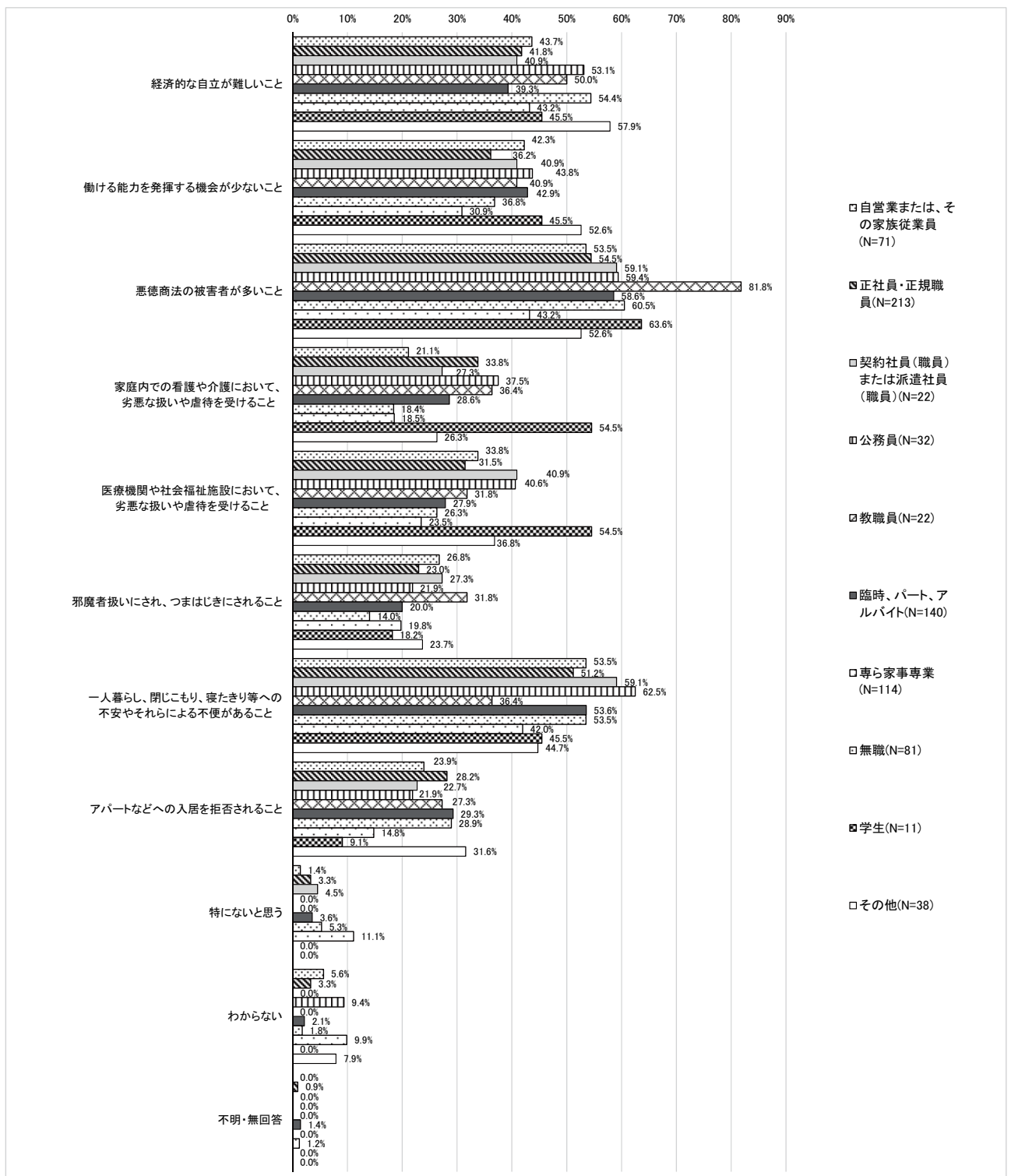


年齢別でみると、「経済的な自立が難しいこと」においては、70歳以上が50.0%と最も多い。

「悪徳商法の被害者が多いこと」においては30～39歳で63.8%、50～59歳で61.8%と高く、70歳以上では49.4%である。「一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること」においては、30～39歳が61.9%で最も高く、70歳以上では42.3%である。

### 3)職業別特徴

回答項目		経済的な自立が難しいこと	働ける能力を発揮する機会が少ないこと	悪徳商法の被害者が多いこと	家庭内での看護や介護において、劣悪な扱いや虐待を受けること	医療機関や社会福祉施設において、劣悪な扱いや虐待を受けること	邪魔者扱いにされ、つまはじきにされること	一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること	アパートなどへの入居を拒否されること	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
		回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
自営業または、その家族従業員	回答数	31	30	38	15	24	19	38	17	1	4	0	71
	度数(%)	43.7%	42.3%	53.5%	21.1%	33.8%	26.8%	53.5%	23.9%	1.4%	5.6%	0.0%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	89	77	116	72	67	49	109	60	7	7	2	213
	度数(%)	41.8%	36.2%	54.5%	33.8%	31.5%	23.0%	51.2%	28.2%	3.3%	3.3%	0.9%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	9	9	13	6	9	6	13	5	1	0	0	22
	度数(%)	40.9%	40.9%	59.1%	27.3%	40.9%	27.3%	59.1%	22.7%	4.5%	0.0%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	17	14	19	12	13	7	20	7	0	3	0	32
	度数(%)	53.1%	43.8%	59.4%	37.5%	40.6%	21.9%	62.5%	21.9%	0.0%	9.4%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	11	9	18	8	7	7	8	6	0	0	0	22
	度数(%)	50.0%	40.9%	81.8%	36.4%	31.8%	31.8%	36.4%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	55	60	82	40	39	28	75	41	5	3	2	140
	度数(%)	39.3%	42.9%	58.6%	28.6%	27.9%	20.0%	53.6%	29.3%	3.6%	2.1%	1.4%	18.7%
専ら家事専業	回答数	62	42	69	21	30	16	61	33	6	2	0	114
	度数(%)	54.4%	36.8%	60.5%	18.4%	26.3%	14.0%	53.5%	28.9%	5.3%	1.8%	0.0%	15.2%
無職	回答数	35	25	35	15	19	16	34	12	9	8	1	81
	度数(%)	43.2%	30.9%	43.2%	18.5%	23.5%	19.8%	42.0%	14.8%	11.1%	9.9%	1.2%	10.8%
学生	回答数	5	5	7	6	6	2	5	1	0	0	0	11
	度数(%)	45.5%	45.5%	63.6%	54.5%	54.5%	18.2%	45.5%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	回答数	22	20	20	10	14	9	17	12	0	3	0	38
	度数(%)	57.9%	52.6%	52.6%	26.3%	36.8%	23.7%	44.7%	31.6%	0.0%	7.9%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	2	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%	0.8%



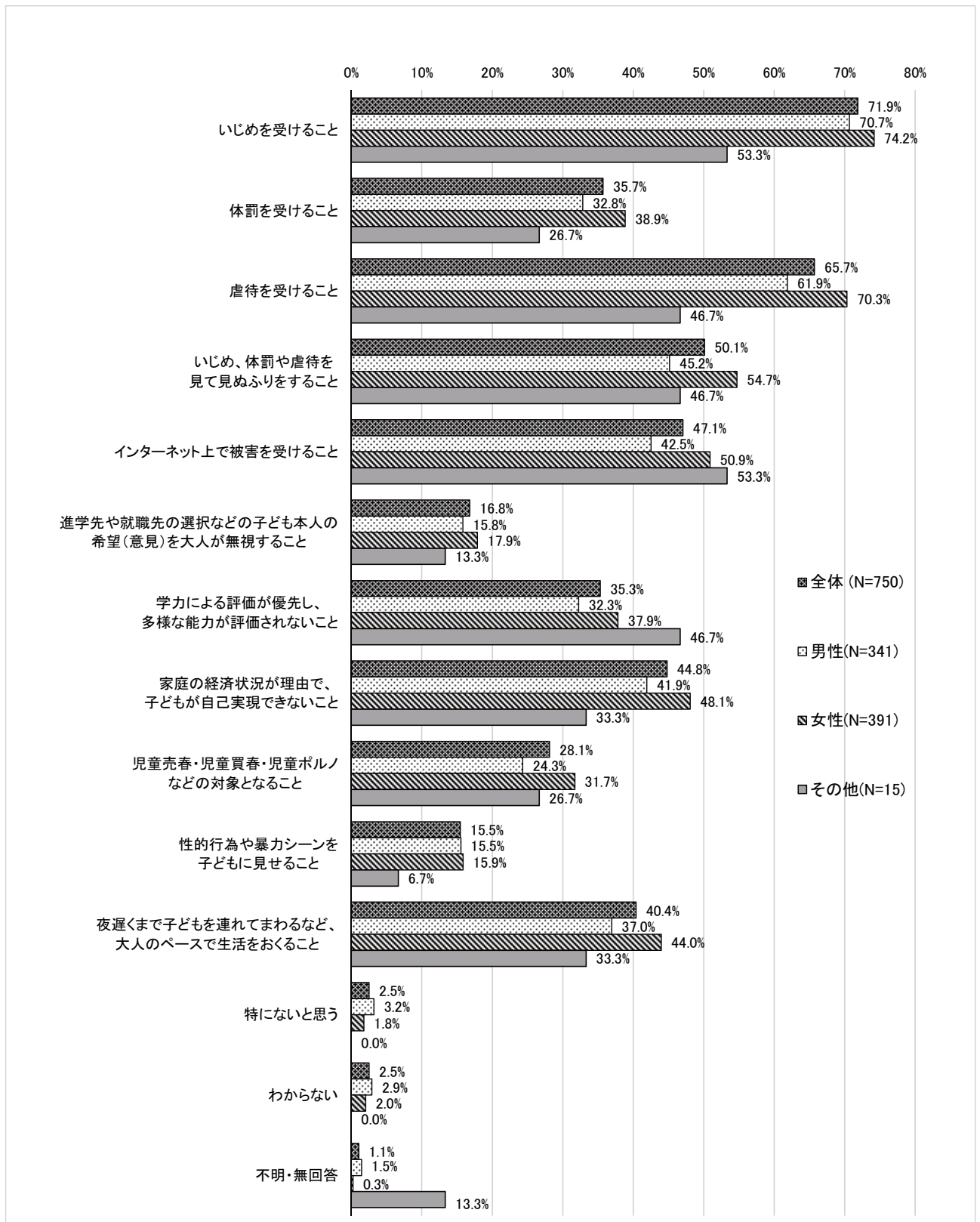
職業別でみると、「経済的な自立が難しいこと」においては、専ら家事專業が 54.4%、公務員が 53.1%と多い。「悪徳商法の被害者が多いこと」においては教職員が 81.8%で最も高く、学生で 63.6%、家事專業で 60.5%である。「一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること」においては、公務員が 62.5%で最も高く、契約社員（職員）または派遣社員（職員）が 59.1%である。

問9 あなたは子どもに関することで現在どのような人権問題があると思いますか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		いじめを受けること	体罰を受けること	虐待を受けること	いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする事	インターネット上で被害を受けること	進学先や就職先などの子ども本人の希望(意見)を大人が無視すること	学力による評価が優先し、多様な能力が評価されないこと	家庭の経済状況が理由で、子どもが自己実現できないこと
全体	回答数	539	268	493	376	353	126	265	336
	度数(%)	71.9%	35.7%	65.7%	50.1%	47.1%	16.8%	35.3%	44.8%
男性	回答数	241	112	211	154	145	54	110	143
	度数(%)	70.7%	32.8%	61.9%	45.2%	42.5%	15.8%	32.3%	41.9%
女性	回答数	290	152	275	214	199	70	148	188
	度数(%)	74.2%	38.9%	70.3%	54.7%	50.9%	17.9%	37.9%	48.1%
その他	回答数	8	4	7	7	8	2	7	5
	度数(%)	53.3%	26.7%	46.7%	46.7%	53.3%	13.3%	46.7%	33.3%
無回答	回答数	0	0	0	1	1	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		児童売春・児童買春・児童ポルノなどの対象となること	性的行為や暴力シーンを子どもに見せること	夜遅くまで子どもを連れてまわるなど、大人のペースで生活をおくること	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	211	116	303	19	19	8	750
	度数(%)	28.1%	15.5%	40.4%	2.5%	2.5%	1.1%	100.0%
男性	回答数	83	53	126	11	10	5	341
	度数(%)	24.3%	15.5%	37.0%	3.2%	2.9%	1.5%	45.5%
女性	回答数	124	62	172	7	8	1	391
	度数(%)	31.7%	15.9%	44.0%	1.8%	2.0%	0.3%	52.1%
その他	回答数	4	1	5	0	0	2	15
	度数(%)	26.7%	6.7%	33.3%	0.0%	0.0%	13.3%	2.0%
無回答	回答数	0	0	0	1	1	0	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.4%



全体的にみると、「いじめを受けること」が最も高く 71.9%、次いで「虐待を受けること」65.7%、「いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする事」50.1%となっている。

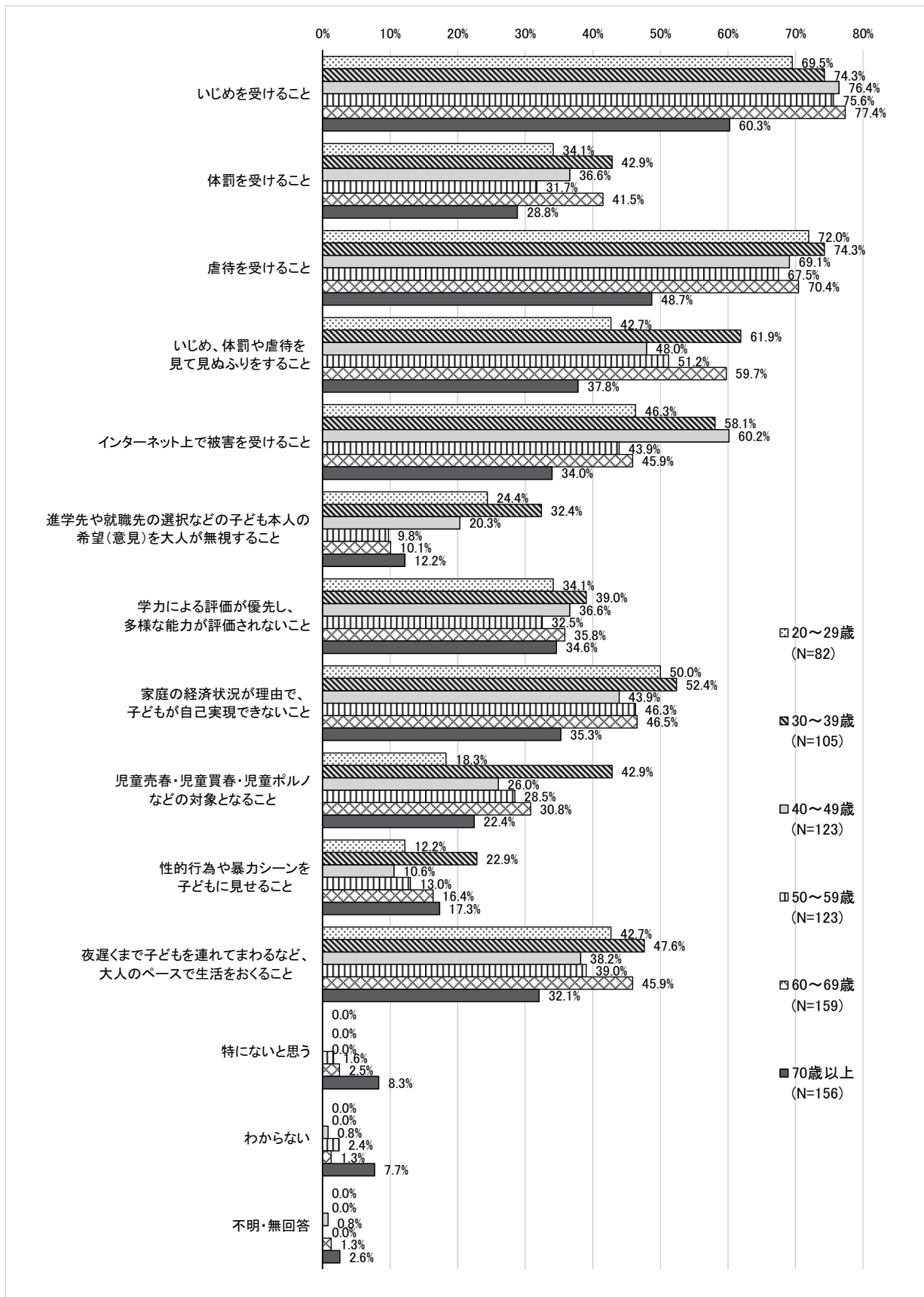
男性と女性を比べても、同じような傾向である。



2) 年齢層別特徴

回答項目		いじめを受けること	体罰を受けること	虐待を受けること	いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする事	インターネット上で被害を受けること	進学先や就職先などの選択などの子ども本人の希望(意見を大人が無視すること	学力による評価が優先し、多様な能力が評価されないこと	家庭の経済状況が理由で、子どもが自己実現できないこと
20～29歳	回答数	57	28	59	35	38	20	28	41
	度数(%)	69.5%	34.1%	72.0%	42.7%	46.3%	24.4%	34.1%	50.0%
30～39歳	回答数	78	45	78	65	61	34	41	55
	度数(%)	74.3%	42.9%	74.3%	61.9%	58.1%	32.4%	39.0%	52.4%
40～49歳	回答数	94	45	85	59	74	25	45	54
	度数(%)	76.4%	36.6%	69.1%	48.0%	60.2%	20.3%	36.6%	43.9%
50～59歳	回答数	93	39	83	63	54	12	40	57
	度数(%)	75.6%	31.7%	67.5%	51.2%	43.9%	9.8%	32.5%	46.3%
60～69歳	回答数	123	66	112	95	73	16	57	74
	度数(%)	77.4%	41.5%	70.4%	59.7%	45.9%	10.1%	35.8%	46.5%
70歳以上	回答数	94	45	76	59	53	19	54	55
	度数(%)	60.3%	28.8%	48.7%	37.8%	34.0%	12.2%	34.6%	35.3%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		児童売春・児童買春・児童ポルノなどの対象となること	性的行為や暴力シーン子どもに見せること	夜遅くまで子どもを連れてまわるなど、大人のペースで生活をおくること	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	15	10	35	0	0	0	82
	度数(%)	18.3%	12.2%	42.7%	0.0%	0.0%	0.0%	10.9%
30～39歳	回答数	45	24	50	0	0	0	105
	度数(%)	42.9%	22.9%	47.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.0%
40～49歳	回答数	32	13	47	0	1	1	123
	度数(%)	26.0%	10.6%	38.2%	0.0%	0.8%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	35	16	48	2	3	0	123
	度数(%)	28.5%	13.0%	39.0%	1.6%	2.4%	0.0%	16.4%
60～69歳	回答数	49	26	73	4	2	2	159
	度数(%)	30.8%	16.4%	45.9%	2.5%	1.3%	1.3%	21.2%
70歳以上	回答数	35	27	50	13	12	4	156
	度数(%)	22.4%	17.3%	32.1%	8.3%	7.7%	2.6%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.3%

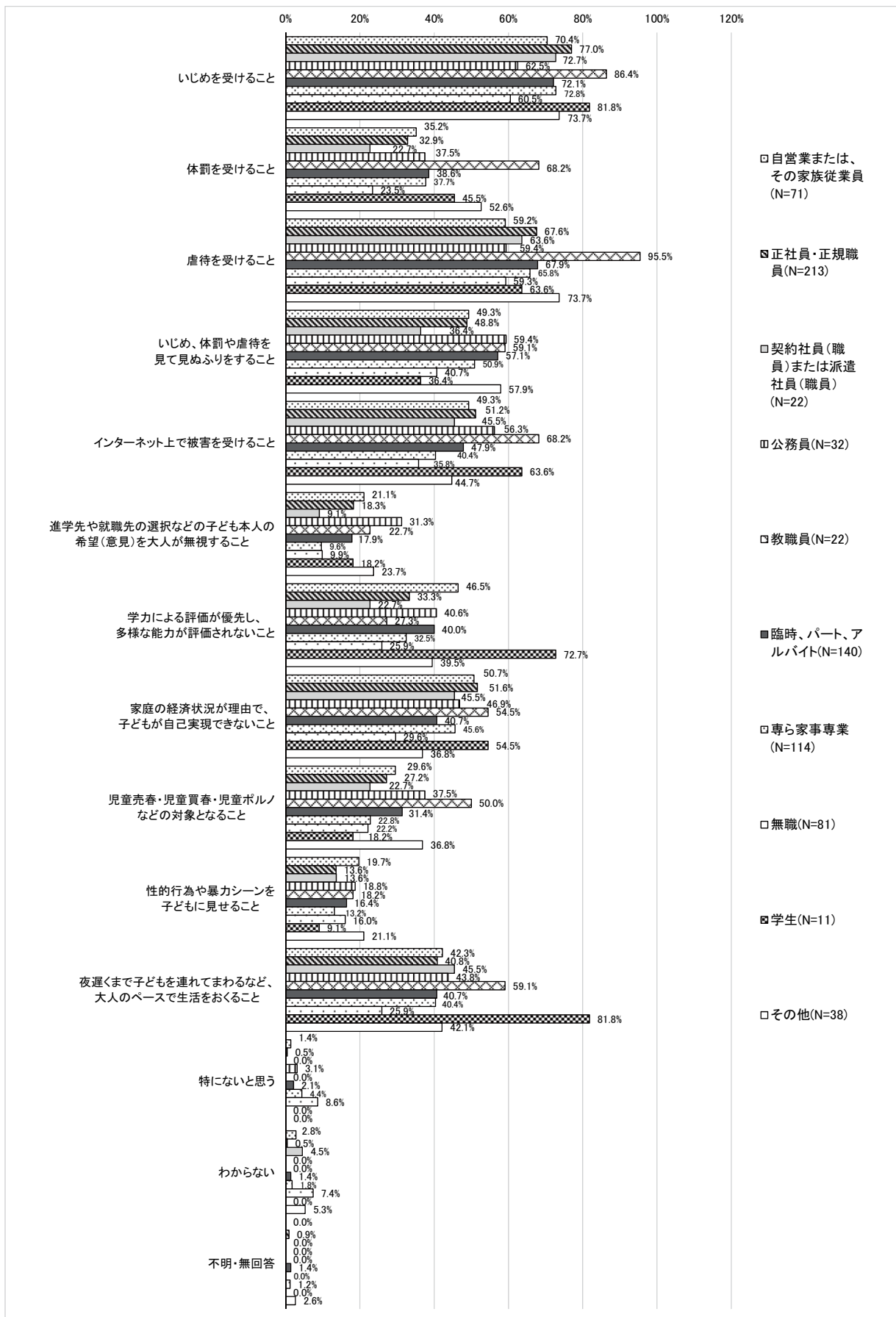


年齢別でみると、「いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする事」においては、30～39歳で61.9%、60～69歳で59.7%が他の年齢層と比べて高い。「インターネット上で被害を受けること」においては、40～49歳で60.2%、30～39歳で58.1%と他の年齢層と比べて高い。

3)職業別特徴

回答項目		いじめを受けること	体罰を受けること	虐待を受けること	いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりすること	インターネット上で被害を受けること	進学先や就職先の子どもの希望(意見)を大人が無視すること	学力による評価が優れ、多様な能力が評価されないこと	家庭の経済状況が理由で、子どもが自己実現できないこと
自営業または、その家族従業員	回答数	50	25	42	35	35	15	33	36
	度数(%)	70.4%	35.2%	59.2%	49.3%	49.3%	21.1%	46.5%	50.7%
正社員・正規職員	回答数	164	70	144	104	109	39	71	110
	度数(%)	77.0%	32.9%	67.6%	48.8%	51.2%	18.3%	33.3%	51.6%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	16	5	14	8	10	2	5	10
	度数(%)	72.7%	22.7%	63.6%	36.4%	45.5%	9.1%	22.7%	45.5%
公務員	回答数	20	12	19	19	18	10	13	15
	度数(%)	62.5%	37.5%	59.4%	59.4%	56.3%	31.3%	40.6%	46.9%
教職員	回答数	19	15	21	13	15	5	6	12
	度数(%)	86.4%	68.2%	95.5%	59.1%	68.2%	22.7%	27.3%	54.5%
臨時、パート、アルバイト	回答数	101	54	95	80	67	25	56	57
	度数(%)	72.1%	38.6%	67.9%	57.1%	47.9%	17.9%	40.0%	40.7%
専ら家事専業	回答数	83	43	75	58	46	11	37	52
	度数(%)	72.8%	37.7%	65.8%	50.9%	40.4%	9.6%	32.5%	45.6%
無職	回答数	49	19	48	33	29	8	21	24
	度数(%)	60.5%	23.5%	59.3%	40.7%	35.8%	9.9%	25.9%	29.6%
学生	回答数	9	5	7	4	7	2	8	6
	度数(%)	81.8%	45.5%	63.6%	36.4%	63.6%	18.2%	72.7%	54.5%
その他	回答数	28	20	28	22	17	9	15	14
	度数(%)	73.7%	52.6%	73.7%	57.9%	44.7%	23.7%	39.5%	36.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		児童売春・児童買春・児童ポルノなどの対象となること	性的行為や暴力シーンなどを子どもに見せること	夜遅くまで子どもを連れてまわるなど、大人のペースで生活をおくること	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	21	14	30	1	2	0	71
	度数(%)	29.6%	19.7%	42.3%	1.4%	2.8%	0.0%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	58	29	87	1	1	2	213
	度数(%)	27.2%	13.6%	40.8%	0.5%	0.5%	0.9%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	5	3	10	0	1	0	22
	度数(%)	22.7%	13.6%	45.5%	0.0%	4.5%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	12	6	14	1	0	0	32
	度数(%)	37.5%	18.8%	43.8%	3.1%	0.0%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	11	4	13	0	0	0	22
	度数(%)	50.0%	18.2%	59.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	44	23	57	3	2	2	140
	度数(%)	31.4%	16.4%	40.7%	2.1%	1.4%	1.4%	18.7%
専ら家事専業	回答数	26	15	46	5	2	0	114
	度数(%)	22.8%	13.2%	40.4%	4.4%	1.8%	0.0%	15.2%
無職	回答数	18	13	21	7	6	1	81
	度数(%)	22.2%	16.0%	25.9%	8.6%	7.4%	1.2%	10.8%
学生	回答数	2	1	9	0	0	0	11
	度数(%)	18.2%	9.1%	81.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	回答数	14	8	16	0	2	1	38
	度数(%)	36.8%	21.1%	42.1%	0.0%	5.3%	2.6%	5.1%
無回答	回答数	0	0	0	1	3	2	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.8%

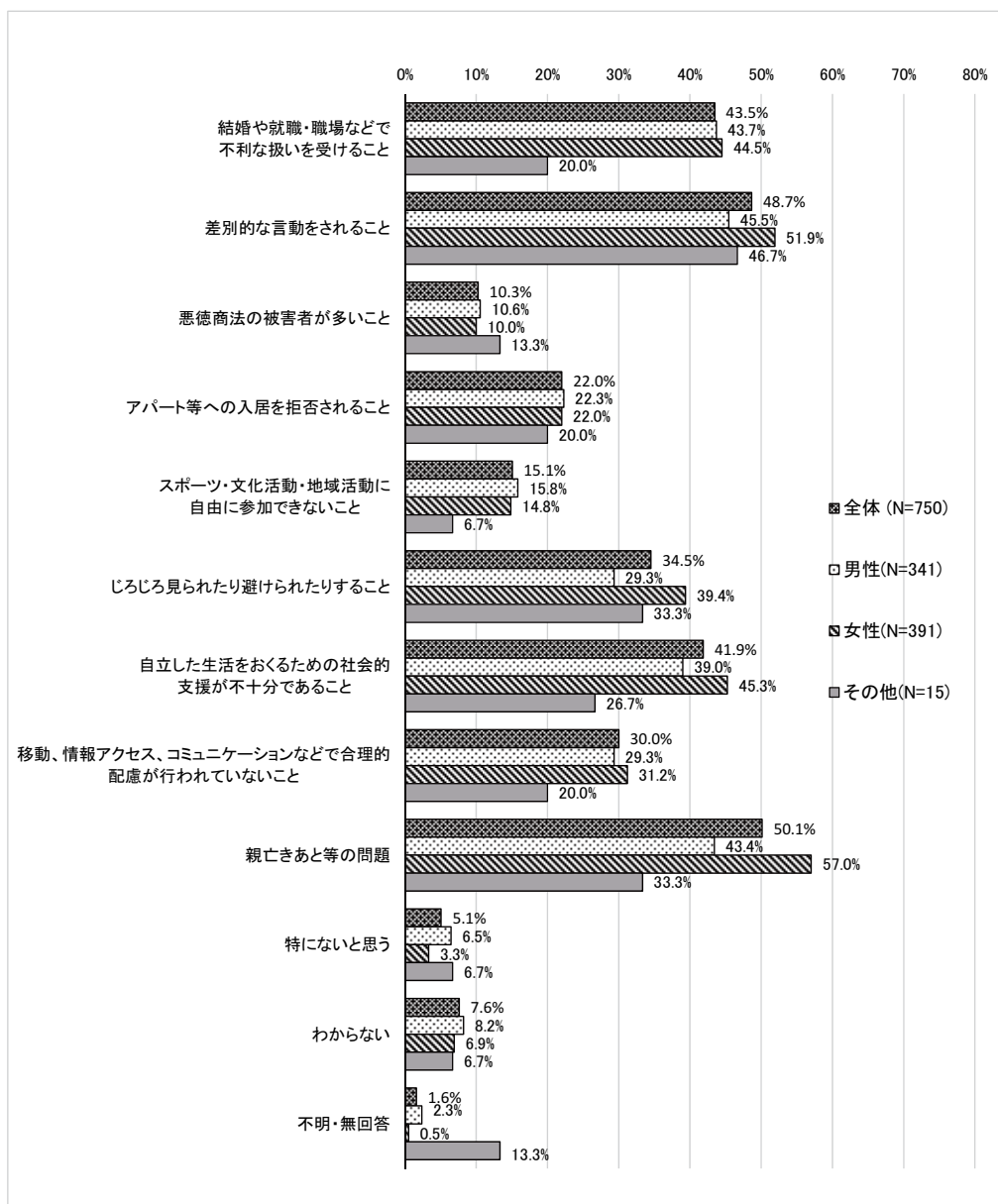


職業別でみると、「虐待を受けること」においては、教職員が95.5%、「学力による評価が優先し、多様な能力が評価されないこと」においては、学生が72.7%、「夜遅くまで子どもを連れてまわるなど、大人のペースで生活をおくること」においても学生が81.8%と他の職業と比べて高い。

問10 あなたは障がい者に関することで現在どのような人権問題があると思いますか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		結婚や就職・職場などで不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	悪徳商法の被害者が多いこと	アパート等への入居を拒否されること	スポーツ・文化活動・地域活動に自由に参加できないこと	じろじろ見られたり避けられたりすること	自立した生活をおくるための社会的支援が不十分であること	移動、情報アクセス、コミュニケーションなどで合理的配慮が行われていないこと	親亡きあと等の問題	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	326	365	77	165	113	259	314	225	376	38	57	12	750
	度数(%)	43.5%	48.7%	10.3%	22.0%	15.1%	34.5%	41.9%	30.0%	50.1%	5.1%	7.6%	1.6%	100.0%
男性	回答数	149	155	36	76	54	100	133	100	148	22	28	8	341
	度数(%)	43.7%	45.5%	10.6%	22.3%	15.8%	29.3%	39.0%	29.3%	43.4%	6.5%	8.2%	2.3%	45.5%
女性	回答数	174	203	39	86	58	154	177	122	223	13	27	2	391
	度数(%)	44.5%	51.9%	10.0%	22.0%	14.8%	39.4%	45.3%	31.2%	57.0%	3.3%	6.9%	0.5%	52.1%
その他	回答数	3	7	2	3	1	5	4	3	5	1	1	2	15
	度数(%)	20.0%	46.7%	13.3%	20.0%	6.7%	33.3%	26.7%	20.0%	33.3%	6.7%	6.7%	13.3%	2.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.4%

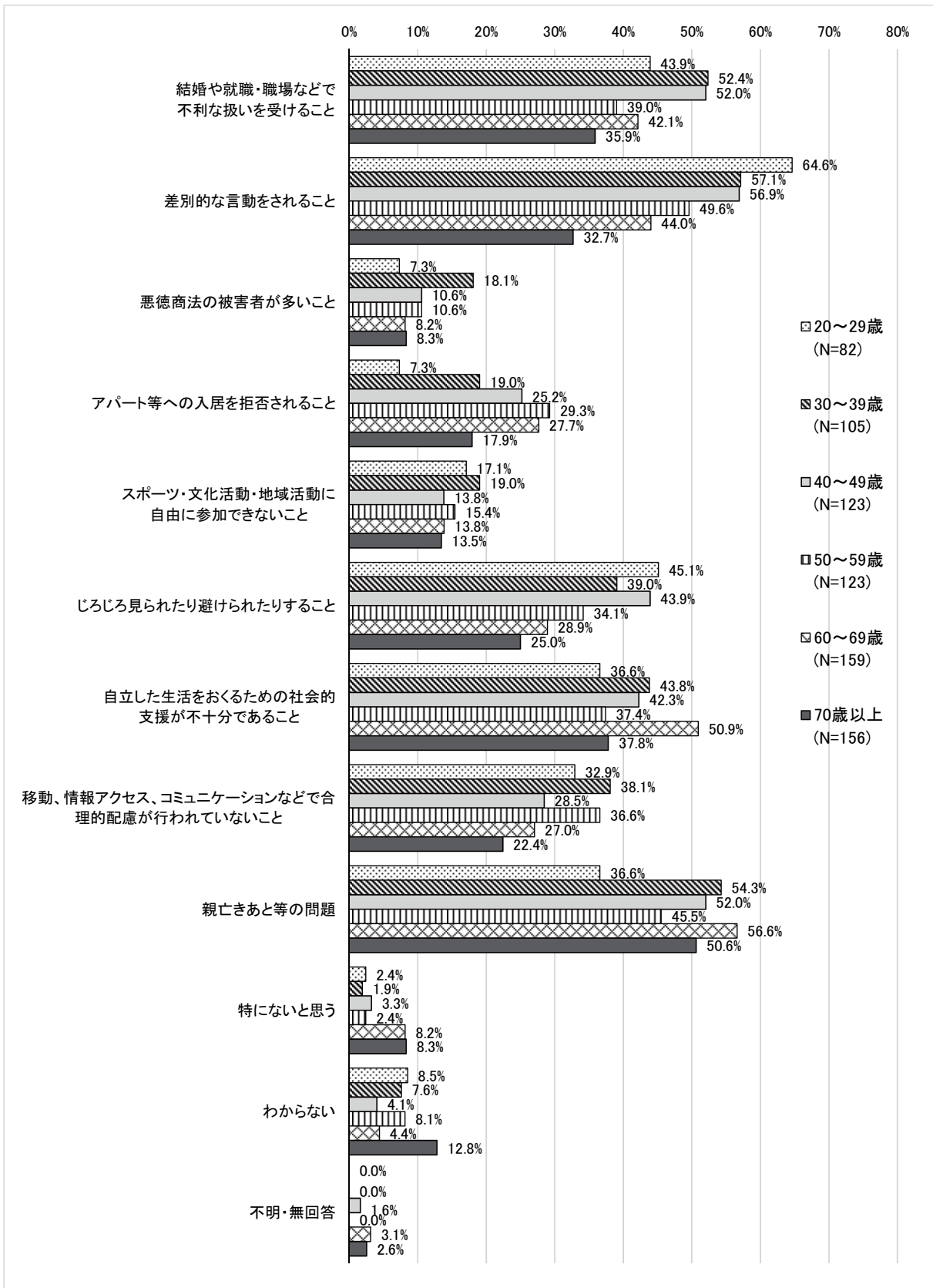


全体的にみると、「親亡きあと等の問題」が最も高く 50.1%、次いで「差別的な言動をされること」48.7%、「結婚や就職・職場などで不利な扱いを受けること」43.5%となっている。

男性と女性と比べると、「親亡きあと等の問題」については、男性が 43.4%、女性が 57.0%で女性の方が 13.6 ポイント高い。

## 2)年齢層別特徴

回答項目		結婚や就職・職場などで不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	悪徳商法の被害者が多いこと	アパート等への入居を拒否されること	スポーツ・文化活動・地域活動に自由に参加できないこと	じろじろ見られたり避けられたりすること	自立した生活をおくるための社会的支援が不十分であること	移動、情報アクセス、コミュニケーションなどで合理的配慮が行われていないこと	親亡きあと等の問題	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	36	53	6	6	14	37	30	27	30	2	7	0	82
	度数(%)	43.9%	64.6%	7.3%	7.3%	17.1%	45.1%	36.6%	32.9%	36.6%	2.4%	8.5%	0.0%	10.9%
30～39歳	回答数	55	60	19	20	20	41	46	40	57	2	8	0	105
	度数(%)	52.4%	57.1%	18.1%	19.0%	19.0%	39.0%	43.8%	38.1%	54.3%	1.9%	7.6%	0.0%	14.0%
40～49歳	回答数	64	70	13	31	17	54	52	35	64	4	5	2	123
	度数(%)	52.0%	56.9%	10.6%	25.2%	13.8%	43.9%	42.3%	28.5%	52.0%	3.3%	4.1%	1.6%	16.4%
50～59歳	回答数	48	61	13	36	19	42	46	45	56	3	10	0	123
	度数(%)	39.0%	49.6%	10.6%	29.3%	15.4%	34.1%	37.4%	36.6%	45.5%	2.4%	8.1%	0.0%	16.4%
60～69歳	回答数	67	70	13	44	22	46	81	43	90	13	7	5	159
	度数(%)	42.1%	44.0%	8.2%	27.7%	13.8%	28.9%	50.9%	27.0%	56.6%	8.2%	4.4%	3.1%	21.2%
70歳以上	回答数	56	51	13	28	21	39	59	35	79	13	20	4	156
	度数(%)	35.9%	32.7%	8.3%	17.9%	13.5%	25.0%	37.8%	22.4%	50.6%	8.3%	12.8%	2.6%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.3%



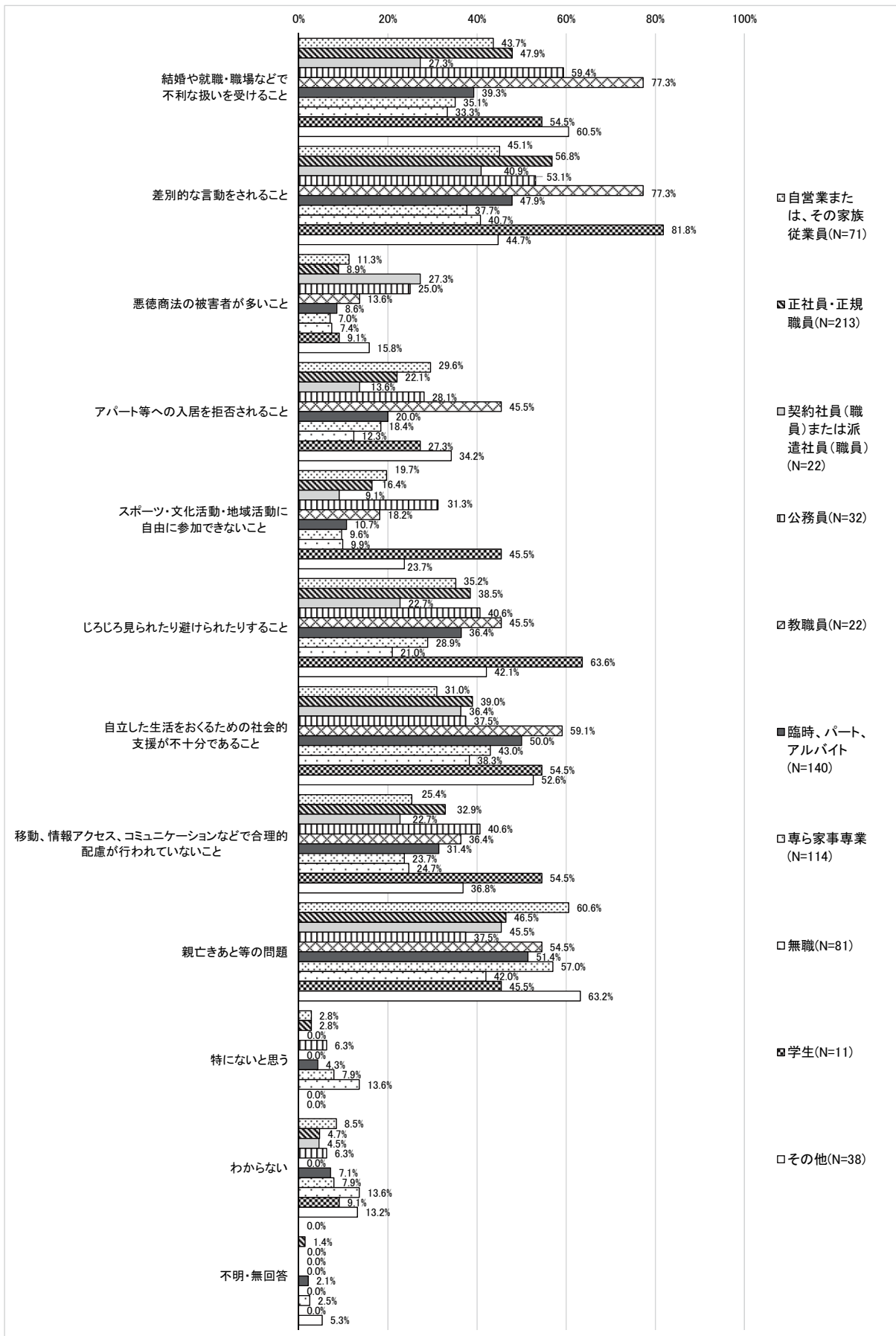
年齢別でみると、「親亡きあと等の問題」においては、60～69歳で56.6%、30～39歳で54.3%が他の年齢層と比べてと高い。「差別的な言動をされること」においては、20～29歳が64.6%と高く、ついで30～39歳57.1%、40～49歳56.9%となっている。

### 3)職業別特徴

回答項目		結婚や就職・職場などで不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	悪徳商法の被害者が多いこと	アパート等への入居を拒否されること	スポーツ・文化活動・地域活動に自由に参加できないこと	じろじろ見られたり避けられたりすること	自立した生活をおくるための社会的支援が不十分であること
自営業または、その家族従業員	回答数	31	32	8	21	14	25	22
	度数(%)	43.7%	45.1%	11.3%	29.6%	19.7%	35.2%	31.0%
正社員・正規職員	回答数	102	121	19	47	35	82	83
	度数(%)	47.9%	56.8%	8.9%	22.1%	16.4%	38.5%	39.0%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	6	9	6	3	2	5	8
	度数(%)	27.3%	40.9%	27.3%	13.6%	9.1%	22.7%	36.4%
公務員	回答数	19	17	8	9	10	13	12
	度数(%)	59.4%	53.1%	25.0%	28.1%	31.3%	40.6%	37.5%
教職員	回答数	17	17	3	10	4	10	13
	度数(%)	77.3%	77.3%	13.6%	45.5%	18.2%	45.5%	59.1%
臨時、パート、アルバイト	回答数	55	67	12	28	15	51	70
	度数(%)	39.3%	47.9%	8.6%	20.0%	10.7%	36.4%	50.0%
専ら家事専業	回答数	40	43	8	21	11	33	49
	度数(%)	35.1%	37.7%	7.0%	18.4%	9.6%	28.9%	43.0%
無職	回答数	27	33	6	10	8	17	31
	度数(%)	33.3%	40.7%	7.4%	12.3%	9.9%	21.0%	38.3%
学生	回答数	6	9	1	3	5	7	6
	度数(%)	54.5%	81.8%	9.1%	27.3%	45.5%	63.6%	54.5%
その他	回答数	23	17	6	13	9	16	20
	度数(%)	60.5%	44.7%	15.8%	34.2%	23.7%	42.1%	52.6%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		移動、情報アクセス、コミュニケーションなどで合理的配慮が行われていないこと	親亡きあと等の問題	特にないと 思う	わからない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	18	43	2	6	0	71
	度数(%)	25.4%	60.6%	2.8%	8.5%	0.0%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	70	99	6	10	3	213
	度数(%)	32.9%	46.5%	2.8%	4.7%	1.4%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	5	10	0	1	0	22
	度数(%)	22.7%	45.5%	0.0%	4.5%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	13	12	2	2	0	32
	度数(%)	40.6%	37.5%	6.3%	6.3%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	8	12	0	0	0	22
	度数(%)	36.4%	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	44	72	6	10	3	140
	度数(%)	31.4%	51.4%	4.3%	7.1%	2.1%	18.7%
専ら家事専業	回答数	27	65	9	9	0	114
	度数(%)	23.7%	57.0%	7.9%	7.9%	0.0%	15.2%
無職	回答数	20	34	11	11	2	81
	度数(%)	24.7%	42.0%	13.6%	13.6%	2.5%	10.8%
学生	回答数	6	5	0	1	0	11
	度数(%)	54.5%	45.5%	0.0%	9.1%	0.0%	1.5%
その他	回答数	14	24	0	5	2	38
	度数(%)	36.8%	63.2%	0.0%	13.2%	5.3%	5.1%
無回答	回答数	0	0	2	2	2	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.8%



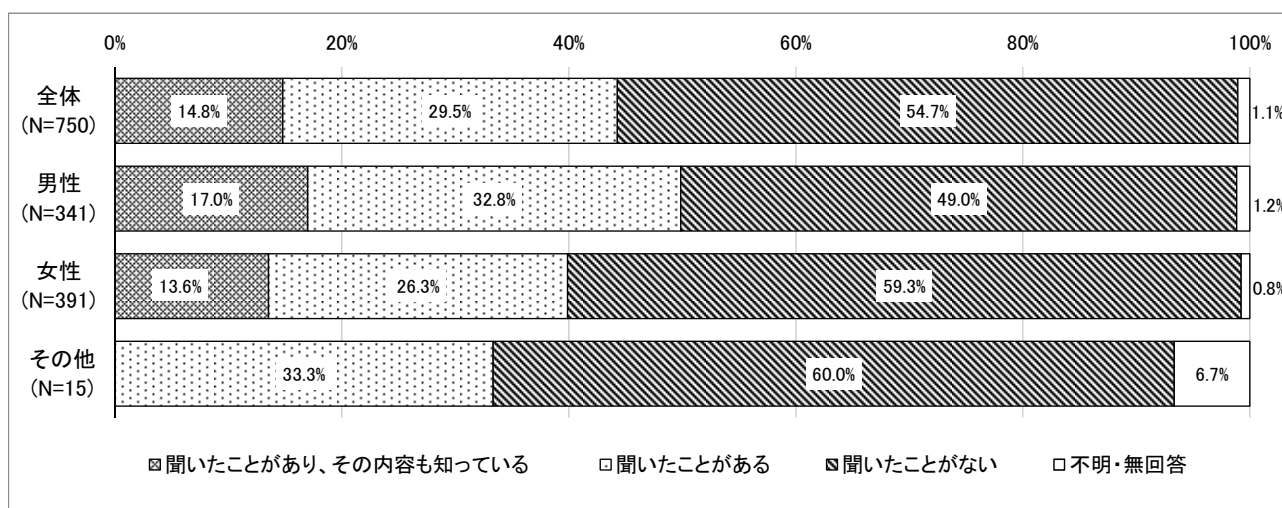


職業別でみると、「結婚や就職・職場などで不利な扱いを受けること」においては、教職員が 77.3%、「差別的な言動をされること」においては、学生が 81.8%、教職員が 77.3%、「じろじろ見られたり避けられたりすること」においては、学生が 63.6%と他の職業と比べて高い。

問11 あなたは、障がいのある人に対する「合理的配慮」という言葉を聞いたことがありますか。当てはまる番号1つを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		聞いたことがあり、その内容も知っている	聞いたことがある	聞いたことがない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	111	221	410	8	750
	度数(%)	14.8%	29.5%	54.7%	1.1%	100.0%
男性	回答数	58	112	167	4	341
	度数(%)	17.0%	32.8%	49.0%	1.2%	45.5%
女性	回答数	53	103	232	3	391
	度数(%)	13.6%	26.3%	59.3%	0.8%	52.1%
その他	回答数	0	5	9	1	15
	度数(%)	0.0%	33.3%	60.0%	6.7%	2.0%
無回答	回答数	0	1	2	0	3
	度数(%)	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.4%

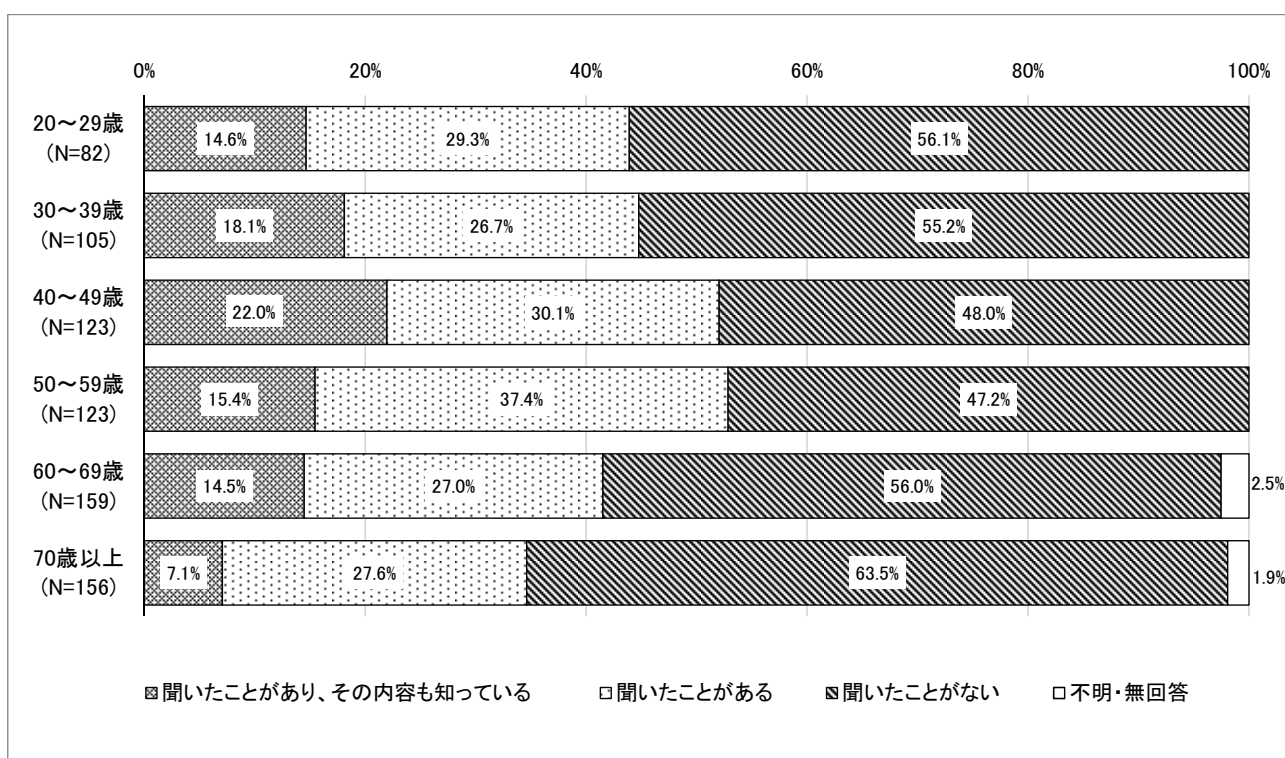


全体的にみると、「聞いたことがあり、その内容も知っている」または、「聞いたことがある」と回答した人は、合わせて44.3%となっている。「聞いたことがない」は、54.7%となっている。

男性と女性を比べると、男性で「聞いたことがあり、その内容も知っている」または、「聞いたことがある」と回答した人は49.8%、女性は39.9%で1.2倍に上る。

## 2)年齢層別特徴

回答項目		聞いたことがあり、その内容も知っている	聞いたことがある	聞いたことがない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	12	24	46	0	82
	度数(%)	14.6%	29.3%	56.1%	0.0%	10.9%
30～39歳	回答数	19	28	58	0	105
	度数(%)	18.1%	26.7%	55.2%	0.0%	14.0%
40～49歳	回答数	27	37	59	0	123
	度数(%)	22.0%	30.1%	48.0%	0.0%	16.4%
50～59歳	回答数	19	46	58	0	123
	度数(%)	15.4%	37.4%	47.2%	0.0%	16.4%
60～69歳	回答数	23	43	89	4	159
	度数(%)	14.5%	27.0%	56.0%	2.5%	21.2%
70歳以上	回答数	11	43	99	3	156
	度数(%)	7.1%	27.6%	63.5%	1.9%	20.8%
無回答	回答数	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.3%

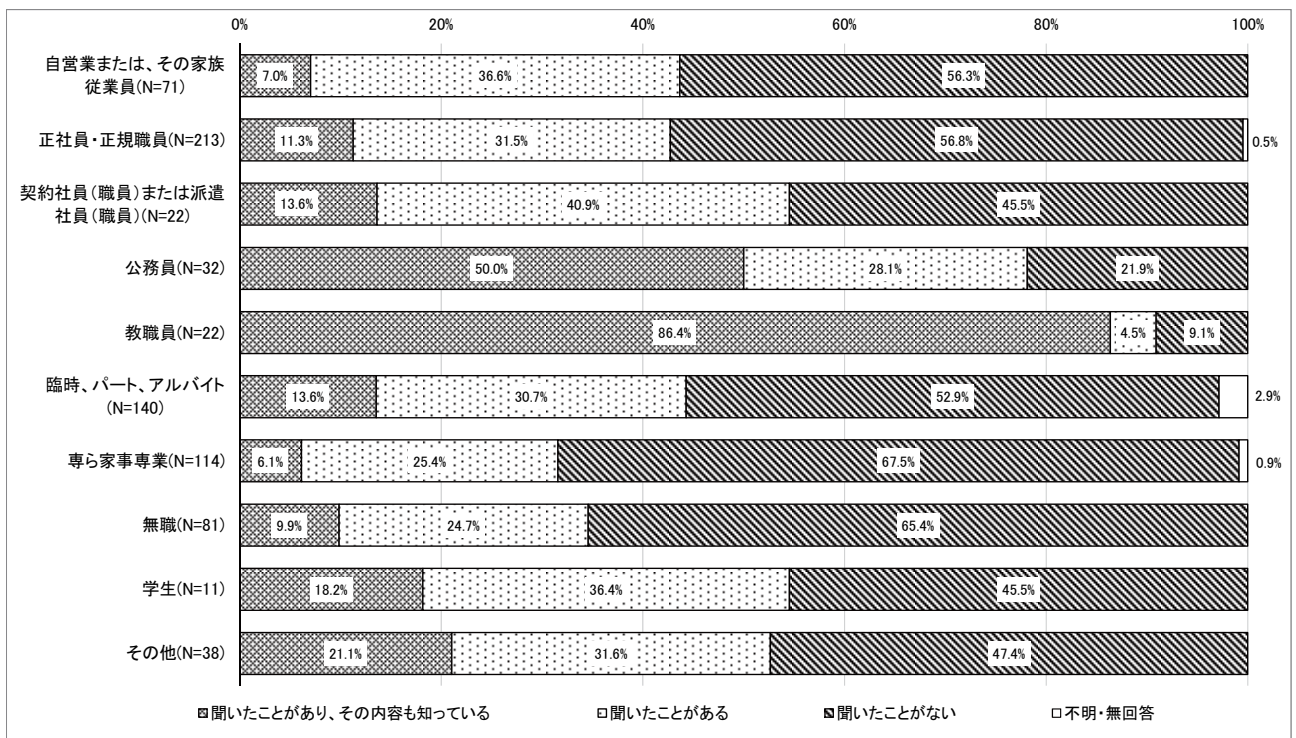


年齢別にみると、「聞いたことがあり、その内容も知っている」または、「聞いたことがある」を合わせた回答の割合が高いのは、50～59歳 52.8%、40～49歳 52.1%となっている。

一方、「聞いたことがない」と回答した割合が高いのは70歳以上の63.5%となっている。

### 3)職業別特徴

回答項目		聞いたことがあり、その内容も知っている	聞いたことがある	聞いたことがない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	5	26	40	0	71
	度数(%)	7.0%	36.6%	56.3%	0.0%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	24	67	121	1	213
	度数(%)	11.3%	31.5%	56.8%	0.5%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	3	9	10	0	22
	度数(%)	13.6%	40.9%	45.5%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	16	9	7	0	32
	度数(%)	50.0%	28.1%	21.9%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	19	1	2	0	22
	度数(%)	86.4%	4.5%	9.1%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	19	43	74	4	140
	度数(%)	13.6%	30.7%	52.9%	2.9%	18.7%
専ら家事専業	回答数	7	29	77	1	114
	度数(%)	6.1%	25.4%	67.5%	0.9%	15.2%
無職	回答数	8	20	53	0	81
	度数(%)	9.9%	24.7%	65.4%	0.0%	10.8%
学生	回答数	2	4	5	0	11
	度数(%)	18.2%	36.4%	45.5%	0.0%	1.5%
その他	回答数	8	12	18	0	38
	度数(%)	21.1%	31.6%	47.4%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	0	1	3	2	6
	度数(%)	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.8%



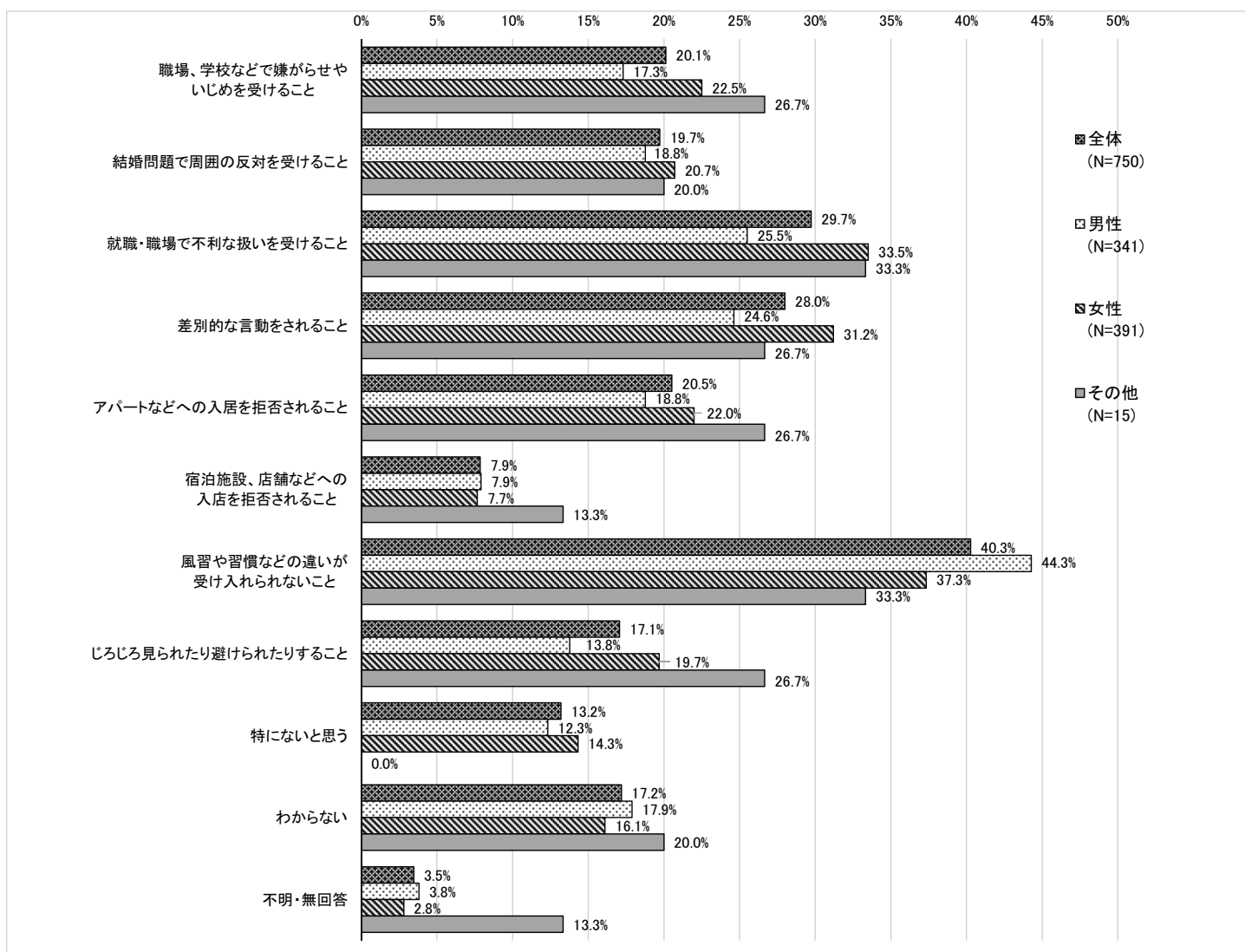
職業別にみると、「聞いたことがあり、その内容も知っている」の割合が高いのは教職員の 86.4%で、次いで公務員の 50.0%となっている。

一方、「聞いたことがない」と回答した割合が高いのは専ら家事専業の 67.5%、無職の 65.4%、正社員・正規職員の 56.8%となっている。

問12 あなたは日本に居住している外国人に関することで現在どのような人権問題があると思いますか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	結婚問題で周囲の反対を受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アパートなどへの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗などへの入店を拒否されること	風習や習慣などの違いが受け入れられないこと	じろじろ見られたり避けられたりすること	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	151	148	223	210	154	59	302	128	99	129	26	750
	度数(%)	20.1%	19.7%	29.7%	28.0%	20.5%	7.9%	40.3%	17.1%	13.2%	17.2%	3.5%	100.0%
男性	回答数	59	64	87	84	64	27	151	47	42	61	13	341
	度数(%)	17.3%	18.8%	25.5%	24.6%	18.8%	7.9%	44.3%	13.8%	12.3%	17.9%	3.8%	45.5%
女性	回答数	88	81	131	122	86	30	146	77	56	63	11	391
	度数(%)	22.5%	20.7%	33.5%	31.2%	22.0%	7.7%	37.3%	19.7%	14.3%	16.1%	2.8%	52.1%
その他	回答数	4	3	5	4	4	2	5	4	0	3	2	15
	度数(%)	26.7%	20.0%	33.3%	26.7%	26.7%	13.3%	33.3%	26.7%	0.0%	20.0%	13.3%	2.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.4%

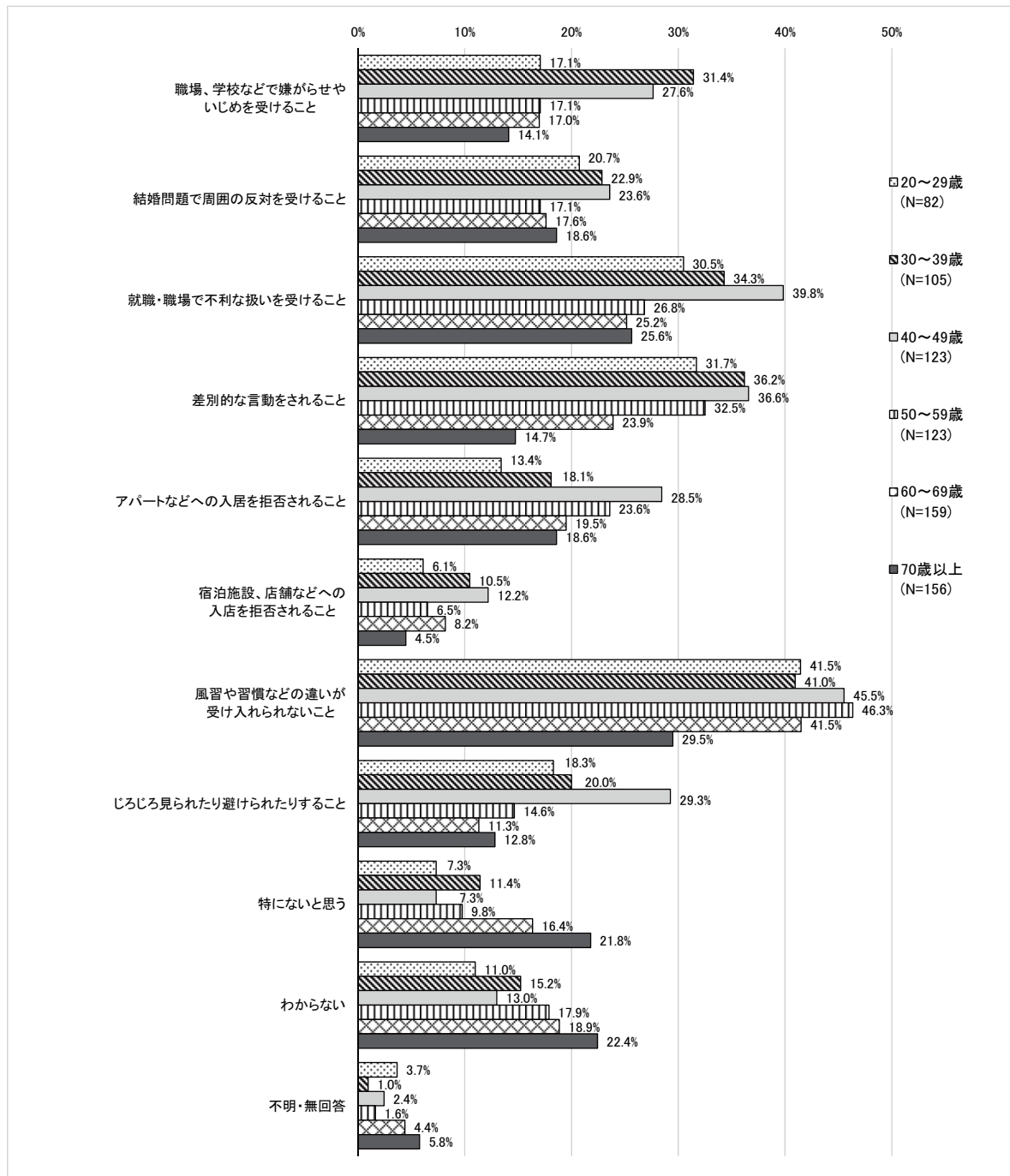


全体的にみると、「風習や習慣などの違いが受け入れられないこと」が最も高く 40.3%、次いで「就職・職場で不利な扱いを受けること」29.7%、「差別的な言動をされること」28.0%となっている。

男性と女性と比べると、「就職・職場で不利な扱いを受けること」は女性のほうが 8 ポイント高く、「風習や習慣などの違いが受け入れられないこと」は男性のほうが 7 ポイント高い。

## 2)年齢層別特徴

回答項目		職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	結婚問題で周囲の反対を受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アパートなどへの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗などへの入店を拒否されること	風習や習慣などの違いが受け入れられないこと	じろじろ見られたり避けられたりすること	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	14	17	25	26	11	5	34	15	6	9	3	82
	度数(%)	17.1%	20.7%	30.5%	31.7%	13.4%	6.1%	41.5%	18.3%	7.3%	11.0%	3.7%	10.9%
30～39歳	回答数	33	24	36	38	19	11	43	21	12	16	1	105
	度数(%)	31.4%	22.9%	34.3%	36.2%	18.1%	10.5%	41.0%	20.0%	11.4%	15.2%	1.0%	14.0%
40～49歳	回答数	34	29	49	45	35	15	56	36	9	16	3	123
	度数(%)	27.6%	23.6%	39.8%	36.6%	28.5%	12.2%	45.5%	29.3%	7.3%	13.0%	2.4%	16.4%
50～59歳	回答数	21	21	33	40	29	8	57	18	12	22	2	123
	度数(%)	17.1%	17.1%	26.8%	32.5%	23.6%	6.5%	46.3%	14.6%	9.8%	17.9%	1.6%	16.4%
60～69歳	回答数	27	28	40	38	31	13	66	18	26	30	7	159
	度数(%)	17.0%	17.6%	25.2%	23.9%	19.5%	8.2%	41.5%	11.3%	16.4%	18.9%	4.4%	21.2%
70歳以上	回答数	22	29	40	23	29	7	46	20	34	35	9	156
	度数(%)	14.1%	18.6%	25.6%	14.7%	18.6%	4.5%	29.5%	12.8%	21.8%	22.4%	5.8%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.3%

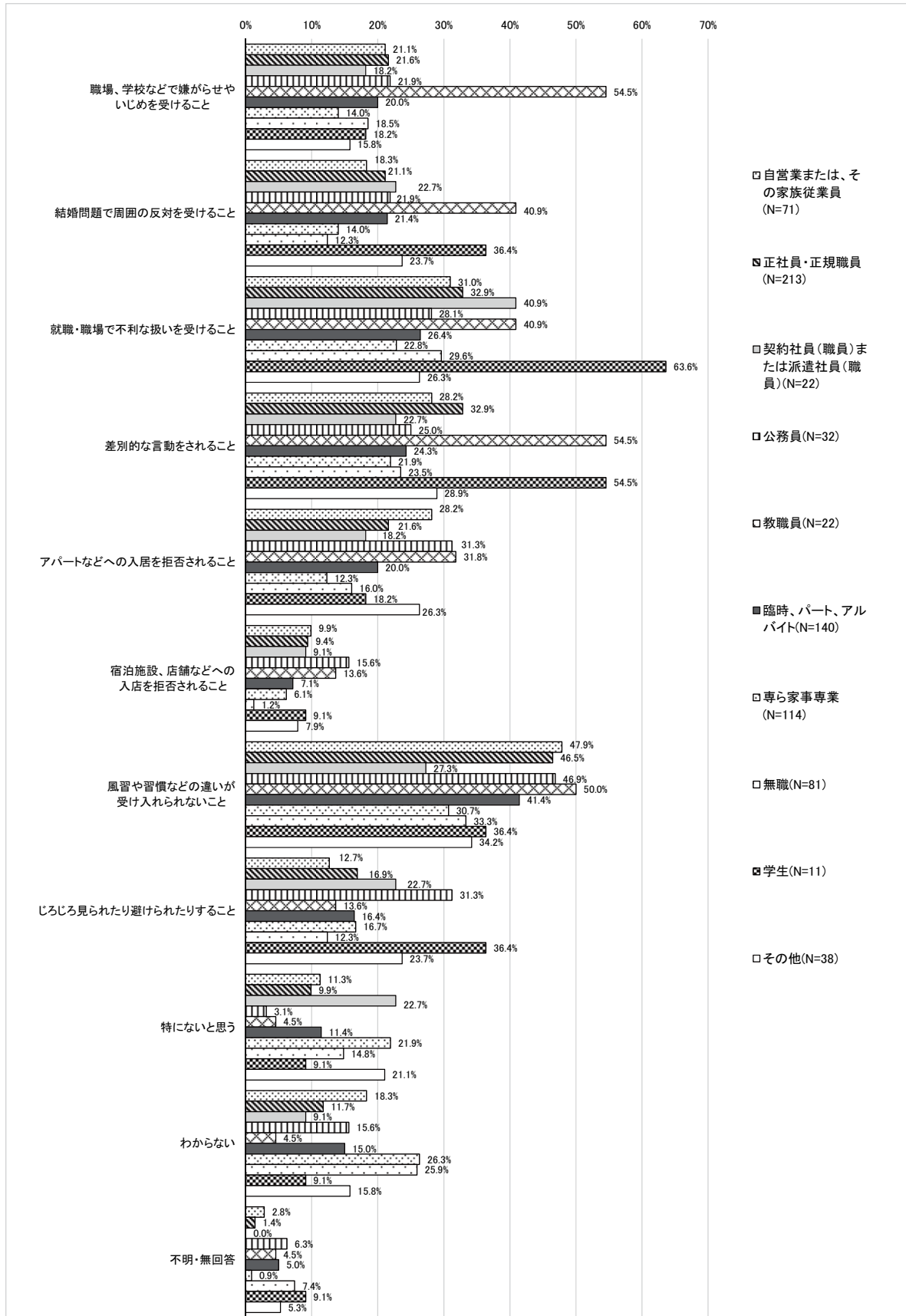


年齢別でみると、「風習や習慣などの違いが受け入れられないこと」においては、どの年齢層も高いが、70歳以上は29.5%と他の年齢層に比べて低い。「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」においては、30～39歳が31.4%、40～49歳が27.6%と他の年齢層に比べて高い。

### 3) 職業別特徴

回答項目		職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	結婚問題で周囲の反対を受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アパートなどへの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗などへの入店を拒否されること
自営業または、その家族従業員	回答数	15	13	22	20	20	7
	度数(%)	21.1%	18.3%	31.0%	28.2%	28.2%	9.9%
正社員・正規職員	回答数	46	45	70	70	46	20
	度数(%)	21.6%	21.1%	32.9%	32.9%	21.6%	9.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	4	5	9	5	4	2
	度数(%)	18.2%	22.7%	40.9%	22.7%	18.2%	9.1%
公務員	回答数	7	7	9	8	10	5
	度数(%)	21.9%	21.9%	28.1%	25.0%	31.3%	15.6%
教職員	回答数	12	9	9	12	7	3
	度数(%)	54.5%	40.9%	40.9%	54.5%	31.8%	13.6%
臨時、パート、アルバイト	回答数	28	30	37	34	28	10
	度数(%)	20.0%	21.4%	26.4%	24.3%	20.0%	7.1%
専ら家事専業	回答数	16	16	26	25	14	7
	度数(%)	14.0%	14.0%	22.8%	21.9%	12.3%	6.1%
無職	回答数	15	10	24	19	13	1
	度数(%)	18.5%	12.3%	29.6%	23.5%	16.0%	1.2%
学生	回答数	2	4	7	6	2	1
	度数(%)	18.2%	36.4%	63.6%	54.5%	18.2%	9.1%
その他	回答数	6	9	10	11	10	3
	度数(%)	15.8%	23.7%	26.3%	28.9%	26.3%	7.9%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		風習や習慣などの違いが受け入れられないこと	じろじろ見られたり避けられたりする	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	34	9	8	13	2	71
	度数(%)	47.9%	12.7%	11.3%	18.3%	2.8%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	99	36	21	25	3	213
	度数(%)	46.5%	16.9%	9.9%	11.7%	1.4%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	6	5	5	2	0	22
	度数(%)	27.3%	22.7%	22.7%	9.1%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	15	10	1	5	2	32
	度数(%)	46.9%	31.3%	3.1%	15.6%	6.3%	4.3%
教職員	回答数	11	3	1	1	1	22
	度数(%)	50.0%	13.6%	4.5%	4.5%	4.5%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	58	23	16	21	7	140
	度数(%)	41.4%	16.4%	11.4%	15.0%	5.0%	18.7%
専ら家事専業	回答数	35	19	25	30	1	114
	度数(%)	30.7%	16.7%	21.9%	26.3%	0.9%	15.2%
無職	回答数	27	10	12	21	6	81
	度数(%)	33.3%	12.3%	14.8%	25.9%	7.4%	10.8%
学生	回答数	4	4	1	1	1	11
	度数(%)	36.4%	36.4%	9.1%	9.1%	9.1%	1.5%
その他	回答数	13	9	8	6	2	38
	度数(%)	34.2%	23.7%	21.1%	15.8%	5.3%	5.1%
無回答	回答数	0	0	1	4	1	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.8%



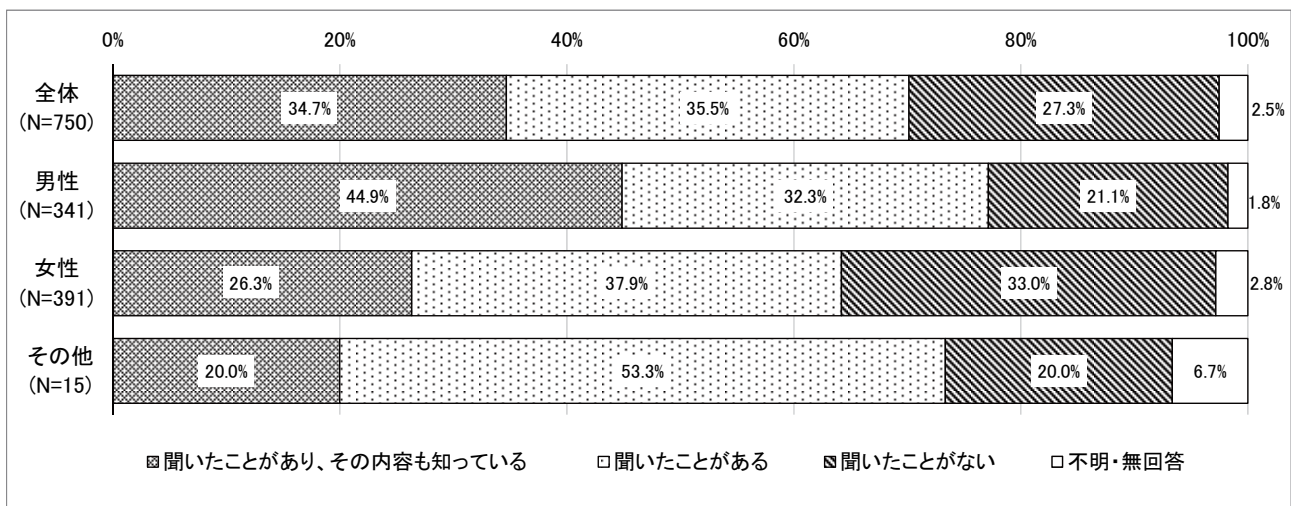
職業別でみると、「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」においては、教職員が 54.5%、「結婚問題で周囲の反対を受けること」においても教職員が 40.9%と高く、「就職・職場で不利な扱いを受けること」においては学生が 63.6%、「差別的な言動をされること」においても学生が 54.5%と他の職業と比べて高い。



問13 あなたは「ヘイトスピーチ」という言葉を聞いたことがありますか。当てはまる番号1つを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		聞いたことがあり、その内容も知っている	聞いたことがある	聞いたことがない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	260	266	205	19	750
	度数(%)	34.7%	35.5%	27.3%	2.5%	100.0%
男性	回答数	153	110	72	6	341
	度数(%)	44.9%	32.3%	21.1%	1.8%	45.5%
女性	回答数	103	148	129	11	391
	度数(%)	26.3%	37.9%	33.0%	2.8%	52.1%
その他	回答数	3	8	3	1	15
	度数(%)	20.0%	53.3%	20.0%	6.7%	2.0%
無回答	回答数	1	0	1	1	3
	度数(%)	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.4%

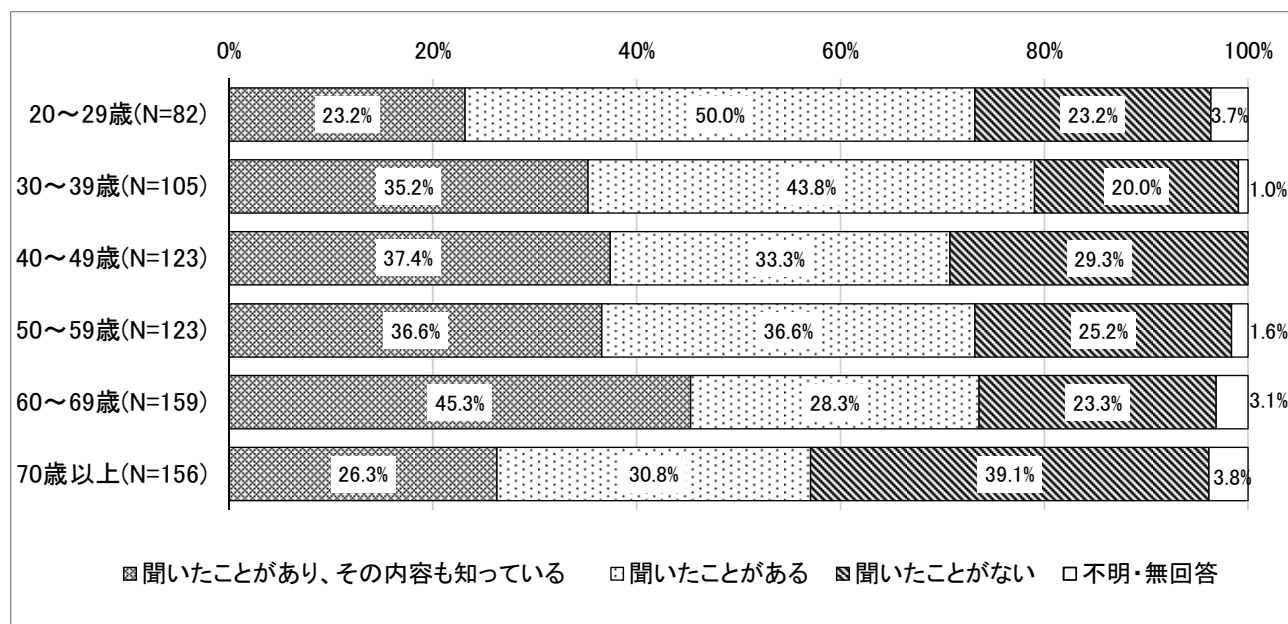


全体的にみると、「聞いたことがあり、その内容も知っている」または、「聞いたことがある」と回答した人は、合わせて70.2%となっている。「聞いたことがない」は、27.3%となっている。

男性と女性を比べると、男性で「聞いたことがあり、その内容も知っている」または、「聞いたことがある」と回答した人は77.2%、女性は64.2%で、1.2倍に上る。

2)年齢層別特徴

回答項目		聞いたことがあり、その内容も知っている	聞いたことがある	聞いたことがない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	19	41	19	3	82
	度数(%)	23.2%	50.0%	23.2%	3.7%	10.9%
30～39歳	回答数	37	46	21	1	105
	度数(%)	35.2%	43.8%	20.0%	1.0%	14.0%
40～49歳	回答数	46	41	36	0	123
	度数(%)	37.4%	33.3%	29.3%	0.0%	16.4%
50～59歳	回答数	45	45	31	2	123
	度数(%)	36.6%	36.6%	25.2%	1.6%	16.4%
60～69歳	回答数	72	45	37	5	159
	度数(%)	45.3%	28.3%	23.3%	3.1%	21.2%
70歳以上	回答数	41	48	61	6	156
	度数(%)	26.3%	30.8%	39.1%	3.8%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	2	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.3%

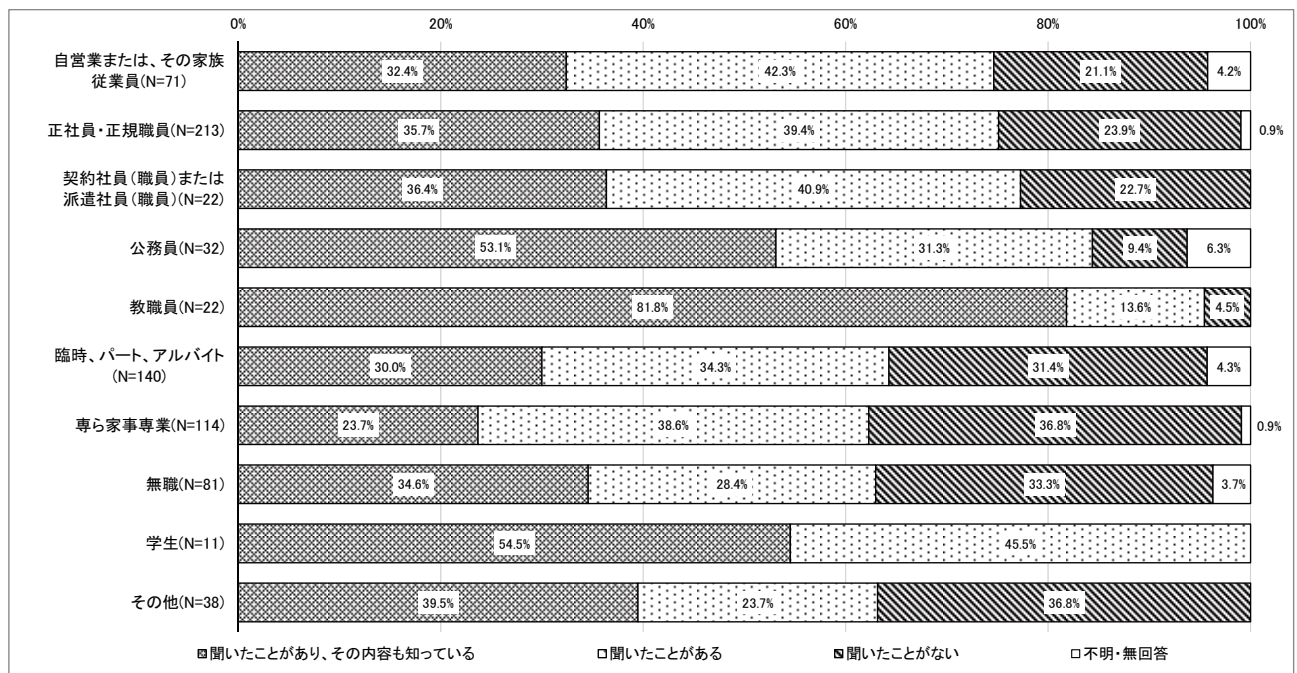


年齢別にみると、「聞いたことがあり、その内容も知っている」と回答した割合が最も高いのは、60～69歳の45.3%であるが、「聞いたことがあり、その内容も知っている」または、「聞いたことがある」を合わせた回答の割合が高いのは、30～39歳の79.0%、次いで60～69歳73.6%となっている。

一方、「聞いたことがない」と回答した割合が高いのは70歳以上の39.1%となっている。

### 3)職業別特徴

回答項目		聞いたこと があり、そ の内容も 知っている	聞いたこと がある	聞いたこと がない	不明・無回 答	回答者数
自営業または、 その家族従業員	回答数	23	30	15	3	71
	度数(%)	32.4%	42.3%	21.1%	4.2%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	76	84	51	2	213
	度数(%)	35.7%	39.4%	23.9%	0.9%	28.4%
契約社員(職員)また は派遣社員(職員)	回答数	8	9	5	0	22
	度数(%)	36.4%	40.9%	22.7%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	17	10	3	2	32
	度数(%)	53.1%	31.3%	9.4%	6.3%	4.3%
教職員	回答数	18	3	1	0	22
	度数(%)	81.8%	13.6%	4.5%	0.0%	2.9%
臨時、パート、 アルバイト	回答数	42	48	44	6	140
	度数(%)	30.0%	34.3%	31.4%	4.3%	18.7%
専ら家事専業	回答数	27	44	42	1	114
	度数(%)	23.7%	38.6%	36.8%	0.9%	15.2%
無職	回答数	28	23	27	3	81
	度数(%)	34.6%	28.4%	33.3%	3.7%	10.8%
学生	回答数	6	5	0	0	11
	度数(%)	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	回答数	15	9	14	0	38
	度数(%)	39.5%	23.7%	36.8%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	0	1	3	2	6
	度数(%)	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.8%



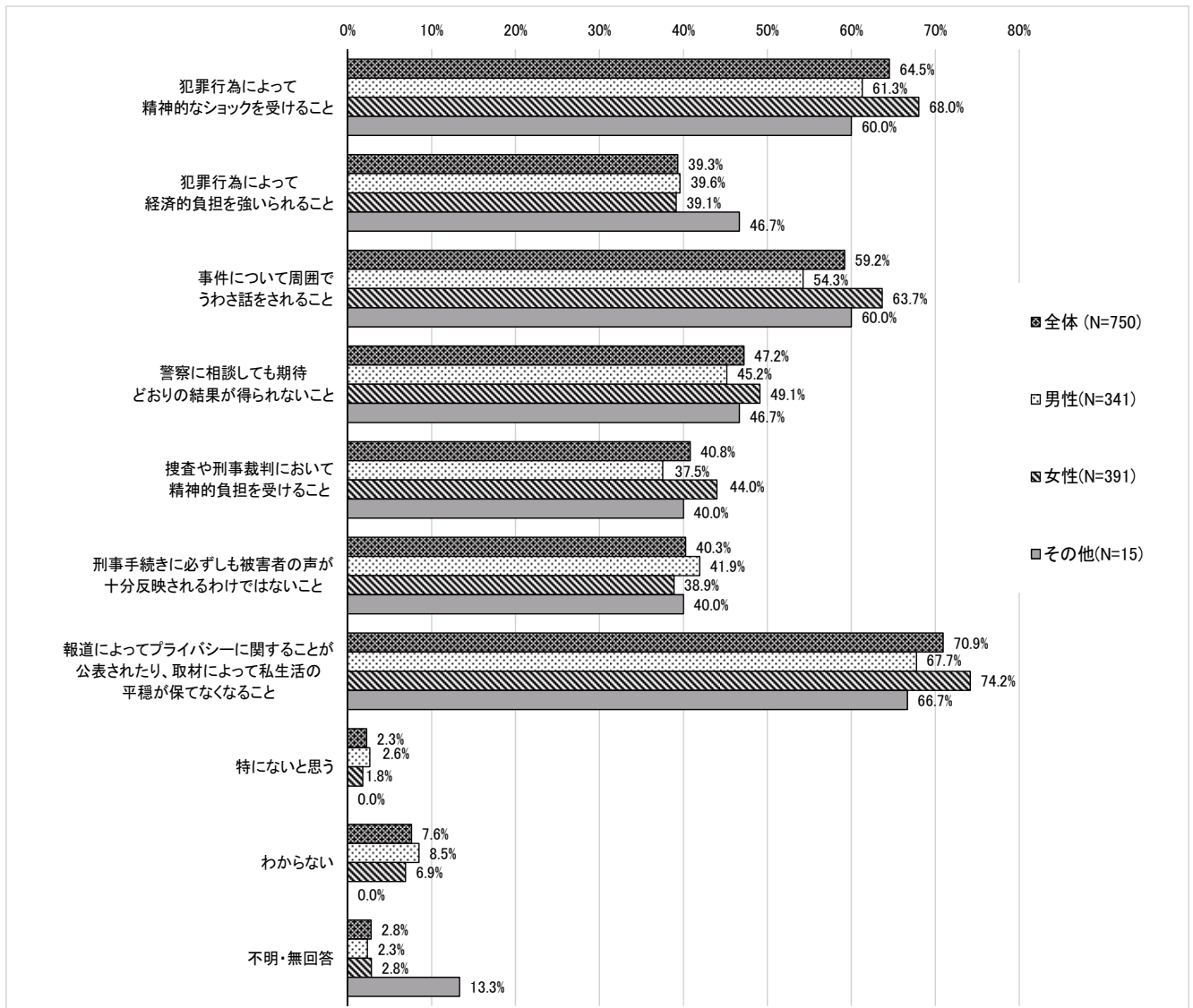
職業別にみると、「聞いたことあり、その内容も知っている」の割合が高いのは教職員の 81.8%で、次いで学生の 54.5%となっている。

一方、「聞いたことがない」と回答した割合が高いのは専ら家事専業、その他の 36.8%、無職の 33.3%、臨時、パート、アルバイトの 31.4%となっている。

問 1 4 あなたは犯罪被害者やその家族などに関することで現在どのような人権問題があると思いますか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		犯罪行為によって精神的なショックを受けること	犯罪行為によって経済的負担を強いられること	事件について周囲でうわさ話されること	警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	刑事手続きに必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと	報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	484	295	444	354	306	302	532	17	57	21	750
	度数(%)	64.5%	39.3%	59.2%	47.2%	40.8%	40.3%	70.9%	2.3%	7.6%	2.8%	100.0%
男性	回答数	209	135	185	154	128	143	231	9	29	8	341
	度数(%)	61.3%	39.6%	54.3%	45.2%	37.5%	41.9%	67.7%	2.6%	8.5%	2.3%	45.5%
女性	回答数	266	153	249	192	172	152	290	7	27	11	391
	度数(%)	68.0%	39.1%	63.7%	49.1%	44.0%	38.9%	74.2%	1.8%	6.9%	2.8%	52.1%
その他	回答数	9	7	9	7	6	6	10	0	0	2	15
	度数(%)	60.0%	46.7%	60.0%	46.7%	40.0%	40.0%	66.7%	0.0%	0.0%	13.3%	2.0%
無回答	回答数	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.4%

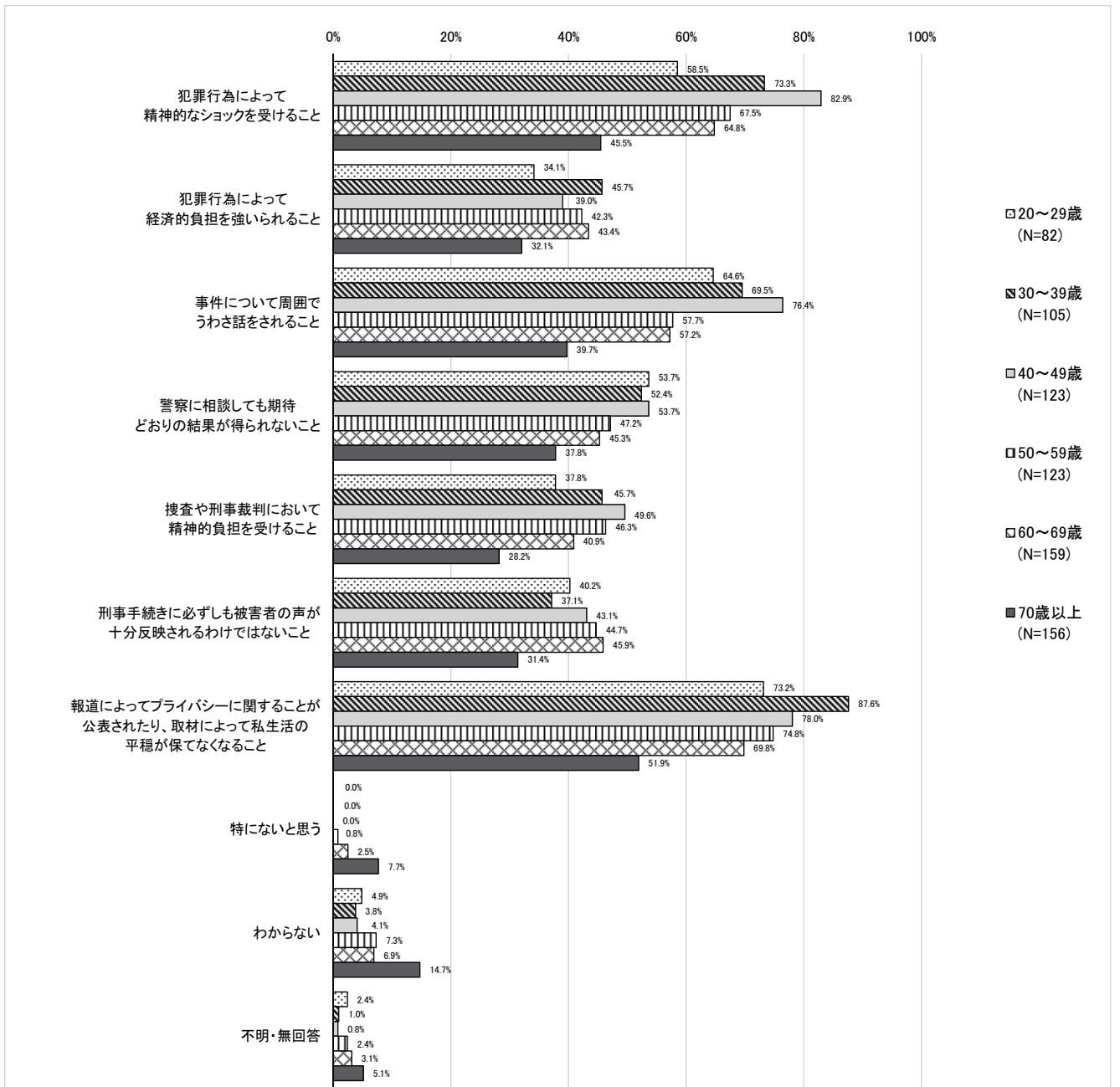


全体的にみると、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」が最も高く 70.9%、次いで「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」64.5%、「事件について周囲でうわさ話をされること」59.2%となっている。

男性と女性と比べても、同じような傾向である。

## 2)年齢層別特徴

回答項目		犯罪行為によって精神的なショックを受けること	犯罪行為によって経済的負担を強いられること	事件について周囲でうわさ話をされること	警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	刑事手続きに必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと	報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	48	28	53	44	31	33	60	0	4	2	82
	度数(%)	58.5%	34.1%	64.6%	53.7%	37.8%	40.2%	73.2%	0.0%	4.9%	2.4%	10.9%
30～39歳	回答数	77	48	73	55	48	39	92	0	4	1	105
	度数(%)	73.3%	45.7%	69.5%	52.4%	45.7%	37.1%	87.6%	0.0%	3.8%	1.0%	14.0%
40～49歳	回答数	102	48	94	66	61	53	96	0	5	1	123
	度数(%)	82.9%	39.0%	76.4%	53.7%	49.6%	43.1%	78.0%	0.0%	4.1%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	83	52	71	58	57	55	92	1	9	3	123
	度数(%)	67.5%	42.3%	57.7%	47.2%	46.3%	44.7%	74.8%	0.8%	7.3%	2.4%	16.4%
60～69歳	回答数	103	69	91	72	65	73	111	4	11	5	159
	度数(%)	64.8%	43.4%	57.2%	45.3%	40.9%	45.9%	69.8%	2.5%	6.9%	3.1%	21.2%
70歳以上	回答数	71	50	62	59	44	49	81	12	23	8	156
	度数(%)	45.5%	32.1%	39.7%	37.8%	28.2%	31.4%	51.9%	7.7%	14.7%	5.1%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.3%

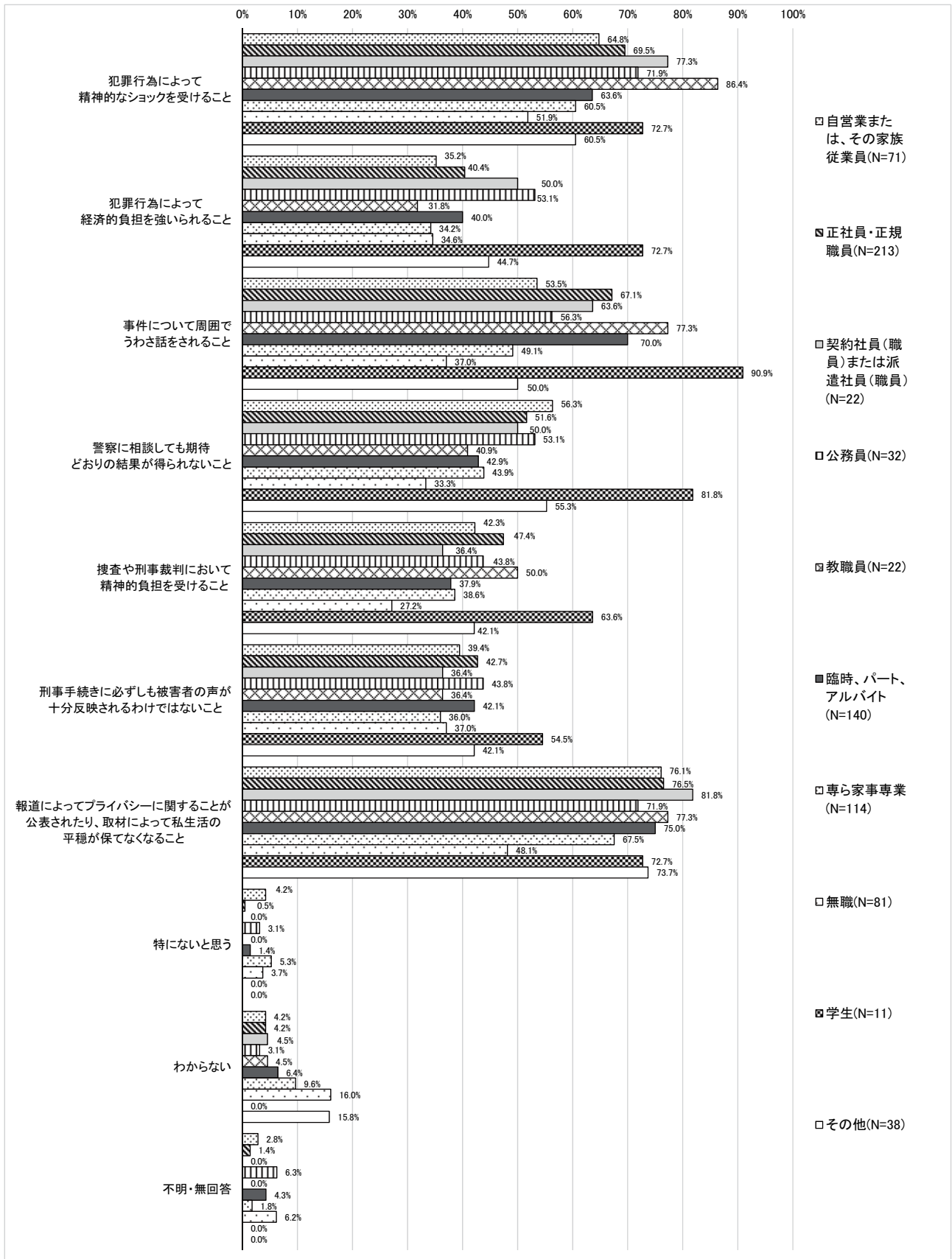


年齢別でみると、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」においては、30~39歳が87.6%と他の年齢層に比べて高い。「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」においては、40~49歳が82.9%と他の年齢層に比べて高い。「事件について周囲でうわさ話をされること」においても、40~49歳が76.4%と他の年齢層に比べて高い。

3)職業別特徴

回答項目		犯罪行為 によって精 神的な ショックを 受けること	犯罪行為 によって経 済的負担を 強いられる こと	事件につい て周囲でう わさ話をさ れること	警察に相 談しても期 待どおりの 結果が得ら れないこと	捜査や刑 事裁判に おいて精 神的負担を受 けること	刑事手続 きに必ずし も被害者の 声が十分 反映される わけではないこと
自営業または、 その家族従業員	回答数	46	25	38	40	30	28
	度数(%)	64.8%	35.2%	53.5%	56.3%	42.3%	39.4%
正社員・正規職員	回答数	148	86	143	110	101	91
	度数(%)	69.5%	40.4%	67.1%	51.6%	47.4%	42.7%
契約社員(職員)また は派遣社員(職員)	回答数	17	11	14	11	8	8
	度数(%)	77.3%	50.0%	63.6%	50.0%	36.4%	36.4%
公務員	回答数	23	17	18	17	14	14
	度数(%)	71.9%	53.1%	56.3%	53.1%	43.8%	43.8%
教職員	回答数	19	7	17	9	11	8
	度数(%)	86.4%	31.8%	77.3%	40.9%	50.0%	36.4%
臨時、パート、 アルバイト	回答数	89	56	98	60	53	59
	度数(%)	63.6%	40.0%	70.0%	42.9%	37.9%	42.1%
専ら家事専業	回答数	69	39	56	50	44	41
	度数(%)	60.5%	34.2%	49.1%	43.9%	38.6%	36.0%
無職	回答数	42	28	30	27	22	30
	度数(%)	51.9%	34.6%	37.0%	33.3%	27.2%	37.0%
学生	回答数	8	8	10	9	7	6
	度数(%)	72.7%	72.7%	90.9%	81.8%	63.6%	54.5%
その他	回答数	23	17	19	21	16	16
	度数(%)	60.5%	44.7%	50.0%	55.3%	42.1%	42.1%
無回答	回答数	0	1	1	0	0	1
	度数(%)	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%

回答項目		報道によっ てプライバ シーに関す ることが公 表されたり、 取材によ って私生 活の平穩 が保てなく なること	特にないと 思う	わからない	不明・無回 答	回答者数
自営業または、 その家族従業員	回答数	54	3	3	2	71
	度数(%)	76.1%	4.2%	4.2%	2.8%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	163	1	9	3	213
	度数(%)	76.5%	0.5%	4.2%	1.4%	28.4%
契約社員(職員)また は派遣社員(職員)	回答数	18	0	1	0	22
	度数(%)	81.8%	0.0%	4.5%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	23	1	1	2	32
	度数(%)	71.9%	3.1%	3.1%	6.3%	4.3%
教職員	回答数	17	0	1	0	22
	度数(%)	77.3%	0.0%	4.5%	0.0%	2.9%
臨時、パート、 アルバイト	回答数	105	2	9	6	140
	度数(%)	75.0%	1.4%	6.4%	4.3%	18.7%
専ら家事専業	回答数	77	6	11	2	114
	度数(%)	67.5%	5.3%	9.6%	1.8%	15.2%
無職	回答数	39	3	13	5	81
	度数(%)	48.1%	3.7%	16.0%	6.2%	10.8%
学生	回答数	8	0	0	0	11
	度数(%)	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	回答数	28	0	6	0	38
	度数(%)	73.7%	0.0%	15.8%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	0	1	3	1	6
	度数(%)	0.0%	16.7%	50.0%	16.7%	0.8%



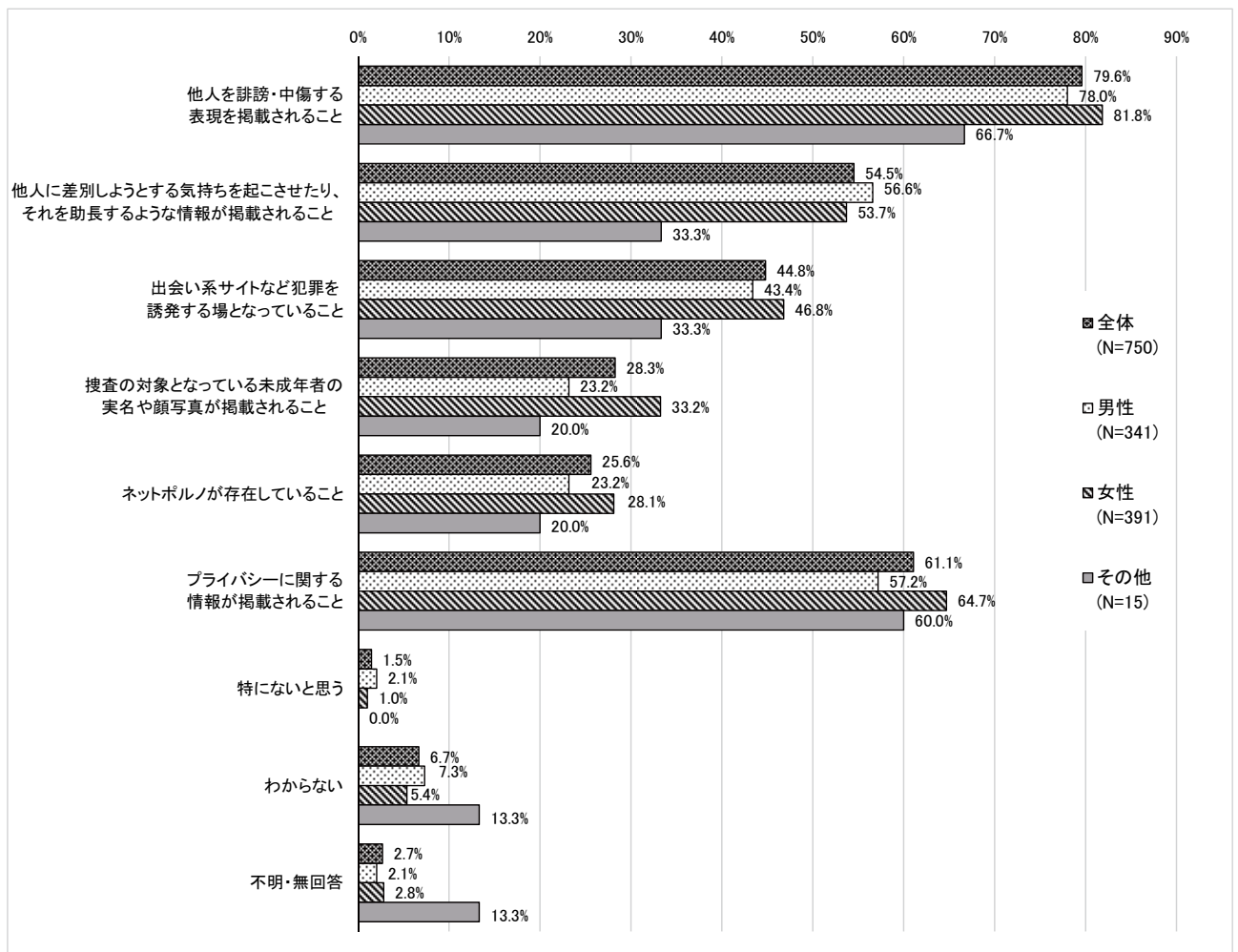
職業別でみると、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」においては、教職員が 86.4%と高く、「事件について周囲でうわさ話をされること」においては学生が 90.9%と高く、「警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと」についても学生が 81.8%と他の職業と比べて高くなっている。



問15 あなたはインターネットによる人権侵害に関することで現在どのような人権問題があると思いますか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		他人を誹謗・中傷する表現を掲載されること	他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること	ネットポルノが存在していること	プライバシーに関する情報が掲載されること	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
		全体	回答数 度数(%)	597 79.6%	409 54.5%	336 44.8%	212 28.3%	192 25.6%	458 61.1%	11 1.5%	50 6.7%
男性	回答数	266	193	148	79	79	195	7	25	7	341
	度数(%)	78.0%	56.6%	43.4%	23.2%	23.2%	57.2%	2.1%	7.3%	2.1%	45.5%
女性	回答数	320	210	183	130	110	253	4	21	11	391
	度数(%)	81.8%	53.7%	46.8%	33.2%	28.1%	64.7%	1.0%	5.4%	2.8%	52.1%
その他	回答数	10	5	5	3	3	9	0	2	2	15
	度数(%)	66.7%	33.3%	33.3%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	13.3%	13.3%	2.0%
無回答	回答数	1	1	0	0	0	1	0	2	0	3
	度数(%)	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.4%

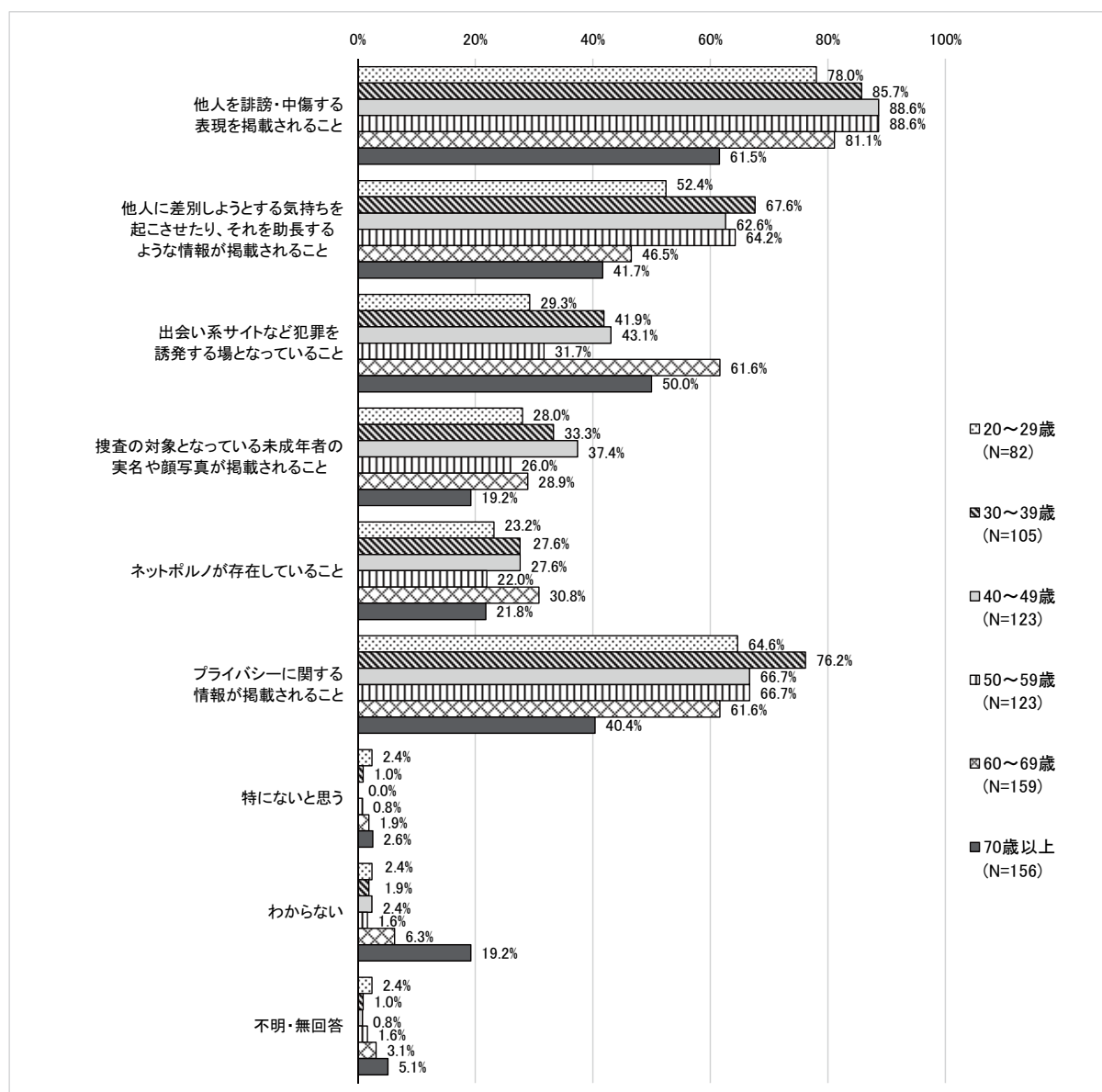


全体的にみると、「他人を誹謗・中傷する表現を掲載されること」が最も高く 79.6%、次いで「プライバシーに関する情報が掲載されること」61.1%、「他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること」54.5%となっている。

男性と女性と比べてみても、同じような傾向である。

2)年齢層別特徴

回答項目		他人を誹謗、中傷する表現が掲載されること	他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること	ネットポルノが存在していること	プライバシーに関する情報が掲載されること	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	64	43	24	23	19	53	2	2	2	82
	度数(%)	78.0%	52.4%	29.3%	28.0%	23.2%	64.6%	2.4%	2.4%	2.4%	10.9%
30～39歳	回答数	90	71	44	35	29	80	1	2	1	105
	度数(%)	85.7%	67.6%	41.9%	33.3%	27.6%	76.2%	1.0%	1.9%	1.0%	14.0%
40～49歳	回答数	109	77	53	46	34	82	0	3	1	123
	度数(%)	88.6%	62.6%	43.1%	37.4%	27.6%	66.7%	0.0%	2.4%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	109	79	39	32	27	82	1	2	2	123
	度数(%)	88.6%	64.2%	31.7%	26.0%	22.0%	66.7%	0.8%	1.6%	1.6%	16.4%
60～69歳	回答数	129	74	98	46	49	98	3	10	5	159
	度数(%)	81.1%	46.5%	61.6%	28.9%	30.8%	61.6%	1.9%	6.3%	3.1%	21.2%
70歳以上	回答数	96	65	78	30	34	63	4	30	8	156
	度数(%)	61.5%	41.7%	50.0%	19.2%	21.8%	40.4%	2.6%	19.2%	5.1%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.3%

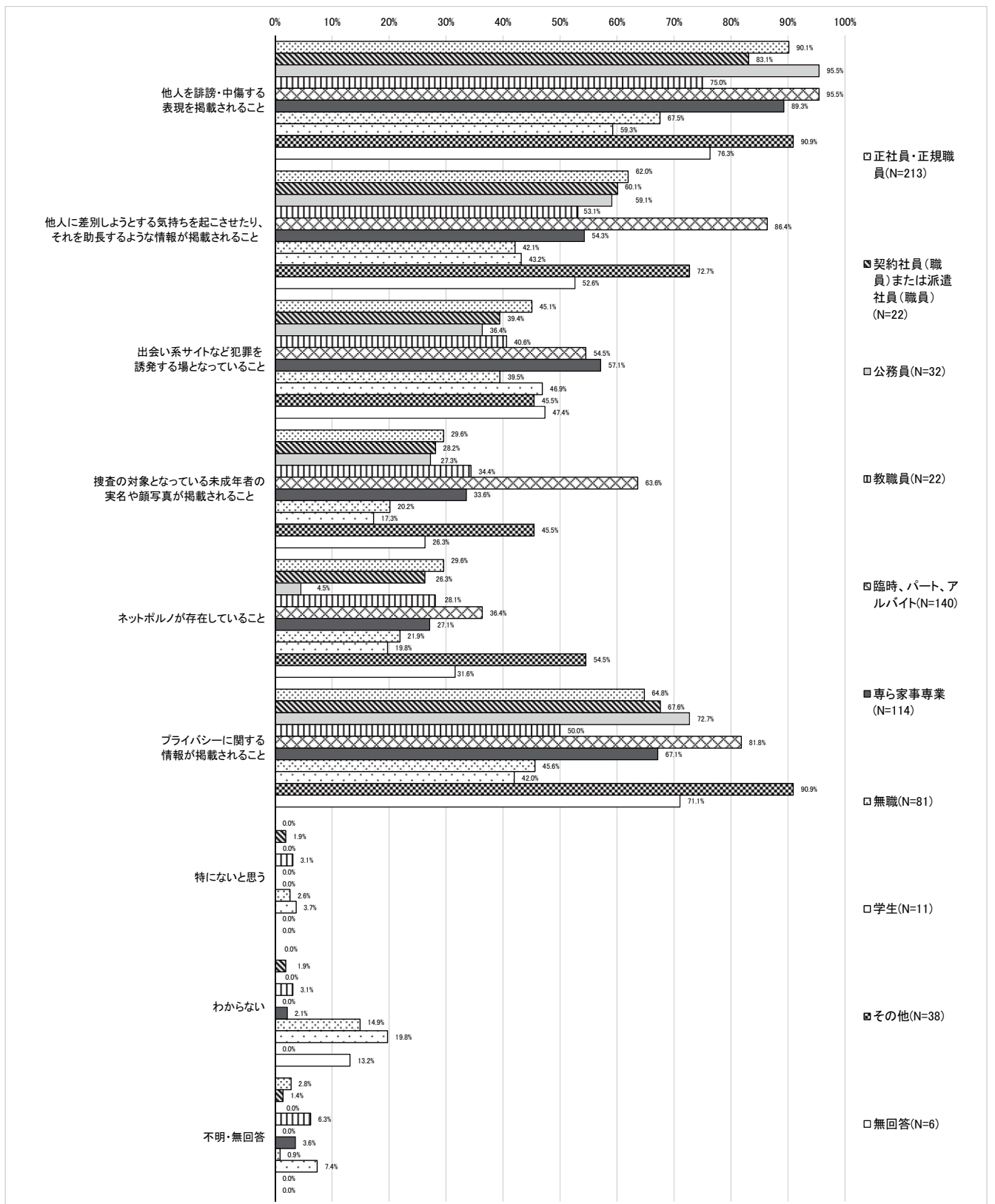


年齢別でみると、「プライバシーに関する情報が掲載されること」においては、30～39歳が76.2%と他の年齢層に比べて高い。「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」においては、60～69歳が61.6%と他の年齢層に比べて高い。

### 3)職業別特徴

回答項目		他人を誹謗、中傷する表現を掲載されること	他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること	ネットポルノが存在していること
自営業または、その家族従業員	回答数	64	44	32	21	21
	度数(%)	90.1%	62.0%	45.1%	29.6%	29.6%
正社員・正規職員	回答数	177	128	84	60	56
	度数(%)	83.1%	60.1%	39.4%	28.2%	26.3%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	21	13	8	6	1
	度数(%)	95.5%	59.1%	36.4%	27.3%	4.5%
公務員	回答数	24	17	13	11	9
	度数(%)	75.0%	53.1%	40.6%	34.4%	28.1%
教職員	回答数	21	19	12	14	8
	度数(%)	95.5%	86.4%	54.5%	63.6%	36.4%
臨時、パート、アルバイト	回答数	125	76	80	47	38
	度数(%)	89.3%	54.3%	57.1%	33.6%	27.1%
専ら家事専業	回答数	77	48	45	23	25
	度数(%)	67.5%	42.1%	39.5%	20.2%	21.9%
無職	回答数	48	35	38	14	16
	度数(%)	59.3%	43.2%	46.9%	17.3%	19.8%
学生	回答数	10	8	5	5	6
	度数(%)	90.9%	72.7%	45.5%	45.5%	54.5%
その他	回答数	29	20	18	10	12
	度数(%)	76.3%	52.6%	47.4%	26.3%	31.6%
無回答	回答数	1	1	1	1	0
	度数(%)	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%

回答項目		プライバシーに関する情報が掲載されること	特になくと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	46	0	0	2	71
	度数(%)	64.8%	0.0%	0.0%	2.8%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	144	4	4	3	213
	度数(%)	67.6%	1.9%	1.9%	1.4%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	16	0	0	0	22
	度数(%)	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	16	1	1	2	32
	度数(%)	50.0%	3.1%	3.1%	6.3%	4.3%
教職員	回答数	18	0	0	0	22
	度数(%)	81.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	94	0	3	5	140
	度数(%)	67.1%	0.0%	2.1%	3.6%	18.7%
専ら家事専業	回答数	52	3	17	1	114
	度数(%)	45.6%	2.6%	14.9%	0.9%	15.2%
無職	回答数	34	3	16	6	81
	度数(%)	42.0%	3.7%	19.8%	7.4%	10.8%
学生	回答数	10	0	0	0	11
	度数(%)	90.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	回答数	27	0	5	0	38
	度数(%)	71.1%	0.0%	13.2%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	1	0	4	1	6
	度数(%)	16.7%	0.0%	66.7%	16.7%	0.8%

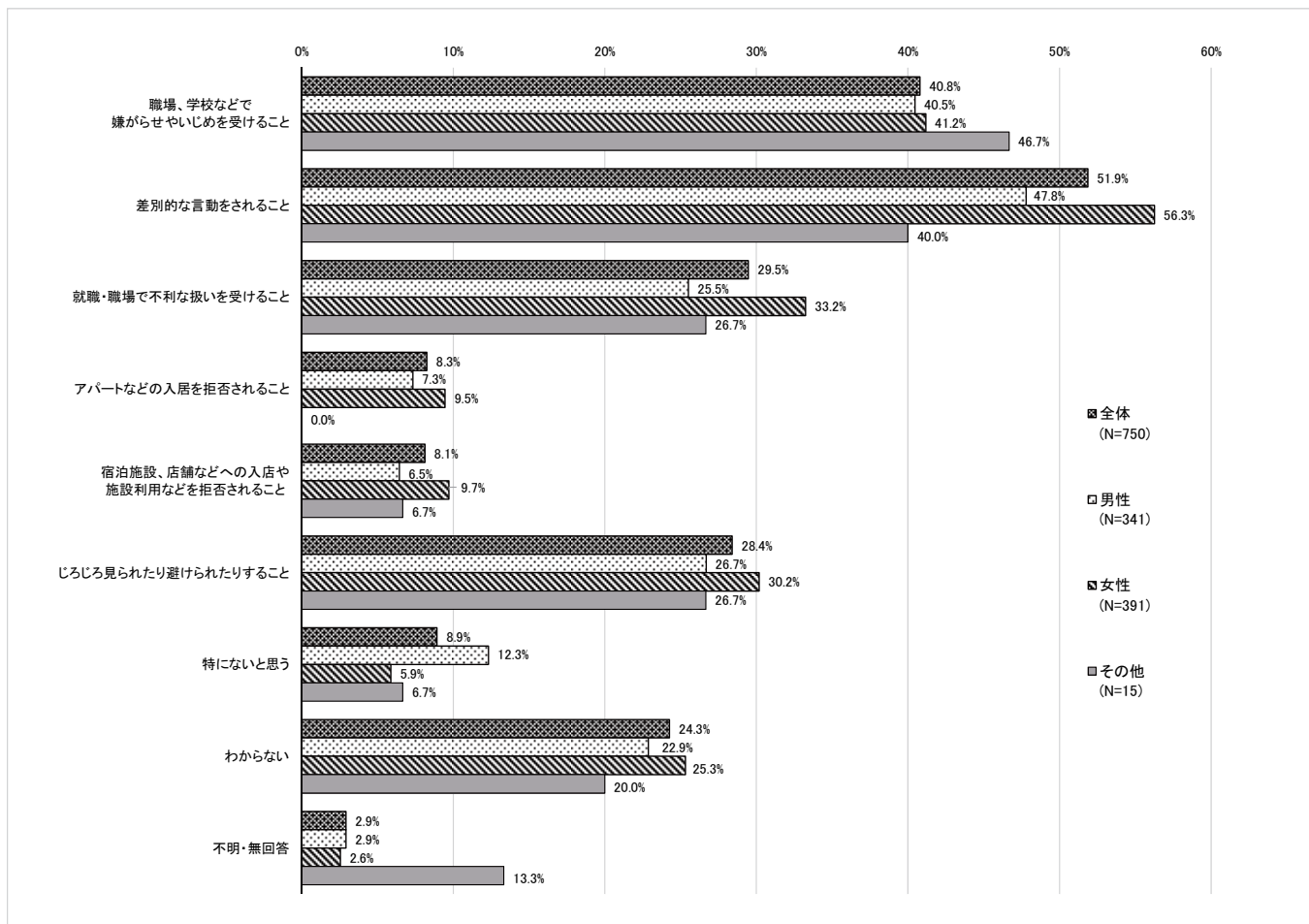


職業別にみると、「他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること」においては、教職員が 86.4%と高く、「捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること」においても教職員が 63.6%と高い。「プライバシーに関する情報が掲載されること」においては学生が 90.9%と他の職業と比べて高い。

問16 あなたは性的指向や性自認に関することで現在どのような人権問題があると思いますか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	差別的な言動をされること	就職・職場で不利な扱いを受けること	アパートなどの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗などへの入店や施設利用などを拒否されること	じろじろ見られたり避けられたりすること	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	306	389	221	62	61	213	67	182	22	750
	度数(%)	40.8%	51.9%	29.5%	8.3%	8.1%	28.4%	8.9%	24.3%	2.9%	100.0%
男性	回答数	138	163	87	25	22	91	42	78	10	341
	度数(%)	40.5%	47.8%	25.5%	7.3%	6.5%	26.7%	12.3%	22.9%	2.9%	45.5%
女性	回答数	161	220	130	37	38	118	23	99	10	391
	度数(%)	41.2%	56.3%	33.2%	9.5%	9.7%	30.2%	5.9%	25.3%	2.6%	52.1%
その他	回答数	7	6	4	0	1	4	1	3	2	15
	度数(%)	46.7%	40.0%	26.7%	0.0%	6.7%	26.7%	6.7%	20.0%	13.3%	2.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.4%

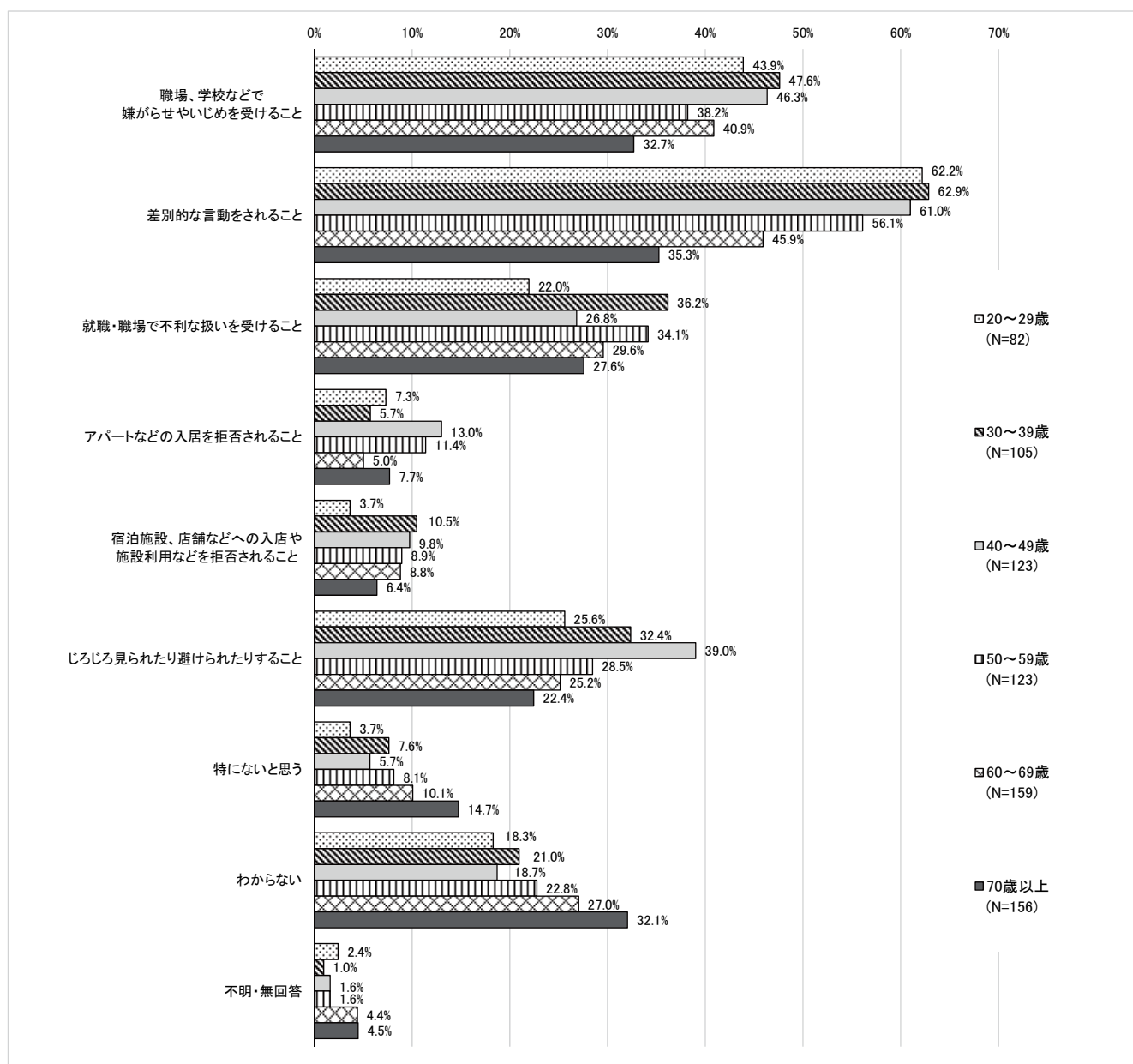


全体的にみると、「差別的な言動をされること」が最も高く 51.9%、次いで「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」40.8%、「就職・職場で不利な扱いを受けること」29.5%となっている。

男性と女性と比べると、全体的に女性のほうの回答率が男性より高い。

2)年齢層別特徴

回答項目		職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	差別的な言動をされること	就職・職場で不利な扱いを受けること	アパートなどの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗などへの入店や施設利用などを拒否されること	じろじろ見られたり避けられたりすること	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	36	51	18	6	3	21	3	15	2	82
	度数(%)	43.9%	62.2%	22.0%	7.3%	3.7%	25.6%	3.7%	18.3%	2.4%	10.9%
30～39歳	回答数	50	66	38	6	11	34	8	22	1	105
	度数(%)	47.6%	62.9%	36.2%	5.7%	10.5%	32.4%	7.6%	21.0%	1.0%	14.0%
40～49歳	回答数	57	75	33	16	12	48	7	23	2	123
	度数(%)	46.3%	61.0%	26.8%	13.0%	9.8%	39.0%	5.7%	18.7%	1.6%	16.4%
50～59歳	回答数	47	69	42	14	11	35	10	28	2	123
	度数(%)	38.2%	56.1%	34.1%	11.4%	8.9%	28.5%	8.1%	22.8%	1.6%	16.4%
60～69歳	回答数	65	73	47	8	14	40	16	43	7	159
	度数(%)	40.9%	45.9%	29.6%	5.0%	8.8%	25.2%	10.1%	27.0%	4.4%	21.2%
70歳以上	回答数	51	55	43	12	10	35	23	50	7	156
	度数(%)	32.7%	35.3%	27.6%	7.7%	6.4%	22.4%	14.7%	32.1%	4.5%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.3%

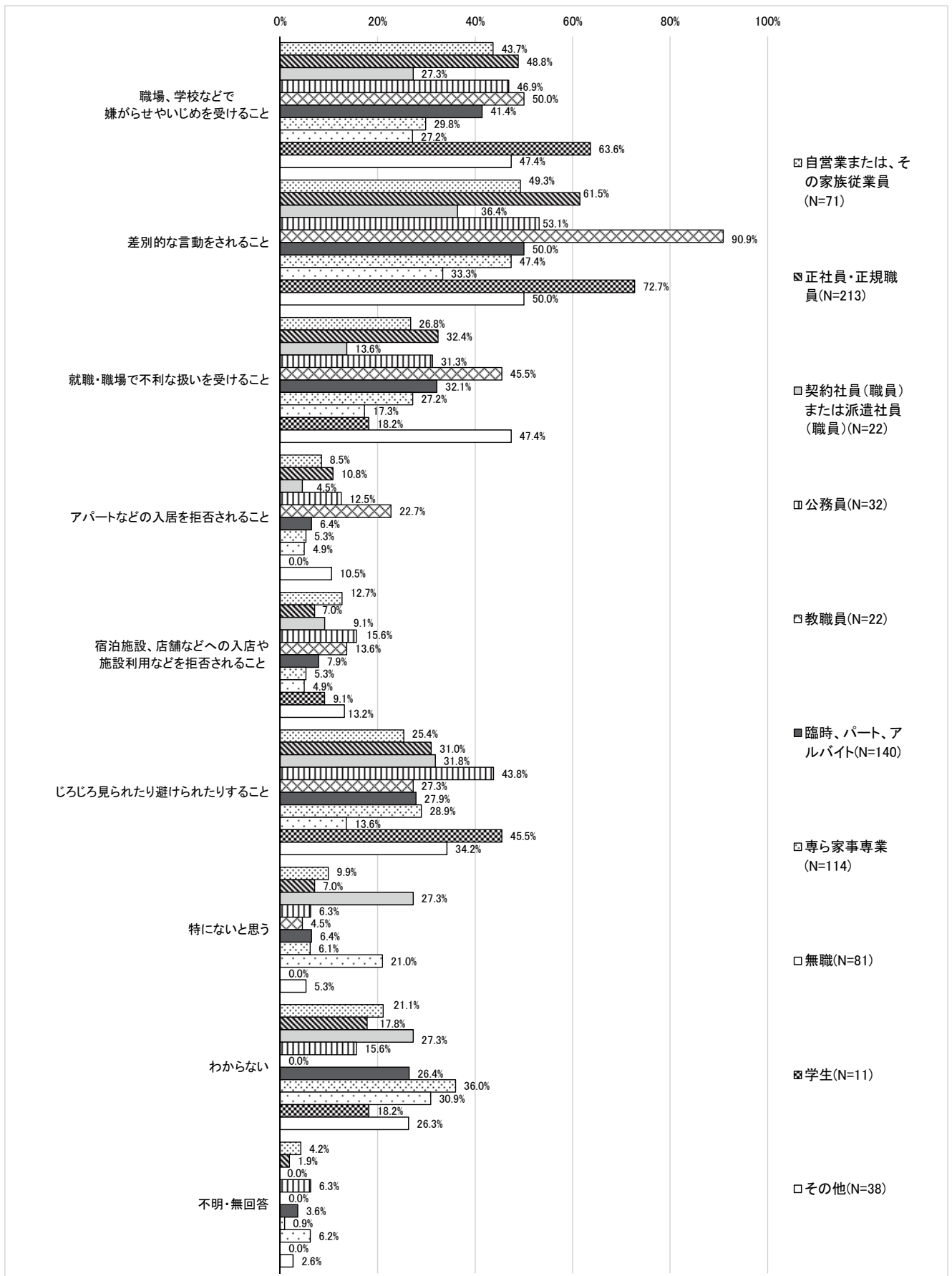


年齢別にみると、「就職・職場で不利な扱いを受けること」においては、30～39歳が36.2%、50～59歳が34.1%と他の年齢層に比べて高い。「じろじろ見られたり避けられたりすること」においては、40～49歳が39.0%と他の年齢層に比べて高い。

「特にないと思う」「わからない」は70歳以上の回答率が高い。

### 3)職業別特徴

回答項目		職場、学校 などで嫌が らせやいじ めを受ける こと	差別的な 言動をされ ること	就職・職場 で不利な 扱いを受け ること	アパートな どの入居を 拒否される こと	宿泊施設、 店舗などへ の入店や 施設利用 などを拒否 されること	じろじろ見 られたり避 けられたり すること	特にないと 思う	わからない	不明・無回 答	回答者数
自営業または、 その家族従業員	回答数	31	35	19	6	9	18	7	15	3	71
	度数(%)	43.7%	49.3%	26.8%	8.5%	12.7%	25.4%	9.9%	21.1%	4.2%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	104	131	69	23	15	66	15	38	4	213
	度数(%)	48.8%	61.5%	32.4%	10.8%	7.0%	31.0%	7.0%	17.8%	1.9%	28.4%
契約社員(職員)または 派遣社員(職員)	回答数	6	8	3	1	2	7	6	6	0	22
	度数(%)	27.3%	36.4%	13.6%	4.5%	9.1%	31.8%	27.3%	27.3%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	15	17	10	4	5	14	2	5	2	32
	度数(%)	46.9%	53.1%	31.3%	12.5%	15.6%	43.8%	6.3%	15.6%	6.3%	4.3%
教職員	回答数	11	20	10	5	3	6	1	0	0	22
	度数(%)	50.0%	90.9%	45.5%	22.7%	13.6%	27.3%	4.5%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、 アルバイト	回答数	58	70	45	9	11	39	9	37	5	140
	度数(%)	41.4%	50.0%	32.1%	6.4%	7.9%	27.9%	6.4%	26.4%	3.6%	18.7%
専ら家事専業	回答数	34	54	31	6	6	33	7	41	1	114
	度数(%)	29.8%	47.4%	27.2%	5.3%	5.3%	28.9%	6.1%	36.0%	0.9%	15.2%
無職	回答数	22	27	14	4	4	11	17	25	5	81
	度数(%)	27.2%	33.3%	17.3%	4.9%	4.9%	13.6%	21.0%	30.9%	6.2%	10.8%
学生	回答数	7	8	2	0	1	5	0	2	0	11
	度数(%)	63.6%	72.7%	18.2%	0.0%	9.1%	45.5%	0.0%	18.2%	0.0%	1.5%
その他	回答数	18	19	18	4	5	13	2	10	1	38
	度数(%)	47.4%	50.0%	47.4%	10.5%	13.2%	34.2%	5.3%	26.3%	2.6%	5.1%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	1	1	3	1	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	0.8%



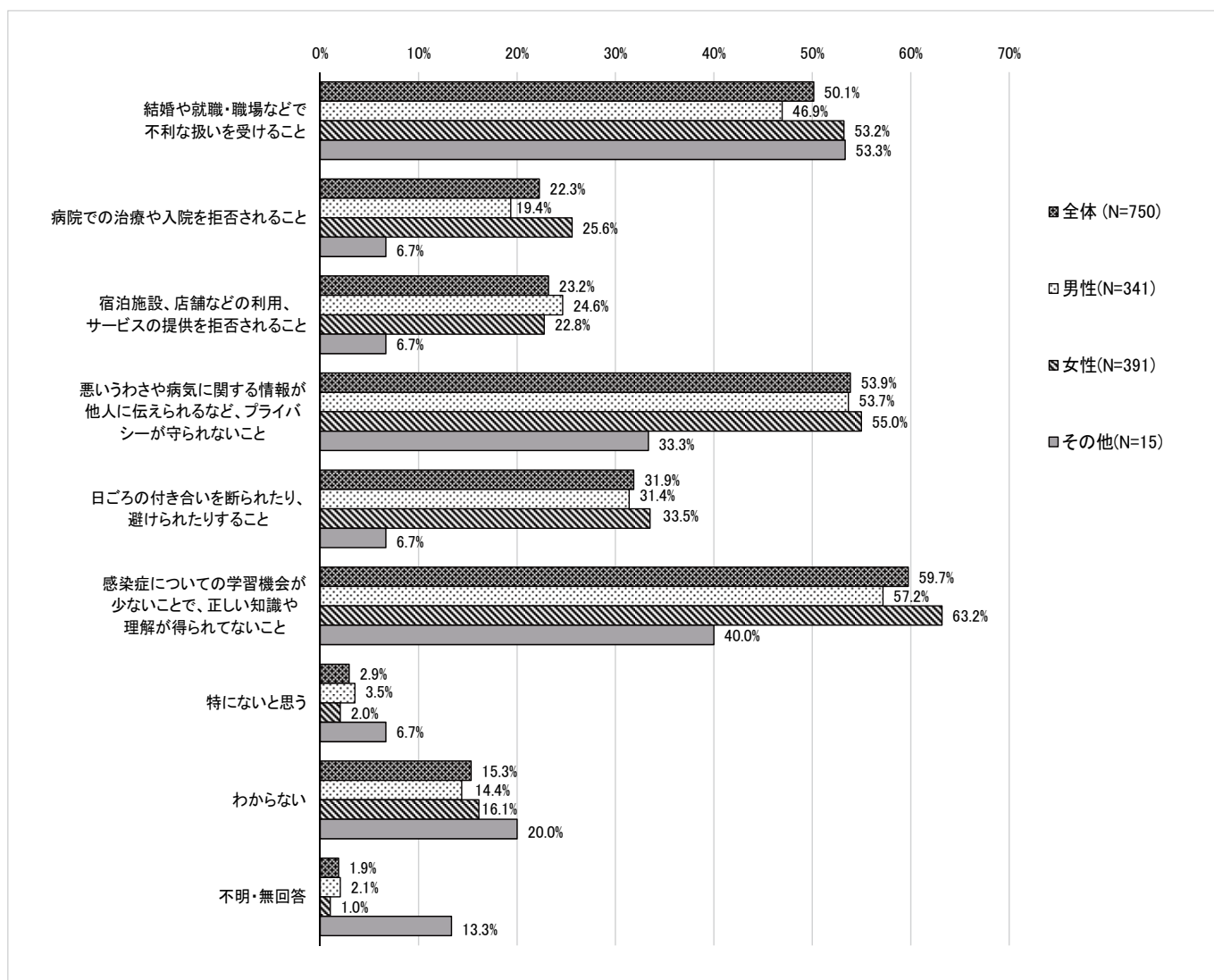
職業別にみると、「差別的な言動をされること」においては、教職員が 90.9%、学生が 72.7%と高い。「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」においては学生が 63.6%と高い。



問17 感染症患者など（ハンセン病患者・回復者、HIV感染者、エイズ患者など）に関する人権上の問題について現在どのような人権問題があると思いますか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1) 全体及び性別の特徴

回答項目		結婚や就職・職場などで不利な扱いを受けること	病院での治療や入院を拒否されること	宿泊施設、店舗などの利用、サービスの提供を拒否されること	悪いうわさや病気に関する情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られないこと	日ごろの付き合いを断られたり、避けられたりすること	感染症についての学習機会が少ないことで、正しい知識や理解が得られてないこと	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
		全体	回答数 度数(%)	376 50.1%	167 22.3%	174 23.2%	404 53.9%	239 31.9%	448 59.7%	22 2.9%	115 15.3%
男性	回答数	160	66	84	183	107	195	12	49	7	341
	度数(%)	46.9%	19.4%	24.6%	53.7%	31.4%	57.2%	3.5%	14.4%	2.1%	45.5%
女性	回答数	208	100	89	215	131	247	8	63	4	391
	度数(%)	53.2%	25.6%	22.8%	55.0%	33.5%	63.2%	2.0%	16.1%	1.0%	52.1%
その他	回答数	8	1	1	5	1	6	1	3	2	15
	度数(%)	53.3%	6.7%	6.7%	33.3%	6.7%	40.0%	6.7%	20.0%	13.3%	2.0%
無回答	回答数	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.4%

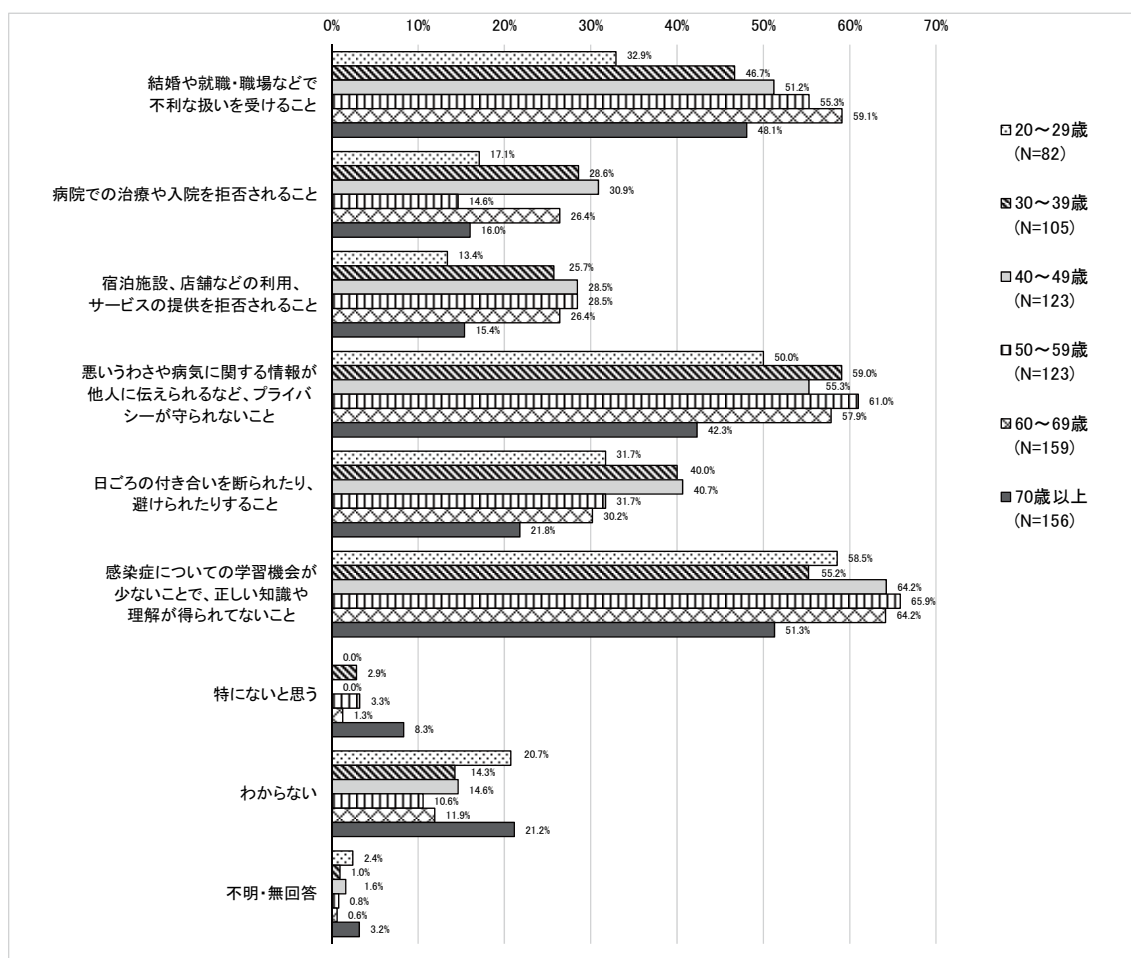


全体的にみると、「感染症についての学習機会が少ないことで、正しい知識や理解が得られてないこと」が 59.7%と一番高く、「悪い噂や病気に関する情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られないこと」が 53.9%、「結婚や就職・職場などで不利な扱いを受けること」が 50.1%と高い数値を示している。

また、男性と女性を比べると、「結婚や就職・職場などで不利な扱いを受けること」が 6.3 ポイント、「病院での治療や入院を拒否されること」で 6.2 ポイント、「感染症についての学習機会が少ないことで、正しい知識や理解が得られてないこと」で 6.0 ポイント、女性の方が高い数値を示している。

## 2) 年齢層別特徴

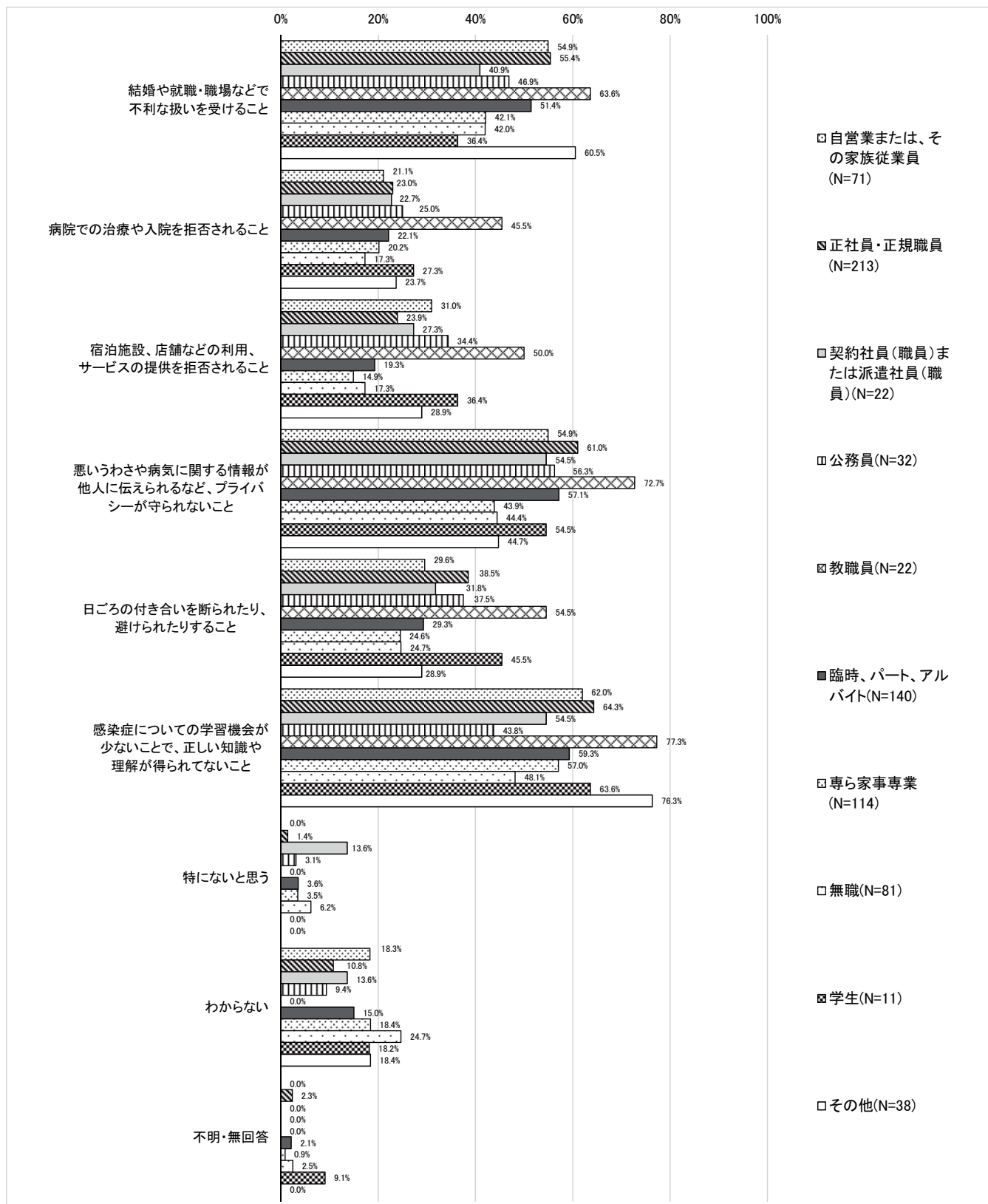
回答項目		結婚や就職・職場などで不利な扱いを受けること	病院での治療や入院を拒否されること	宿泊施設、店舗などの利用、サービスの提供を拒否されること	悪い噂や病気に関する情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られないこと	日ごろの付き合いを断られたり、避けられたりすること	感染症についての学習機会が少ないことで、正しい知識や理解が得られてないこと	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
		回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	
20～29歳	回答数	27	14	11	41	26	48	0	17	2	82
	度数(%)	32.9%	17.1%	13.4%	50.0%	31.7%	58.5%	0.0%	20.7%	2.4%	
30～39歳	回答数	49	30	27	62	42	58	3	15	1	105
	度数(%)	46.7%	28.6%	25.7%	59.0%	40.0%	55.2%	2.9%	14.3%	1.0%	
40～49歳	回答数	63	38	35	68	50	79	0	18	2	123
	度数(%)	51.2%	30.9%	28.5%	55.3%	40.7%	64.2%	0.0%	14.6%	1.6%	
50～59歳	回答数	68	18	35	75	39	81	4	13	1	123
	度数(%)	55.3%	14.6%	28.5%	61.0%	31.7%	65.9%	3.3%	10.6%	0.8%	
60～69歳	回答数	94	42	42	92	48	102	2	19	1	159
	度数(%)	59.1%	26.4%	26.4%	57.9%	30.2%	64.2%	1.3%	11.9%	0.6%	
70歳以上	回答数	75	25	24	66	34	80	13	33	5	156
	度数(%)	48.1%	16.0%	15.4%	42.3%	21.8%	51.3%	8.3%	21.2%	3.2%	
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	



年齢別にみると、「感染症についての学習機会が少ないことで、正しい知識や理解が得られていないこと」で、50～59歳で65.9%、40～49歳と60～69歳で64.2%、「悪い噂や病気に関する情報が他人に伝えられるなどプライバシーが守られないこと」で、50～59歳で61.0%、30～39歳で59.0%と関心が高いことを示している。その反対に、70歳以上で21.2%が、20～29歳で20.7%、「わからない」と答えており、年齢層による関心度の違いが出ている。

### 3)職業別特徴

回答項目		結婚や就職・職場などで不利な扱いを受けること	病院での治療や入院を拒否されること	宿泊施設、店舗などの利用、サービスの提供を拒否されること	悪い噂や病気に関する情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られないこと	日ごろの付き合いを断られたり、避けられたりすること	感染症についての学習機会が少ないことで、正しい知識や理解が得られていないこと	特になくと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	39	15	22	39	21	44	0	13	0	71
	度数(%)	54.9%	21.1%	31.0%	54.9%	29.6%	62.0%	0.0%	18.3%	0.0%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	118	49	51	130	82	137	3	23	5	213
	度数(%)	55.4%	23.0%	23.9%	61.0%	38.5%	64.3%	1.4%	10.8%	2.3%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	9	5	6	12	7	12	3	3	0	22
	度数(%)	40.9%	22.7%	27.3%	54.5%	31.8%	54.5%	13.6%	13.6%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	15	8	11	18	12	14	1	3	0	32
	度数(%)	46.9%	25.0%	34.4%	56.3%	37.5%	43.8%	3.1%	9.4%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	14	10	11	16	12	17	0	0	0	22
	度数(%)	63.6%	45.5%	50.0%	72.7%	54.5%	77.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	72	31	27	80	41	83	5	21	3	140
	度数(%)	51.4%	22.1%	19.3%	57.1%	29.3%	59.3%	3.6%	15.0%	2.1%	18.7%
専ら家事専業	回答数	48	23	17	50	28	65	4	21	1	114
	度数(%)	42.1%	20.2%	14.9%	43.9%	24.6%	57.0%	3.5%	18.4%	0.9%	15.2%
無職	回答数	34	14	14	36	20	39	5	20	2	81
	度数(%)	42.0%	17.3%	17.3%	44.4%	24.7%	48.1%	6.2%	24.7%	2.5%	10.8%
学生	回答数	4	3	4	6	5	7	0	2	1	11
	度数(%)	36.4%	27.3%	36.4%	54.5%	45.5%	63.6%	0.0%	18.2%	9.1%	1.5%
その他	回答数	23	9	11	17	11	29	0	7	0	38
	度数(%)	60.5%	23.7%	28.9%	44.7%	28.9%	76.3%	0.0%	18.4%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	1	1	2	2	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%	0.8%

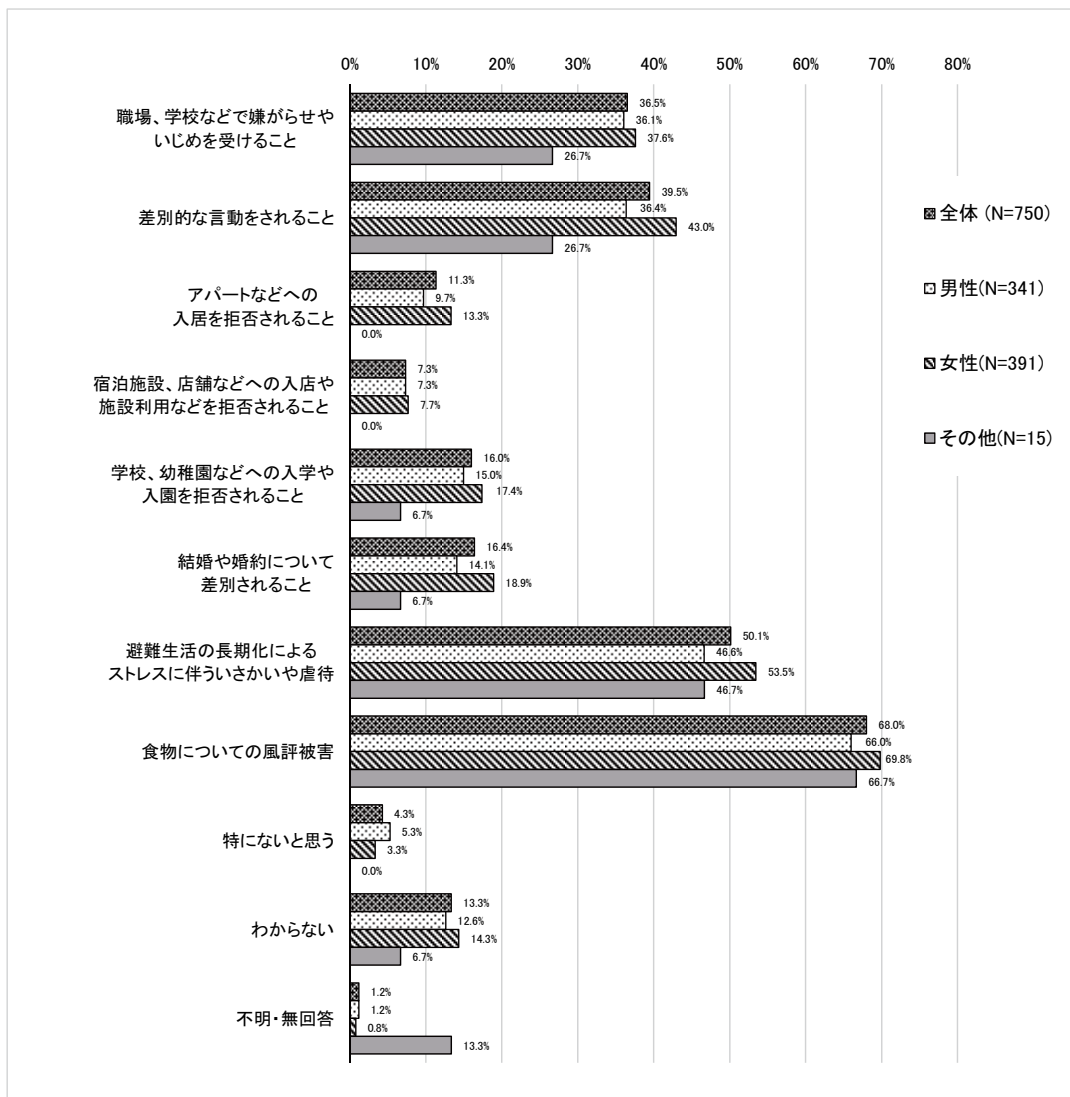


職業別にみると、「感染症についての学習機会が少ないことで、正しい知識や理解が得られていないこと」に、教職員が77.3%、正社員・正規職員が64.3%、学生が63.6%、自営業またはその家族従業員が62.0%と高い値を示している。「悪いうわさや病気に関する情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られないこと」で、教職員が72.7%、正社員・正規職員が61.0%と関心が高い。

問18 あなたは、東日本大震災やそれに伴う福島第一原子力発電所の事故の発生により、現在被災者にどのような人権問題があると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	差別的な言動をされること	アパートなどの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗などへの入店や施設利用などを拒否されること	学校、幼稚園などへの入学や入園を拒否されること	結婚や婚約について差別されること	避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待	食物についての風評被害	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	274	296	85	55	120	123	376	510	32	100	9	750
	度数(%)	36.5%	39.5%	11.3%	7.3%	16.0%	16.4%	50.1%	68.0%	4.3%	13.3%	1.2%	100.0%
男性	回答数	123	124	33	25	51	48	159	225	18	43	4	341
	度数(%)	36.1%	36.4%	9.7%	7.3%	15.0%	14.1%	46.6%	66.0%	5.3%	12.6%	1.2%	45.5%
女性	回答数	147	168	52	30	68	74	209	273	13	56	3	391
	度数(%)	37.6%	43.0%	13.3%	7.7%	17.4%	18.9%	53.5%	69.8%	3.3%	14.3%	0.8%	52.1%
その他	回答数	4	4	0	0	1	1	7	10	0	1	2	15
	度数(%)	26.7%	26.7%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	46.7%	66.7%	0.0%	6.7%	13.3%	2.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.4%

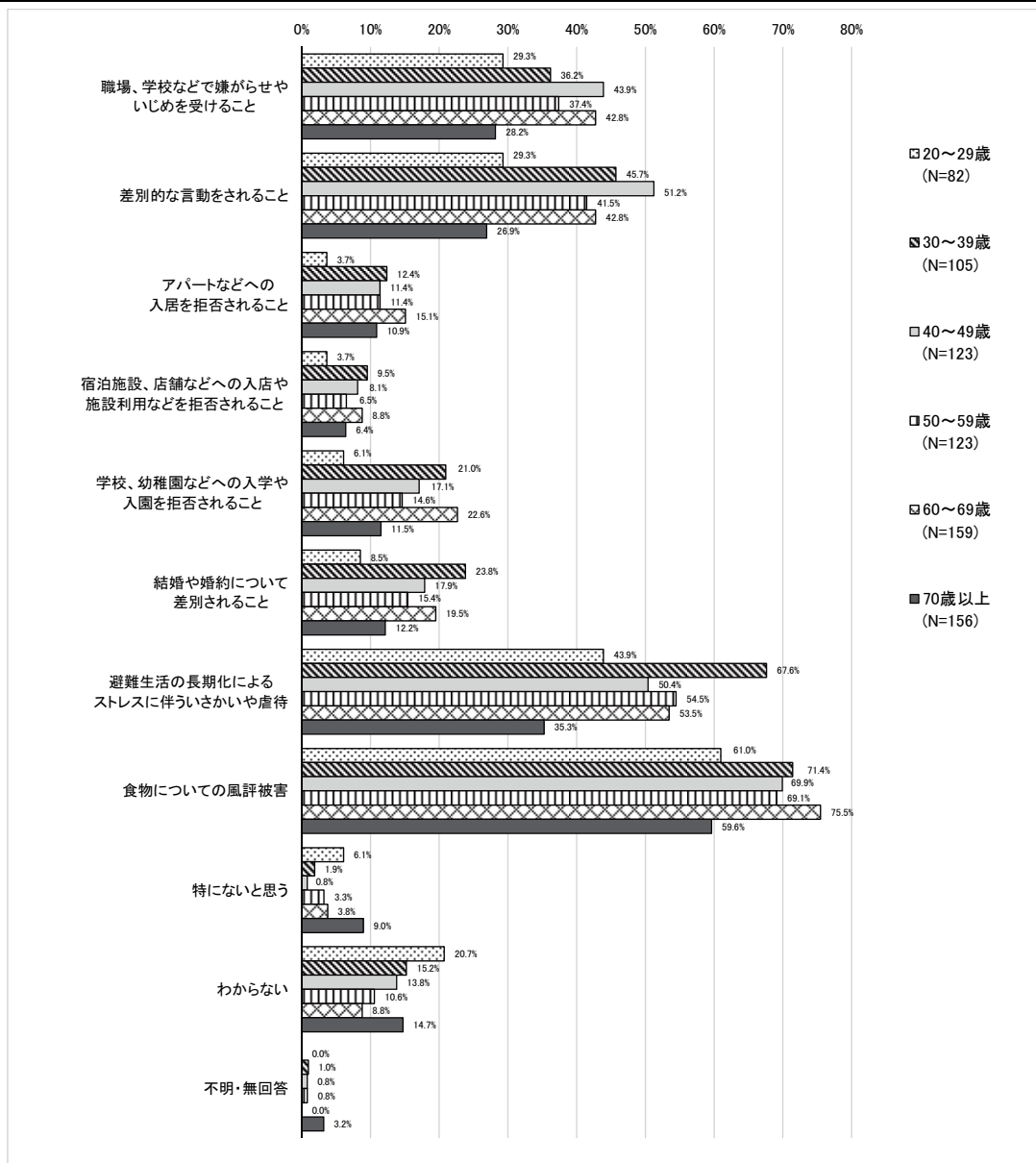


全体的にみると、今回加わった項目「食物についての風評被害」が全体的にも 68.0%性別でも男性 66.0%女性 69.8%といずれも1番高い。

「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待」が次に多く、全体で 50.1%男性 46.6%女性 53.5%となっており、他の項目に比べて非常に高くなっている。

## 2) 年齢層別特徴

回答項目		職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	差別的な言動をされること	アパートなどの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗などへの入店や施設利用などを拒否されること	学校、幼稚園などへの入学や入園を拒否されること	結婚や婚約について差別されること	避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待	食物についての風評被害	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	24	24	3	3	5	7	36	50	5	17	0	82
	度数(%)	29.3%	29.3%	3.7%	3.7%	6.1%	8.5%	43.9%	61.0%	6.1%	20.7%	0.0%	10.9%
30～39歳	回答数	38	48	13	10	22	25	71	75	2	16	1	105
	度数(%)	36.2%	45.7%	12.4%	9.5%	21.0%	23.8%	67.6%	71.4%	1.9%	15.2%	1.0%	14.0%
40～49歳	回答数	54	63	14	10	21	22	62	86	1	17	1	123
	度数(%)	43.9%	51.2%	11.4%	8.1%	17.1%	17.9%	50.4%	69.9%	0.8%	13.8%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	46	51	14	8	18	19	67	85	4	13	1	123
	度数(%)	37.4%	41.5%	11.4%	6.5%	14.6%	15.4%	54.5%	69.1%	3.3%	10.6%	0.8%	16.4%
60～69歳	回答数	68	68	24	14	36	31	85	120	6	14	0	159
	度数(%)	42.8%	42.8%	15.1%	8.8%	22.6%	19.5%	53.5%	75.5%	3.8%	8.8%	0.0%	21.2%
70歳以上	回答数	44	42	17	10	18	19	55	93	14	23	5	156
	度数(%)	28.2%	26.9%	10.9%	6.4%	11.5%	12.2%	35.3%	59.6%	9.0%	14.7%	3.2%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.3%

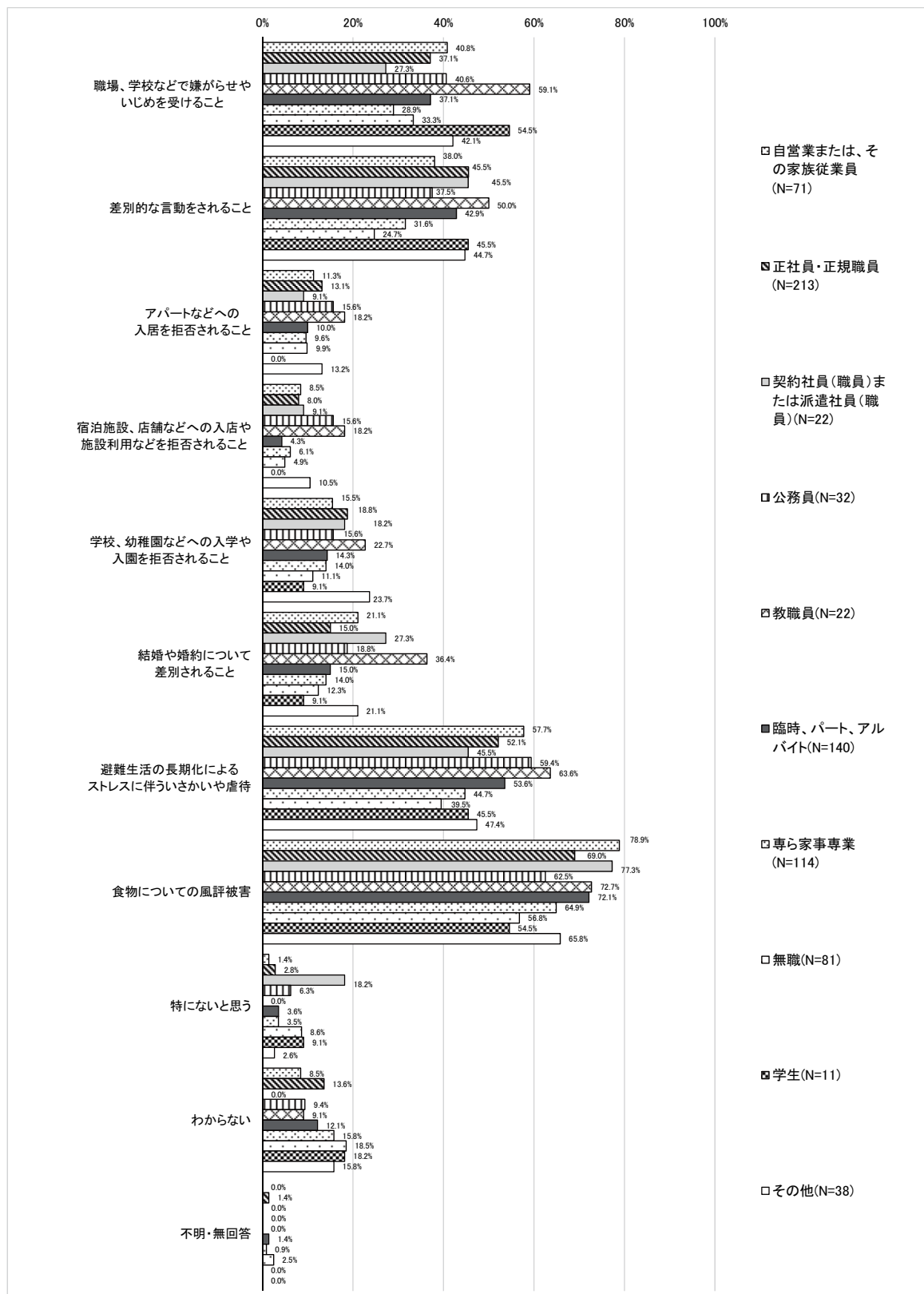


年齢別にみると、全ての年齢層で今回新しく項目に加わった「食物についての風評被害」が最も高く60～69歳が75.5%と最も高い数値を示している。30～39歳は71.4%、40～49歳69.9%と続く。次に「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待」の数値が高く、30～39歳が一番高く67.6%となっている。

3) 職業別特徴

回答項目		職場、学校 などで嫌が らせやいじ めを受ける こと	差別的な 言動をされ ること	アパートな どの入居を 拒否される こと	宿泊施設、 店舗などへ の入店や 施設利用 などを拒否 されること	学校、幼稚 園などへの 入学や入 園を拒否さ れること	結婚や婚 約について 差別される こと
自営業または、 その家族従業員	回答数	29	27	8	6	11	15
	度数(%)	40.8%	38.0%	11.3%	8.5%	15.5%	21.1%
正社員・正規職員	回答数	79	97	28	17	40	32
	度数(%)	37.1%	45.5%	13.1%	8.0%	18.8%	15.0%
契約社員(職員)または 派遣社員(職員)	回答数	6	10	2	2	4	6
	度数(%)	27.3%	45.5%	9.1%	9.1%	18.2%	27.3%
公務員	回答数	13	12	5	5	5	6
	度数(%)	40.6%	37.5%	15.6%	15.6%	15.6%	18.8%
教職員	回答数	13	11	4	4	5	8
	度数(%)	59.1%	50.0%	18.2%	18.2%	22.7%	36.4%
臨時、パート、 アルバイト	回答数	52	60	14	6	20	21
	度数(%)	37.1%	42.9%	10.0%	4.3%	14.3%	15.0%
専ら家事専業	回答数	33	36	11	7	16	16
	度数(%)	28.9%	31.6%	9.6%	6.1%	14.0%	14.0%
無職	回答数	27	20	8	4	9	10
	度数(%)	33.3%	24.7%	9.9%	4.9%	11.1%	12.3%
学生	回答数	6	5	0	0	1	1
	度数(%)	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%
その他	回答数	16	17	5	4	9	8
	度数(%)	42.1%	44.7%	13.2%	10.5%	23.7%	21.1%
無回答	回答数	0	1	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		避難生活 の長期化 によるスト レスに伴う いさかいや 虐待	食物につい ての風評 被害	特にないと 思う	わからない	不明・無回 答	回答者数
自営業または、 その家族従業員	回答数	41	56	1	6	0	71
	度数(%)	57.7%	78.9%	1.4%	8.5%	0.0%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	111	147	6	29	3	213
	度数(%)	52.1%	69.0%	2.8%	13.6%	1.4%	28.4%
契約社員(職員)または 派遣社員(職員)	回答数	10	17	4	0	0	22
	度数(%)	45.5%	77.3%	18.2%	0.0%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	19	20	2	3	0	32
	度数(%)	59.4%	62.5%	6.3%	9.4%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	14	16	0	2	0	22
	度数(%)	63.6%	72.7%	0.0%	9.1%	0.0%	2.9%
臨時、パート、 アルバイト	回答数	75	101	5	17	2	140
	度数(%)	53.6%	72.1%	3.6%	12.1%	1.4%	18.7%
専ら家事専業	回答数	51	74	4	18	1	114
	度数(%)	44.7%	64.9%	3.5%	15.8%	0.9%	15.2%
無職	回答数	32	46	7	15	2	81
	度数(%)	39.5%	56.8%	8.6%	18.5%	2.5%	10.8%
学生	回答数	5	6	1	2	0	11
	度数(%)	45.5%	54.5%	9.1%	18.2%	0.0%	1.5%
その他	回答数	18	25	1	6	0	38
	度数(%)	47.4%	65.8%	2.6%	15.8%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	0	2	1	2	1	6
	度数(%)	0.0%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	0.8%



職業別にみると、どの職業でも今回から加わった項目「食物についての風評被害」の数値が一番高く、特に自営業またはその家族従業員(78.9%)と高い数値を示している。次いで契約社員(職員)または派遣社員(職員)(77.3%)教職員(72.7%)臨時、パート、アルバイト(72.1%)といずれも高い数値で続いている。「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待」で教職員(63.6%)公務員(59.4%)が、自営業またはその家族従業員(57.7%)と他の職業よりも高い数値を示している。特徴的な数値として、「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」で教職員(59.1%)学生(54.5%)が、「差別的な言動をされること」で教職員(50.0%)と他の職業より高い数値を示している。

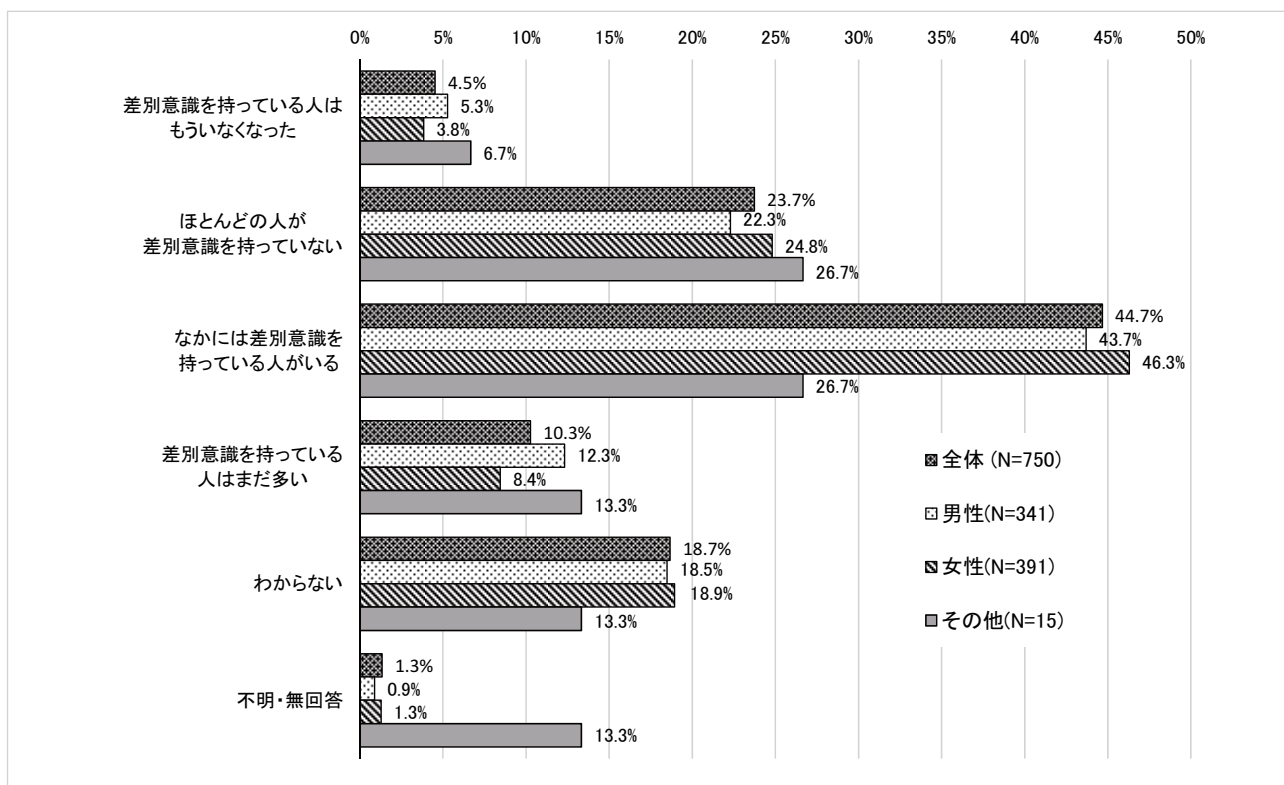


### 3. 部落差別問題(同和問題)について

問19 あなたは被差別部落(旧同和地区)の人を見下したり排除しようとする差別意識を持った人だと思いますか。当てはまる番号1つを選んで○で囲んでください。

#### 1) 全体及び性別の特徴

回答項目		差別意識を持っている人はもういなくなった	ほとんどの人が差別意識を持っていない	なかには差別意識を持っている人がいる	差別意識を持っている人はまだ多い	わからない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	34	178	335	77	140	10	750
	度数(%)	4.5%	23.7%	44.7%	10.3%	18.7%	1.3%	100.0%
男性	回答数	18	76	149	42	63	3	341
	度数(%)	5.3%	22.3%	43.7%	12.3%	18.5%	0.9%	45.5%
女性	回答数	15	97	181	33	74	5	391
	度数(%)	3.8%	24.8%	46.3%	8.4%	18.9%	1.3%	52.1%
その他	回答数	1	4	4	2	2	2	15
	度数(%)	6.7%	26.7%	26.7%	13.3%	13.3%	13.3%	2.0%
無回答	回答数	0	1	1	0	1	0	3
	度数(%)	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.4%



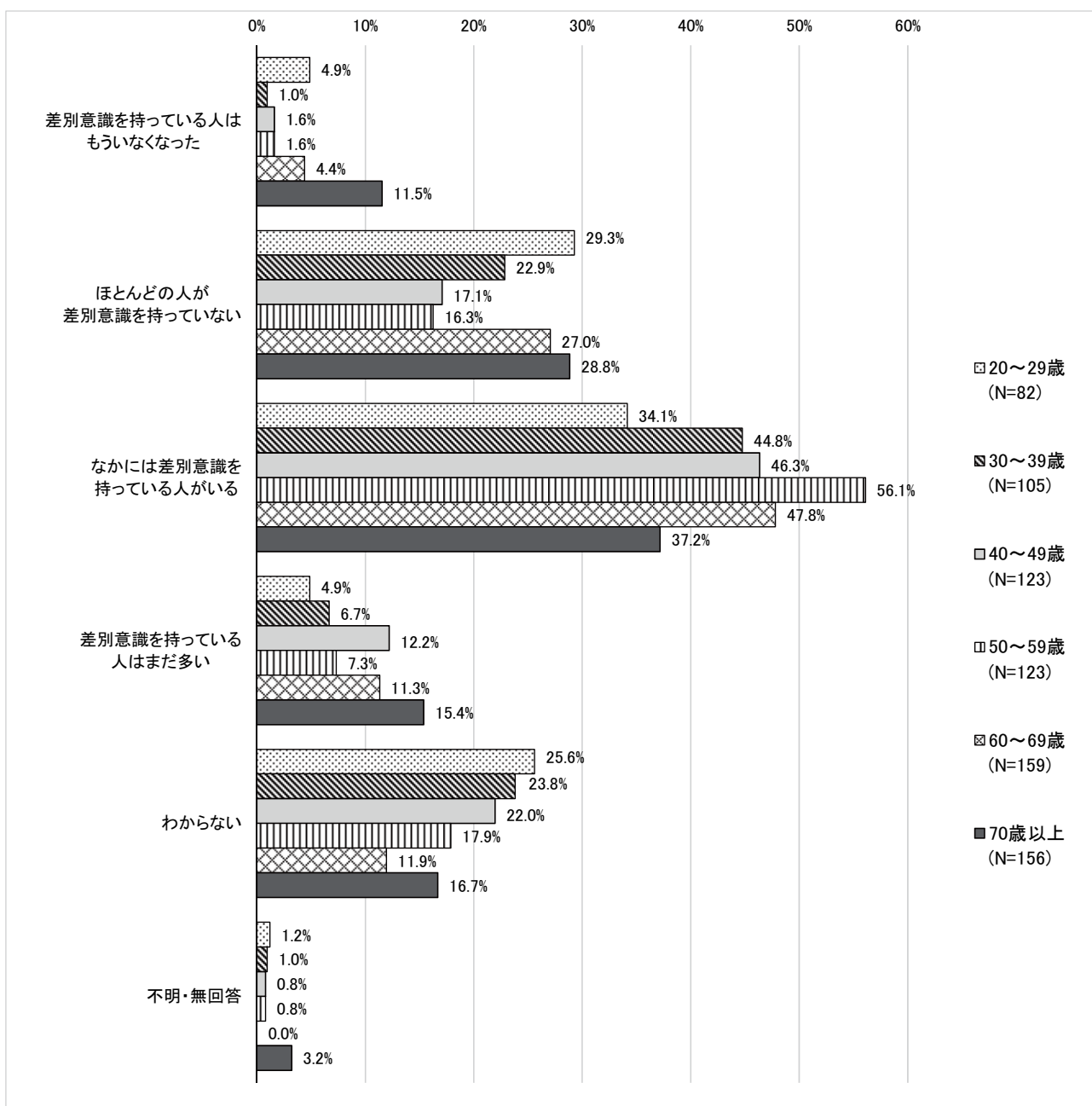
全体的にみると、「なかには差別意識を持っている人がいる」(44.7%)と「差別意識を持っている人はまだ多い」(10.3%)の合計が55.0%となっている。

「差別意識を持っている人はもういなくなった」(4.5%)、「ほとんどの人が差別意識を持っていない」(23.7%)の合計が28.2%「わからない」は、18.7%となっている。

また、男性と女性と比べると、「なかには差別意識を持っている人がいる」が男性で(43.7%)女性で(46.3%)とあまり差がないが「差別意識を持っている人はまだ多い」の項目では男性(12.3%)女性(8.4%)と男性が高くなっている。

2) 年齢層別特徴

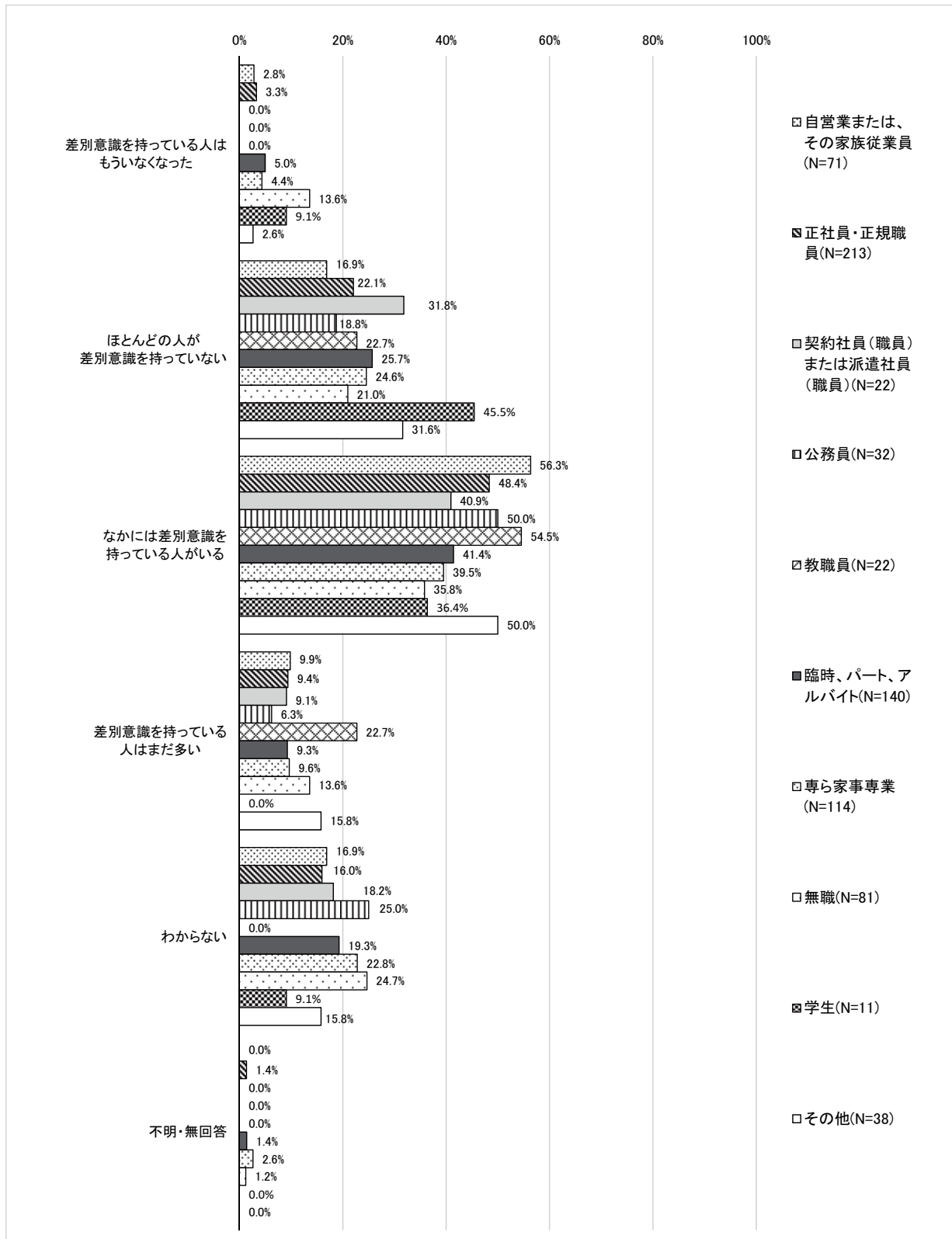
回答項目		差別意識を持っている人はもういなくなった	ほとんどの人が差別意識を持っていない	なかには差別意識を持っている人がいる	差別意識を持っている人はまだ多い	わからない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	4	24	28	4	21	1	82
	度数 (%)	4.9%	29.3%	34.1%	4.9%	25.6%	1.2%	10.9%
30～39歳	回答数	1	24	47	7	25	1	105
	度数 (%)	1.0%	22.9%	44.8%	6.7%	23.8%	1.0%	14.0%
40～49歳	回答数	2	21	57	15	27	1	123
	度数 (%)	1.6%	17.1%	46.3%	12.2%	22.0%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	2	20	69	9	22	1	123
	度数 (%)	1.6%	16.3%	56.1%	7.3%	17.9%	0.8%	16.4%
60～69歳	回答数	7	43	76	18	19	0	159
	度数 (%)	4.4%	27.0%	47.8%	11.3%	11.9%	0.0%	21.2%
70歳以上	回答数	18	45	58	24	26	5	156
	度数 (%)	11.5%	28.8%	37.2%	15.4%	16.7%	3.2%	20.8%
無回答	回答数	0	1	0	0	0	1	2
	度数 (%)	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.3%



年齢別にみると、「差別意識を持っている人はもういなくなった」でほとんどの年齢層で 5%以下だが、70 歳以上のみ(11.5%)となっている。「差別意識を持っている人はまだ多い」も 70 歳以上の年齢層で(15.4%)と一番高くなっている。「わからない」は 20～29 歳(25.6%)で一番高く、60～69 歳(11.9%)で一番低い。

### 3) 職業別特徴

回答項目		差別意識を持っている人はもういなくなった	ほとんどの人が差別意識を持っていない	なかには差別意識を持っている人がいる	差別意識を持っている人はまだ多い	わからない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	2	12	40	7	12	0	71
	度数(%)	2.8%	16.9%	56.3%	9.9%	16.9%	0.0%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	7	47	103	20	34	3	213
	度数(%)	3.3%	22.1%	48.4%	9.4%	16.0%	1.4%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	0	7	9	2	4	0	22
	度数(%)	0.0%	31.8%	40.9%	9.1%	18.2%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	0	6	16	2	8	0	32
	度数(%)	0.0%	18.8%	50.0%	6.3%	25.0%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	0	5	12	5	0	0	22
	度数(%)	0.0%	22.7%	54.5%	22.7%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	7	36	58	13	27	2	140
	度数(%)	5.0%	25.7%	41.4%	9.3%	19.3%	1.4%	18.7%
専ら家事専業	回答数	5	28	45	11	26	3	114
	度数(%)	4.4%	24.6%	39.5%	9.6%	22.8%	2.6%	15.2%
無職	回答数	11	17	29	11	20	1	81
	度数(%)	13.6%	21.0%	35.8%	13.6%	24.7%	1.2%	10.8%
学生	回答数	1	5	4	0	1	0	11
	度数(%)	9.1%	45.5%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%	1.5%
その他	回答数	1	12	19	6	6	0	38
	度数(%)	2.6%	31.6%	50.0%	15.8%	15.8%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	0	3	0	0	2	1	6
	度数(%)	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.8%

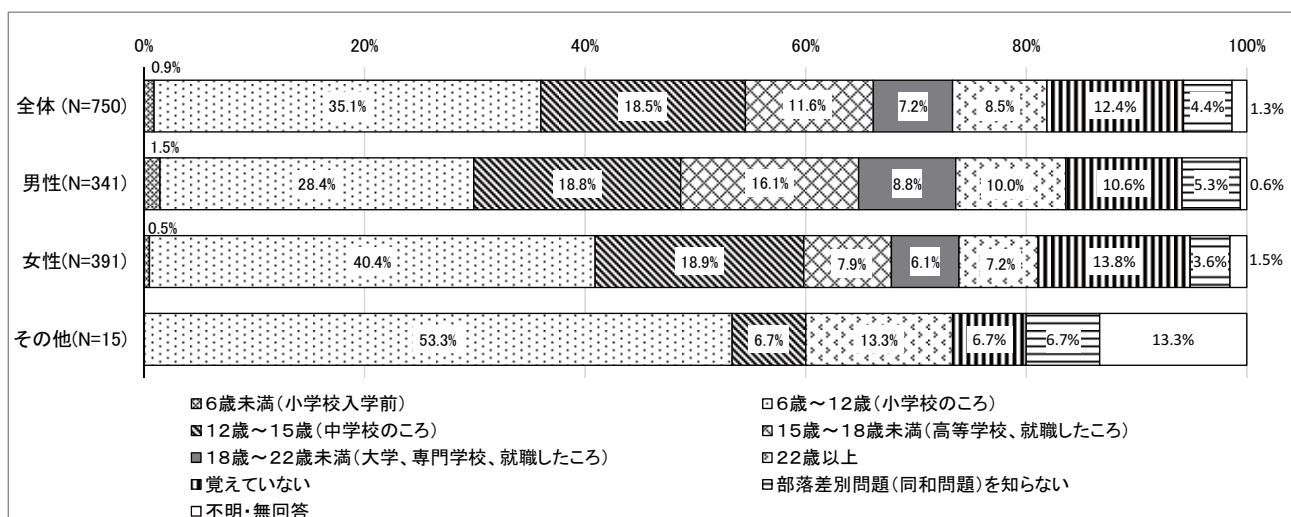


職業別にしてみると、学生が「ほとんどの人が差別意識を持っていない」と回答した人の割合が高く、自営業またはその家族従業員では「なかには差別意識を持っている人がいる」と回答した人の割合が高い。

問20 あなたが部落差別問題（同和問題）をはじめて知ったのはいつ頃ですか。あてはまる番号1つを○で囲んでください。

1) 全体及び性別の特徴

回答項目		6歳未満 (小学校入学前)	6歳～12歳 (小学校のころ)	12歳～15歳 (中学校のころ)	15歳～18歳未満 (高等学校、就職したころ)	18歳～22歳未満 (大学、専門学校、就職したころ)	22歳以上	覚えていない	部落差別問題(同和問題)を知らない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	7	263	139	87	54	64	93	33	10	750
	度数(%)	0.9%	35.1%	18.5%	11.6%	7.2%	8.5%	12.4%	4.4%	1.3%	100.0%
男性	回答数	5	97	64	55	30	34	36	18	2	341
	度数(%)	1.5%	28.4%	18.8%	16.1%	8.8%	10.0%	10.6%	5.3%	0.6%	45.5%
女性	回答数	2	158	74	31	24	28	54	14	6	391
	度数(%)	0.5%	40.4%	18.9%	7.9%	6.1%	7.2%	13.8%	3.6%	1.5%	52.1%
その他	回答数	0	8	1	0	0	2	1	1	2	15
	度数(%)	0.0%	53.3%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	6.7%	6.7%	13.3%	2.0%
無回答	回答数	0	0	0	1	0	0	2	0	0	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.4%

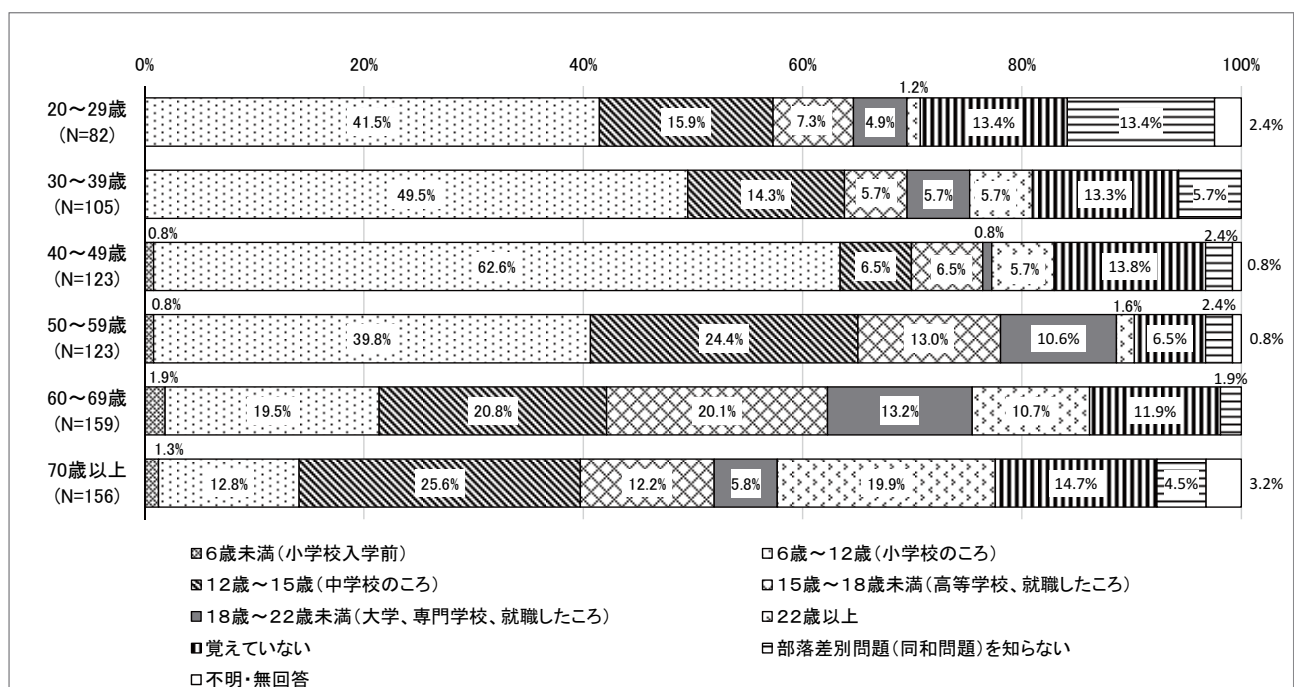


全体的にみると、小学校(35.1%)、中学校(18.5%)の義務教育期に部落差別問題(同和問題)を初めて知った人が多い。

男女別にみると、男性よりも女性の方が学齢期に知った割合が高いと言える。

## 2) 年齢層別特徴

回答項目		6歳未満 (小学校入学前)	6歳～12歳 (小学校のころ)	12歳～15歳 (中学校のころ)	15歳～18歳未満 (高等学校、就職したころ)	18歳～22歳未満 (大学、専門学校、就職したころ)	22歳以上	覚えていない	部落差別問題(同和問題)を知らない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	0	34	13	6	4	1	11	11	2	82
	度数(%)	0.0%	41.5%	15.9%	7.3%	4.9%	1.2%	13.4%	13.4%	2.4%	10.9%
30～39歳	回答数	0	52	15	6	6	6	14	6	0	105
	度数(%)	0.0%	49.5%	14.3%	5.7%	5.7%	5.7%	13.3%	5.7%	0.0%	14.0%
40～49歳	回答数	1	77	8	8	1	7	17	3	1	123
	度数(%)	0.8%	62.6%	6.5%	6.5%	0.8%	5.7%	13.8%	2.4%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	1	49	30	16	13	2	8	3	1	123
	度数(%)	0.8%	39.8%	24.4%	13.0%	10.6%	1.6%	6.5%	2.4%	0.8%	16.4%
60～69歳	回答数	3	31	33	32	21	17	19	3	0	159
	度数(%)	1.9%	19.5%	20.8%	20.1%	13.2%	10.7%	11.9%	1.9%	0.0%	21.2%
70歳以上	回答数	2	20	40	19	9	31	23	7	5	156
	度数(%)	1.3%	12.8%	25.6%	12.2%	5.8%	19.9%	14.7%	4.5%	3.2%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.3%

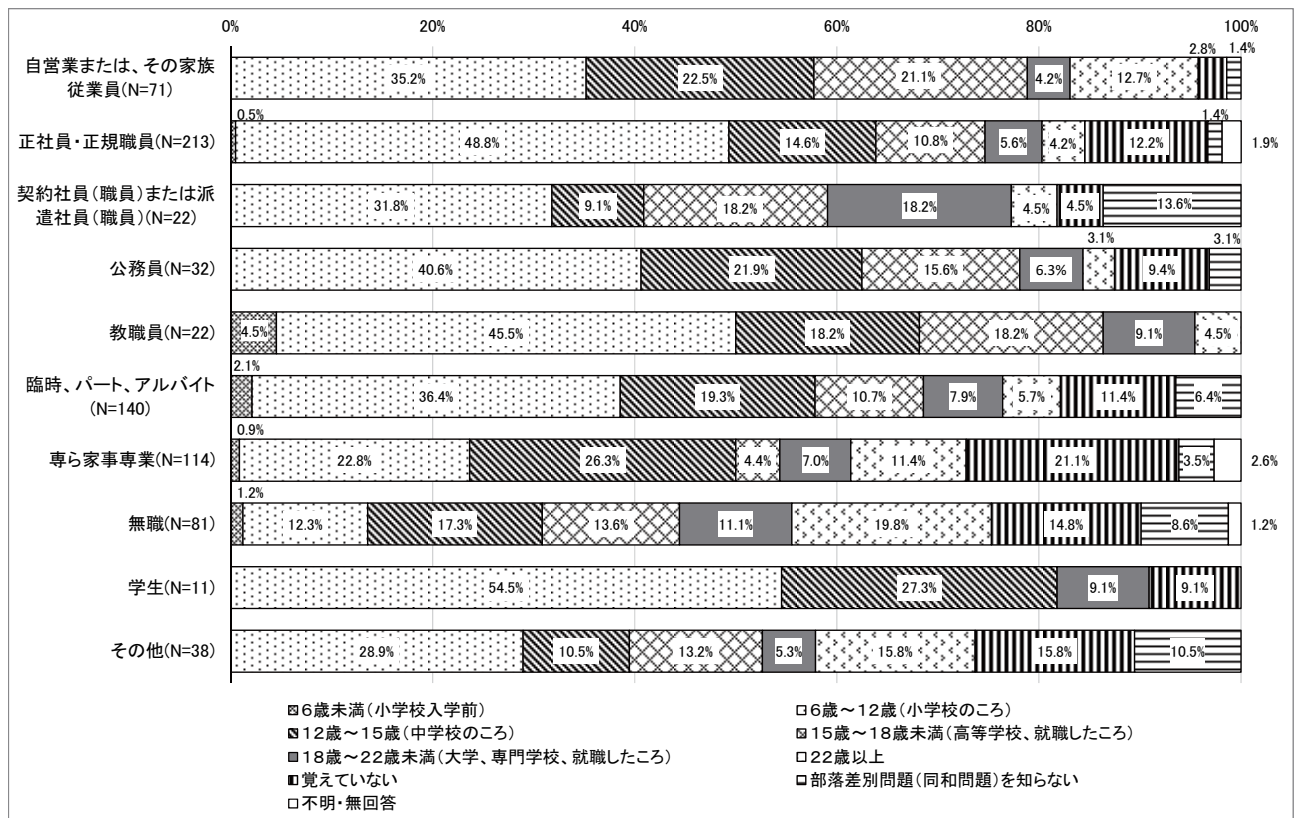


年齢別にみると、60歳未満の年齢層では、6歳～12歳(小学生のころ)の期に部落差別問題(同和問題)をはじめて知ったと回答した人が最も多い。特に40歳～49歳の年齢層では、過半数を占める。

60歳以上の年齢層では、12歳～15歳(中学校のころ)の期に部落差別問題(同和問題)をはじめて知ったと回答した人が最も多い。

### 3) 職業別特徴

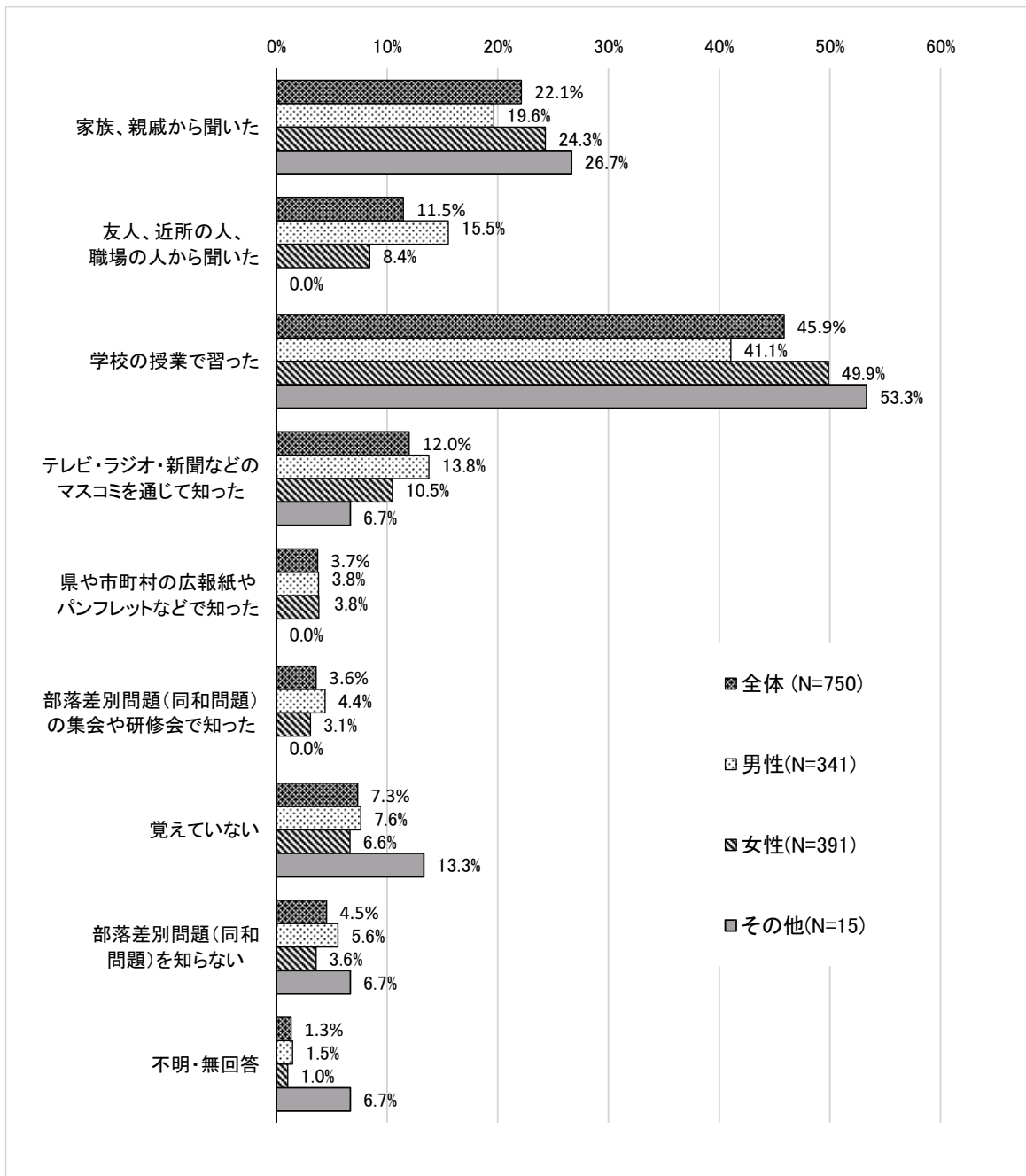
回答項目		6歳未満 (小学校入学前)	6歳～12歳 (小学校のころ)	12歳～15歳 (中学校のころ)	15歳～18歳 歳未満(高等学校、就職したころ)	18歳～22歳 歳未満(大学、専門学校、就職したころ)	22歳以上	覚えていない	部落差別問題(同和問題)を知らない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	0	25	16	15	3	9	2	1	0	71
	度数(%)	0.0%	35.2%	22.5%	21.1%	4.2%	12.7%	2.8%	1.4%	0.0%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	1	104	31	23	12	9	26	3	4	213
	度数(%)	0.5%	48.8%	14.6%	10.8%	5.6%	4.2%	12.2%	1.4%	1.9%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	0	7	2	4	4	1	1	3	0	22
	度数(%)	0.0%	31.8%	9.1%	18.2%	18.2%	4.5%	4.5%	13.6%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	0	13	7	5	2	1	3	1	0	32
	度数(%)	0.0%	40.6%	21.9%	15.6%	6.3%	3.1%	9.4%	3.1%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	1	10	4	4	2	1	0	0	0	22
	度数(%)	4.5%	45.5%	18.2%	18.2%	9.1%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	3	51	27	15	11	8	16	9	0	140
	度数(%)	2.1%	36.4%	19.3%	10.7%	7.9%	5.7%	11.4%	6.4%	0.0%	18.7%
専ら家事専業	回答数	1	26	30	5	8	13	24	4	3	114
	度数(%)	0.9%	22.8%	26.3%	4.4%	7.0%	11.4%	21.1%	3.5%	2.6%	15.2%
無職	回答数	1	10	14	11	9	16	12	7	1	81
	度数(%)	1.2%	12.3%	17.3%	13.6%	11.1%	19.8%	14.8%	8.6%	1.2%	10.8%
学生	回答数	0	6	3	0	1	0	1	0	0	11
	度数(%)	0.0%	54.5%	27.3%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	回答数	0	11	4	5	2	6	6	4	0	38
	度数(%)	0.0%	28.9%	10.5%	13.2%	5.3%	15.8%	15.8%	10.5%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	0	0	1	0	0	0	2	1	2	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	33.3%	0.8%



問2 1 あなたが部落差別問題（同和問題）をはじめて知ったきっかけは何ですか。（当てはまる番号1つを○で囲んでください。

1) 全体及び性別の特徴

回答項目		家族、親戚から聞いた	友人、近所の人、職場の人から聞いた	学校の授業で習った	テレビ・ラジオ・新聞などのマスコミを通じて知った	県や市町村の広報紙やパンフレットなどで知った	部落差別問題(同和問題)の集会や研修会で知った	覚えていない	部落差別問題(同和問題)を知らない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	166	86	344	90	28	27	55	34	10	750
	度数(%)	22.1%	11.5%	45.9%	12.0%	3.7%	3.6%	7.3%	4.5%	1.3%	100.0%
男性	回答数	67	53	140	47	13	15	26	19	5	341
	度数(%)	19.6%	15.5%	41.1%	13.8%	3.8%	4.4%	7.6%	5.6%	1.5%	45.5%
女性	回答数	95	33	195	41	15	12	26	14	4	391
	度数(%)	24.3%	8.4%	49.9%	10.5%	3.8%	3.1%	6.6%	3.6%	1.0%	52.1%
その他	回答数	4	0	8	1	0	0	2	1	1	15
	度数(%)	26.7%	0.0%	53.3%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	6.7%	6.7%	2.0%
無回答	回答数	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.4%



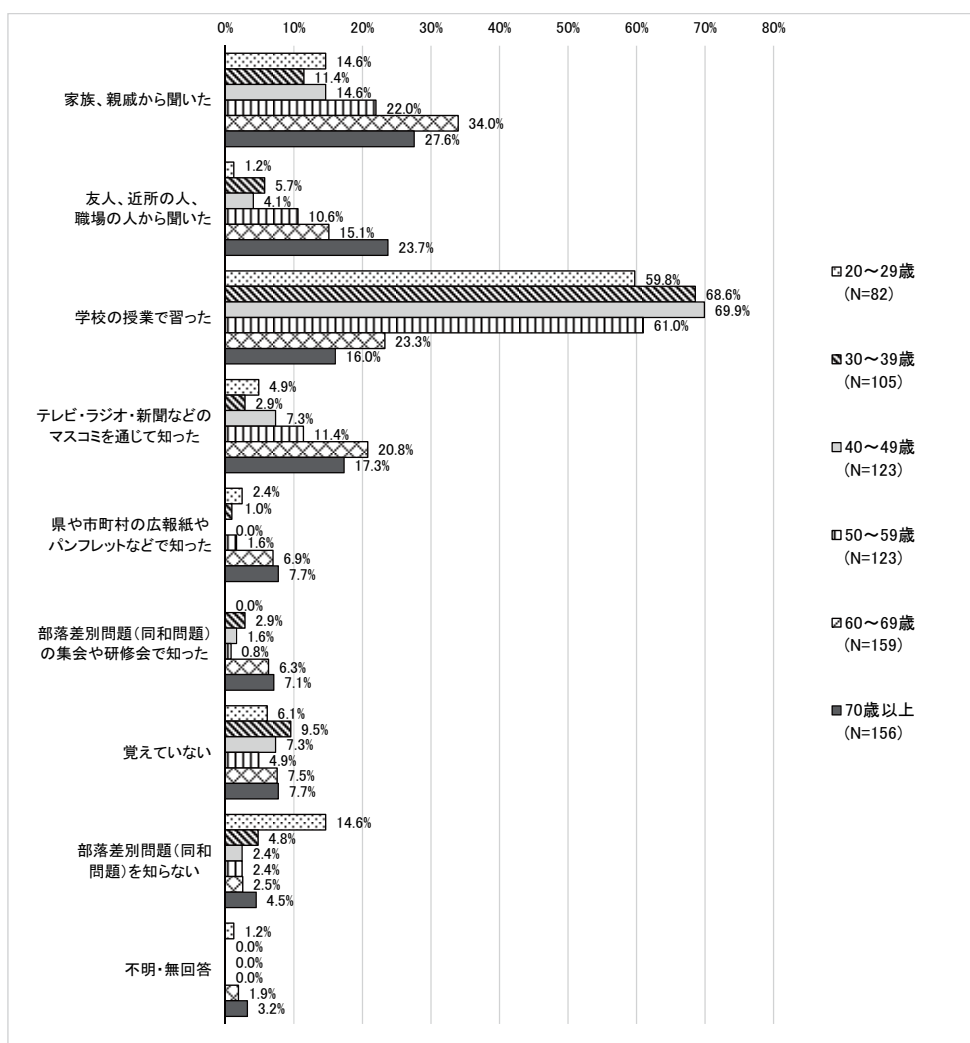


全体的にみると、「学校の授業で習った」の割合が最も多くなっている。次いで「家族、親戚から聞いた」「テレビ・ラジオ・新聞などのマスコミを通じて知った」「友人、近所の人、職場の人から聞いた」の割合が高くなっている。

男性と女性を比べると、男性も女性もほぼ同じような傾向にある。

## 2) 年齢層別特徴

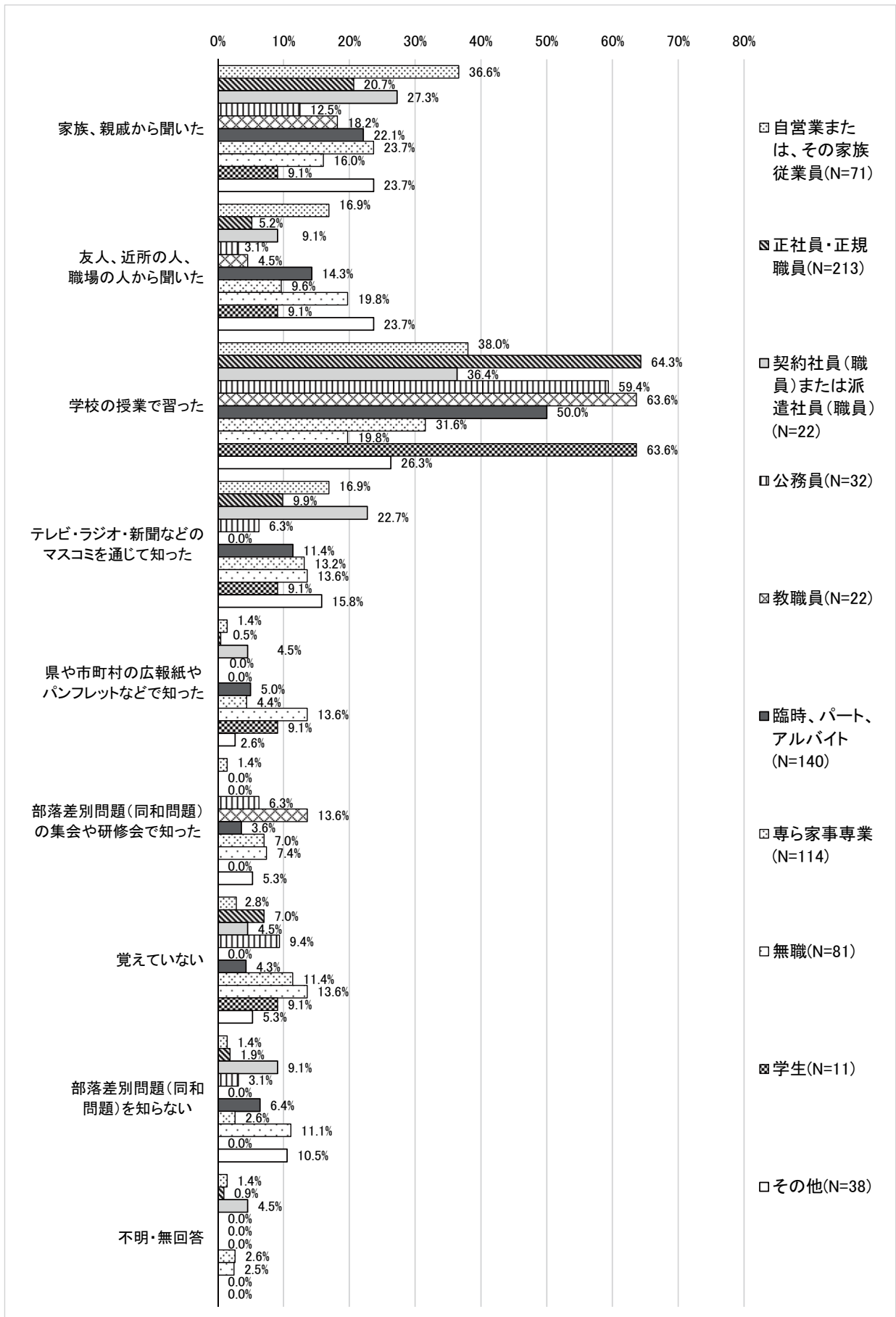
回答項目		家族、親戚から聞いた	友人、近所の人、職場の人から聞いた	学校の授業で習った	テレビ・ラジオ・新聞などのマスコミを通じて知った	県や市町村の広報紙やパンフレットなどで知った	部落差別問題(同和問題)の集会や研修会で知った	覚えていない	部落差別問題(同和問題)を知らない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	12	1	49	4	2	0	5	12	1	82
	度数(%)	14.6%	1.2%	59.8%	4.9%	2.4%	0.0%	6.1%	14.6%	1.2%	10.9%
30～39歳	回答数	12	6	72	3	1	3	10	5	0	105
	度数(%)	11.4%	5.7%	68.6%	2.9%	1.0%	2.9%	9.5%	4.8%	0.0%	14.0%
40～49歳	回答数	18	5	86	9	0	2	9	3	0	123
	度数(%)	14.6%	4.1%	69.9%	7.3%	0.0%	1.6%	7.3%	2.4%	0.0%	16.4%
50～59歳	回答数	27	13	75	14	2	1	6	3	0	123
	度数(%)	22.0%	10.6%	61.0%	11.4%	1.6%	0.8%	4.9%	2.4%	0.0%	16.4%
60～69歳	回答数	54	24	37	33	11	10	12	4	3	159
	度数(%)	34.0%	15.1%	23.3%	20.8%	6.9%	6.3%	7.5%	2.5%	1.9%	21.2%
70歳以上	回答数	43	37	25	27	12	11	12	7	5	156
	度数(%)	27.6%	23.7%	16.0%	17.3%	7.7%	7.1%	7.7%	4.5%	3.2%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.3%



年齢別にみると、「学校の授業で習った」が20～59歳の年齢層で最も多く、60歳以上の年齢層では「家族、親戚から聞いた」が最も多くなっている。また、20～29歳では「部落差別問題(同和問題)を知らない」の割合が他の年齢層に比べ、高くなっている。

### 3) 職業別特徴

回答項目		家族、親戚から聞いた	友人、近所の人、職場の人から聞いた	学校の授業で習った	テレビ・ラジオ・新聞などのマスコミを通じて知った	県や市町村の広報紙やパンフレットなどで知った	部落差別問題(同和問題)の集会や研修会で知った	覚えていない	部落差別問題(同和問題)を知らない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	26	12	27	12	1	1	2	1	1	71
	度数(%)	36.6%	16.9%	38.0%	16.9%	1.4%	1.4%	2.8%	1.4%	1.4%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	44	11	137	21	1	0	15	4	2	213
	度数(%)	20.7%	5.2%	64.3%	9.9%	0.5%	0.0%	7.0%	1.9%	0.9%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	6	2	8	5	1	0	1	2	1	22
	度数(%)	27.3%	9.1%	36.4%	22.7%	4.5%	0.0%	4.5%	9.1%	4.5%	2.9%
公務員	回答数	4	1	19	2	0	2	3	1	0	32
	度数(%)	12.5%	3.1%	59.4%	6.3%	0.0%	6.3%	9.4%	3.1%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	4	1	14	0	0	3	0	0	0	22
	度数(%)	18.2%	4.5%	63.6%	0.0%	0.0%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	31	20	70	16	7	5	6	9	0	140
	度数(%)	22.1%	14.3%	50.0%	11.4%	5.0%	3.6%	4.3%	6.4%	0.0%	18.7%
専ら家事専業	回答数	27	11	36	15	5	8	13	3	3	114
	度数(%)	23.7%	9.6%	31.6%	13.2%	4.4%	7.0%	11.4%	2.6%	2.6%	15.2%
無職	回答数	13	16	16	11	11	6	11	9	2	81
	度数(%)	16.0%	19.8%	19.8%	13.6%	13.6%	7.4%	13.6%	11.1%	2.5%	10.8%
学生	回答数	1	1	7	1	1	0	1	0	0	11
	度数(%)	9.1%	9.1%	63.6%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	回答数	9	9	10	6	1	2	2	4	0	38
	度数(%)	23.7%	23.7%	26.3%	15.8%	2.6%	5.3%	5.3%	10.5%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	1	2	0	1	0	0	1	1	1	6
	度数(%)	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.8%

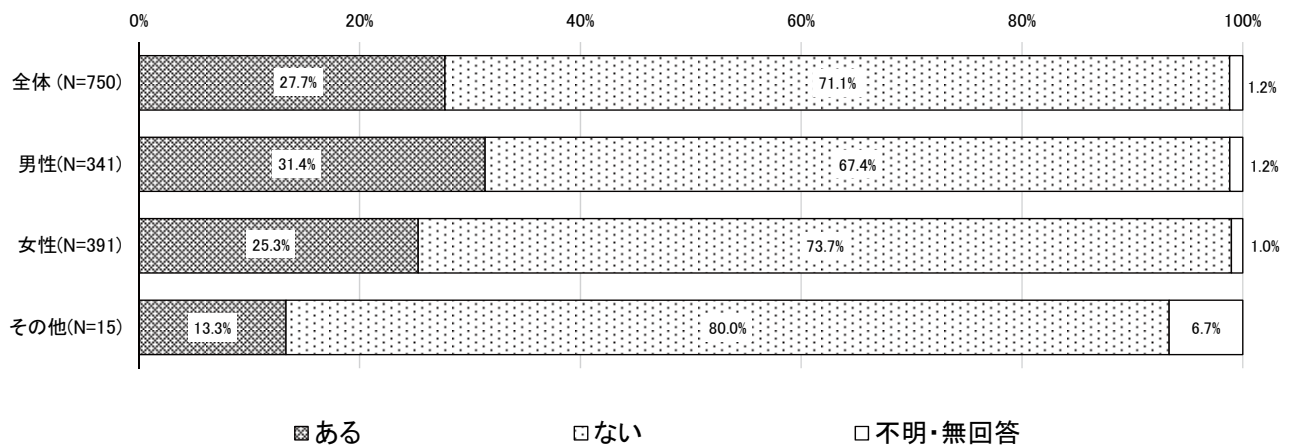


職業別にみても、「学校の授業で習った」の割合が一番多く、次いで「家族、親戚から聞いた」「テレビ・ラジオ・新聞などのマスコミを通じて知った」「友人、近所の人、職場の人から聞いた」割合が高くなっている。

問22 あなたは「被差別部落出身者は怖い」というような内容を見たり聞いたりしたことがありますか。当てはまる番号1つを○で囲んでください。

1) 全体及び性別の特徴

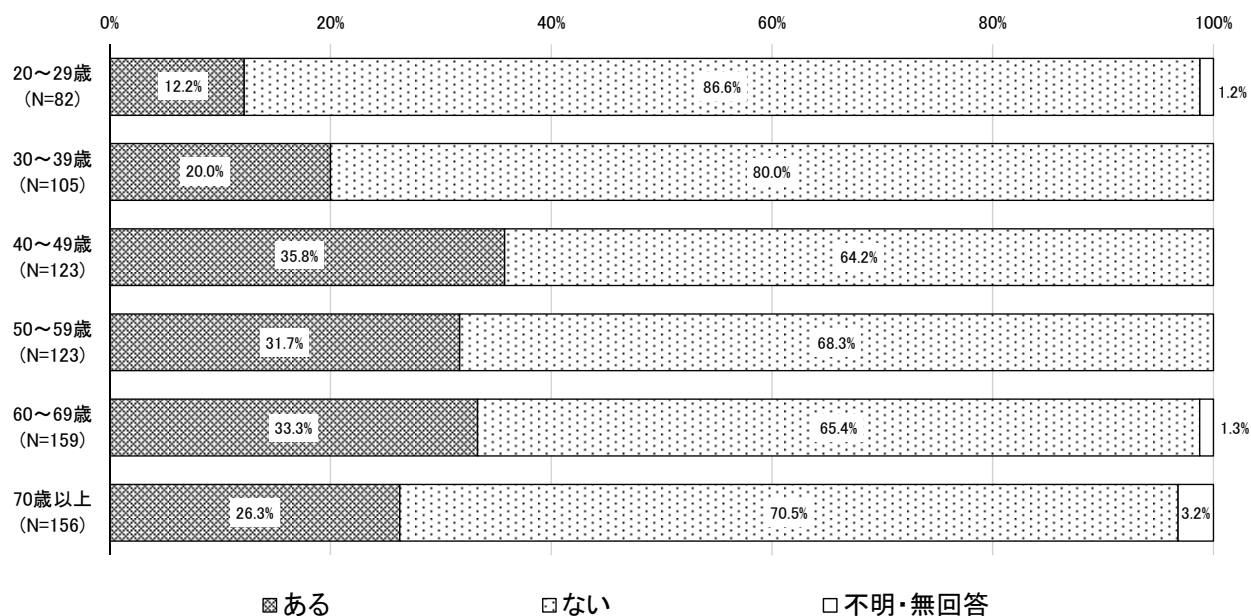
回答項目		ある	ない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	208	533	9	750
	度数(%)	27.7%	71.1%	1.2%	100.0%
男性	回答数	107	230	4	341
	度数(%)	31.4%	67.4%	1.2%	45.5%
女性	回答数	99	288	4	391
	度数(%)	25.3%	73.7%	1.0%	52.1%
その他	回答数	2	12	1	15
	度数(%)	13.3%	80.0%	6.7%	2.0%
無回答	回答数	0	3	0	3
	度数(%)	0.0%	100.0%	0.0%	0.4%



全体的にみると、「ある」が27.7%、「ない」が71.1%で、「ない」のほうが多くなっている。男性と女性を比べても、同様の傾向にあるが、男性のほうが「ある」と回答した人の割合が高い。

2) 年齢層別特徴

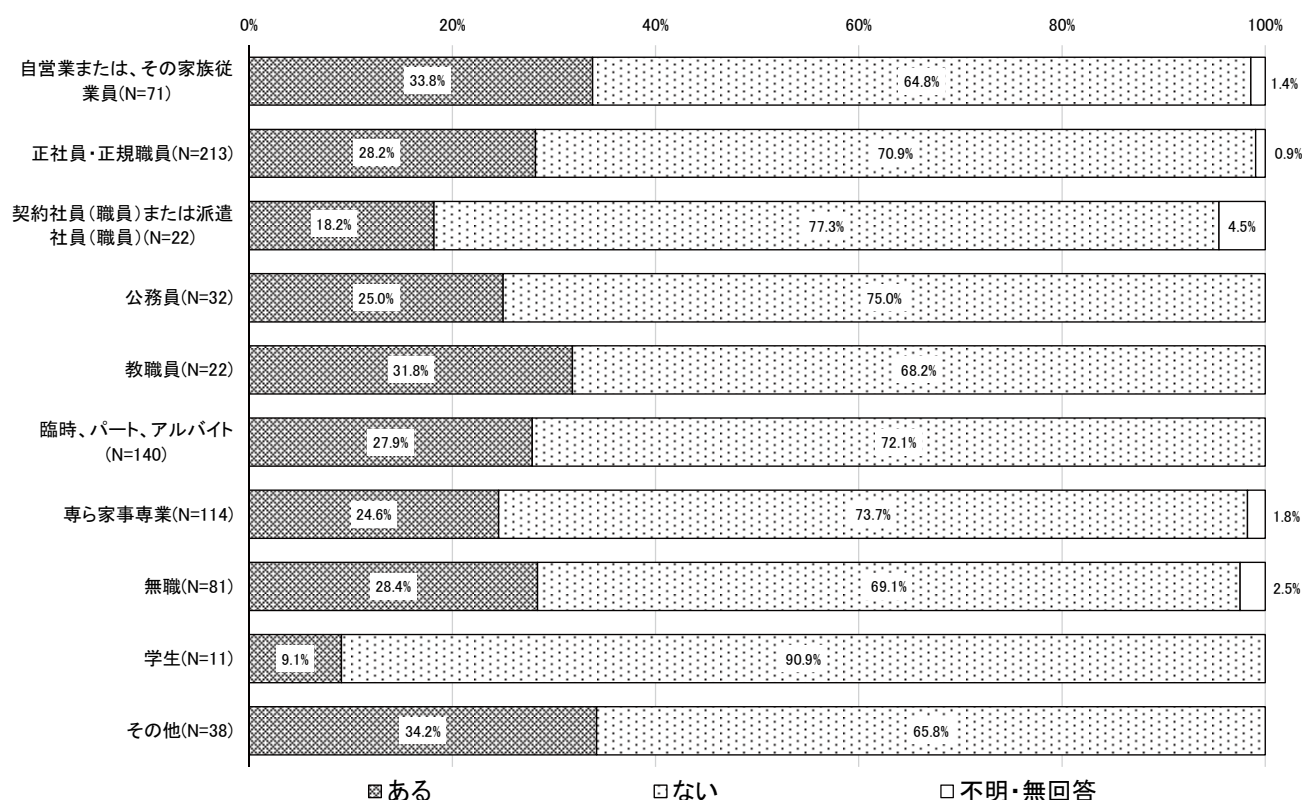
回答項目		ある	ない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	10	71	1	82
	度数(%)	12.2%	86.6%	1.2%	10.9%
30～39歳	回答数	21	84	0	105
	度数(%)	20.0%	80.0%	0.0%	14.0%
40～49歳	回答数	44	79	0	123
	度数(%)	35.8%	64.2%	0.0%	16.4%
50～59歳	回答数	39	84	0	123
	度数(%)	31.7%	68.3%	0.0%	16.4%
60～69歳	回答数	53	104	2	159
	度数(%)	33.3%	65.4%	1.3%	21.2%
70歳以上	回答数	41	110	5	156
	度数(%)	26.3%	70.5%	3.2%	20.8%
無回答	回答数	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	50.0%	50.0%	0.3%



年齢別にみると、どの年齢層においても「ない」と回答した人の割合が「ある」と回答した人よりも多くなっている。「ある」と回答した人の割合が最も高いのは、40～49歳の年齢層である。

### 3) 職業別特徴

回答項目		ある	ない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	24	46	1	71
	度数(%)	33.8%	64.8%	1.4%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	60	151	2	213
	度数(%)	28.2%	70.9%	0.9%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	4	17	1	22
	度数(%)	18.2%	77.3%	4.5%	2.9%
公務員	回答数	8	24	0	32
	度数(%)	25.0%	75.0%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	7	15	0	22
	度数(%)	31.8%	68.2%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	39	101	0	140
	度数(%)	27.9%	72.1%	0.0%	18.7%
専ら家事専業	回答数	28	84	2	114
	度数(%)	24.6%	73.7%	1.8%	15.2%
無職	回答数	23	56	2	81
	度数(%)	28.4%	69.1%	2.5%	10.8%
学生	回答数	1	10	0	11
	度数(%)	9.1%	90.9%	0.0%	1.5%
その他	回答数	13	25	0	38
	度数(%)	34.2%	65.8%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	1	4	1	6
	度数(%)	16.7%	66.7%	16.7%	0.8%



職業別にみると、「ある」と回答した人が3割を超えているのは、「自営業または、その家族従業員」、「教職員」、「その他」となっている。

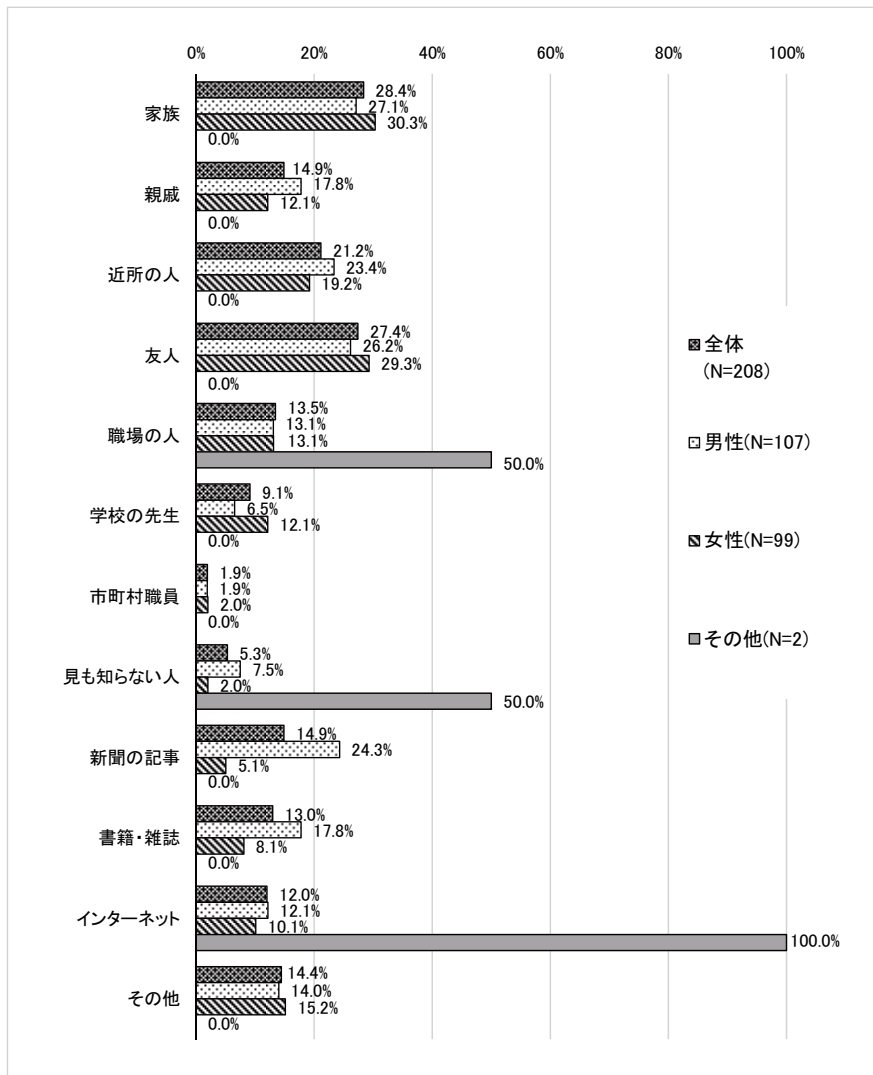
また、どの職業においても、「ない」と回答した人の割合が高くなっている。

問23 質問22で「ある」と答えた方におたずねします。それは誰から、何によって見たり聞いたりしましたか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1) 全体及び性別の特徴

回答項目		家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	学校の先生	市町村職員
全体	回答数	59	31	44	57	28	19	4
	度数(%)	28.4%	14.9%	21.2%	27.4%	13.5%	9.1%	1.9%
男性	回答数	29	19	25	28	14	7	2
	度数(%)	27.1%	17.8%	23.4%	26.2%	13.1%	6.5%	1.9%
女性	回答数	30	12	19	29	13	12	2
	度数(%)	30.3%	12.1%	19.2%	29.3%	13.1%	12.1%	2.0%
その他	回答数	0	0	0	0	1	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		見も知らない人	新聞の記事	書籍・雑誌	インターネット	その他	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	11	31	27	25	30	0	208
	度数(%)	5.3%	14.9%	13.0%	12.0%	14.4%	0.0%	100.0%
男性	回答数	8	26	19	13	15	0	107
	度数(%)	7.5%	24.3%	17.8%	12.1%	14.0%	0.0%	51.4%
女性	回答数	2	5	8	10	15	0	99
	度数(%)	2.0%	5.1%	8.1%	10.1%	15.2%	0.0%	47.6%
その他	回答数	1	0	0	2	0	0	2
	度数(%)	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	1.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



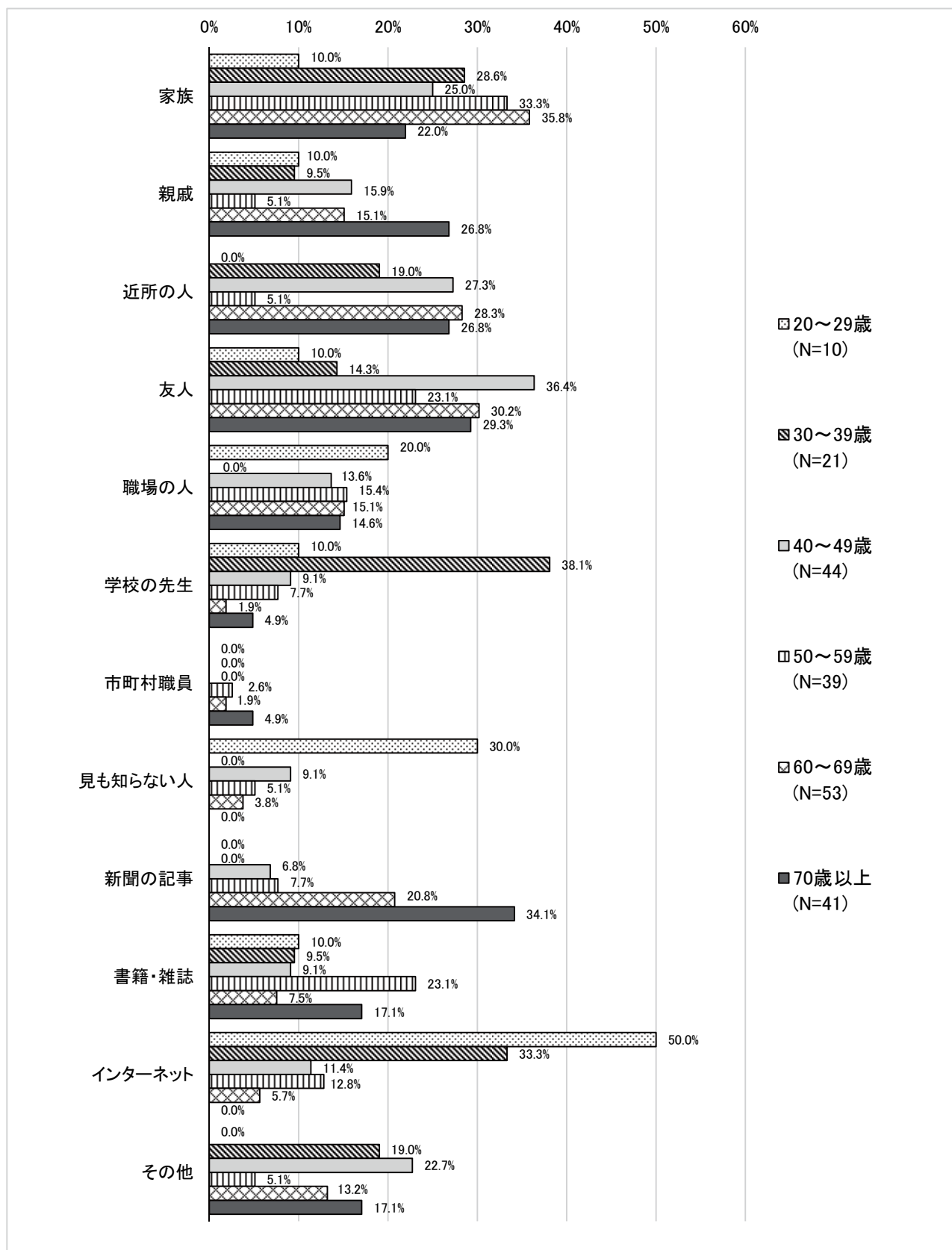
全体的にみると、「家族」(28.4%)と回答した人の割合が最も高く、次いで「友人」(27.4%)となっている。男女別にみても、同じような傾向にあると言える。

## 2) 年齢層別特徴

回答項目		家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	学校の先生	市町村職員
20～29歳	回答数	1	1	0	1	2	1	0
	度数(%)	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%
30～39歳	回答数	6	2	4	3	0	8	0
	度数(%)	28.6%	9.5%	19.0%	14.3%	0.0%	38.1%	0.0%
40～49歳	回答数	11	7	12	16	6	4	0
	度数(%)	25.0%	15.9%	27.3%	36.4%	13.6%	9.1%	0.0%
50～59歳	回答数	13	2	2	9	6	3	1
	度数(%)	33.3%	5.1%	5.1%	23.1%	15.4%	7.7%	2.6%
60～69歳	回答数	19	8	15	16	8	1	1
	度数(%)	35.8%	15.1%	28.3%	30.2%	15.1%	1.9%	1.9%
70歳以上	回答数	9	11	11	12	6	2	2
	度数(%)	22.0%	26.8%	26.8%	29.3%	14.6%	4.9%	4.9%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		見も知らない人	新聞の記事	書籍・雑誌	インターネット	その他	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	3	0	1	5	0	0	10
	度数(%)	30.0%	0.0%	10.0%	50.0%	0.0%	0.0%	4.8%
30～39歳	回答数	0	0	2	7	4	0	21
	度数(%)	0.0%	0.0%	9.5%	33.3%	19.0%	0.0%	10.1%
40～49歳	回答数	4	3	4	5	10	0	44
	度数(%)	9.1%	6.8%	9.1%	11.4%	22.7%	0.0%	21.2%
50～59歳	回答数	2	3	9	5	2	0	39
	度数(%)	5.1%	7.7%	23.1%	12.8%	5.1%	0.0%	18.8%
60～69歳	回答数	2	11	4	3	7	0	53
	度数(%)	3.8%	20.8%	7.5%	5.7%	13.2%	0.0%	25.5%
70歳以上	回答数	0	14	7	0	7	0	41
	度数(%)	0.0%	34.1%	17.1%	0.0%	17.1%	0.0%	19.7%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



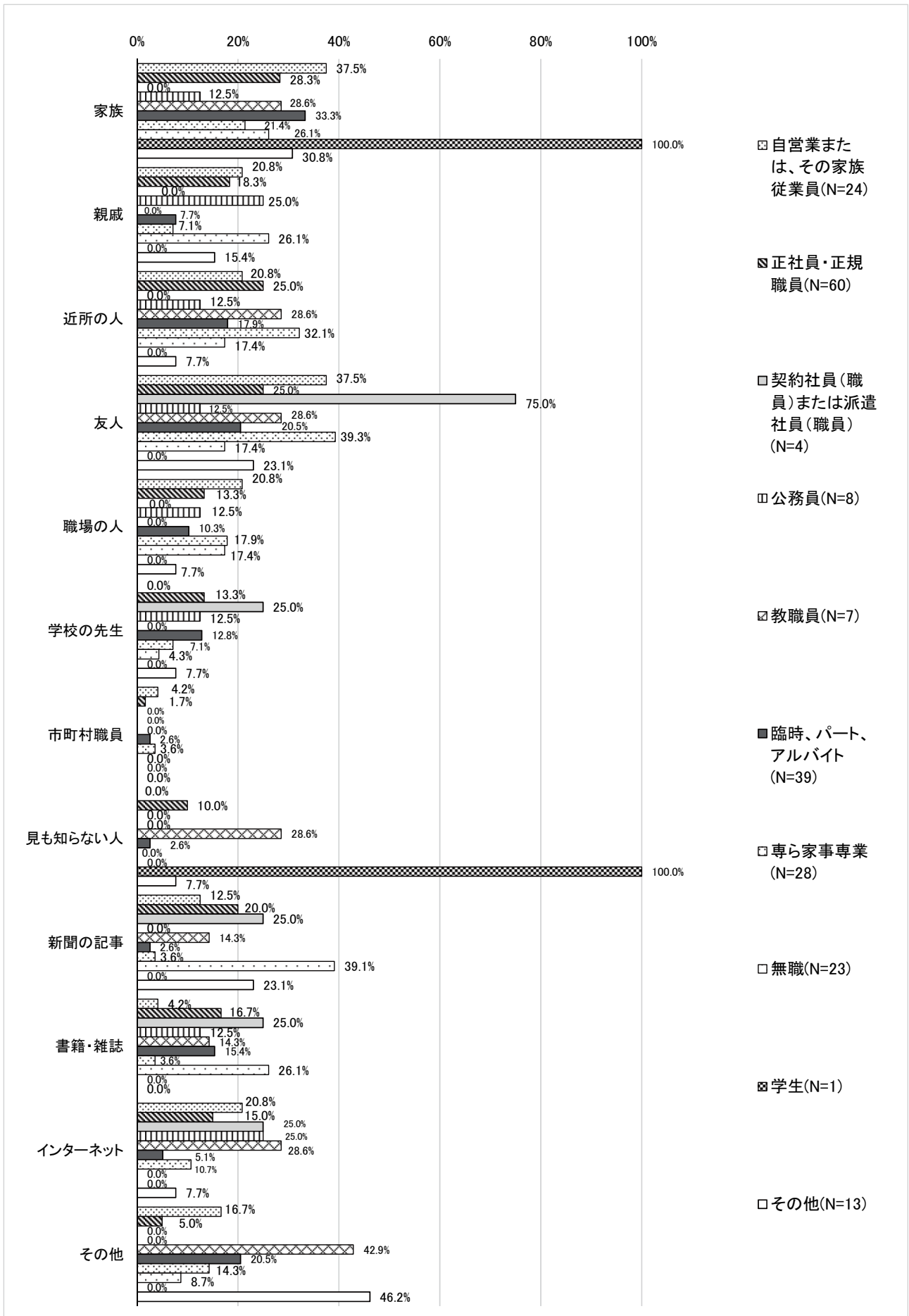


年齢別にみると、20～29歳では「インターネット」(50.0%)が最も高い割合となっており、30～39歳では「学校の先生」(38.1%)、40～49歳では「友人」(36.4%)、50～59歳(33.3%)と60～69歳(35.8%)では「家族」、70歳以上では「新聞の記事」(34.1%)が最も高い数値となっている。

3) 職業別特徴

回答項目		家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	学校の先生	市町村職員
自営業または、 その家族従業員	回答数	9	5	5	9	5	0	1
	度数(%)	37.5%	20.8%	20.8%	37.5%	20.8%	0.0%	4.2%
正社員・正規職員	回答数	17	11	15	15	8	8	1
	度数(%)	28.3%	18.3%	25.0%	25.0%	13.3%	13.3%	1.7%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	0	0	0	3	0	1	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%
公務員	回答数	1	2	1	1	1	1	0
	度数(%)	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%
教職員	回答数	2	0	2	2	0	0	0
	度数(%)	28.6%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
臨時、パート、 アルバイト	回答数	13	3	7	8	4	5	1
	度数(%)	33.3%	7.7%	17.9%	20.5%	10.3%	12.8%	2.6%
専ら家事専業	回答数	6	2	9	11	5	2	1
	度数(%)	21.4%	7.1%	32.1%	39.3%	17.9%	7.1%	3.6%
無職	回答数	6	6	4	4	4	1	0
	度数(%)	26.1%	26.1%	17.4%	17.4%	17.4%	4.3%	0.0%
学生	回答数	1	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答数	4	2	1	3	1	1	0
	度数(%)	30.8%	15.4%	7.7%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%
無回答	回答数	0	0	0	1	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		見も知らない人	新聞の記事	書籍・雑誌	インターネット	その他	不明・無回答	回答者数
自営業または、 その家族従業員	回答数	0	3	1	5	4	0	24
	度数(%)	0.0%	12.5%	4.2%	20.8%	16.7%	0.0%	11.5%
正社員・正規職員	回答数	6	12	10	9	3	0	60
	度数(%)	10.0%	20.0%	16.7%	15.0%	5.0%	0.0%	28.8%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	0	1	1	1	0	0	4
	度数(%)	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	1.9%
公務員	回答数	0	0	1	2	0	0	8
	度数(%)	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	3.8%
教職員	回答数	2	1	1	2	3	0	7
	度数(%)	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%	3.4%
臨時、パート、 アルバイト	回答数	1	1	6	2	8	0	39
	度数(%)	2.6%	2.6%	15.4%	5.1%	20.5%	0.0%	18.8%
専ら家事専業	回答数	0	1	1	3	4	0	28
	度数(%)	0.0%	3.6%	3.6%	10.7%	14.3%	0.0%	13.5%
無職	回答数	0	9	6	0	2	0	23
	度数(%)	0.0%	39.1%	26.1%	0.0%	8.7%	0.0%	11.1%
学生	回答数	1	0	0	0	0	0	1
	度数(%)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
その他	回答数	1	3	0	1	6	0	13
	度数(%)	7.7%	23.1%	0.0%	7.7%	46.2%	0.0%	6.3%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	1
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%

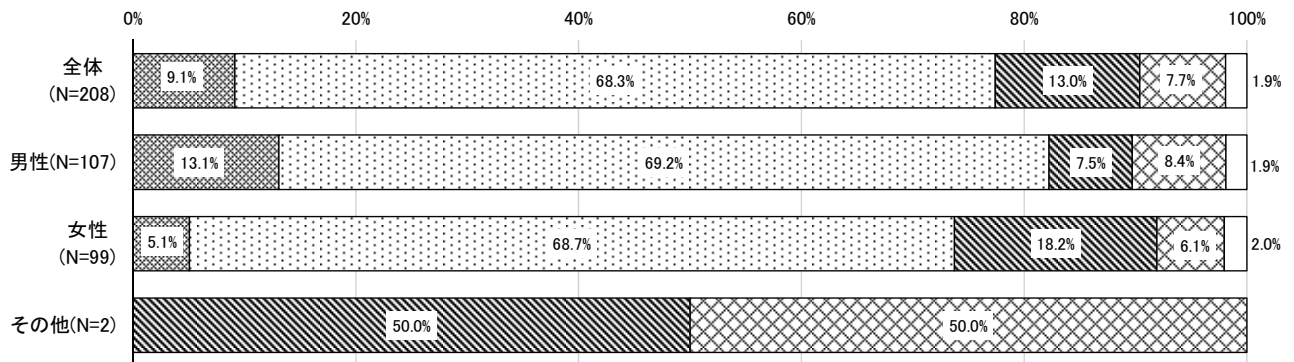


職業別にみると、母数(N)に偏りがあるため回答の数値にばらつきがあるものの、「家族」や「友人」と回答した人の割合が高い。

問24 質問22で「ある」と答えた方におたずねします。その話を見たり聞いたりした時、どう感じましたか。当てはまる番号1つを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		そのとおりに思った	そういう見方もあるのかと思った	そういうことはないと思った	特に何も思わなかった	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	19	142	27	16	4	208
	度数(%)	9.1%	68.3%	13.0%	7.7%	1.9%	100.0%
男性	回答数	14	74	8	9	2	107
	度数(%)	13.1%	69.2%	7.5%	8.4%	1.9%	51.4%
女性	回答数	5	68	18	6	2	99
	度数(%)	5.1%	68.7%	18.2%	6.1%	2.0%	47.6%
その他	回答数	0	0	1	1	0	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	1.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

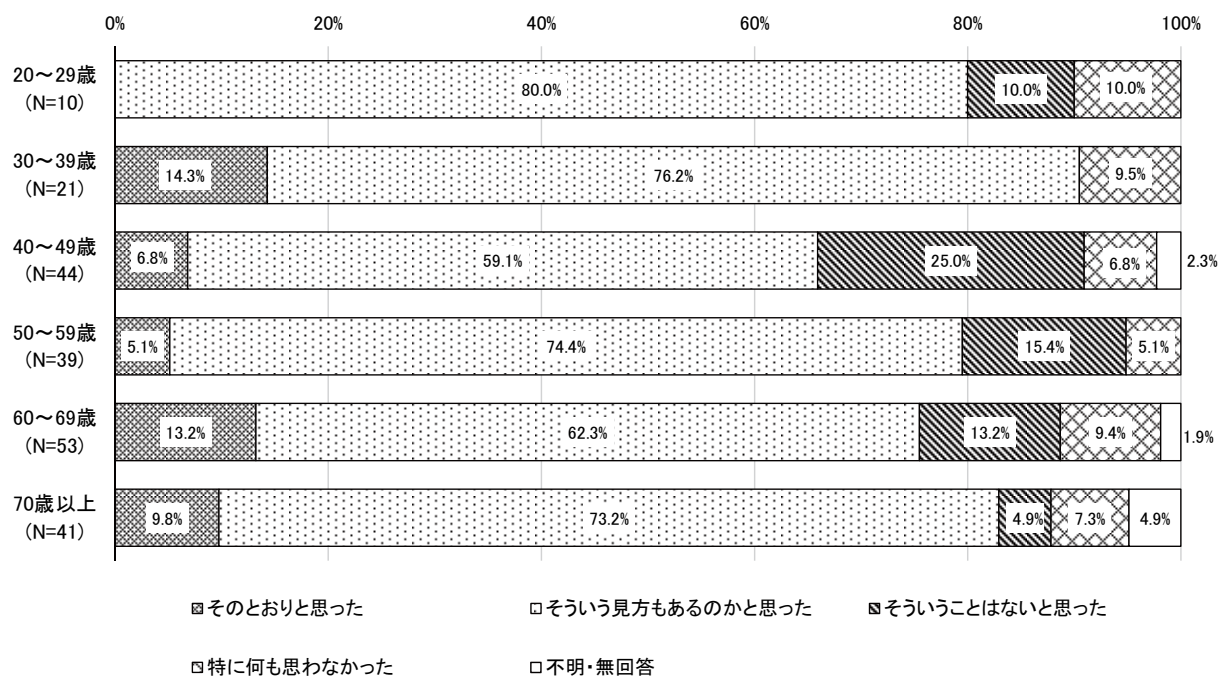


■そのとおりに思った □そういう見方もあるのかと思った ▨そういうことはないと思った ▩特に何も思わなかった ○不明・無回答

全体的にみると、「そういう見方もあるのかと思った」と回答した人が最も多く、68.3%となっている。  
男女別にみると、「そのとおりに思った」は、男性 13.1%、女性 5.1%となっており、男性が 8 ポイント高く、「そういうことはないと思った」は男性 7.5%、女性 18.2%で女性が 10.7 ポイント高い。

2)年齢層別特徴

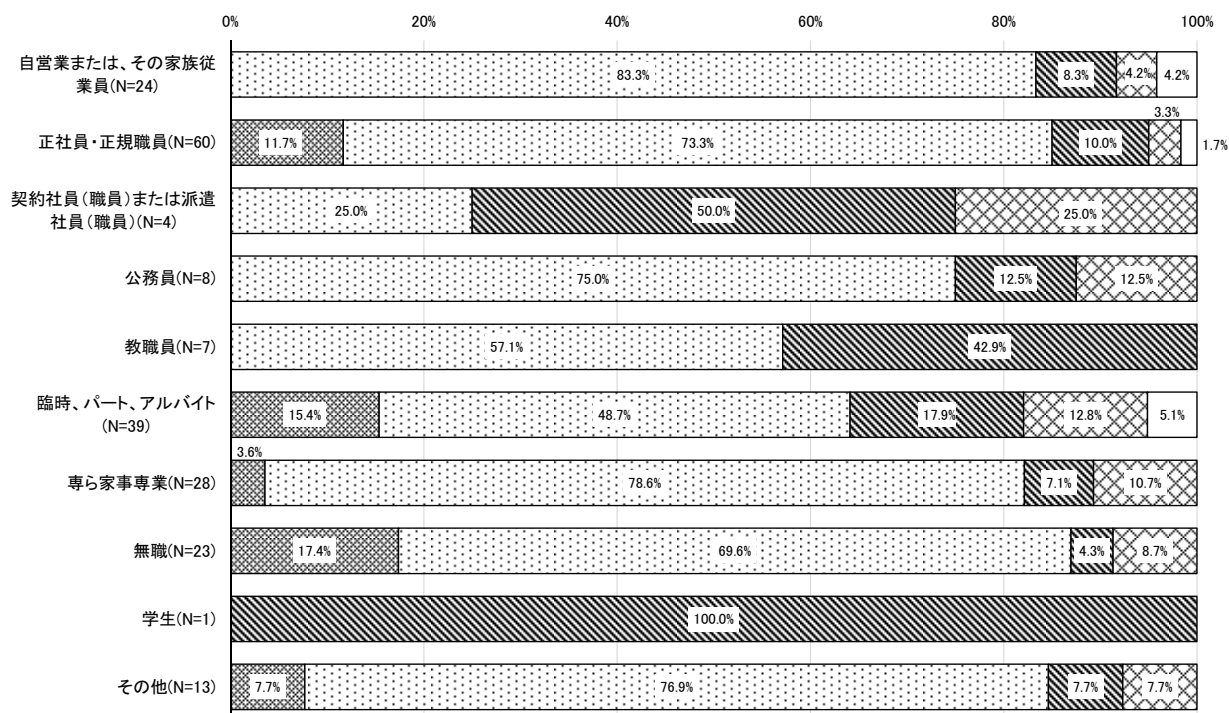
回答項目		そのとおりと 思った	そういう見 方もあるの かと思った	そういうこと はないと 思った	特に何も思 わなかった	不明・無回 答	回答者数
20～29歳	回答数	0	8	1	1	0	10
	度数(%)	0.0%	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%	4.8%
30～39歳	回答数	3	16	0	2	0	21
	度数(%)	14.3%	76.2%	0.0%	9.5%	0.0%	10.1%
40～49歳	回答数	3	26	11	3	1	44
	度数(%)	6.8%	59.1%	25.0%	6.8%	2.3%	21.2%
50～59歳	回答数	2	29	6	2	0	39
	度数(%)	5.1%	74.4%	15.4%	5.1%	0.0%	18.8%
60～69歳	回答数	7	33	7	5	1	53
	度数(%)	13.2%	62.3%	13.2%	9.4%	1.9%	25.5%
70歳以上	回答数	4	30	2	3	2	41
	度数(%)	9.8%	73.2%	4.9%	7.3%	4.9%	19.7%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



年齢別にみても「そういう見方もあるのかと思った」と回答した人の割合が最も高い。

### 3) 職業別特徴

回答項目		そのとおりに思った	そういう見方もあるのかと思った	そういうことはないと思った	特に何も思わなかった	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	0	20	2	1	1	24
	度数(%)	0.0%	83.3%	8.3%	4.2%	4.2%	11.5%
正社員・正規職員	回答数	7	44	6	2	1	60
	度数(%)	11.7%	73.3%	10.0%	3.3%	1.7%	28.8%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	0	1	2	1	0	4
	度数(%)	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	1.9%
公務員	回答数	0	6	1	1	0	8
	度数(%)	0.0%	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%	3.8%
教職員	回答数	0	4	3	0	0	7
	度数(%)	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	3.4%
臨時、パート、アルバイト	回答数	6	19	7	5	2	39
	度数(%)	15.4%	48.7%	17.9%	12.8%	5.1%	18.8%
専ら家事専業	回答数	1	22	2	3	0	28
	度数(%)	3.6%	78.6%	7.1%	10.7%	0.0%	13.5%
無職	回答数	4	16	1	2	0	23
	度数(%)	17.4%	69.6%	4.3%	8.7%	0.0%	11.1%
学生	回答数	0	0	1	0	0	1
	度数(%)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.5%
その他	回答数	1	10	1	1	0	13
	度数(%)	7.7%	76.9%	7.7%	7.7%	0.0%	6.3%
無回答	回答数	0	0	1	0	0	1
	度数(%)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.5%



□ そのとおりに思った ▨ そういう見方もあるのかと思った ▩ そういうことはないと思った ▧ 特に何も思わなかった ▤ 不明・無回答

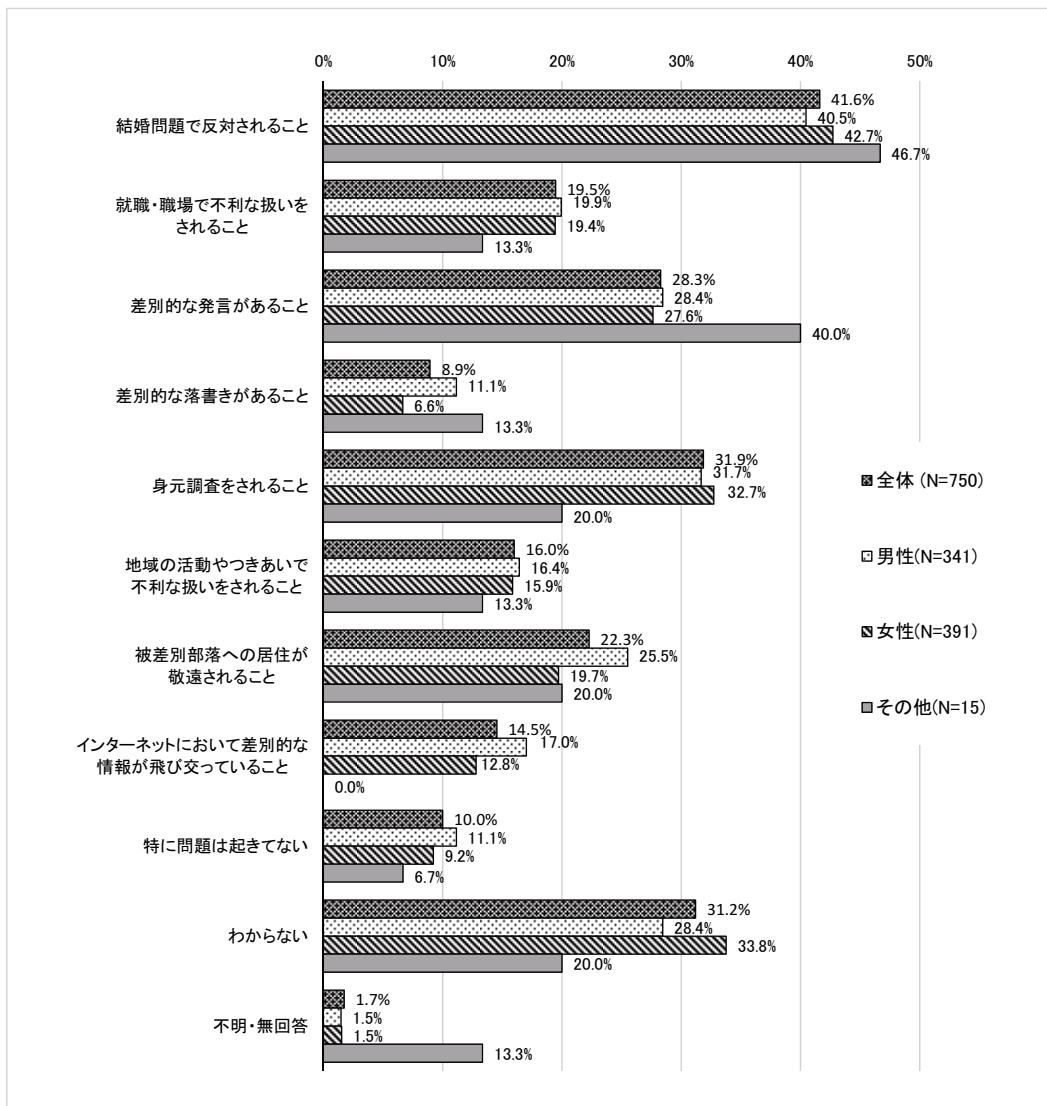
職業別にみてもほぼ、全ての職業において「そういう見方もあるのかと思った」と回答した人の割合が最も高かった。

(「契約社員(職員)または派遣社員(職員)」(N=4)、「学生」(N=1)は母数が小さすぎるため傾向が分からず)

問25 あなたは部落差別問題（同和問題）に関して現在どのような問題が起きていると思いますか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目	結婚問題で反対されること	就職・職場で不利な扱いをされること	差別的な発言があること	差別的な落書きがあること	身元調査をされること	地域の活動やつきあいで不利な扱いをされること	被差別部落への居住が敬遠されること	インターネットにおいて差別的な情報が飛び交っていること	特に問題は起きてない	わからない	不明・無回答	回答者数
												回答数
全体	312	146	212	67	239	120	167	109	75	234	13	750
	41.6%	19.5%	28.3%	8.9%	31.9%	16.0%	22.3%	14.5%	10.0%	31.2%	1.7%	100.0%
男性	138	68	97	38	108	56	87	58	38	97	5	341
	40.5%	19.9%	28.4%	11.1%	31.7%	16.4%	25.5%	17.0%	11.1%	28.4%	1.5%	45.5%
女性	167	76	108	26	128	62	77	50	36	132	6	391
	42.7%	19.4%	27.6%	6.6%	32.7%	15.9%	19.7%	12.8%	9.2%	33.8%	1.5%	52.1%
その他	7	2	6	2	3	2	3	0	1	3	2	15
	46.7%	13.3%	40.0%	13.3%	20.0%	13.3%	20.0%	0.0%	6.7%	20.0%	13.3%	2.0%
無回答	0	0	1	1	0	0	0	1	0	2	0	3
	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.4%

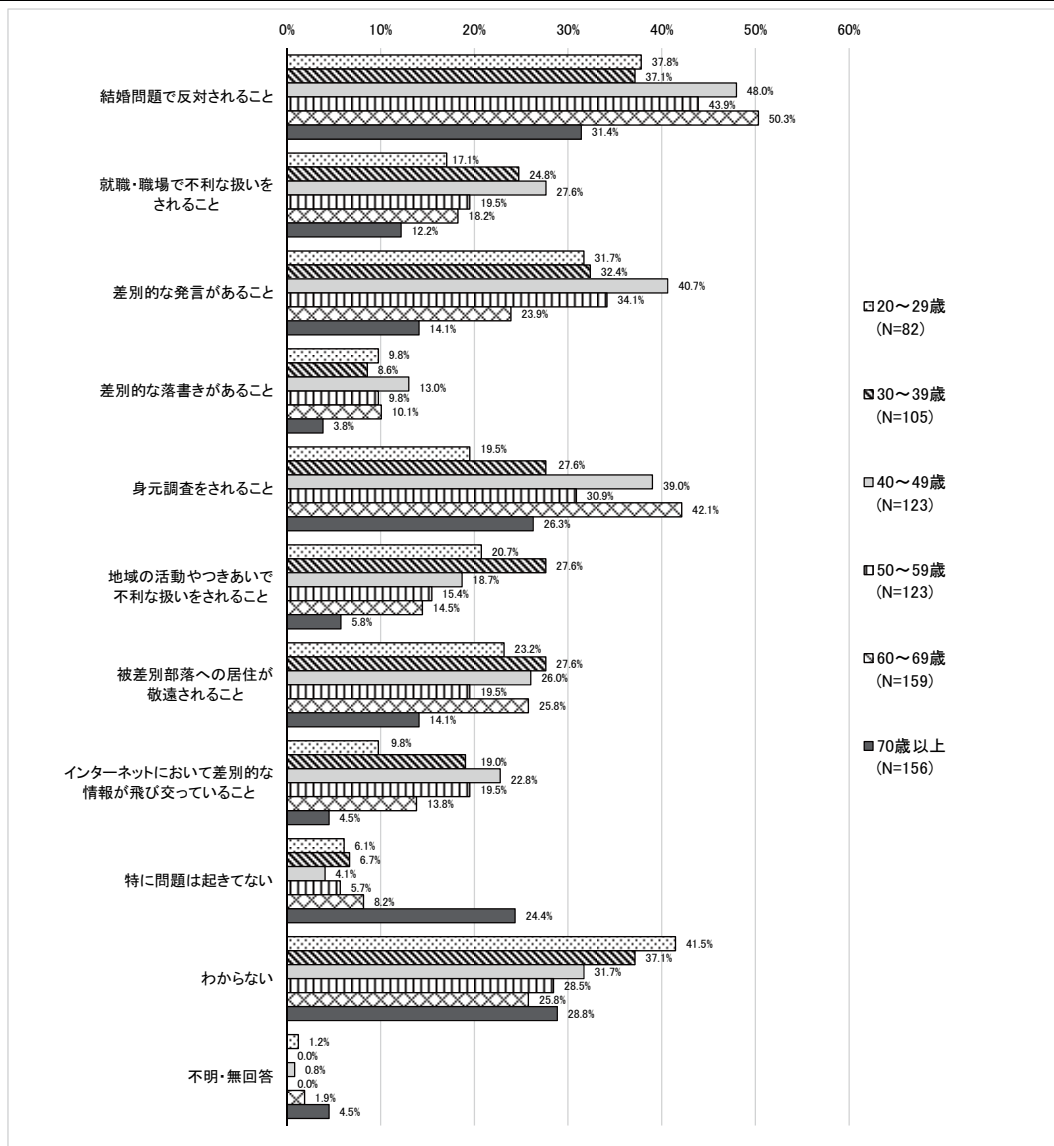


全体的に見ると「結婚問題で反対されること」(41.6%)、「身元調査をされること」(31.9%)、「差別的な発言があること」(28.3%)と回答した人の割合が高い。

男女別にみても、同じような傾向にあると言える。

## 2)年齢層別特徴

回答項目		結婚問題で反対されること	就職・職場で不利な扱いをされること	差別的な発言があること	差別的な落書きがあること	身元調査をされること	地域の活動やつきあいで不利な扱いをされること	被差別部落への居住が敬遠されること	インターネットにおいて差別的な情報が飛び交っていること	特に問題は起きてない	わからない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	31	14	26	8	16	17	19	8	5	34	1	82
	度数(%)	37.8%	17.1%	31.7%	9.8%	19.5%	20.7%	23.2%	9.8%	6.1%	41.5%	1.2%	10.9%
30～39歳	回答数	39	26	34	9	29	29	29	20	7	39	0	105
	度数(%)	37.1%	24.8%	32.4%	8.6%	27.6%	27.6%	27.6%	19.0%	6.7%	37.1%	0.0%	14.0%
40～49歳	回答数	59	34	50	16	48	23	32	28	5	39	1	123
	度数(%)	48.0%	27.6%	40.7%	13.0%	39.0%	18.7%	26.0%	22.8%	4.1%	31.7%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	54	24	42	12	38	19	24	24	7	35	0	123
	度数(%)	43.9%	19.5%	34.1%	9.8%	30.9%	15.4%	19.5%	19.5%	5.7%	28.5%	0.0%	16.4%
60～69歳	回答数	80	29	38	16	67	23	41	22	13	41	3	159
	度数(%)	50.3%	18.2%	23.9%	10.1%	42.1%	14.5%	25.8%	13.8%	8.2%	25.8%	1.9%	21.2%
70歳以上	回答数	49	19	22	6	41	9	22	7	38	45	7	156
	度数(%)	31.4%	12.2%	14.1%	3.8%	26.3%	5.8%	14.1%	4.5%	24.4%	28.8%	4.5%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.3%

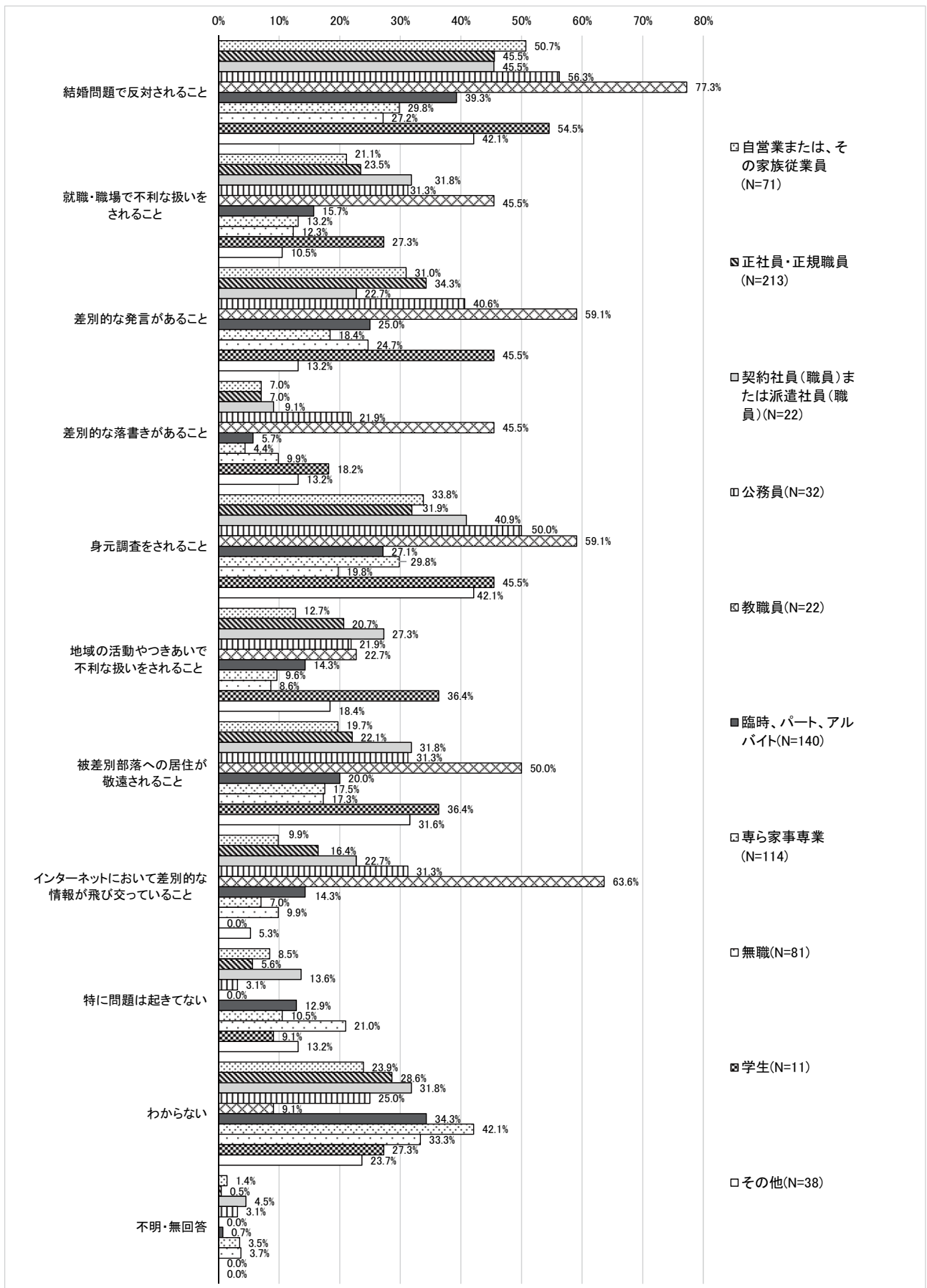


年齢別にみると、どの年齢層においても「結婚問題で反対されること」と回答した人の割合が最も高い。二番目に多い回答は20～59歳では「差別的な発言があること」、60歳以上は「身元調査をされること」となっている。



### 3) 職業別特徴

回答項目	結婚問題 で反対されること	就職・職場 で不利な 扱いをされること	差別的な 発言がある こと	差別的な 落書きがある こと	身元調査を されること	地域の活 動やつきあ いで不利な 扱いをされること	被差別部 落への居 住が敬遠さ れること	インター ネットにお いて差別 的な情報 が飛び交っ ていること	特に問題 は起きてな い	わからない	不明・無回 答	回答者数	
自営業または、 その家族従業員	回答数	36	15	22	5	24	9	14	7	6	17	1	71
	度数(%)	50.7%	21.1%	31.0%	7.0%	33.8%	12.7%	19.7%	9.9%	8.5%	23.9%	1.4%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	97	50	73	15	68	44	47	35	12	61	1	213
	度数(%)	45.5%	23.5%	34.3%	7.0%	31.9%	20.7%	22.1%	16.4%	5.6%	28.6%	0.5%	28.4%
契約社員(職員)または派 遣社員(職員)	回答数	10	7	5	2	9	6	7	5	3	7	1	22
	度数(%)	45.5%	31.8%	22.7%	9.1%	40.9%	27.3%	31.8%	22.7%	13.6%	31.8%	4.5%	2.9%
公務員	回答数	18	10	13	7	16	7	10	10	1	8	1	32
	度数(%)	56.3%	31.3%	40.6%	21.9%	50.0%	21.9%	31.3%	31.3%	3.1%	25.0%	3.1%	4.3%
教職員	回答数	17	10	13	10	13	5	11	14	0	2	0	22
	度数(%)	77.3%	45.5%	59.1%	45.5%	59.1%	22.7%	50.0%	63.6%	0.0%	9.1%	0.0%	2.9%
臨時、パート、 アルバイト	回答数	55	22	35	8	38	20	28	20	18	48	1	140
	度数(%)	39.3%	15.7%	25.0%	5.7%	27.1%	14.3%	20.0%	14.3%	12.9%	34.3%	0.7%	18.7%
専ら家事専業	回答数	34	15	21	5	34	11	20	8	12	48	4	114
	度数(%)	29.8%	13.2%	18.4%	4.4%	29.8%	9.6%	17.5%	7.0%	10.5%	42.1%	3.5%	15.2%
無職	回答数	22	10	20	8	16	7	14	8	17	27	3	81
	度数(%)	27.2%	12.3%	24.7%	9.9%	19.8%	8.6%	17.3%	9.9%	21.0%	33.3%	3.7%	10.8%
学生	回答数	6	3	5	2	5	4	4	0	1	3	0	11
	度数(%)	54.5%	27.3%	45.5%	18.2%	45.5%	36.4%	36.4%	0.0%	9.1%	27.3%	0.0%	1.5%
その他	回答数	16	4	5	5	16	7	12	2	5	9	0	38
	度数(%)	42.1%	10.5%	13.2%	13.2%	42.1%	18.4%	31.6%	5.3%	13.2%	23.7%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	6
	度数(%)	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%	0.8%

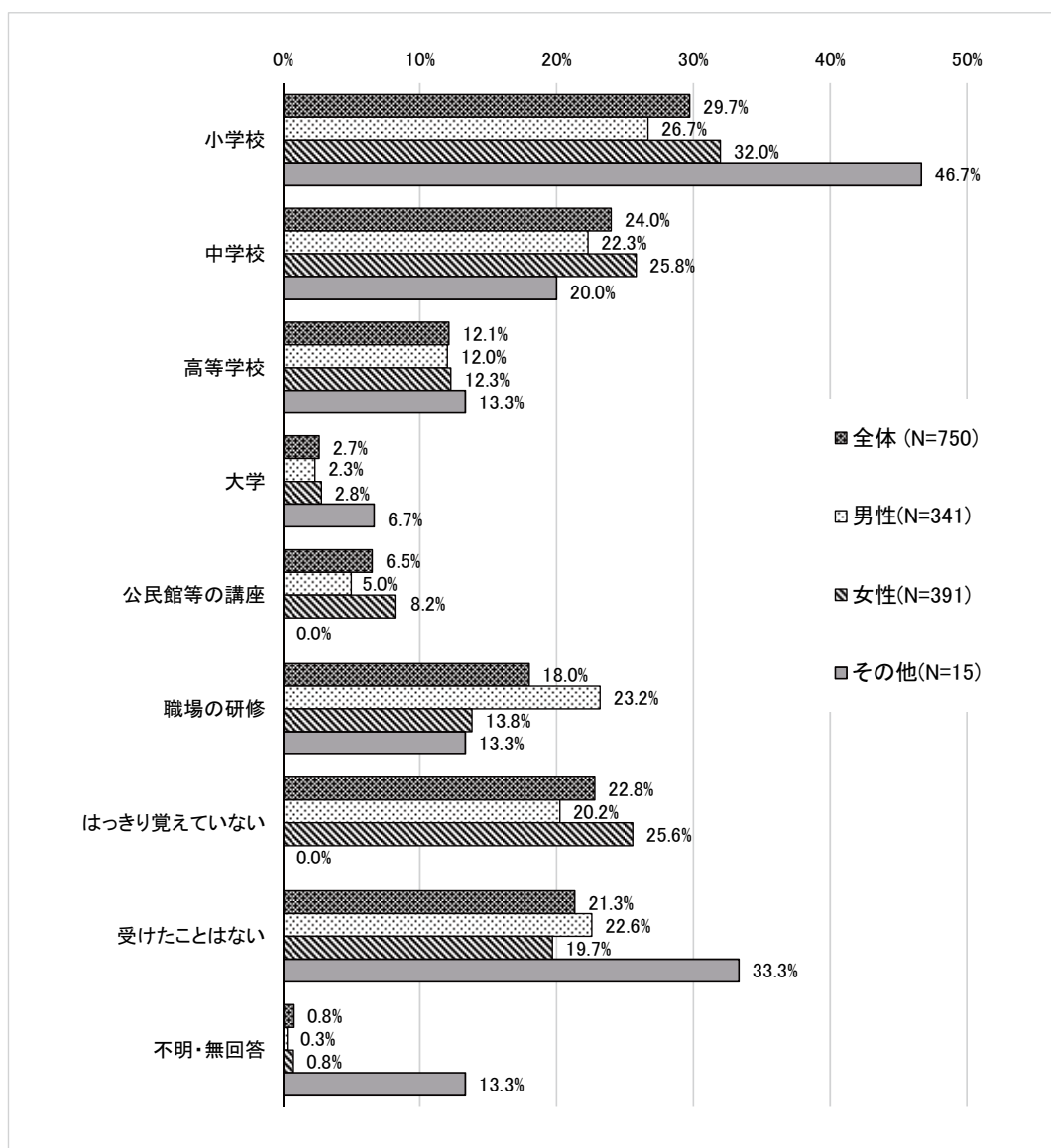


職業別にみると、どの職業においても「結婚問題で反対されること」の割合が最も高くなっている。次いで、「身元調査をされること」「差別的な発言があること」の割合も高くなっている。教職員では「インターネットにおいて差別的な情報が飛び交っていること」の割合が他と比べてとても高い。

問26 あなたはこれまで学校・職場・地域などで部落差別問題（同和問題）についての学習や研修を受けたことがありますか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

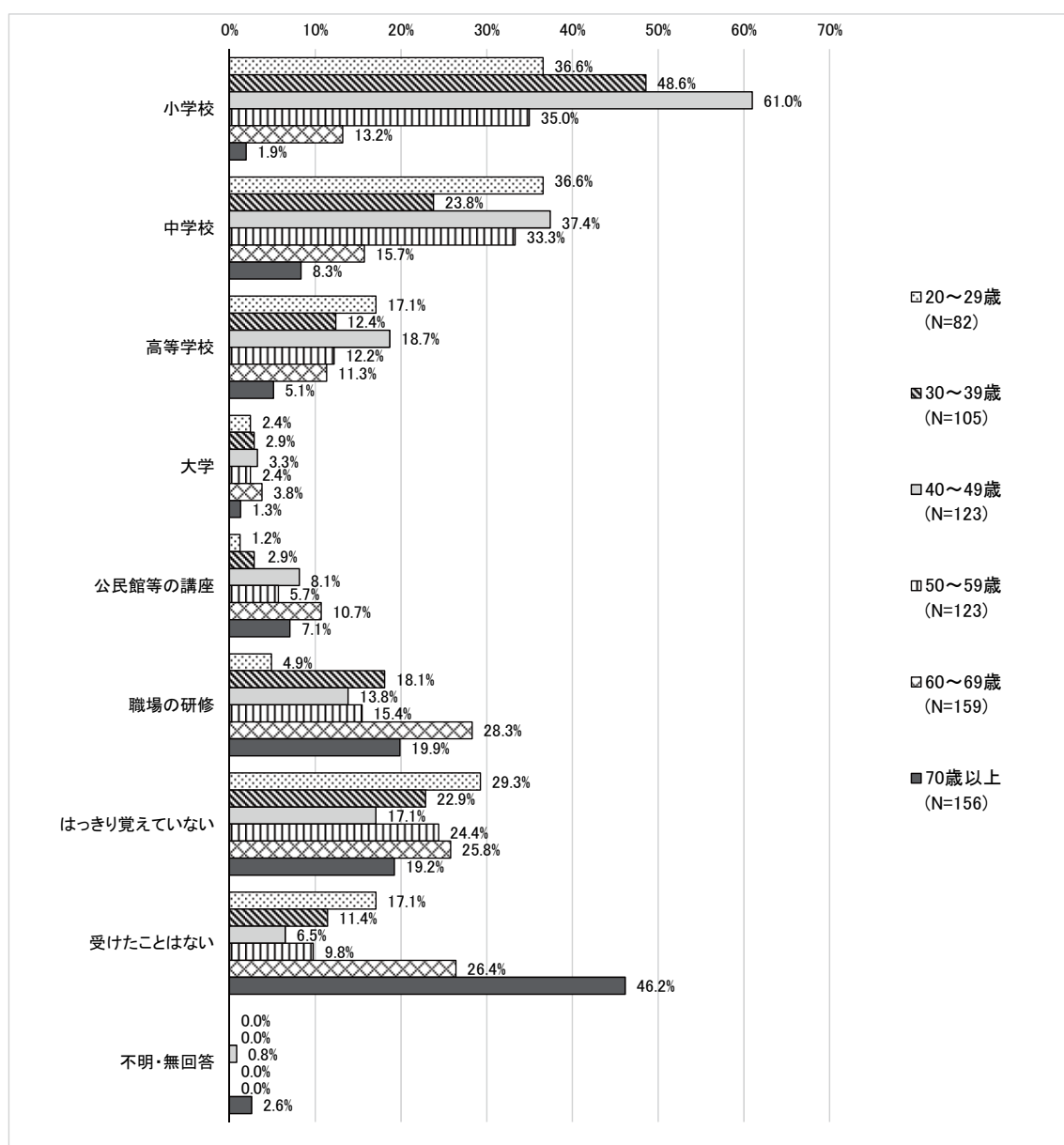
回答項目	小学校	中学校	高等学校	大学	公民館等の講座	職場の研修	はっきり覚えていない	受けたことはない	不明・無回答	回答者数
全体	223	180	91	20	49	135	171	160	6	750
	29.7%	24.0%	12.1%	2.7%	6.5%	18.0%	22.8%	21.3%	0.8%	100.0%
男性	91	76	41	8	17	79	69	77	1	341
	26.7%	22.3%	12.0%	2.3%	5.0%	23.2%	20.2%	22.6%	0.3%	45.5%
女性	125	101	48	11	32	54	100	77	3	391
	32.0%	25.8%	12.3%	2.8%	8.2%	13.8%	25.6%	19.7%	0.8%	52.1%
その他	7	3	2	1	0	2	0	5	2	15
	46.7%	20.0%	13.3%	6.7%	0.0%	13.3%	0.0%	33.3%	13.3%	2.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.4%



全体的に見ると「小学校」「中学校」で学習をしたと回答した人の割合が高い。  
また、男女別にみると、男性は「職場の研修」と回答した人の割合が女性に比べて高い。

## 2)年齢層別特徴

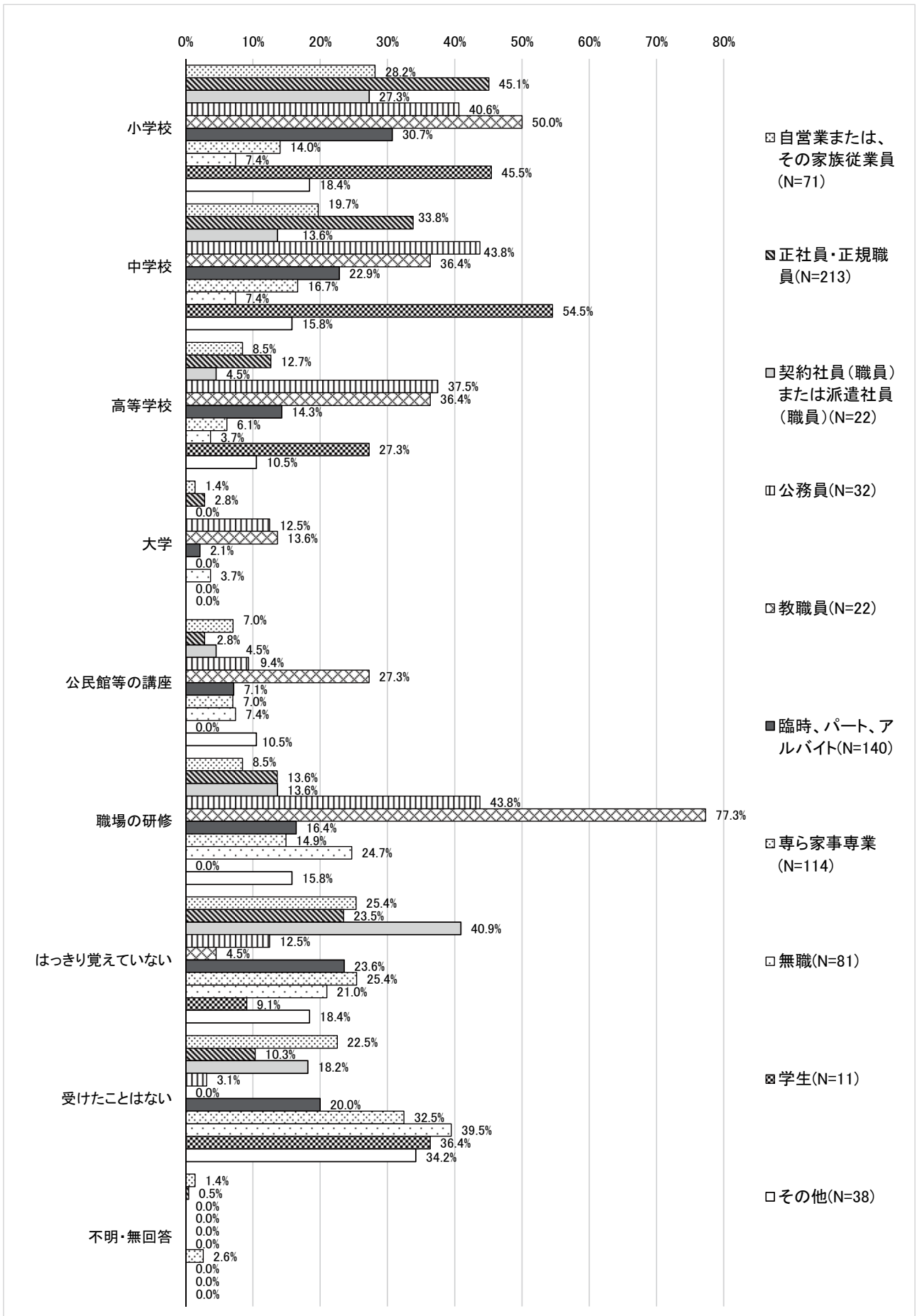
回答項目	小学校	中学校	高等学校	大学	公民館等の講座	職場の研修	はっきり覚えていない	受けたことはない	不明・無回答	回答者数	
20～29歳	回答数	30	30	14	2	1	4	24	14	0	82
	度数(%)	36.6%	36.6%	17.1%	2.4%	1.2%	4.9%	29.3%	17.1%	0.0%	10.9%
30～39歳	回答数	51	25	13	3	3	19	24	12	0	105
	度数(%)	48.6%	23.8%	12.4%	2.9%	2.9%	18.1%	22.9%	11.4%	0.0%	14.0%
40～49歳	回答数	75	46	23	4	10	17	21	8	1	123
	度数(%)	61.0%	37.4%	18.7%	3.3%	8.1%	13.8%	17.1%	6.5%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	43	41	15	3	7	19	30	12	0	123
	度数(%)	35.0%	33.3%	12.2%	2.4%	5.7%	15.4%	24.4%	9.8%	0.0%	16.4%
60～69歳	回答数	21	25	18	6	17	45	41	42	0	159
	度数(%)	13.2%	15.7%	11.3%	3.8%	10.7%	28.3%	25.8%	26.4%	0.0%	21.2%
70歳以上	回答数	3	13	8	2	11	31	30	72	4	156
	度数(%)	1.9%	8.3%	5.1%	1.3%	7.1%	19.9%	19.2%	46.2%	2.6%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.3%



年齢別にみると60歳未満では「小学校」「中学校」で学習した人の割合が高い傾向にあるが、60歳以上では「職場の研修」と回答した人の割合のほうが高い。

### 3) 職業別特徴

回答項目		小学校	中学校	高等学校	大学	公民館等の講座	職場の研修	はっきり覚えていない	受けたことはない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	20	14	6	1	5	6	18	16	1	71
	度数(%)	28.2%	19.7%	8.5%	1.4%	7.0%	8.5%	25.4%	22.5%	1.4%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	96	72	27	6	6	29	50	22	1	213
	度数(%)	45.1%	33.8%	12.7%	2.8%	2.8%	13.6%	23.5%	10.3%	0.5%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	6	3	1	0	1	3	9	4	0	22
	度数(%)	27.3%	13.6%	4.5%	0.0%	4.5%	13.6%	40.9%	18.2%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	13	14	12	4	3	14	4	1	0	32
	度数(%)	40.6%	43.8%	37.5%	12.5%	9.4%	43.8%	12.5%	3.1%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	11	8	8	3	6	17	1	0	0	22
	度数(%)	50.0%	36.4%	36.4%	13.6%	27.3%	77.3%	4.5%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	43	32	20	3	10	23	33	28	0	140
	度数(%)	30.7%	22.9%	14.3%	2.1%	7.1%	16.4%	23.6%	20.0%	0.0%	18.7%
専ら家事専業	回答数	16	19	7	0	8	17	29	37	3	114
	度数(%)	14.0%	16.7%	6.1%	0.0%	7.0%	14.9%	25.4%	32.5%	2.6%	15.2%
無職	回答数	6	6	3	3	6	20	17	32	0	81
	度数(%)	7.4%	7.4%	3.7%	3.7%	7.4%	24.7%	21.0%	39.5%	0.0%	10.8%
学生	回答数	5	6	3	0	0	0	1	4	0	11
	度数(%)	45.5%	54.5%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	36.4%	0.0%	1.5%
その他	回答数	7	6	4	0	4	6	7	13	0	38
	度数(%)	18.4%	15.8%	10.5%	0.0%	10.5%	15.8%	18.4%	34.2%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	2	3	1	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.8%



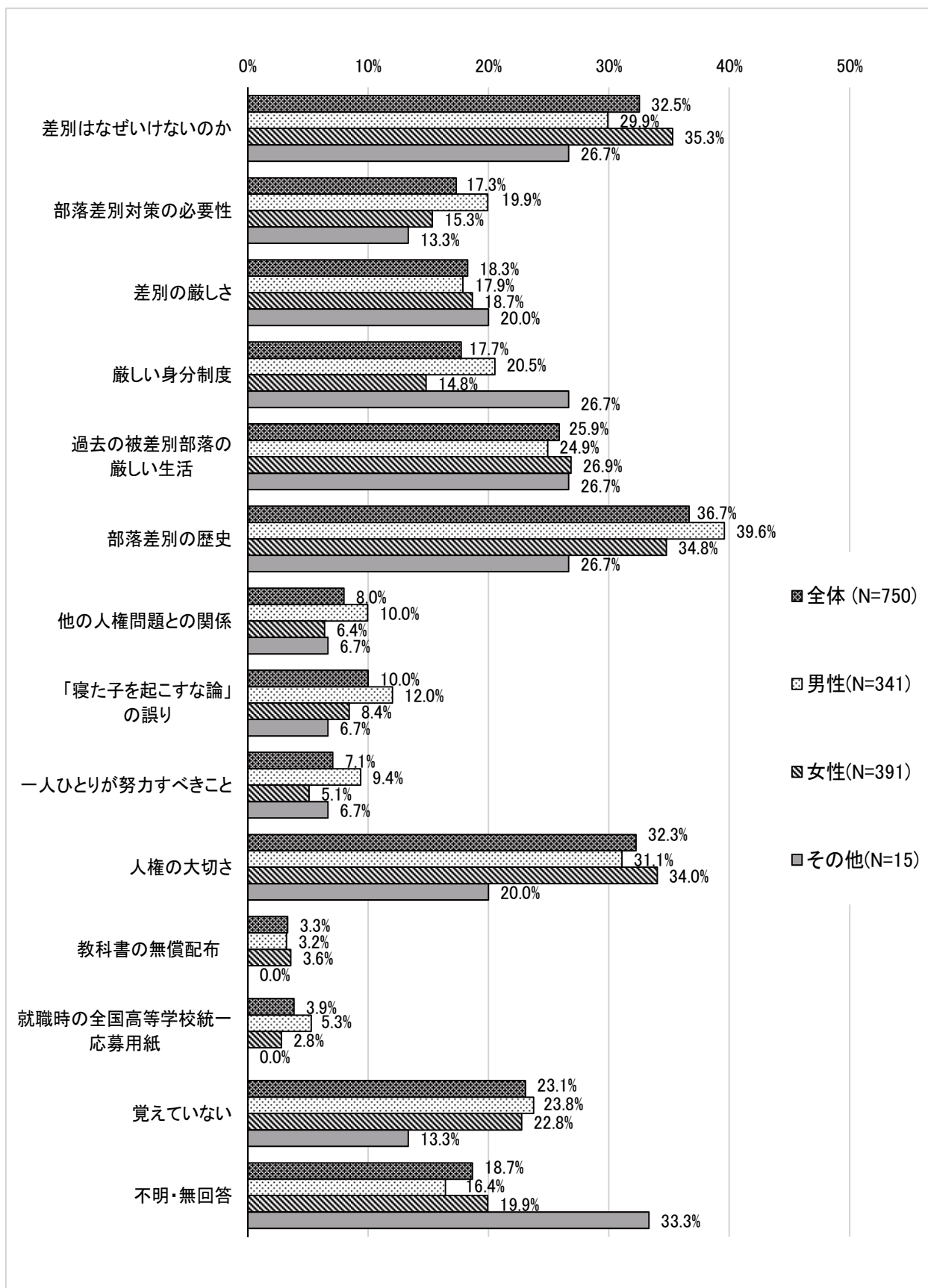
職業別にしてみると「小学校」「中学校」「高等学校」などと回答する人の割合が全体的に高いが、公務員・教職員では「職場の研修」と回答した人の割合が他と比べて高い。

問27 それはどのような内容だったのでしょうか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		差別はなぜいけないのか	部落差別対策の必要性	差別の厳しさ	厳しい身分制度	過去の被差別部落の厳しい生活	部落差別の歴史	他の人権問題との関係	「寝た子を起こすな論」の誤り
全体	回答数	244	130	137	133	194	275	60	75
	度数(%)	32.5%	17.3%	18.3%	17.7%	25.9%	36.7%	8.0%	10.0%
男性	回答数	102	68	61	70	85	135	34	41
	度数(%)	29.9%	19.9%	17.9%	20.5%	24.9%	39.6%	10.0%	12.0%
女性	回答数	138	60	73	58	105	136	25	33
	度数(%)	35.3%	15.3%	18.7%	14.8%	26.9%	34.8%	6.4%	8.4%
その他	回答数	4	2	3	4	4	4	1	1
	度数(%)	26.7%	13.3%	20.0%	26.7%	26.7%	26.7%	6.7%	6.7%
無回答	回答数	0	0	0	1	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		一人ひとりが努力すべきこと	人権の大切さ	教科書の無償配布	就職時の全国高等学校統一応募用紙	覚えていない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	53	242	25	29	173	140	750
	度数(%)	7.1%	32.3%	3.3%	3.9%	23.1%	18.7%	100.0%
男性	回答数	32	106	11	18	81	56	341
	度数(%)	9.4%	31.1%	3.2%	5.3%	23.8%	16.4%	45.5%
女性	回答数	20	133	14	11	89	78	391
	度数(%)	5.1%	34.0%	3.6%	2.8%	22.8%	19.9%	52.1%
その他	回答数	1	3	0	0	2	5	15
	度数(%)	6.7%	20.0%	0.0%	0.0%	13.3%	33.3%	2.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	1	1	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.4%



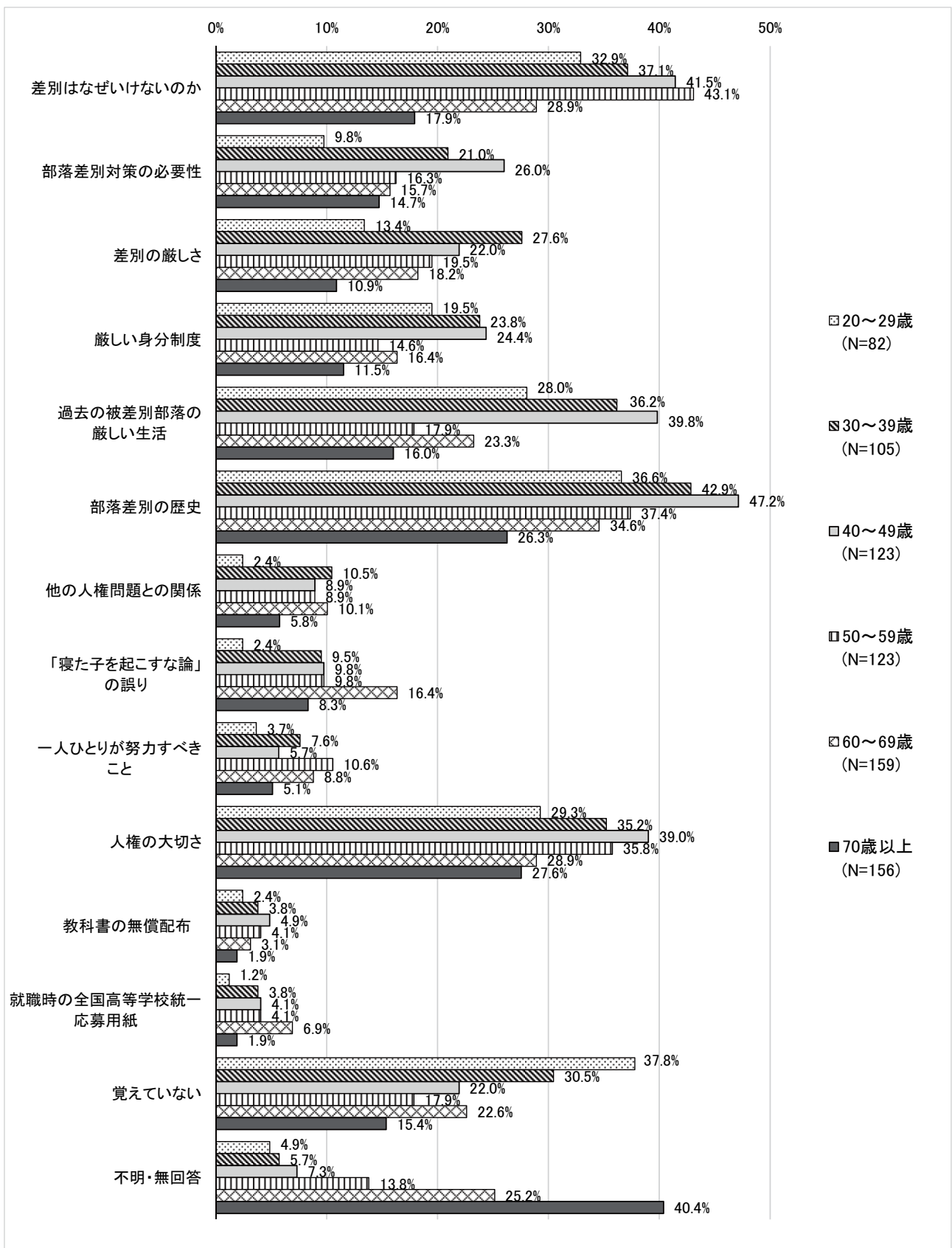
全体的に見ると「部落差別の歴史」「差別はなぜいけないのか」「人権の大切さ」と回答した人が多く、男性と女性を比べても同じような傾向にある。



2)年齢層別特徴

回答項目		差別はなぜ いけないの か	部落差別対 策の必要性	差別の厳し さ	厳しい身分 制度	過去の被差 別部落の厳 しい生活	部落差別の 歴史	他の人権問 題との関係	「寝た子を 起こすな論」 の誤り
20～29歳	回答数	27	8	11	16	23	30	2	2
	度数(%)	32.9%	9.8%	13.4%	19.5%	28.0%	36.6%	2.4%	2.4%
30～39歳	回答数	39	22	29	25	38	45	11	10
	度数(%)	37.1%	21.0%	27.6%	23.8%	36.2%	42.9%	10.5%	9.5%
40～49歳	回答数	51	32	27	30	49	58	11	12
	度数(%)	41.5%	26.0%	22.0%	24.4%	39.8%	47.2%	8.9%	9.8%
50～59歳	回答数	53	20	24	18	22	46	11	12
	度数(%)	43.1%	16.3%	19.5%	14.6%	17.9%	37.4%	8.9%	9.8%
60～69歳	回答数	46	25	29	26	37	55	16	26
	度数(%)	28.9%	15.7%	18.2%	16.4%	23.3%	34.6%	10.1%	16.4%
70歳以上	回答数	28	23	17	18	25	41	9	13
	度数(%)	17.9%	14.7%	10.9%	11.5%	16.0%	26.3%	5.8%	8.3%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		一人ひとり が努力すべ きこと	人権の大切 さ	教科書の無 償配布	就職時の全 国高等学校 統一応募用 紙	覚えていな い	不明・無回 答	回答者数
20～29歳	回答数	3	24	2	1	31	4	82
	度数(%)	3.7%	29.3%	2.4%	1.2%	37.8%	4.9%	10.9%
30～39歳	回答数	8	37	4	4	32	6	105
	度数(%)	7.6%	35.2%	3.8%	3.8%	30.5%	5.7%	14.0%
40～49歳	回答数	7	48	6	5	27	9	123
	度数(%)	5.7%	39.0%	4.9%	4.1%	22.0%	7.3%	16.4%
50～59歳	回答数	13	44	5	5	22	17	123
	度数(%)	10.6%	35.8%	4.1%	4.1%	17.9%	13.8%	16.4%
60～69歳	回答数	14	46	5	11	36	40	159
	度数(%)	8.8%	28.9%	3.1%	6.9%	22.6%	25.2%	21.2%
70歳以上	回答数	8	43	3	3	24	63	156
	度数(%)	5.1%	27.6%	1.9%	1.9%	15.4%	40.4%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.3%



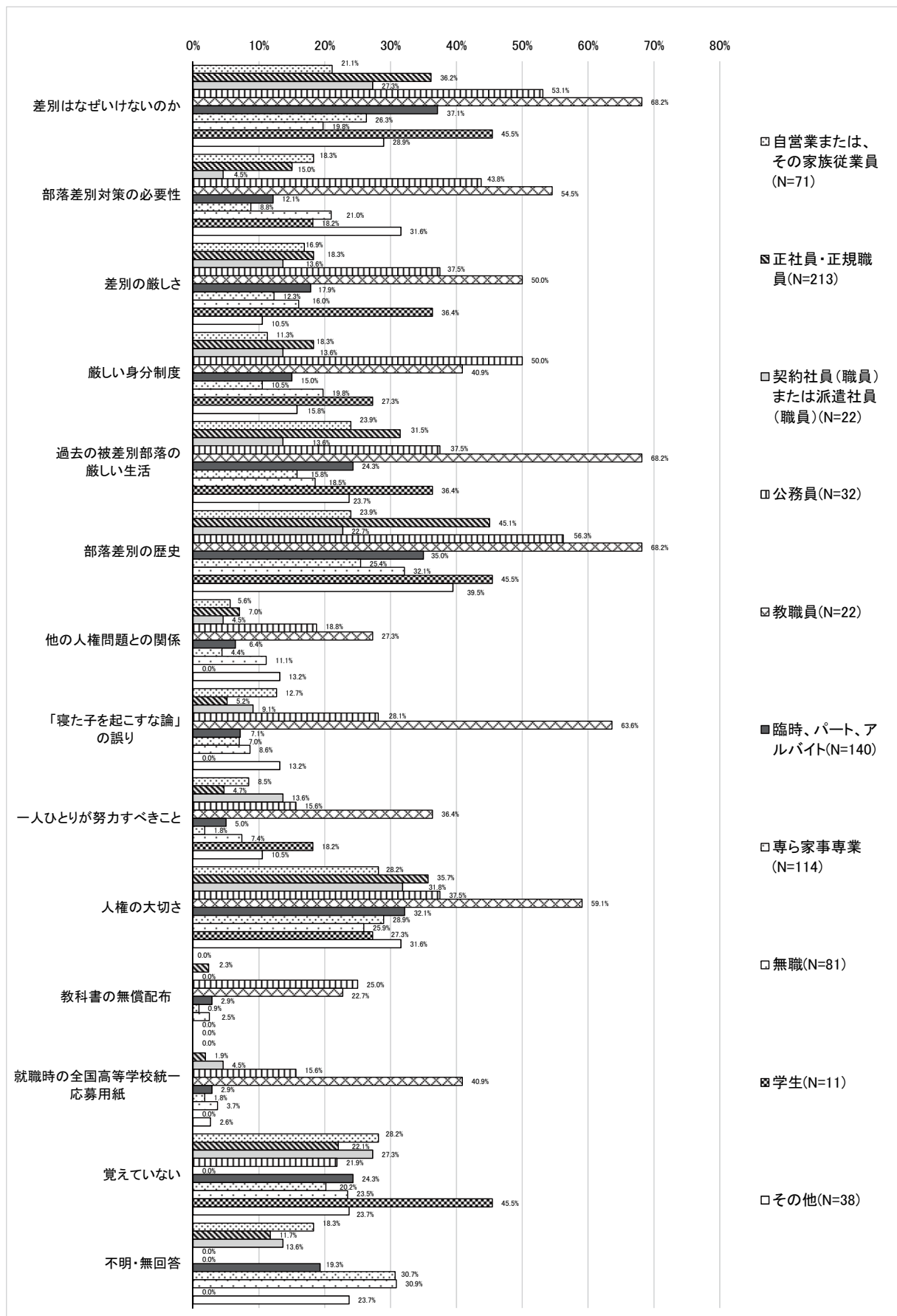
年齢別にみると20～29歳は、「覚えていない」と回答した人が最も多く、37.8%、30～39歳は、「部落差別の歴史」が最も多い。

一方、70歳以上は、「人権の大切さ」が最も多く、27.6%となっている。

3)職業別特徴

回答項目		差別はな ぜいけない のか	部落差別 対策の必 要性	差別の厳し さ	厳しい身分 制度	過去の被 差別部落 の厳しい生 活	部落差別 の歴史	他の人権 問題との関 係	「寝た子を 起こすな 論」の誤り
自営業または、 その家族従業員	回答数	15	13	12	8	17	17	4	9
	度数(%)	21.1%	18.3%	16.9%	11.3%	23.9%	23.9%	5.6%	12.7%
正社員・正規職員	回答数	77	32	39	39	67	96	15	11
	度数(%)	36.2%	15.0%	18.3%	18.3%	31.5%	45.1%	7.0%	5.2%
契約社員(職員)または派 遣社員(職員)	回答数	6	1	3	3	3	5	1	2
	度数(%)	27.3%	4.5%	13.6%	13.6%	13.6%	22.7%	4.5%	9.1%
公務員	回答数	17	14	12	16	12	18	6	9
	度数(%)	53.1%	43.8%	37.5%	50.0%	37.5%	56.3%	18.8%	28.1%
教職員	回答数	15	12	11	9	15	15	6	14
	度数(%)	68.2%	54.5%	50.0%	40.9%	68.2%	68.2%	27.3%	63.6%
臨時、パート、 アルバイト	回答数	52	17	25	21	34	49	9	10
	度数(%)	37.1%	12.1%	17.9%	15.0%	24.3%	35.0%	6.4%	7.1%
専ら家事専業	回答数	30	10	14	12	18	29	5	8
	度数(%)	26.3%	8.8%	12.3%	10.5%	15.8%	25.4%	4.4%	7.0%
無職	回答数	16	17	13	16	15	26	9	7
	度数(%)	19.8%	21.0%	16.0%	19.8%	18.5%	32.1%	11.1%	8.6%
学生	回答数	5	2	4	3	4	5	0	0
	度数(%)	45.5%	18.2%	36.4%	27.3%	36.4%	45.5%	0.0%	0.0%
その他	回答数	11	12	4	6	9	15	5	5
	度数(%)	28.9%	31.6%	10.5%	15.8%	23.7%	39.5%	13.2%	13.2%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		一人ひとり が努力す べきこと	人権の大 切さ	教科書の 無償配布	就職時の 全国高等 学校統一 応募用紙	覚えていな い	不明・無回 答	回答者数
自営業または、 その家族従業員	回答数	6	20	0	0	20	13	71
	度数(%)	8.5%	28.2%	0.0%	0.0%	28.2%	18.3%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	10	76	5	4	47	25	213
	度数(%)	4.7%	35.7%	2.3%	1.9%	22.1%	11.7%	28.4%
契約社員(職員)または派 遣社員(職員)	回答数	3	7	0	1	6	3	22
	度数(%)	13.6%	31.8%	0.0%	4.5%	27.3%	13.6%	2.9%
公務員	回答数	5	12	8	5	7	0	32
	度数(%)	15.6%	37.5%	25.0%	15.6%	21.9%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	8	13	5	9	0	0	22
	度数(%)	36.4%	59.1%	22.7%	40.9%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、 アルバイト	回答数	7	45	4	4	34	27	140
	度数(%)	5.0%	32.1%	2.9%	2.9%	24.3%	19.3%	18.7%
専ら家事専業	回答数	2	33	1	2	23	35	114
	度数(%)	1.8%	28.9%	0.9%	1.8%	20.2%	30.7%	15.2%
無職	回答数	6	21	2	3	19	25	81
	度数(%)	7.4%	25.9%	2.5%	3.7%	23.5%	30.9%	10.8%
学生	回答数	2	3	0	0	5	0	11
	度数(%)	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%	45.5%	0.0%	1.5%
その他	回答数	4	12	0	1	9	9	38
	度数(%)	10.5%	31.6%	0.0%	2.6%	23.7%	23.7%	5.1%
無回答	回答数	0	0	0	0	3	3	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.8%

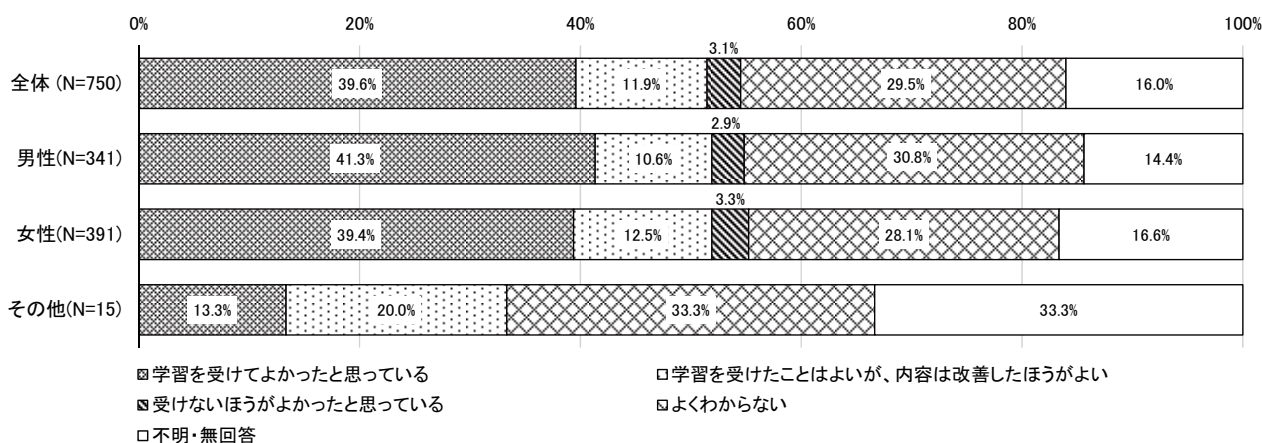


職業別にみても、全体的に「部落差別の歴史」「差別はなぜいけないのか」「人権の大切さ」と回答した人が多い。公務員・教職員では「厳しい身分制度」「部落差別の歴史」と回答した人の割合が他と比べて高い。

問28 こうした学習を受けたことについて今どう感じていますか。当てはまる番号1つを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		学習を受けてよかったと思っている	学習を受けたことはよいが、内容は改善したほうがよい	受けないほうがよかったと思っている	よくわからない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	297	89	23	221	120	750
	度数(%)	39.6%	11.9%	3.1%	29.5%	16.0%	100.0%
男性	回答数	141	36	10	105	49	341
	度数(%)	41.3%	10.6%	2.9%	30.8%	14.4%	45.5%
女性	回答数	154	49	13	110	65	391
	度数(%)	39.4%	12.5%	3.3%	28.1%	16.6%	52.1%
その他	回答数	2	3	0	5	5	15
	度数(%)	13.3%	20.0%	0.0%	33.3%	33.3%	2.0%
無回答	回答数	0	1	0	1	1	3
	度数(%)	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.4%

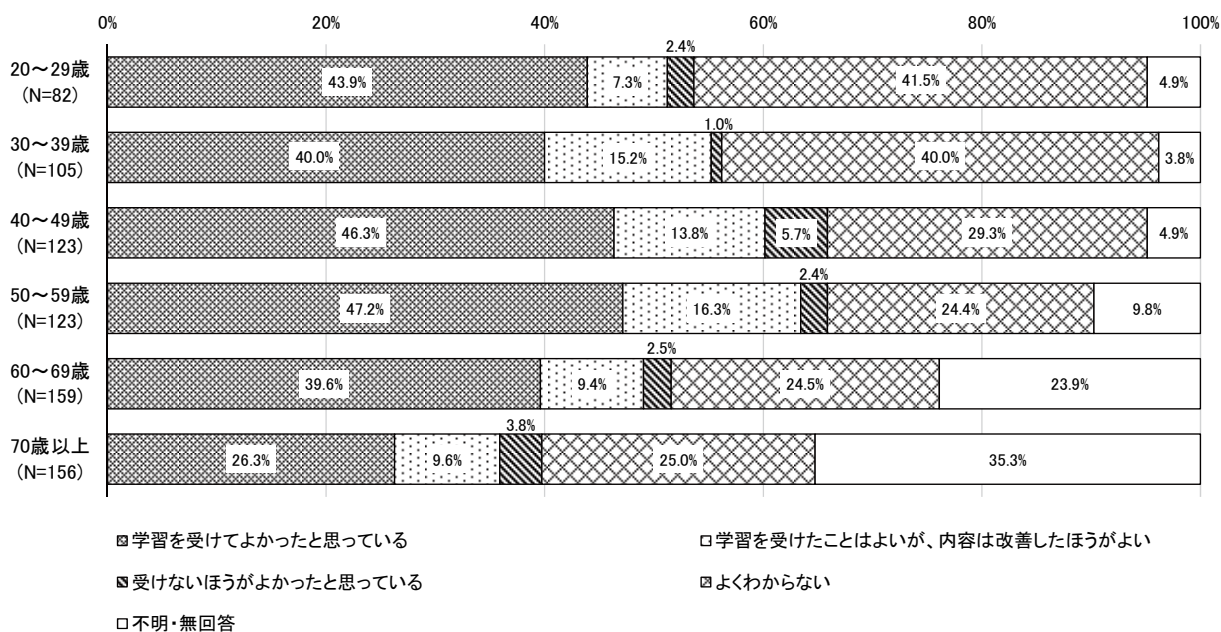


全体的に見ると「学習を受けてよかったと思っている」が 39.6%で最も多い。一方、「受けないほうがよかったと思っている」は 3.1%となっている。

男女別にみても、同じ傾向を示している。

2)年齢層別特徴

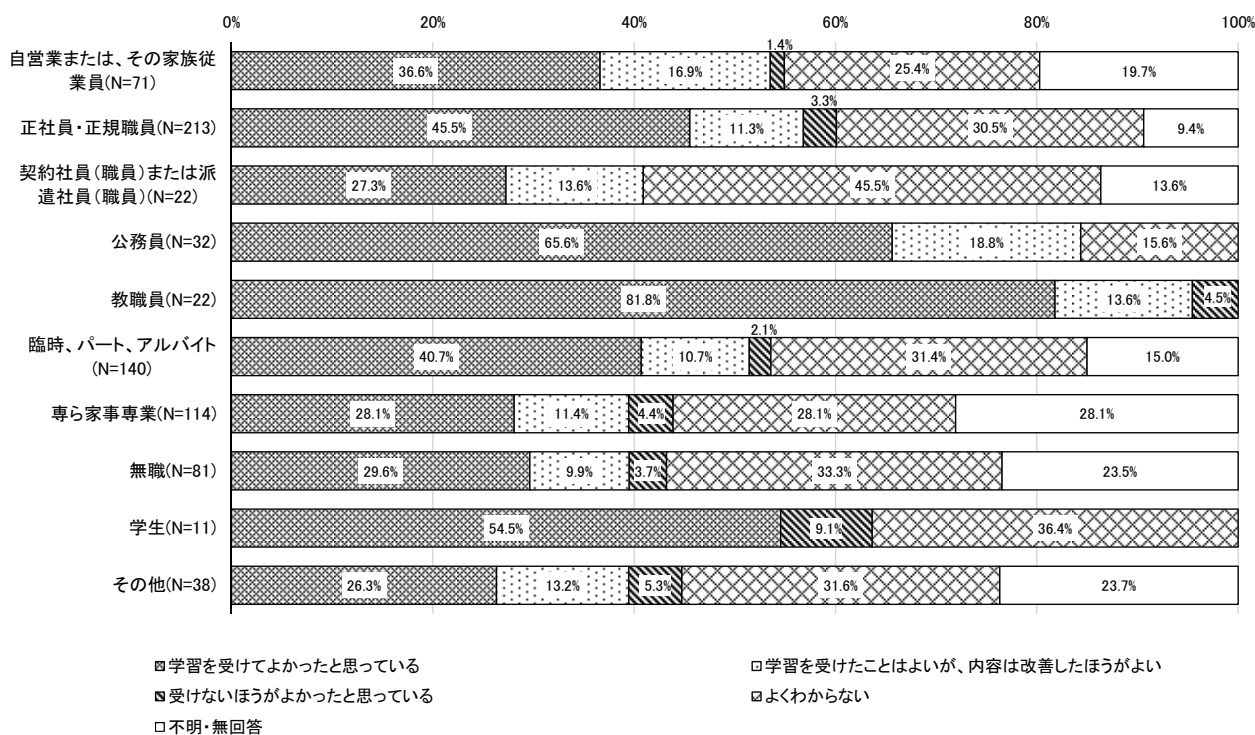
回答項目		学習を受けてよかったと思っている	学習を受けたことはよいが、内容は改善したほうがよい	受けないほうがよかったと思っている	よくわからない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	36	6	2	34	4	82
	度数(%)	43.9%	7.3%	2.4%	41.5%	4.9%	10.9%
30～39歳	回答数	42	16	1	42	4	105
	度数(%)	40.0%	15.2%	1.0%	40.0%	3.8%	14.0%
40～49歳	回答数	57	17	7	36	6	123
	度数(%)	46.3%	13.8%	5.7%	29.3%	4.9%	16.4%
50～59歳	回答数	58	20	3	30	12	123
	度数(%)	47.2%	16.3%	2.4%	24.4%	9.8%	16.4%
60～69歳	回答数	63	15	4	39	38	159
	度数(%)	39.6%	9.4%	2.5%	24.5%	23.9%	21.2%
70歳以上	回答数	41	15	6	39	55	156
	度数(%)	26.3%	9.6%	3.8%	25.0%	35.3%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.3%



年齢別にみると 69 歳以下は「学習を受けてよかったと思っている」「学習を受けたことはよいが、内容は改善したほうがよい」が約半数を占めるものの、70 歳以上はその割合が低くなっている。

### 3) 職業別特徴

回答項目		学習を受けてよかったと思っている	学習を受けたことはよいが、内容は改善したほうがよい	受けないほうがよかったと思っている	よくわからない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	26	12	1	18	14	71
	度数(%)	36.6%	16.9%	1.4%	25.4%	19.7%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	97	24	7	65	20	213
	度数(%)	45.5%	11.3%	3.3%	30.5%	9.4%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	6	3	0	10	3	22
	度数(%)	27.3%	13.6%	0.0%	45.5%	13.6%	2.9%
公務員	回答数	21	6	0	5	0	32
	度数(%)	65.6%	18.8%	0.0%	15.6%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	18	3	1	0	0	22
	度数(%)	81.8%	13.6%	4.5%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	57	15	3	44	21	140
	度数(%)	40.7%	10.7%	2.1%	31.4%	15.0%	18.7%
専ら家事専業	回答数	32	13	5	32	32	114
	度数(%)	28.1%	11.4%	4.4%	28.1%	28.1%	15.2%
無職	回答数	24	8	3	27	19	81
	度数(%)	29.6%	9.9%	3.7%	33.3%	23.5%	10.8%
学生	回答数	6	0	1	4	0	11
	度数(%)	54.5%	0.0%	9.1%	36.4%	0.0%	1.5%
その他	回答数	10	5	2	12	9	38
	度数(%)	26.3%	13.2%	5.3%	31.6%	23.7%	5.1%
無回答	回答数	0	0	0	4	2	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.8%

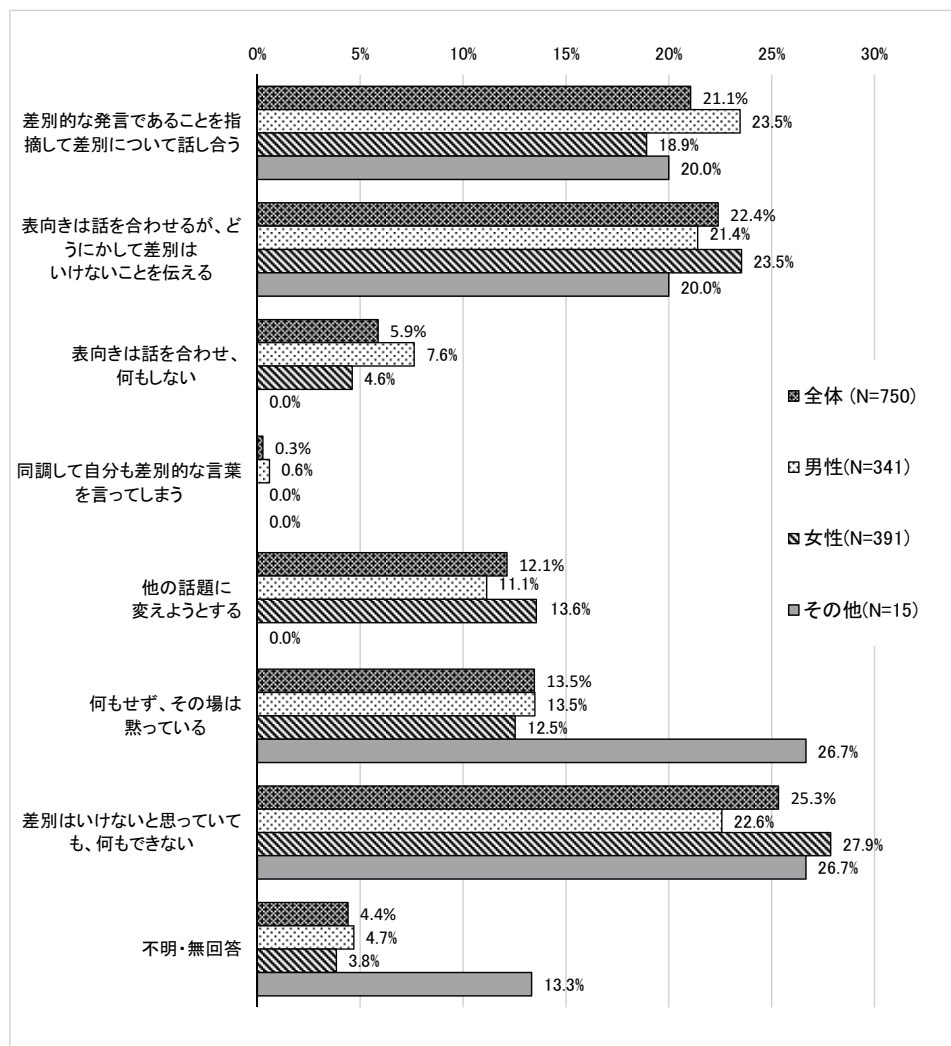


職業別にみると公務員、教職員、学生は「学習を受けてよかったと思っている」と回答した割合が半数を超えている。

問29 学校や職場、日常生活の中で誰かが被差別部落出身者に対する差別的な発言をした時あなたはこういった態度を取るとお思いますか。当てはまる番号1つを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		差別的な発言であることを指摘して差別について話し合う	表向きは話を合わせるが、どうにかして差別はいけないことを伝える	表向きは話を合わせ、何もしない	同調して自分も差別的な言葉を書いてしまう	他の話題に変えようとする	何もせず、その場は黙っている	差別はいけないと思っ ても、何もできない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	158	168	44	2	91	101	190	33	750
	度数(%)	21.1%	22.4%	5.9%	0.3%	12.1%	13.5%	25.3%	4.4%	100.0%
男性	回答数	80	73	26	2	38	46	77	16	341
	度数(%)	23.5%	21.4%	7.6%	0.6%	11.1%	13.5%	22.6%	4.7%	45.5%
女性	回答数	74	92	18	0	53	49	109	15	391
	度数(%)	18.9%	23.5%	4.6%	0.0%	13.6%	12.5%	27.9%	3.8%	52.1%
その他	回答数	3	3	0	0	0	4	4	2	15
	度数(%)	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.7%	26.7%	13.3%	2.0%
無回答	回答数	1	0	0	0	0	2	0	0	3
	度数(%)	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.4%

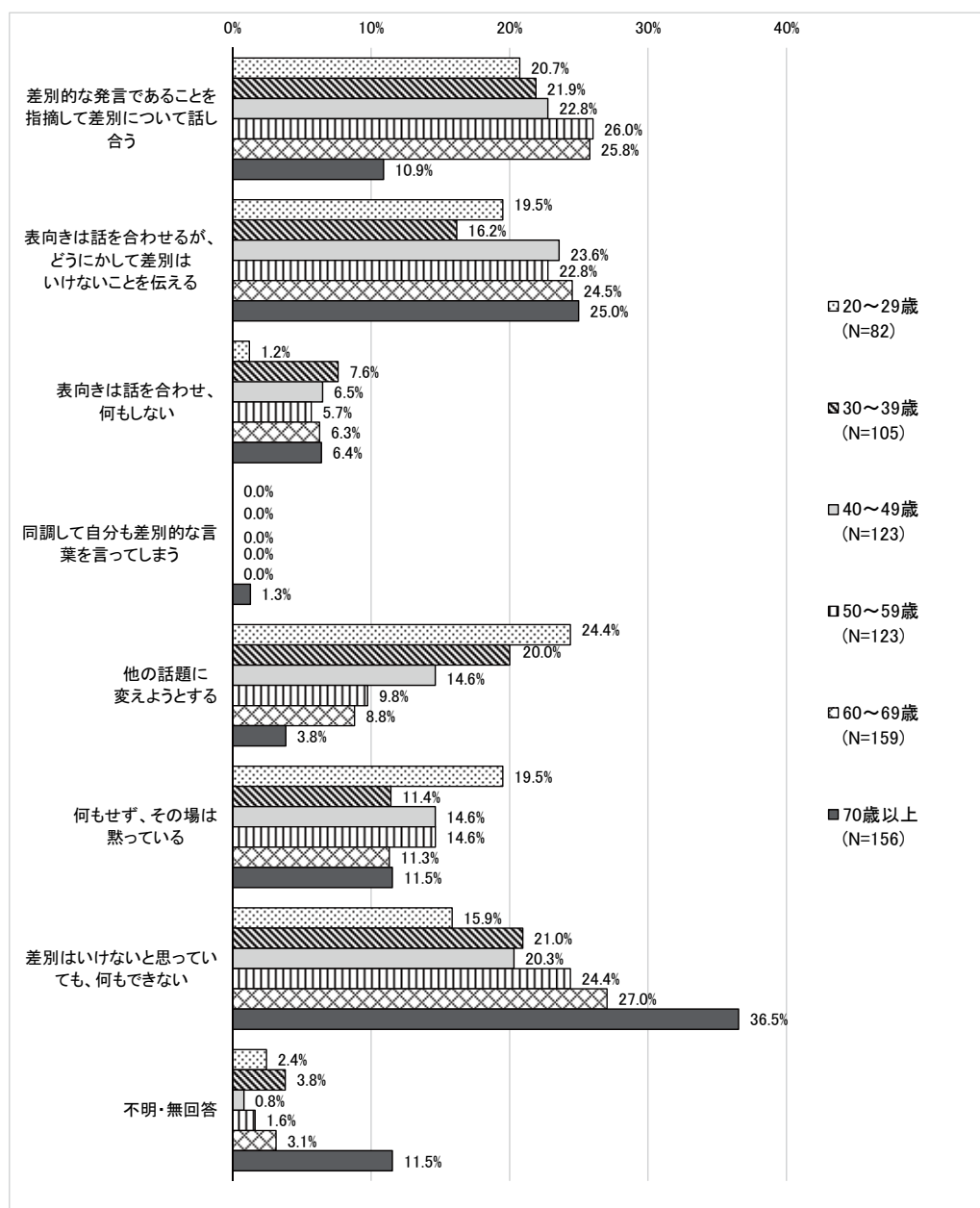


全体的に見ると「差別はいけないと思っ  
ても、何もできない」の割合が最も高くなっている。  
男女別に見ると、僅差ではあるが男性は「差別的な発言であることを指摘して差別について話し  
合う」が最も高い割合である。



2)年齢層別特徴

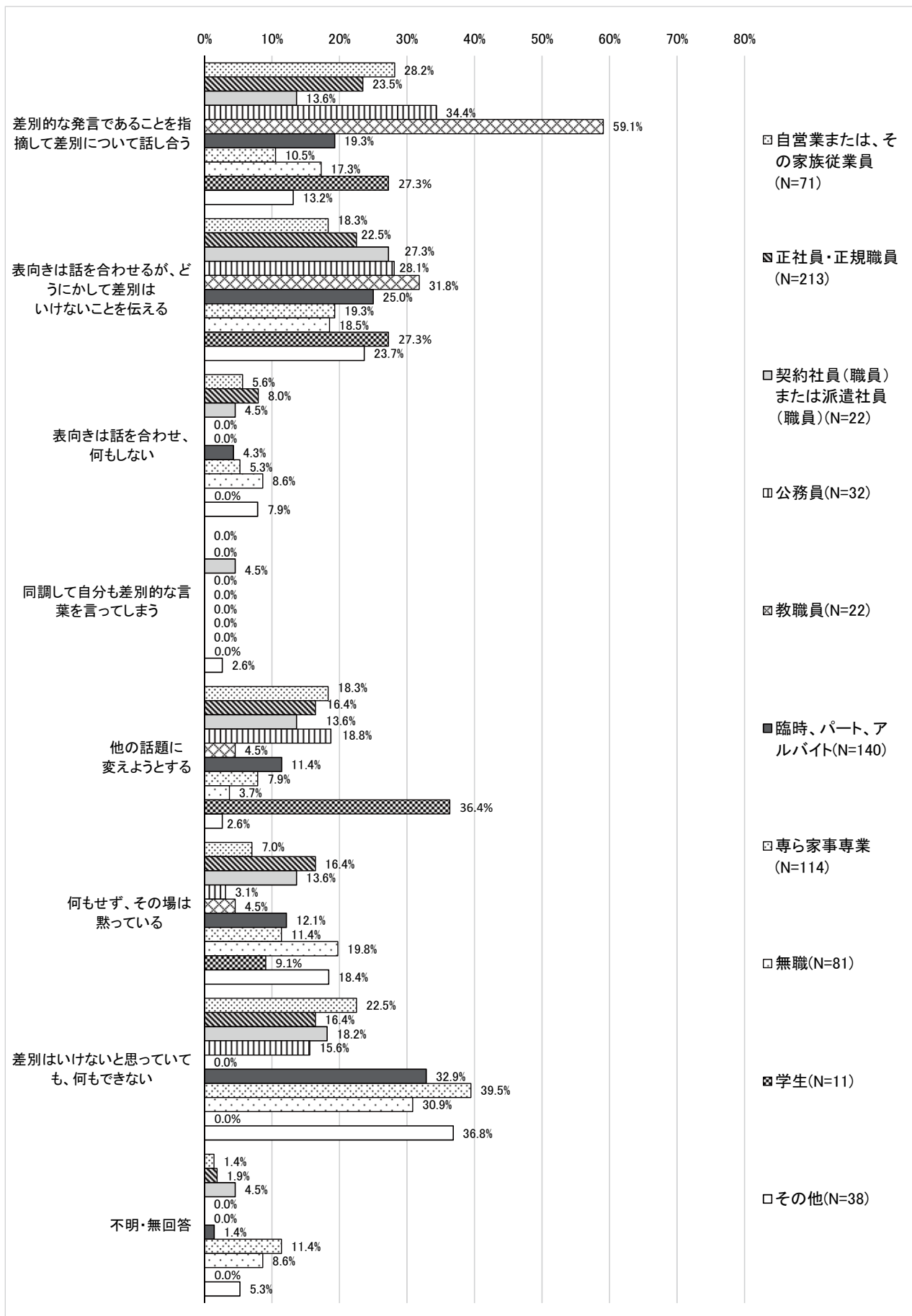
回答項目		差別的な発言であることを指摘して差別について話し合う	表向きは話を合わせるが、どうにかして差別はいけないことを伝える	表向きは話を合わせ、何もしない	同調して自分も差別的な言葉を書いてしまう	他の話題に変えようとする	何もせず、その場は黙っている	差別はいけなと思っていても、何もできない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	17	16	1	0	20	16	13	2	82
	度数(%)	20.7%	19.5%	1.2%	0.0%	24.4%	19.5%	15.9%	2.4%	10.9%
30～39歳	回答数	23	17	8	0	21	12	22	4	105
	度数(%)	21.9%	16.2%	7.6%	0.0%	20.0%	11.4%	21.0%	3.8%	14.0%
40～49歳	回答数	28	29	8	0	18	18	25	1	123
	度数(%)	22.8%	23.6%	6.5%	0.0%	14.6%	14.6%	20.3%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	32	28	7	0	12	18	30	2	123
	度数(%)	26.0%	22.8%	5.7%	0.0%	9.8%	14.6%	24.4%	1.6%	16.4%
60～69歳	回答数	41	39	10	0	14	18	43	5	159
	度数(%)	25.8%	24.5%	6.3%	0.0%	8.8%	11.3%	27.0%	3.1%	21.2%
70歳以上	回答数	17	39	10	2	6	18	57	18	156
	度数(%)	10.9%	25.0%	6.4%	1.3%	3.8%	11.5%	36.5%	11.5%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.3%



年齢別にみると、「差別はいけないと思っけていても、何もできない」の割合は年齢層があがると高くなる傾向となっている。また70歳以上は他の年齢層に比べて36.5%と特に高い。反対に「他の話題に変えようとする」は年齢層があがると低くなっている。「差別的な発言であることを指摘して差別について話し合う」は70歳以上が10.9%と他の年齢層にくらべて、とても低い。

### 3) 職業別特徴

回答項目		差別的な発言であることを指摘して差別について話し合う	表向きは話を合わせるが、どうにかして差別はいけないことを伝える	表向きは話を合わせ、何もしない	同調して自分も差別的な言葉を言ってしまう	他の話題に変えようとする	何もせず、その場は黙っている	差別はいけないと思っけていても、何もできない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	20	13	4	0	13	5	16	1	71
	度数(%)	28.2%	18.3%	5.6%	0.0%	18.3%	7.0%	22.5%	1.4%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	50	48	17	0	35	35	35	4	213
	度数(%)	23.5%	22.5%	8.0%	0.0%	16.4%	16.4%	16.4%	1.9%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	3	6	1	1	3	3	4	1	22
	度数(%)	13.6%	27.3%	4.5%	4.5%	13.6%	13.6%	18.2%	4.5%	2.9%
公務員	回答数	11	9	0	0	6	1	5	0	32
	度数(%)	34.4%	28.1%	0.0%	0.0%	18.8%	3.1%	15.6%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	13	7	0	0	1	1	0	0	22
	度数(%)	59.1%	31.8%	0.0%	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	27	35	6	0	16	17	46	2	140
	度数(%)	19.3%	25.0%	4.3%	0.0%	11.4%	12.1%	32.9%	1.4%	18.7%
専ら家事専業	回答数	12	22	6	0	9	13	45	13	114
	度数(%)	10.5%	19.3%	5.3%	0.0%	7.9%	11.4%	39.5%	11.4%	15.2%
無職	回答数	14	15	7	0	3	16	25	7	81
	度数(%)	17.3%	18.5%	8.6%	0.0%	3.7%	19.8%	30.9%	8.6%	10.8%
学生	回答数	3	3	0	0	4	1	0	0	11
	度数(%)	27.3%	27.3%	0.0%	0.0%	36.4%	9.1%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	回答数	5	9	3	1	1	7	14	2	38
	度数(%)	13.2%	23.7%	7.9%	2.6%	2.6%	18.4%	36.8%	5.3%	5.1%
無回答	回答数	0	1	0	0	0	2	0	3	6
	度数(%)	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	50.0%	0.8%

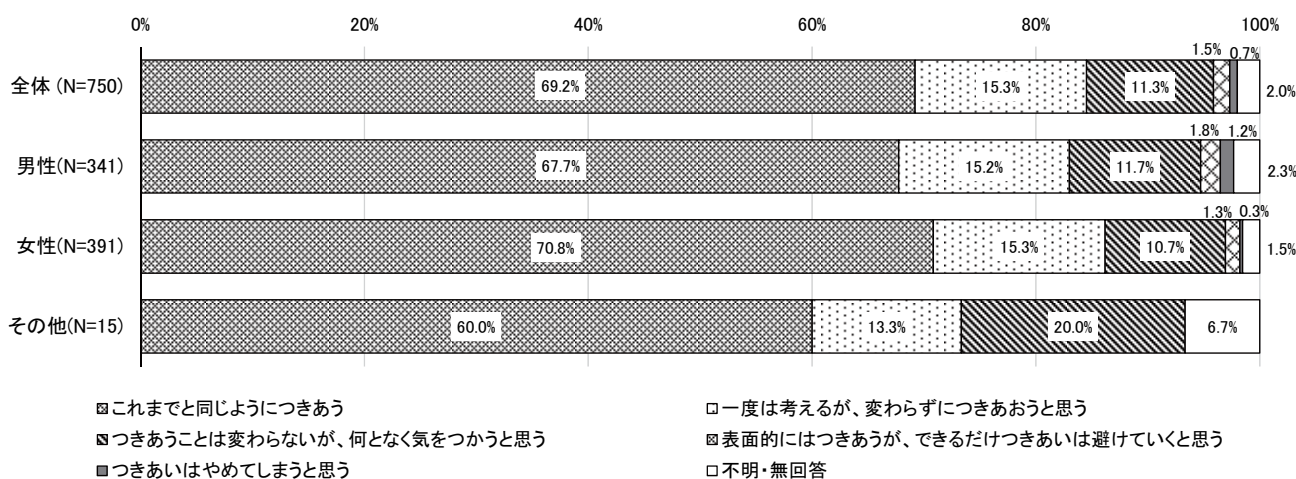


職業別にみると、「差別的な発言であることを指摘して差別について話し合う」は教職員が 59.1%と高い。また「他の話題に変えようとする」は学生が 36.4%と高い。また「差別はいけないと思っても何もできない」は職業によって 0.0%~39.5%の割合で回答があり、ばらつきが大きい。

問30 日頃親しく付き合っている職場の友人や近所の人々が被差別部落出身者だとわかった場合あなたはどのようにしますか。当てはまる番号1つを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

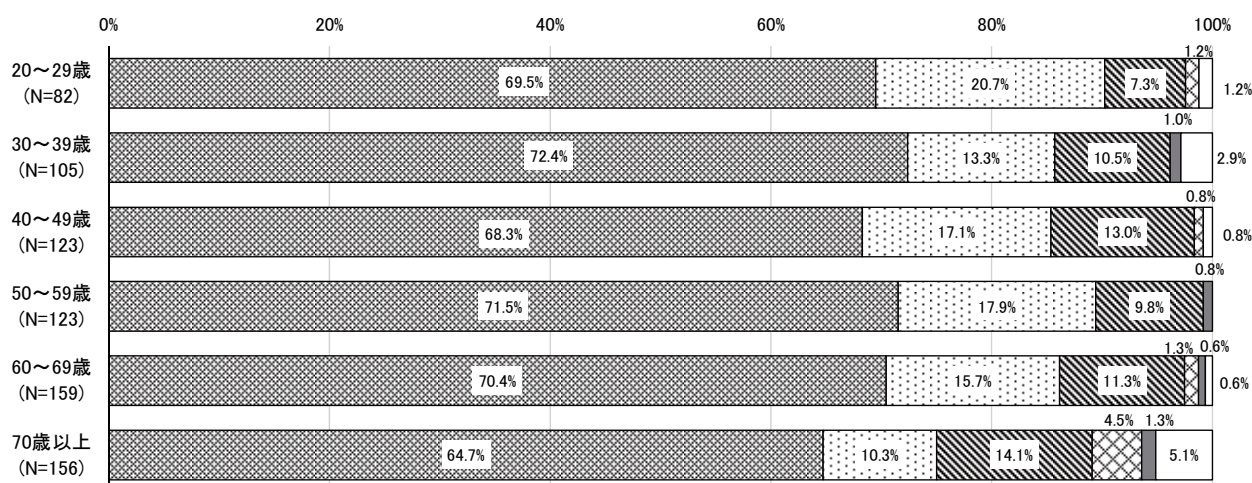
回答項目		これまでと同じようにつきあう	一度は考えるが、変わらずにつきあおうと思う	つきあうことは変わらないが、何となく気がつかうと思う	表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていくと思う	つきあいはやめてしまおうと思う	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	519	115	85	11	5	15	750
	度数(%)	69.2%	15.3%	11.3%	1.5%	0.7%	2.0%	100.0%
男性	回答数	231	52	40	6	4	8	341
	度数(%)	67.7%	15.2%	11.7%	1.8%	1.2%	2.3%	45.5%
女性	回答数	277	60	42	5	1	6	391
	度数(%)	70.8%	15.3%	10.7%	1.3%	0.3%	1.5%	52.1%
その他	回答数	9	2	3	0	0	1	15
	度数(%)	60.0%	13.3%	20.0%	0.0%	0.0%	6.7%	2.0%
無回答	回答数	2	1	0	0	0	0	3
	度数(%)	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%



全体的にみると、「これまでと同じようにつきあう」と回答した割合が 69.2%で最も高く、以下、「一度は考えるが、変わらずにつきあおうと思う」15.3%、「つきあうことは変わらないが、何となく気がつかうと思う」11.3%の順に高くなっている。男性と女性を比べると「これまでと同じようにつきあう」は男性(67.7%)より女性(70.8%)が 3.1 ポイント高い。

## 2)年齢層別特徴

回答項目		これまでと同じようにつきあう	一度は考えるが、変わらずにつきあおうと思う	つきあうことは変わらないが、何となく気がつかうと思う	表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていくと思う	つきあいはやめてしまうと思う	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	57	17	6	1	0	1	82
	度数(%)	69.5%	20.7%	7.3%	1.2%	0.0%	1.2%	10.9%
30～39歳	回答数	76	14	11	0	1	3	105
	度数(%)	72.4%	13.3%	10.5%	0.0%	1.0%	2.9%	14.0%
40～49歳	回答数	84	21	16	1	0	1	123
	度数(%)	68.3%	17.1%	13.0%	0.8%	0.0%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	88	22	12	0	1	0	123
	度数(%)	71.5%	17.9%	9.8%	0.0%	0.8%	0.0%	16.4%
60～69歳	回答数	112	25	18	2	1	1	159
	度数(%)	70.4%	15.7%	11.3%	1.3%	0.6%	0.6%	21.2%
70歳以上	回答数	101	16	22	7	2	8	156
	度数(%)	64.7%	10.3%	14.1%	4.5%	1.3%	5.1%	20.8%
無回答	回答数	1	0	0	0	0	1	2
	度数(%)	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.3%

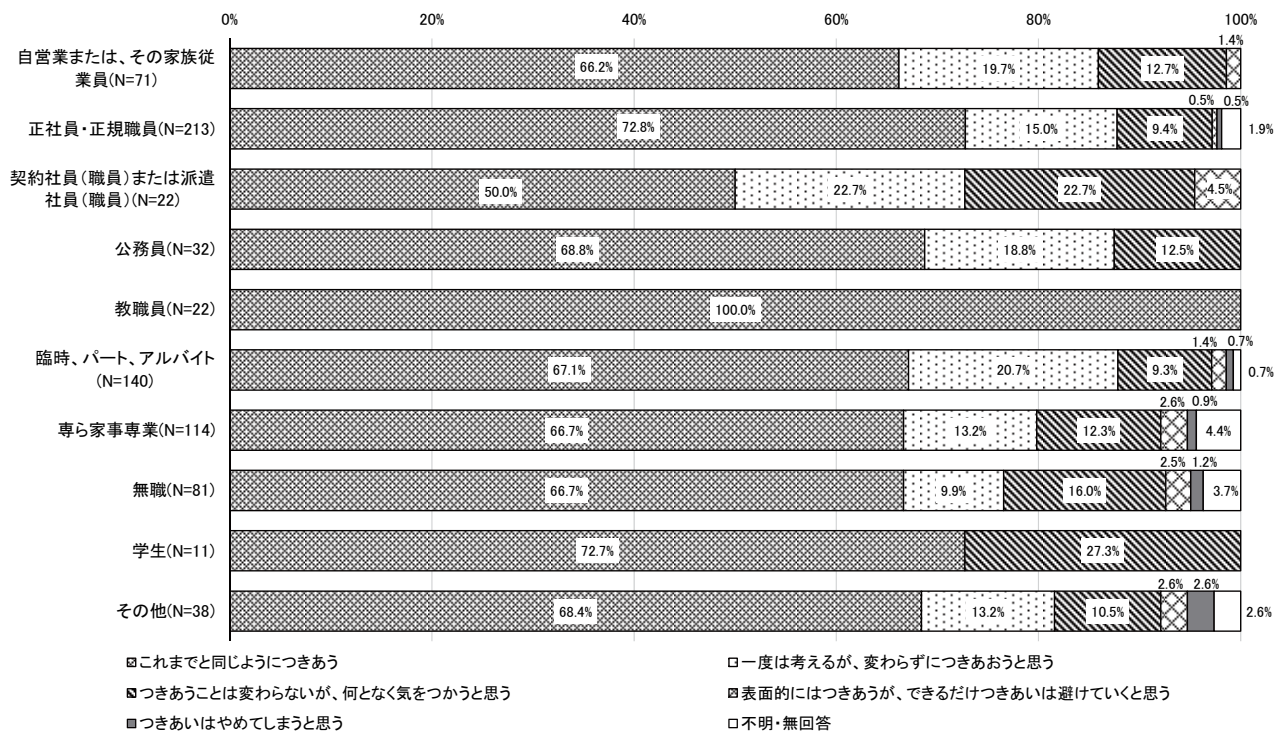


- これまでと同じようにつきあう
- 一度は考えるが、変わらずにつきあおうと思う
- ▨ つきあうことは変わらないが、何となく気がつかうと思う
- ▧ 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていくと思う
- ▩ つきあいはやめてしまうと思う
- 不明・無回答

年齢別にみると、すべての年齢で「これまでと同じようにつきあう」が過半数を占めている。「これまでと同じようにつきあう」は全体平均 69.2%だが、40～49歳で 68.3%、70歳以上では 64.7%と全体平均より低い。「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていくと思う」は70歳以上が 4.5%と他の年齢層よりも高い。

### 3) 職業別特徴

回答項目		これまでと同じようにつきあう	一度は考えるが、変わらずにつきあおうと思う	つきあうことは変わらないが、何となく気をつかうと思う	表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていくと思う	つきあいはやめてしまうと思う	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	47	14	9	1	0	0	71
	度数(%)	66.2%	19.7%	12.7%	1.4%	0.0%	0.0%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	155	32	20	1	1	4	213
	度数(%)	72.8%	15.0%	9.4%	0.5%	0.5%	1.9%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	11	5	5	1	0	0	22
	度数(%)	50.0%	22.7%	22.7%	4.5%	0.0%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	22	6	4	0	0	0	32
	度数(%)	68.8%	18.8%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	22	0	0	0	0	0	22
	度数(%)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	94	29	13	2	1	1	140
	度数(%)	67.1%	20.7%	9.3%	1.4%	0.7%	0.7%	18.7%
専ら家事専業	回答数	76	15	14	3	1	5	114
	度数(%)	66.7%	13.2%	12.3%	2.6%	0.9%	4.4%	15.2%
無職	回答数	54	8	13	2	1	3	81
	度数(%)	66.7%	9.9%	16.0%	2.5%	1.2%	3.7%	10.8%
学生	回答数	8	0	3	0	0	0	11
	度数(%)	72.7%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	回答数	26	5	4	1	1	1	38
	度数(%)	68.4%	13.2%	10.5%	2.6%	2.6%	2.6%	5.1%
無回答	回答数	4	1	0	0	0	1	6
	度数(%)	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.8%



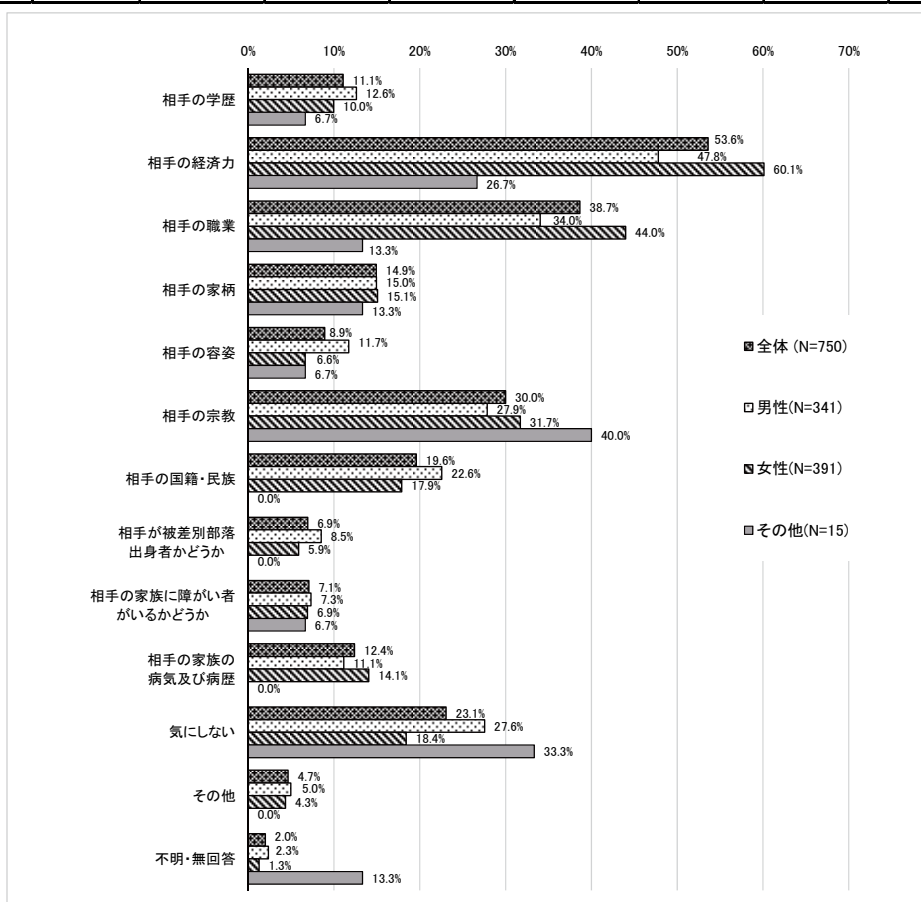
問3 1 あなたのお子さんの結婚相手を考える際相手の人柄や性格以外で気になること（気になったこと）をお答えください。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		相手の学歴	相手の経済力	相手の職業	相手の家柄	相手の容姿	相手の宗教	相手の国籍・民族
全体	回答数	83	402	290	112	67	225	147
	度数(%)	11.1%	53.6%	38.7%	14.9%	8.9%	30.0%	19.6%
男性	回答数	43	163	116	51	40	95	77
	度数(%)	12.6%	47.8%	34.0%	15.0%	11.7%	27.9%	22.6%
女性	回答数	39	235	172	59	26	124	70
	度数(%)	10.0%	60.1%	44.0%	15.1%	6.6%	31.7%	17.9%
その他	回答数	1	4	2	2	1	6	0
	度数(%)	6.7%	26.7%	13.3%	13.3%	6.7%	40.0%	0.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		相手が被差別部落出身者かどうか	相手の家族に障がい者がいるかどうか	相手の家族の病気及び病歴	気にしない	その他	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	52	53	93	173	35	15	750
	度数(%)	6.9%	7.1%	12.4%	23.1%	4.7%	2.0%	100.0%
男性	回答数	29	25	38	94	17	8	341
	度数(%)	8.5%	7.3%	11.1%	27.6%	5.0%	2.3%	100.0%
女性	回答数	23	27	55	72	17	5	391
	度数(%)	5.9%	6.9%	14.1%	18.4%	4.3%	1.3%	100.0%
その他	回答数	0	1	0	5	0	2	15
	度数(%)	0.0%	6.7%	0.0%	33.3%	0.0%	13.3%	100.0%
無回答	回答数	0	0	0	2	1	0	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%



全体的にみると、「相手の経済力」が 53.6%と最も高く、「相手の職業」38.7%、「相手の宗教」30.0%「気にしない」は 23.1%と続いている。

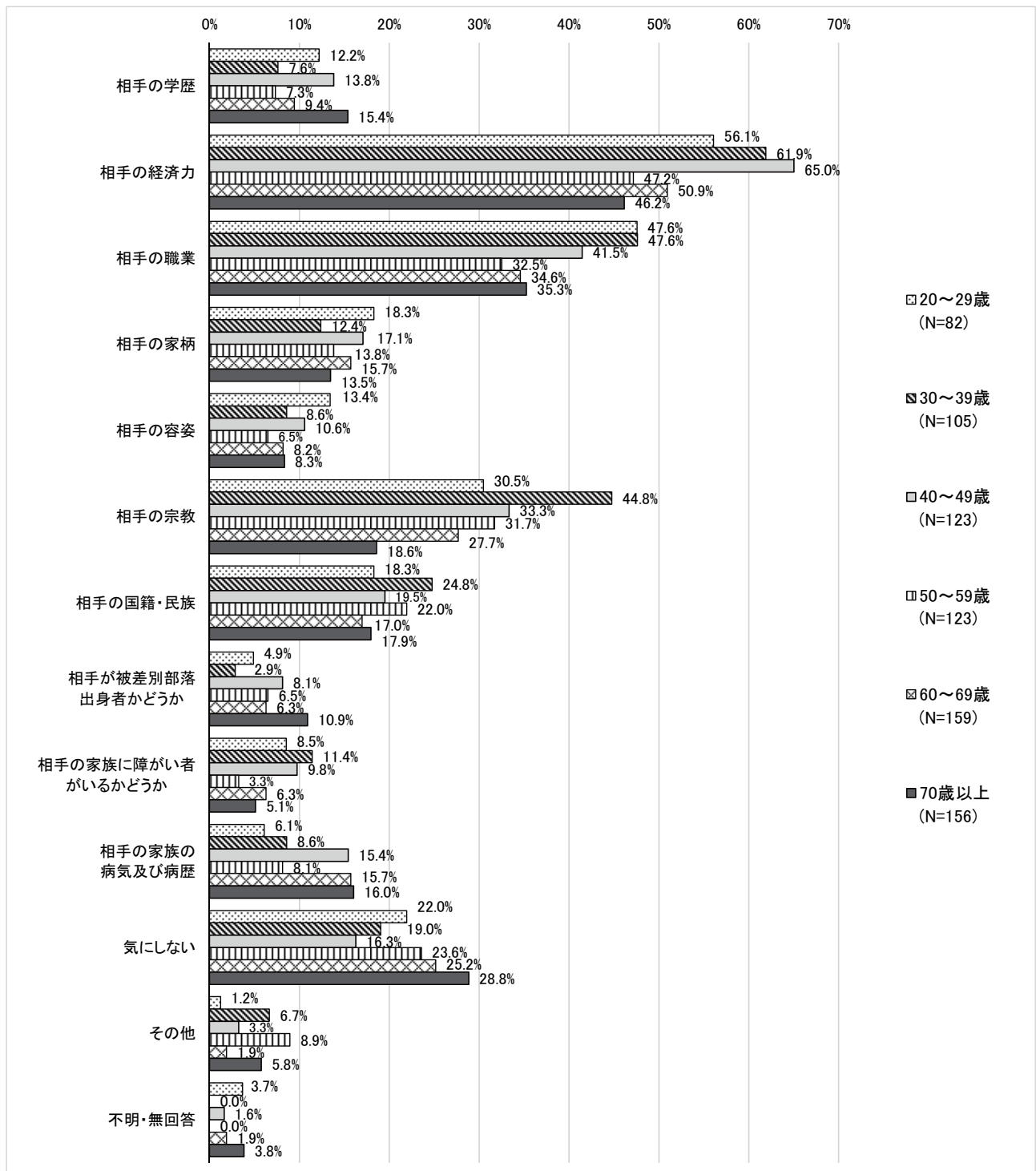
女性の方が男性に比べて「相手の経済力」で 12.3 ポイント、「相手の職業」で 10 ポイント高い。

## 2)年齢層別特徴

回答項目		相手の学歴	相手の経済力	相手の職業	相手の家柄	相手の容姿	相手の宗教	相手の国籍・民族
20～29歳	回答数	10	46	39	15	11	25	15
	度数(%)	12.2%	56.1%	47.6%	18.3%	13.4%	30.5%	18.3%
30～39歳	回答数	8	65	50	13	9	47	26
	度数(%)	7.6%	61.9%	47.6%	12.4%	8.6%	44.8%	24.8%
40～49歳	回答数	17	80	51	21	13	41	24
	度数(%)	13.8%	65.0%	41.5%	17.1%	10.6%	33.3%	19.5%
50～59歳	回答数	9	58	40	17	8	39	27
	度数(%)	7.3%	47.2%	32.5%	13.8%	6.5%	31.7%	22.0%
60～69歳	回答数	15	81	55	25	13	44	27
	度数(%)	9.4%	50.9%	34.6%	15.7%	8.2%	27.7%	17.0%
70歳以上	回答数	24	72	55	21	13	29	28
	度数(%)	15.4%	46.2%	35.3%	13.5%	8.3%	18.6%	17.9%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		相手が被差別部落出身者かどうか	相手の家族に障がい者がいるかどうか	相手の家族の病気及び病歴	気にしない	その他	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	4	7	5	18	1	3	82
	度数(%)	4.9%	8.5%	6.1%	22.0%	1.2%	3.7%	10.9%
30～39歳	回答数	3	12	9	20	7	0	105
	度数(%)	2.9%	11.4%	8.6%	19.0%	6.7%	0.0%	14.0%
40～49歳	回答数	10	12	19	20	4	2	123
	度数(%)	8.1%	9.8%	15.4%	16.3%	3.3%	1.6%	16.4%
50～59歳	回答数	8	4	10	29	11	0	123
	度数(%)	6.5%	3.3%	8.1%	23.6%	8.9%	0.0%	16.4%
60～69歳	回答数	10	10	25	40	3	3	159
	度数(%)	6.3%	6.3%	15.7%	25.2%	1.9%	1.9%	21.2%
70歳以上	回答数	17	8	25	45	9	6	156
	度数(%)	10.9%	5.1%	16.0%	28.8%	5.8%	3.8%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	1	0	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.3%



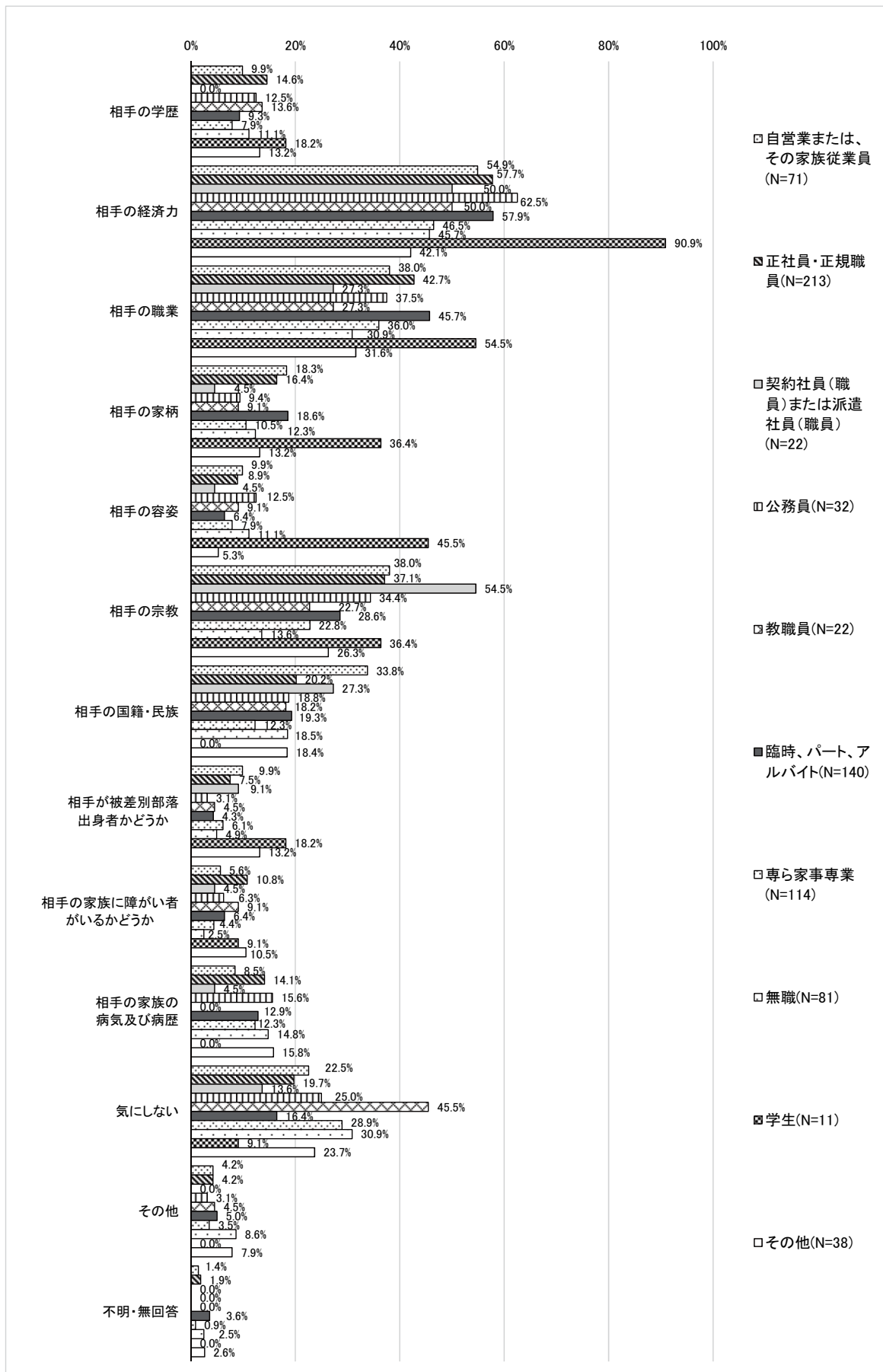


年齢別にみると、「相手の経済力」と「相手の職業」を気にするは 20～49 歳の年齢層が 50 歳以上の年齢層に比べて高い。また「相手の宗教」は 30～39 歳が 44.8%と高く、「気にしない」は 70 歳以上が 28.8%と一番高くなっている。

3) 職業別特徴

回答項目		相手の学歴	相手の経済力	相手の職業	相手の家柄	相手の容姿	相手の宗教	相手の国籍・民族
自営業または、その家族従業員	回答数	7	39	27	13	7	27	24
	度数(%)	9.9%	54.9%	38.0%	18.3%	9.9%	38.0%	33.8%
正社員・正規職員	回答数	31	123	91	35	19	79	43
	度数(%)	14.6%	57.7%	42.7%	16.4%	8.9%	37.1%	20.2%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	0	11	6	1	1	12	6
	度数(%)	0.0%	50.0%	27.3%	4.5%	4.5%	54.5%	27.3%
公務員	回答数	4	20	12	3	4	11	6
	度数(%)	12.5%	62.5%	37.5%	9.4%	12.5%	34.4%	18.8%
教職員	回答数	3	11	6	2	2	5	4
	度数(%)	13.6%	50.0%	27.3%	9.1%	9.1%	22.7%	18.2%
臨時、パート、アルバイト	回答数	13	81	64	26	9	40	27
	度数(%)	9.3%	57.9%	45.7%	18.6%	6.4%	28.6%	19.3%
専ら家事専業	回答数	9	53	41	12	9	26	14
	度数(%)	7.9%	46.5%	36.0%	10.5%	7.9%	22.8%	12.3%
無職	回答数	9	37	25	10	9	11	15
	度数(%)	11.1%	45.7%	30.9%	12.3%	11.1%	13.6%	18.5%
学生	回答数	2	10	6	4	5	4	0
	度数(%)	18.2%	90.9%	54.5%	36.4%	45.5%	36.4%	0.0%
その他	回答数	5	16	12	5	2	10	7
	度数(%)	13.2%	42.1%	31.6%	13.2%	5.3%	26.3%	18.4%
無回答	回答数	0	1	0	1	0	0	1
	度数(%)	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%

回答項目		相手が被差別部落出身者かどうか	相手の家族に障がい者がいるかどうか	相手の家族の病気及び病歴	気にしない	その他	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	7	4	6	16	3	1	71
	度数(%)	9.9%	5.6%	8.5%	22.5%	4.2%	1.4%	100.0%
正社員・正規職員	回答数	16	23	30	42	9	4	213
	度数(%)	7.5%	10.8%	14.1%	19.7%	4.2%	1.9%	100.0%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	2	1	1	3	0	0	22
	度数(%)	9.1%	4.5%	4.5%	13.6%	0.0%	0.0%	100.0%
公務員	回答数	1	2	5	8	1	0	32
	度数(%)	3.1%	6.3%	15.6%	25.0%	3.1%	0.0%	100.0%
教職員	回答数	1	2	0	10	1	0	22
	度数(%)	4.5%	9.1%	0.0%	45.5%	4.5%	0.0%	100.0%
臨時、パート、アルバイト	回答数	6	9	18	23	7	5	140
	度数(%)	4.3%	6.4%	12.9%	16.4%	5.0%	3.6%	100.0%
専ら家事専業	回答数	7	5	14	33	4	1	114
	度数(%)	6.1%	4.4%	12.3%	28.9%	3.5%	0.9%	100.0%
無職	回答数	4	2	12	25	7	2	81
	度数(%)	4.9%	2.5%	14.8%	30.9%	8.6%	2.5%	100.0%
学生	回答数	2	1	0	1	0	0	11
	度数(%)	18.2%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	回答数	5	4	6	9	3	1	38
	度数(%)	13.2%	10.5%	15.8%	23.7%	7.9%	2.6%	100.0%
無回答	回答数	1	0	1	3	0	1	6
	度数(%)	16.7%	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%	100.0%

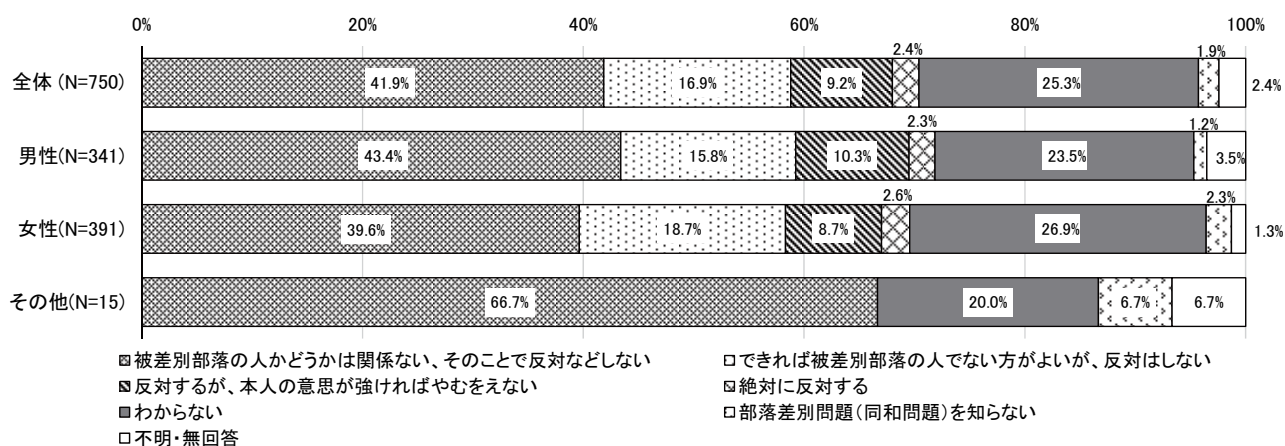


職業別にみると、学生は「相手の経済力」、「相手の職業」、「相手の容姿」を気にするが他の職業よりもかなり高い。また、「相手の宗教」が契約社員または派遣社員で 54.5%と高くなっているが、他の項目では学生を除き、職業による違いはあまりみられない。

問32 あなたのお子さんが被差別部落の人と結婚するとしたら、あなたはどうしますか。  
 当てはまる番号1つを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

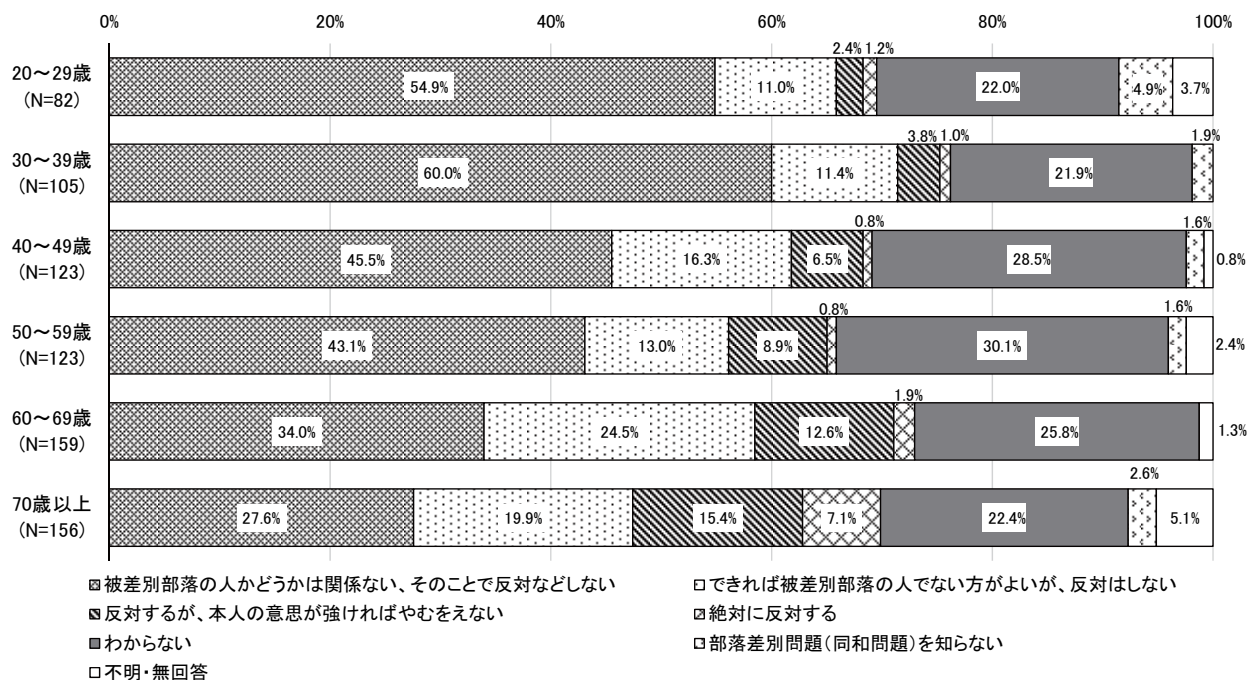
回答項目		被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない	できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない	反対するが、本人の意思が強ければやむをえない	絶対に反対する	わからない	部落差別問題(同和問題)を知らない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	314	127	69	18	190	14	18	750
	度数(%)	41.9%	16.9%	9.2%	2.4%	25.3%	1.9%	2.4%	100.0%
男性	回答数	148	54	35	8	80	4	12	341
	度数(%)	43.4%	15.8%	10.3%	2.3%	23.5%	1.2%	3.5%	45.5%
女性	回答数	155	73	34	10	105	9	5	391
	度数(%)	39.6%	18.7%	8.7%	2.6%	26.9%	2.3%	1.3%	52.1%
その他	回答数	10	0	0	0	3	1	1	15
	度数(%)	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	6.7%	6.7%	2.0%
無回答	回答数	1	0	0	0	2	0	0	3
	度数(%)	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.4%



全体的には、「被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」41.9%、「できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない」16.9%、で反対しないが 58.8%と半数を超えている。「分からない」は 25.3%。男性と女性の大きな差はみられない。

2)年齢層別特徴

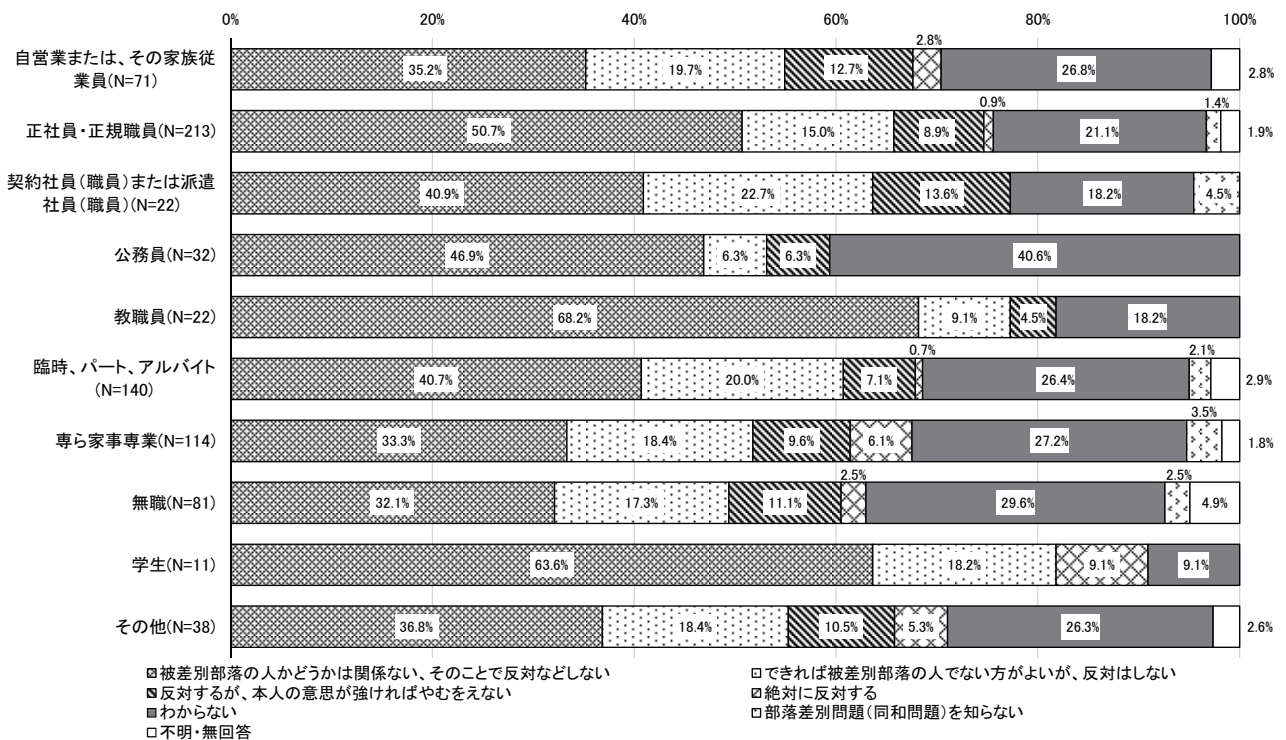
回答項目		被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない	できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない	反対するが、本人の意思が強ければやむをえない	絶対に反対する	わからない	部落差別問題(同和問題)を知らない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	45	9	2	1	18	4	3	82
	度数(%)	54.9%	11.0%	2.4%	1.2%	22.0%	4.9%	3.7%	10.9%
30～39歳	回答数	63	12	4	1	23	2	0	105
	度数(%)	60.0%	11.4%	3.8%	1.0%	21.9%	1.9%	0.0%	14.0%
40～49歳	回答数	56	20	8	1	35	2	1	123
	度数(%)	45.5%	16.3%	6.5%	0.8%	28.5%	1.6%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	53	16	11	1	37	2	3	123
	度数(%)	43.1%	13.0%	8.9%	0.8%	30.1%	1.6%	2.4%	16.4%
60～69歳	回答数	54	39	20	3	41	0	2	159
	度数(%)	34.0%	24.5%	12.6%	1.9%	25.8%	0.0%	1.3%	21.2%
70歳以上	回答数	43	31	24	11	35	4	8	156
	度数(%)	27.6%	19.9%	15.4%	7.1%	22.4%	2.6%	5.1%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	1	0	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.3%



年齢層別にみると、「被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」は 20～29歳で 54.9%、30～39歳で 60.0%と高いが、40～49歳は 45.5%で年齢が高いほど低くなっている。70歳以上は「被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」27.6%と「できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない」19.9%で反対しないが 47.5%で過半数に届いていない。

### 3) 職業別特徴

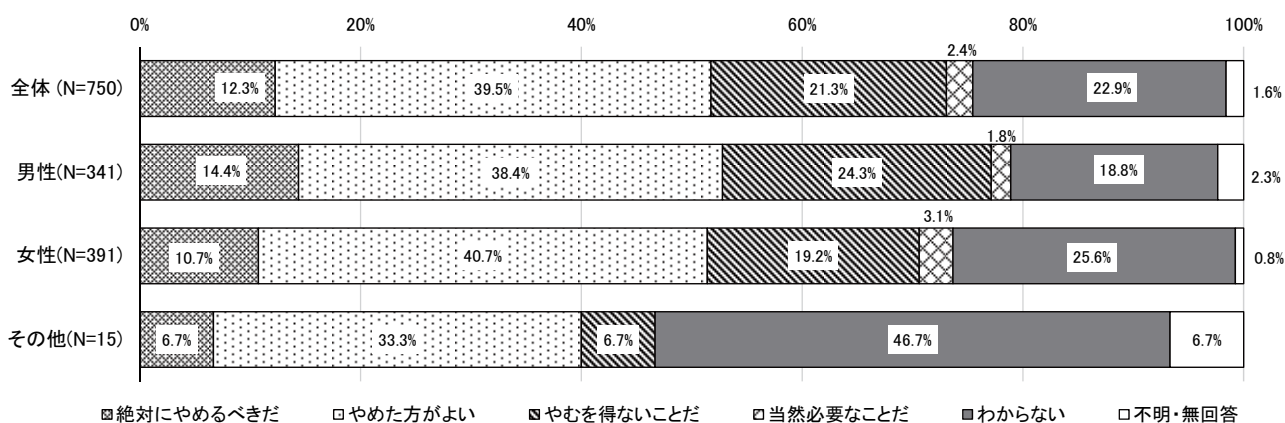
回答項目	被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない	できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない	反対するが、本人の意思が強ければやむをえない	絶対に反対する	わからない	部落差別問題(同和問題)を知らない	不明・無回答	回答者数	
自営業または、その家族従業員	回答数	25	14	9	2	19	0	2	71
	度数(%)	35.2%	19.7%	12.7%	2.8%	26.8%	0.0%	2.8%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	108	32	19	2	45	3	4	213
	度数(%)	50.7%	15.0%	8.9%	0.9%	21.1%	1.4%	1.9%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	9	5	3	0	4	1	0	22
	度数(%)	40.9%	22.7%	13.6%	0.0%	18.2%	4.5%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	15	2	2	0	13	0	0	32
	度数(%)	46.9%	6.3%	6.3%	0.0%	40.6%	0.0%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	15	2	1	0	4	0	0	22
	度数(%)	68.2%	9.1%	4.5%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	57	28	10	1	37	3	4	140
	度数(%)	40.7%	20.0%	7.1%	0.7%	26.4%	2.1%	2.9%	18.7%
専ら家事専業	回答数	38	21	11	7	31	4	2	114
	度数(%)	33.3%	18.4%	9.6%	6.1%	27.2%	3.5%	1.8%	15.2%
無職	回答数	26	14	9	2	24	2	4	81
	度数(%)	32.1%	17.3%	11.1%	2.5%	29.6%	2.5%	4.9%	10.8%
学生	回答数	7	2	0	1	1	0	0	11
	度数(%)	63.6%	18.2%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	回答数	14	7	4	2	10	0	1	38
	度数(%)	36.8%	18.4%	10.5%	5.3%	26.3%	0.0%	2.6%	5.1%
無回答	回答数	0	0	1	1	2	1	1	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	0.8%



問33 あなたは就職や結婚のときにその相手方などの身元調査をすることについてどのように考えますか。当てはまる番号1つを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

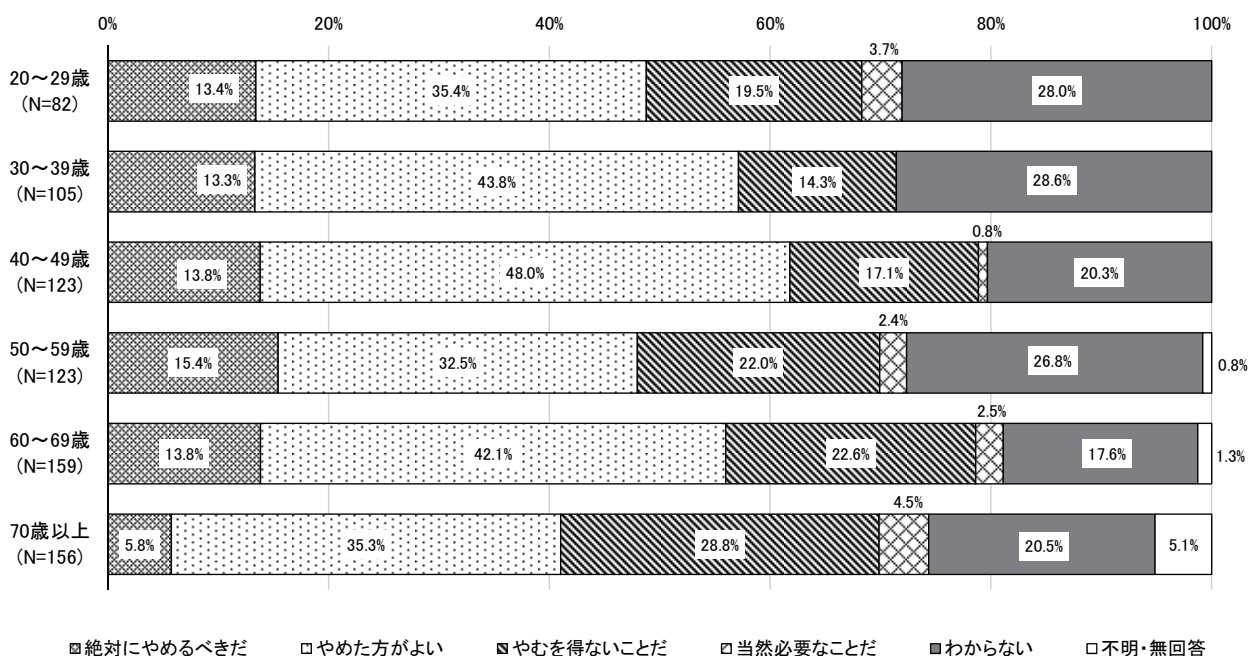
回答項目		絶対にやめるべきだ	やめた方がよい	やむを得ないことだ	当然必要なことだ	わからない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	92	296	160	18	172	12	750
	度数(%)	12.3%	39.5%	21.3%	2.4%	22.9%	1.6%	100.0%
男性	回答数	49	131	83	6	64	8	341
	度数(%)	14.4%	38.4%	24.3%	1.8%	18.8%	2.3%	45.5%
女性	回答数	42	159	75	12	100	3	391
	度数(%)	10.7%	40.7%	19.2%	3.1%	25.6%	0.8%	52.1%
その他	回答数	1	5	1	0	7	1	15
	度数(%)	6.7%	33.3%	6.7%	0.0%	46.7%	6.7%	2.0%
無回答	回答数	0	1	1	0	1	0	3
	度数(%)	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.4%



全体的にみると、「絶対にやめるべきだ」12.3%と「やめた方がよい」39.5%の合計が 51.8%で、「やむを得ないことだ」21.3%、「当然必要なことだ」2.4%の合計 23.7%を大きく上回っている。ただ「わからない」も 22.9%と高い。男性は女性に比べて、「やむを得ないことだ」が 5.1 ポイント高い。

## 2)年齢層別特徴

回答項目		絶対にやめるべきだ	やめた方がよい	やむを得ないことだ	当然必要なことだ	わからない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	11	29	16	3	23	0	82
	度数(%)	13.4%	35.4%	19.5%	3.7%	28.0%	0.0%	10.9%
30～39歳	回答数	14	46	15	0	30	0	105
	度数(%)	13.3%	43.8%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	14.0%
40～49歳	回答数	17	59	21	1	25	0	123
	度数(%)	13.8%	48.0%	17.1%	0.8%	20.3%	0.0%	16.4%
50～59歳	回答数	19	40	27	3	33	1	123
	度数(%)	15.4%	32.5%	22.0%	2.4%	26.8%	0.8%	16.4%
60～69歳	回答数	22	67	36	4	28	2	159
	度数(%)	13.8%	42.1%	22.6%	2.5%	17.6%	1.3%	21.2%
70歳以上	回答数	9	55	45	7	32	8	156
	度数(%)	5.8%	35.3%	28.8%	4.5%	20.5%	5.1%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.3%

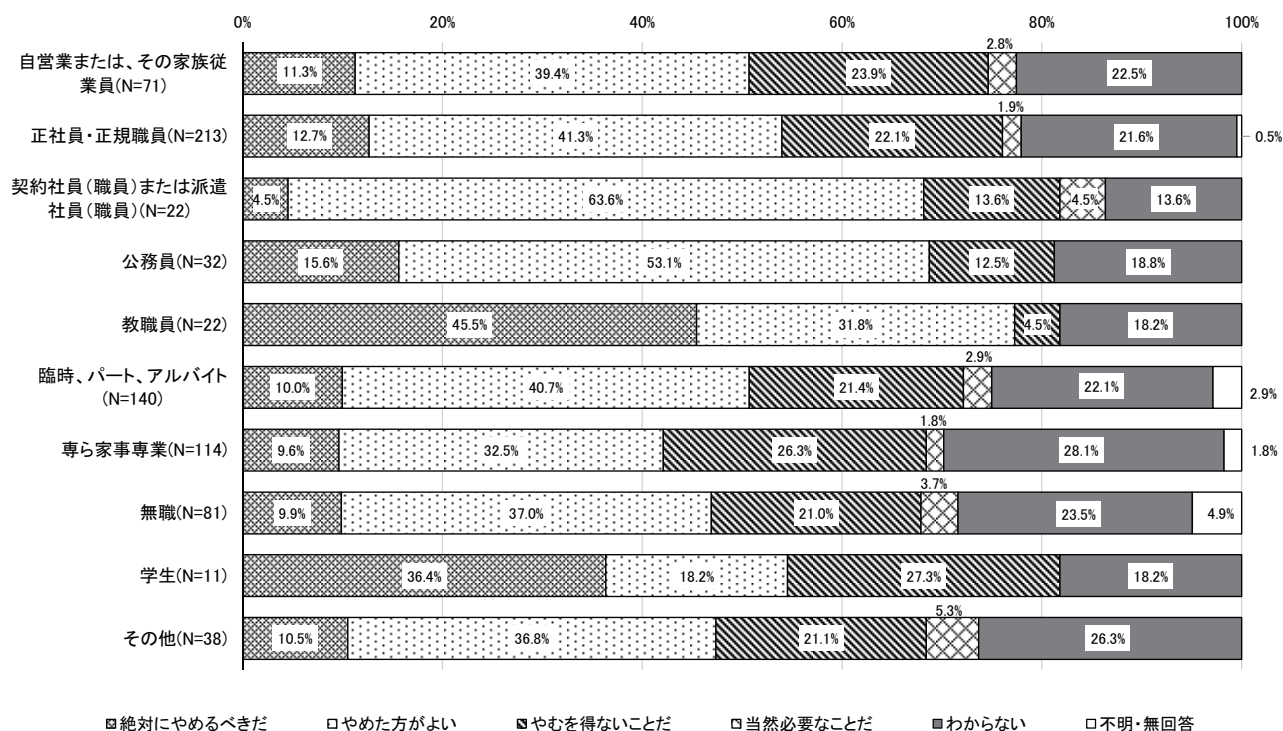


年齢別でみると、70歳以上は「絶対にやめるべきだ」が5.8%と、他の年齢層に比べて低い。「絶対にやめるべきだ」5.8%と「やめた方がよい」35.3%の合計も41.1%と他の年齢層に比べて低くなっている。反対に「やむを得ないことだ」は28.8%と一番高い。



### 3) 職業別特徴

回答項目		絶対にやめるべきだ	やめた方がよい	やむを得ないことだ	当然必要なことだ	わからない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	8	28	17	2	16	0	71
	度数(%)	11.3%	39.4%	23.9%	2.8%	22.5%	0.0%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	27	88	47	4	46	1	213
	度数(%)	12.7%	41.3%	22.1%	1.9%	21.6%	0.5%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	1	14	3	1	3	0	22
	度数(%)	4.5%	63.6%	13.6%	4.5%	13.6%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	5	17	4	0	6	0	32
	度数(%)	15.6%	53.1%	12.5%	0.0%	18.8%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	10	7	1	0	4	0	22
	度数(%)	45.5%	31.8%	4.5%	0.0%	18.2%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	14	57	30	4	31	4	140
	度数(%)	10.0%	40.7%	21.4%	2.9%	22.1%	2.9%	18.7%
専ら家事専業	回答数	11	37	30	2	32	2	114
	度数(%)	9.6%	32.5%	26.3%	1.8%	28.1%	1.8%	15.2%
無職	回答数	8	30	17	3	19	4	81
	度数(%)	9.9%	37.0%	21.0%	3.7%	23.5%	4.9%	10.8%
学生	回答数	4	2	3	0	2	0	11
	度数(%)	36.4%	18.2%	27.3%	0.0%	18.2%	0.0%	1.5%
その他	回答数	4	14	8	2	10	0	38
	度数(%)	10.5%	36.8%	21.1%	5.3%	26.3%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	0	2	0	0	3	1	6
	度数(%)	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%	0.8%

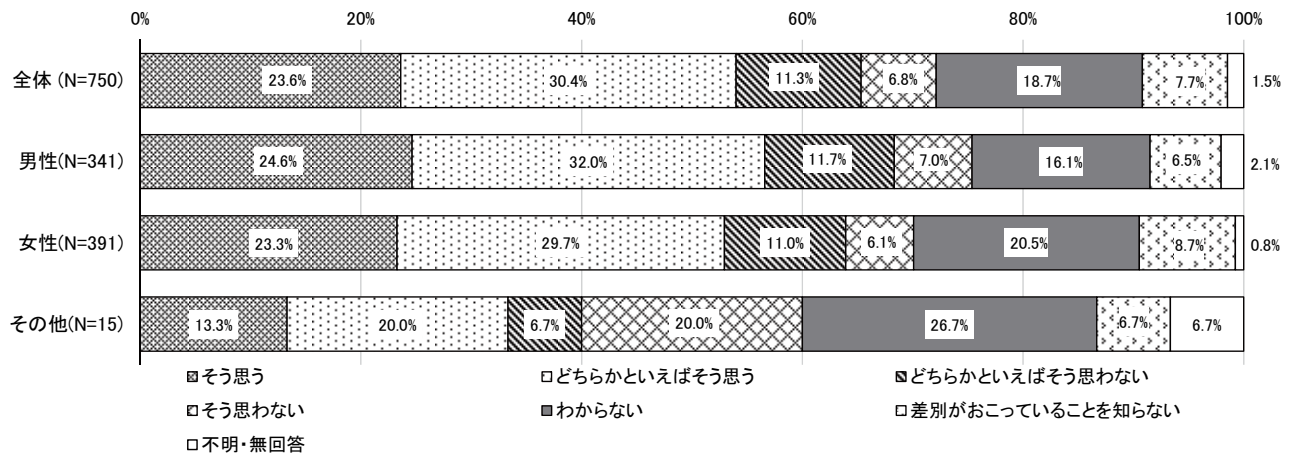


職業別にみると、「絶対にやめるべきだ」が教職員 45.5%、学生 36.4%と他の職業に比べてとても高い。また、専ら家事専業と無職とその他は「絶対にやめるべきだ」と「やめた方がよい」の合計が過半数に達していない。

問3 4 被差別部落の人たちに対する就職差別や結婚差別は将来なくすことができると思いますか。当てはまる番号1つを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

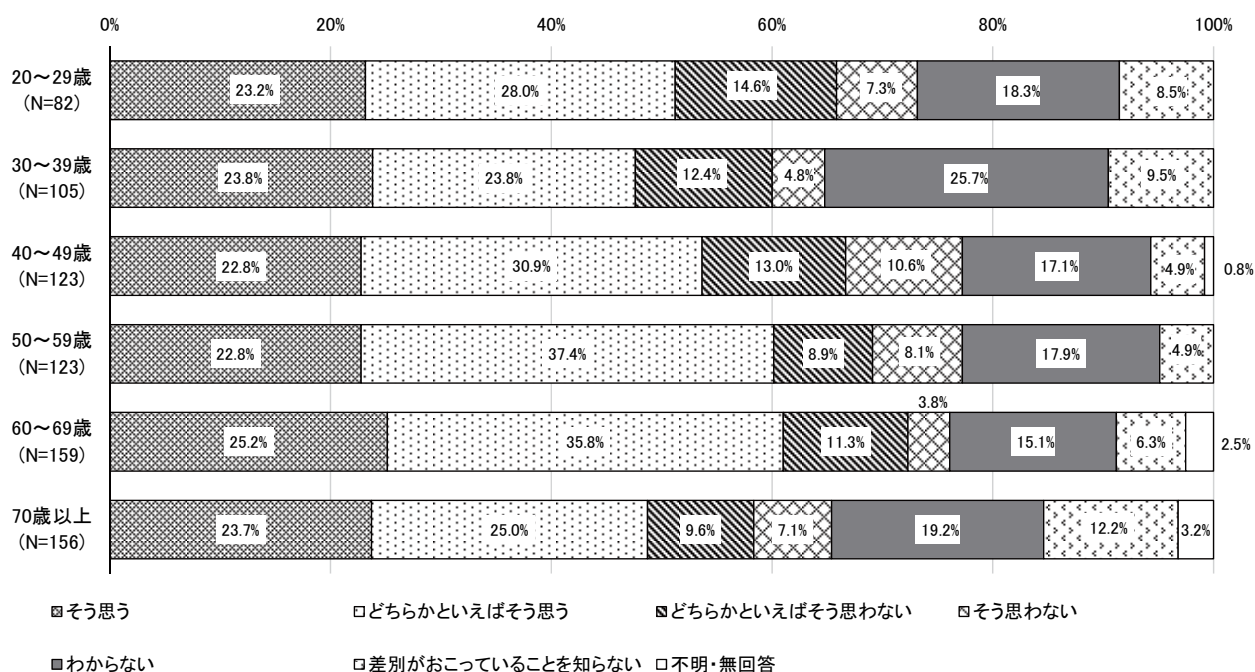
回答項目		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	差別がおこっていることを知らない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	177	228	85	51	140	58	11	750
	度数(%)	23.6%	30.4%	11.3%	6.8%	18.7%	7.7%	1.5%	100.0%
男性	回答数	84	109	40	24	55	22	7	341
	度数(%)	24.6%	32.0%	11.7%	7.0%	16.1%	6.5%	2.1%	45.5%
女性	回答数	91	116	43	24	80	34	3	391
	度数(%)	23.3%	29.7%	11.0%	6.1%	20.5%	8.7%	0.8%	52.1%
その他	回答数	2	3	1	3	4	1	1	15
	度数(%)	13.3%	20.0%	6.7%	20.0%	26.7%	6.7%	6.7%	2.0%
無回答	回答数	0	0	1	0	1	1	0	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.4%



全体的にみると、「そう思う」23.6%と「どちらかといえばそう思う」30.4%の合計 54%が「どちらかといえばそう思わない」11.3%「そう思わない」6.8%の合計 18.1%を大きく上回っている。ただ「わからない」も18.7%と高い。女性は男性に比べて「わからない」が4.4ポイント高いが、その他の項目では男女で変わりがない。

2)年齢層別特徴

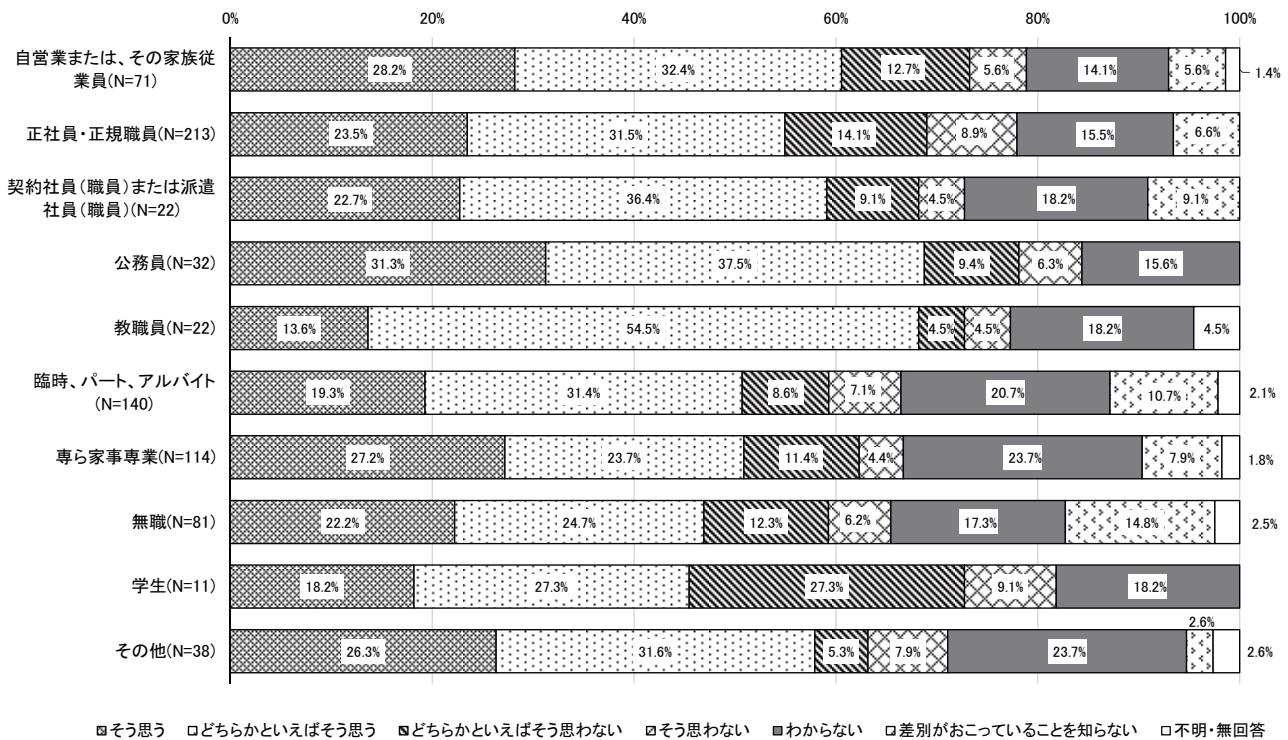
回答項目		そう思う	どちらかとい えばそう思 う	どちらかとい えばそう思 わない	そう思わな い	わからない	差別がお こっているこ とを知らない	不明・無回 答	回答者数
20～29歳	回答数	19	23	12	6	15	7	0	82
	度数(%)	23.2%	28.0%	14.6%	7.3%	18.3%	8.5%	0.0%	10.9%
30～39歳	回答数	25	25	13	5	27	10	0	105
	度数(%)	23.8%	23.8%	12.4%	4.8%	25.7%	9.5%	0.0%	14.0%
40～49歳	回答数	28	38	16	13	21	6	1	123
	度数(%)	22.8%	30.9%	13.0%	10.6%	17.1%	4.9%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	28	46	11	10	22	6	0	123
	度数(%)	22.8%	37.4%	8.9%	8.1%	17.9%	4.9%	0.0%	16.4%
60～69歳	回答数	40	57	18	6	24	10	4	159
	度数(%)	25.2%	35.8%	11.3%	3.8%	15.1%	6.3%	2.5%	21.2%
70歳以上	回答数	37	39	15	11	30	19	5	156
	度数(%)	23.7%	25.0%	9.6%	7.1%	19.2%	12.2%	3.2%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	1	0	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.3%



年齢別でみると、30～39歳と70歳以上で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が過半数に達していない。30～39歳は「わからない」が25.7%と他の年齢層よりも多い。「差別がおこっていることを知らない」は70歳以上が12.2%と一番高い。

### 3) 職業別特徴

回答項目		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	差別がおこっていることを知らない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	20	23	9	4	10	4	1	71
	度数(%)	28.2%	32.4%	12.7%	5.6%	14.1%	5.6%	1.4%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	50	67	30	19	33	14	0	213
	度数(%)	23.5%	31.5%	14.1%	8.9%	15.5%	6.6%	0.0%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	5	8	2	1	4	2	0	22
	度数(%)	22.7%	36.4%	9.1%	4.5%	18.2%	9.1%	0.0%	2.9%
公務員	回答数	10	12	3	2	5	0	0	32
	度数(%)	31.3%	37.5%	9.4%	6.3%	15.6%	0.0%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	3	12	1	1	4	0	1	22
	度数(%)	13.6%	54.5%	4.5%	4.5%	18.2%	0.0%	4.5%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	27	44	12	10	29	15	3	140
	度数(%)	19.3%	31.4%	8.6%	7.1%	20.7%	10.7%	2.1%	18.7%
専ら家事専業	回答数	31	27	13	5	27	9	2	114
	度数(%)	27.2%	23.7%	11.4%	4.4%	23.7%	7.9%	1.8%	15.2%
無職	回答数	18	20	10	5	14	12	2	81
	度数(%)	22.2%	24.7%	12.3%	6.2%	17.3%	14.8%	2.5%	10.8%
学生	回答数	2	3	3	1	2	0	0	11
	度数(%)	18.2%	27.3%	27.3%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	回答数	10	12	2	3	9	1	1	38
	度数(%)	26.3%	31.6%	5.3%	7.9%	23.7%	2.6%	2.6%	5.1%
無回答	回答数	1	0	0	0	3	1	1	6
	度数(%)	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	0.8%



職業別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が公務員 68.8%、教職員 68.1%と他の職業に比べて高い。「差別がおこっていることを知らない」は無職が 14.8%と高く、公務員、教職員、学生では 0.0%となっている。

問35 あなたが住宅を購入したり借りたりするなど住まいを選ぶ際に価格や立地条件が希望にあっても次のような物件の場合避けることがありますか。

【全体】

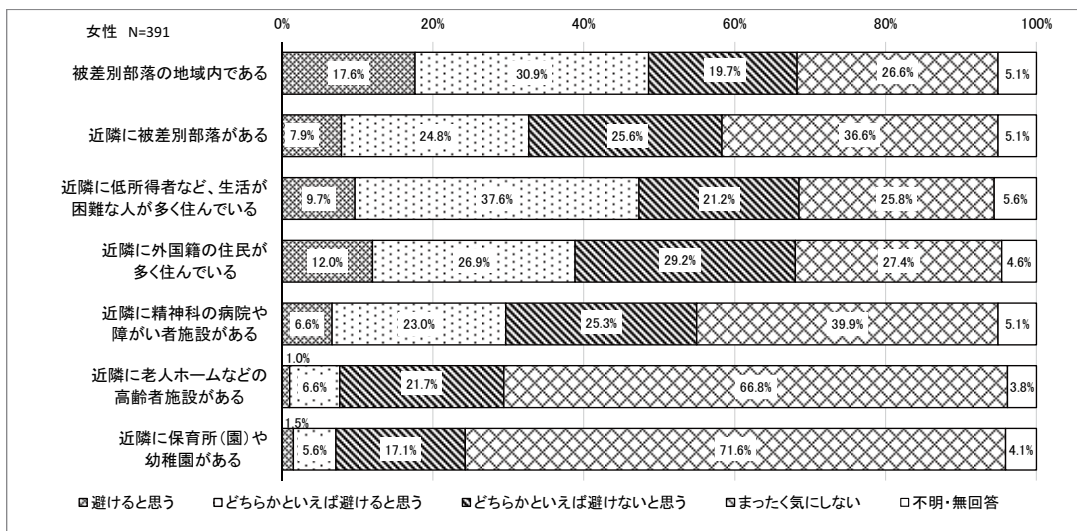
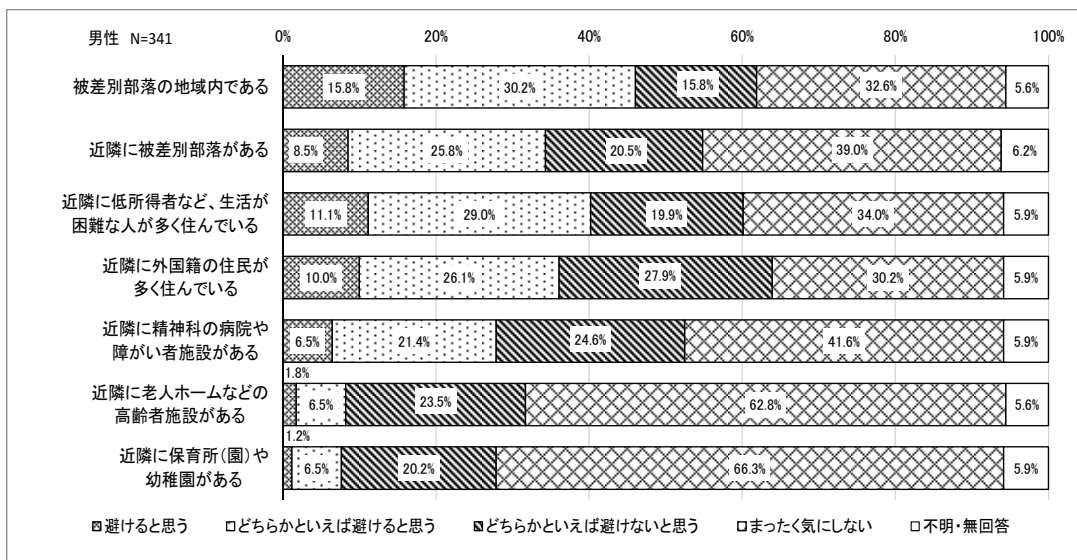
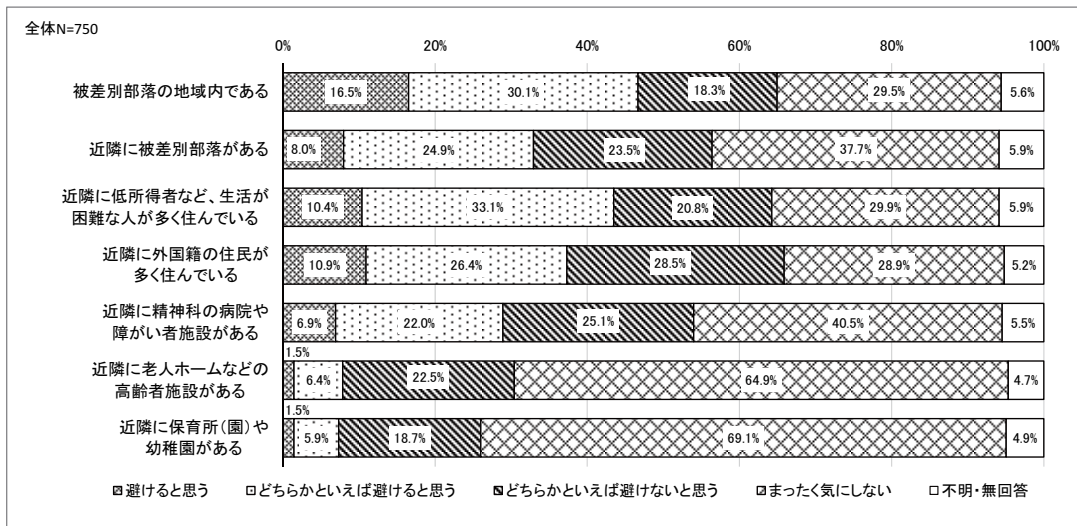
回答項目		避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けな いと思う	まったく気に しない	不明・無回答	回答者数
被差別部落の地域内である	回答数	124	226	137	221	42	750
	度数(%)	16.5%	30.1%	18.3%	29.5%	5.6%	100.0%
近隣に被差別部落がある	回答数	60	187	176	283	44	750
	度数(%)	8.0%	24.9%	23.5%	37.7%	5.9%	100.0%
近隣に低所得者など、生活 が困難な人が多く住んでいる	回答数	78	248	156	224	44	750
	度数(%)	10.4%	33.1%	20.8%	29.9%	5.9%	100.0%
近隣に外国籍の住民が多く 住んでいる	回答数	82	198	214	217	39	750
	度数(%)	10.9%	26.4%	28.5%	28.9%	5.2%	100.0%
近隣に精神科の病院や障が い者施設がある	回答数	52	165	188	304	41	750
	度数(%)	6.9%	22.0%	25.1%	40.5%	5.5%	100.0%
近隣に老人ホームなどの高 齢者施設がある	回答数	11	48	169	487	35	750
	度数(%)	1.5%	6.4%	22.5%	64.9%	4.7%	100.0%
近隣に保育所(園)や幼稚園 がある	回答数	11	44	140	518	37	750
	度数(%)	1.5%	5.9%	18.7%	69.1%	4.9%	100.0%

【男性】

回答項目		避けると思う	どちらかとい えば避けると 思う	どちらかとい えば避けな いと思う	まったく気に しない	不明・無回答	回答者数
被差別部落の地域内である	回答数	54	103	54	111	19	341
	度数(%)	15.8%	30.2%	15.8%	32.6%	5.6%	45.5%
近隣に被差別部落がある	回答数	29	88	70	133	21	341
	度数(%)	8.5%	25.8%	20.5%	39.0%	6.2%	45.5%
近隣に低所得者など、生活 が困難な人が多く住んでいる	回答数	38	99	68	116	20	341
	度数(%)	11.1%	29.0%	19.9%	34.0%	5.9%	45.5%
近隣に外国籍の住民が多く 住んでいる	回答数	34	89	95	103	20	341
	度数(%)	10.0%	26.1%	27.9%	30.2%	5.9%	45.5%
近隣に精神科の病院や障が い者施設がある	回答数	22	73	84	142	20	341
	度数(%)	6.5%	21.4%	24.6%	41.6%	5.9%	45.5%
近隣に老人ホームなどの高 齢者施設がある	回答数	6	22	80	214	19	341
	度数(%)	1.8%	6.5%	23.5%	62.8%	5.6%	45.5%
近隣に保育所(園)や幼稚園 がある	回答数	4	22	69	226	20	341
	度数(%)	1.2%	6.5%	20.2%	66.3%	5.9%	45.5%

【女性】

回答項目		避けると思う	どちらかとい えば避けると 思う	どちらかとい えば避けな いと思う	まったく気に しない	不明・無回答	回答者数
被差別部落の地域内である	回答数	69	121	77	104	20	391
	度数(%)	17.6%	30.9%	19.7%	26.6%	5.1%	52.1%
近隣に被差別部落がある	回答数	31	97	100	143	20	391
	度数(%)	7.9%	24.8%	25.6%	36.6%	5.1%	52.1%
近隣に低所得者など、生活 が困難な人が多く住んでいる	回答数	38	147	83	101	22	391
	度数(%)	9.7%	37.6%	21.2%	25.8%	5.6%	52.1%
近隣に外国籍の住民が多く 住んでいる	回答数	47	105	114	107	18	391
	度数(%)	12.0%	26.9%	29.2%	27.4%	4.6%	52.1%
近隣に精神科の病院や障が い者施設がある	回答数	26	90	99	156	20	391
	度数(%)	6.6%	23.0%	25.3%	39.9%	5.1%	52.1%
近隣に老人ホームなどの高 齢者施設がある	回答数	4	26	85	261	15	391
	度数(%)	1.0%	6.6%	21.7%	66.8%	3.8%	52.1%
近隣に保育所(園)や幼稚園 がある	回答数	6	22	67	280	16	391
	度数(%)	1.5%	5.6%	17.1%	71.6%	4.1%	52.1%



全体的にみると、「近隣に老人ホームなどの高齢者施設がある」「近隣に保育所(園)や幼稚園がある」を避ける人の割合は1割を切っている。「避けると思う」と「どちらかといえば避けると思う」の合計が高かったのは、「被差別部落の地域内である」が46.6%で最も高く、ついで「近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる」が43.5%と高い。男性と女性では大きな変わりはない。

問36 日本には様々な言い伝えや考え方がありますがあなたの考えにより近いのはどれですか。

【全体】

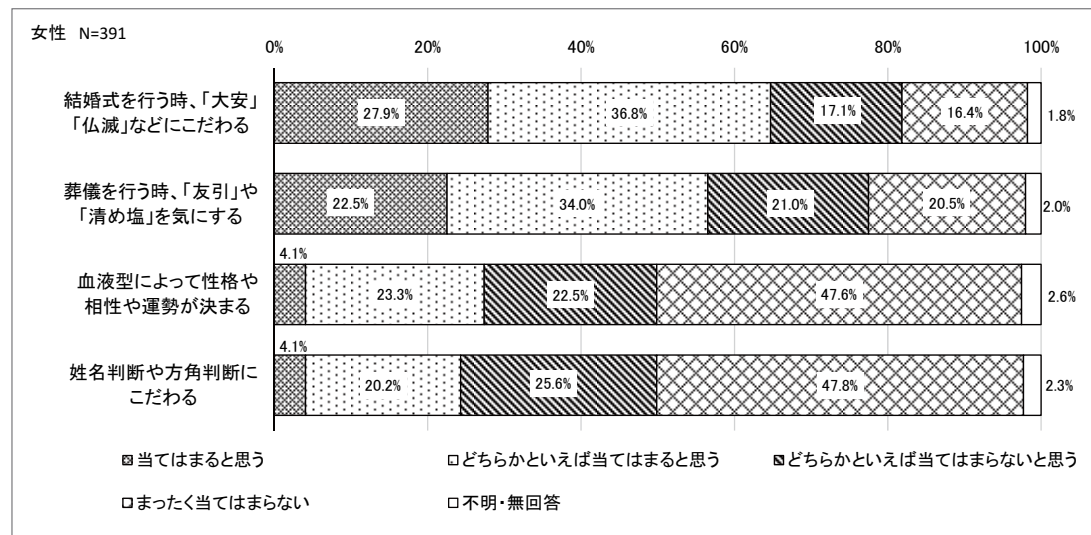
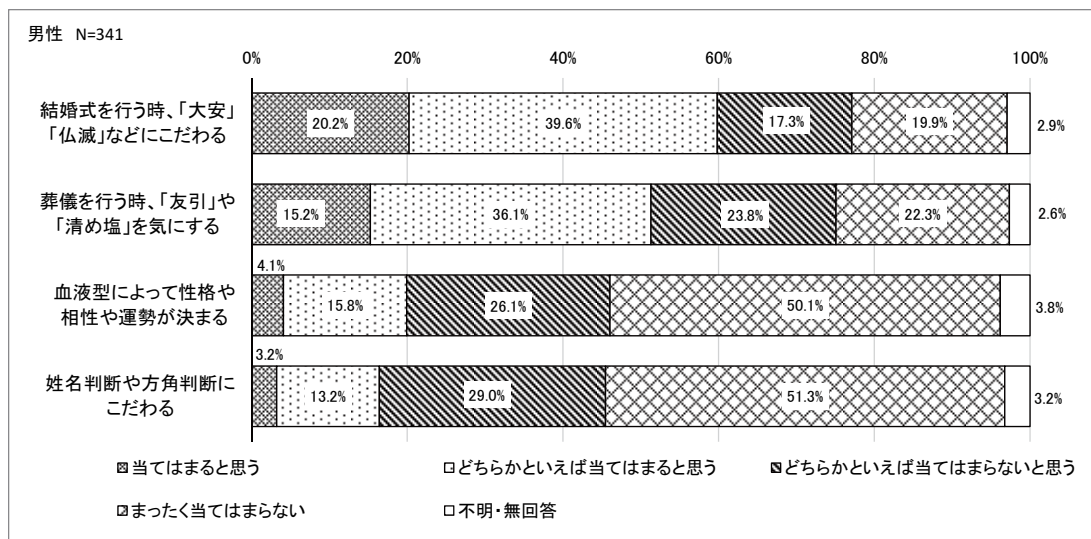
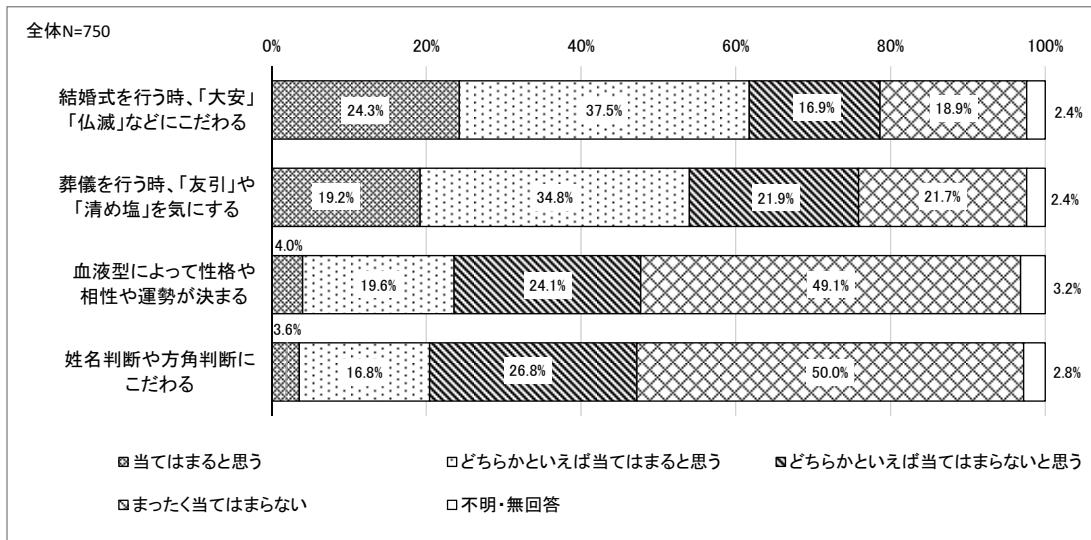
回答項目		当てはまると思う	どちらかといえば当てはまると思う	どちらかといえば当てはまらないと思う	まったく当てはまらない	不明・無回答	回答者数
結婚式を行う時、「大安」「仏滅」などにこだわる	回答数	182	281	127	142	18	750
	度数(%)	24.3%	37.5%	16.9%	18.9%	2.4%	100.0%
葬儀を行う時、「友引」や「清め塩」を気にする	回答数	144	261	164	163	18	750
	度数(%)	19.2%	34.8%	21.9%	21.7%	2.4%	100.0%
血液型によって性格や相性や運勢が決まる	回答数	30	147	181	368	24	750
	度数(%)	4.0%	19.6%	24.1%	49.1%	3.2%	100.0%
姓名判断や方角判断にこだわる	回答数	27	126	201	375	21	750
	度数(%)	3.6%	16.8%	26.8%	50.0%	2.8%	100.0%

【男性】

回答項目		当てはまると思う	どちらかといえば当てはまると思う	どちらかといえば当てはまらないと思う	まったく当てはまらない	不明・無回答	回答者数
結婚式を行う時、「大安」「仏滅」などにこだわる	回答数	69	135	59	68	10	341
	度数(%)	20.2%	39.6%	17.3%	19.9%	2.9%	45.5%
葬儀を行う時、「友引」や「清め塩」を気にする	回答数	52	123	81	76	9	341
	度数(%)	15.2%	36.1%	23.8%	22.3%	2.6%	45.5%
血液型によって性格や相性や運勢が決まる	回答数	14	54	89	171	13	341
	度数(%)	4.1%	15.8%	26.1%	50.1%	3.8%	45.5%
姓名判断や方角判断にこだわる	回答数	11	45	99	175	11	341
	度数(%)	3.2%	13.2%	29.0%	51.3%	3.2%	45.5%

【女性】

回答項目		当てはまると思う	どちらかといえば当てはまると思う	どちらかといえば当てはまらないと思う	まったく当てはまらない	不明・無回答	回答者数
結婚式を行う時、「大安」「仏滅」などにこだわる	回答数	109	144	67	64	7	391
	度数(%)	27.9%	36.8%	17.1%	16.4%	1.8%	52.1%
葬儀を行う時、「友引」や「清め塩」を気にする	回答数	88	133	82	80	8	391
	度数(%)	22.5%	34.0%	21.0%	20.5%	2.0%	52.1%
血液型によって性格や相性や運勢が決まる	回答数	16	91	88	186	10	391
	度数(%)	4.1%	23.3%	22.5%	47.6%	2.6%	52.1%
姓名判断や方角判断にこだわる	回答数	16	79	100	187	9	391
	度数(%)	4.1%	20.2%	25.6%	47.8%	2.3%	52.1%



「大安」「仏滅」にこだわるか、について「当てはまると思う」と回答した人は、24.3%、「どちらか」と当てはまると思う人は、37.5%となっている。

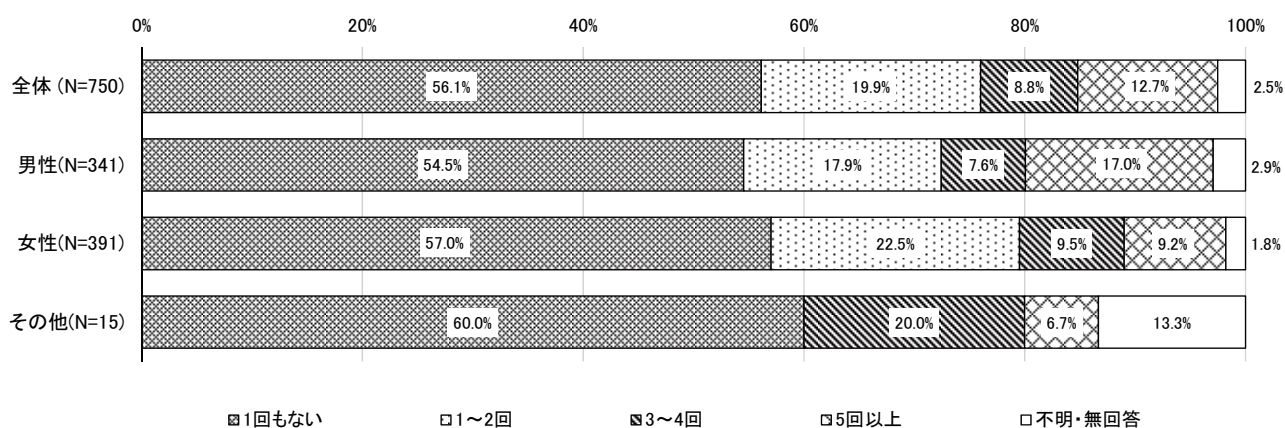
「友引」や「清め塩」を気にするか、について「当てはまると思う」と回答した人は、19.2%、「どちらか」と当てはまると思う人は34.8%となっている。また、血液型による性格や運勢判断について、「こだわる」または「どちらか」とこだわる人は、23.6%、姓名判断について「当てはまる」または「どちらか」と当てはまると思う人は、20.4%となっている。



問37 あなたはこれまでに人権に関する講演会や研修・学習会などに何回くらい参加しましたか。当てはまる番号1つを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

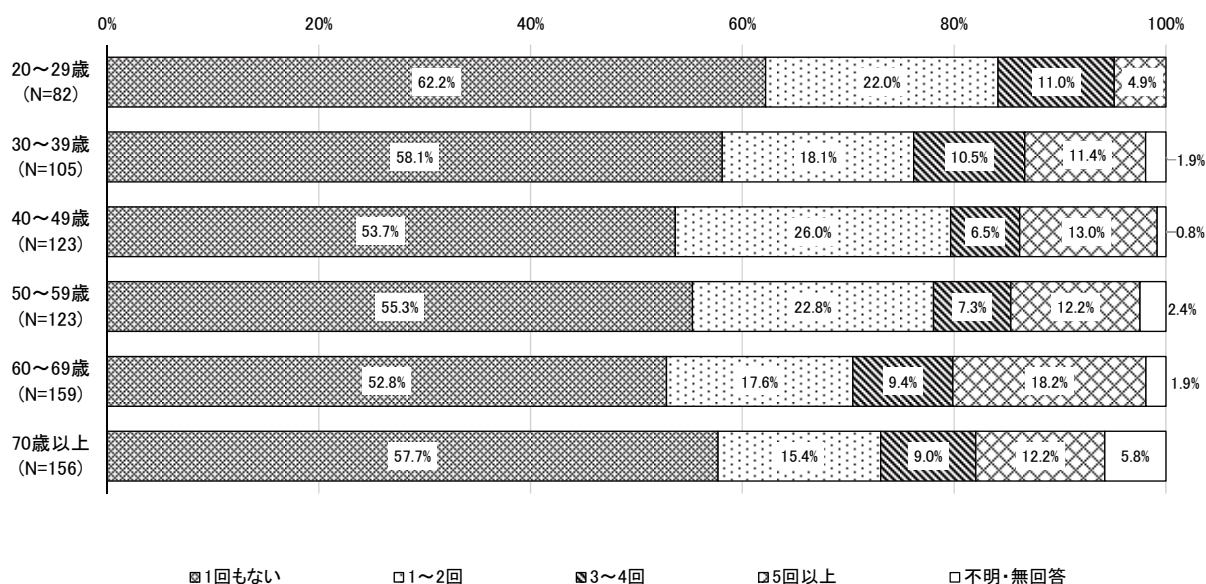
回答項目		1回もない	1~2回	3~4回	5回以上	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	421	149	66	95	19	750
	度数(%)	56.1%	19.9%	8.8%	12.7%	2.5%	100.0%
男性	回答数	186	61	26	58	10	341
	度数(%)	54.5%	17.9%	7.6%	17.0%	2.9%	45.5%
女性	回答数	223	88	37	36	7	391
	度数(%)	57.0%	22.5%	9.5%	9.2%	1.8%	52.1%
その他	回答数	9	0	3	1	2	15
	度数(%)	60.0%	0.0%	20.0%	6.7%	13.3%	2.0%
無回答	回答数	3	0	0	0	0	3
	度数(%)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%



人権に関する研修会・学習会等への出席回数について、「1回もない」と回答した人が全体、男性、女性とも最も多くなっている。全体では、56.1%で、半数を上回っている。

## 2)年齢層別特徴

回答項目		1回もない	1～2回	3～4回	5回以上	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	51	18	9	4	0	82
	度数(%)	62.2%	22.0%	11.0%	4.9%	0.0%	10.9%
30～39歳	回答数	61	19	11	12	2	105
	度数(%)	58.1%	18.1%	10.5%	11.4%	1.9%	14.0%
40～49歳	回答数	66	32	8	16	1	123
	度数(%)	53.7%	26.0%	6.5%	13.0%	0.8%	16.4%
50～59歳	回答数	68	28	9	15	3	123
	度数(%)	55.3%	22.8%	7.3%	12.2%	2.4%	16.4%
60～69歳	回答数	84	28	15	29	3	159
	度数(%)	52.8%	17.6%	9.4%	18.2%	1.9%	21.2%
70歳以上	回答数	90	24	14	19	9	156
	度数(%)	57.7%	15.4%	9.0%	12.2%	5.8%	20.8%
無回答	回答数	1	0	0	0	1	2
	度数(%)	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.3%

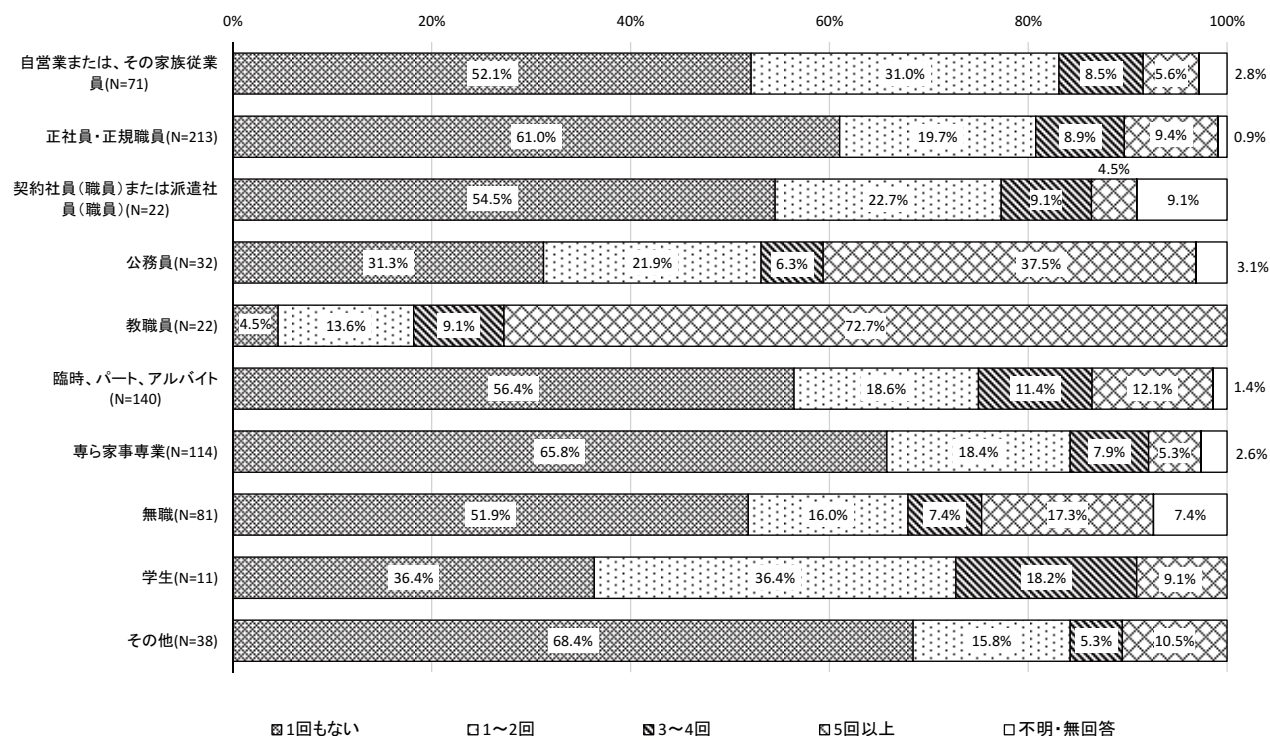


人権に関する研修会・学習会等への出席回数について、年齢別にみると、どの年齢層も「1回もない」が過半数を占めている。

「1～2回」の出席回数がある人で最も多い年齢層は40～49歳の年齢層で、26.0%となっている。

### 3) 職業別特徴

回答項目		1回もない	1～2回	3～4回	5回以上	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	37	22	6	4	2	71
	度数(%)	52.1%	31.0%	8.5%	5.6%	2.8%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	130	42	19	20	2	213
	度数(%)	61.0%	19.7%	8.9%	9.4%	0.9%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	12	5	2	1	2	22
	度数(%)	54.5%	22.7%	9.1%	4.5%	9.1%	2.9%
公務員	回答数	10	7	2	12	1	32
	度数(%)	31.3%	21.9%	6.3%	37.5%	3.1%	4.3%
教職員	回答数	1	3	2	16	0	22
	度数(%)	4.5%	13.6%	9.1%	72.7%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	79	26	16	17	2	140
	度数(%)	56.4%	18.6%	11.4%	12.1%	1.4%	18.7%
専ら家事専業	回答数	75	21	9	6	3	114
	度数(%)	65.8%	18.4%	7.9%	5.3%	2.6%	15.2%
無職	回答数	42	13	6	14	6	81
	度数(%)	51.9%	16.0%	7.4%	17.3%	7.4%	10.8%
学生	回答数	4	4	2	1	0	11
	度数(%)	36.4%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%	1.5%
その他	回答数	26	6	2	4	0	38
	度数(%)	68.4%	15.8%	5.3%	10.5%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	5	0	0	0	1	6
	度数(%)	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.8%



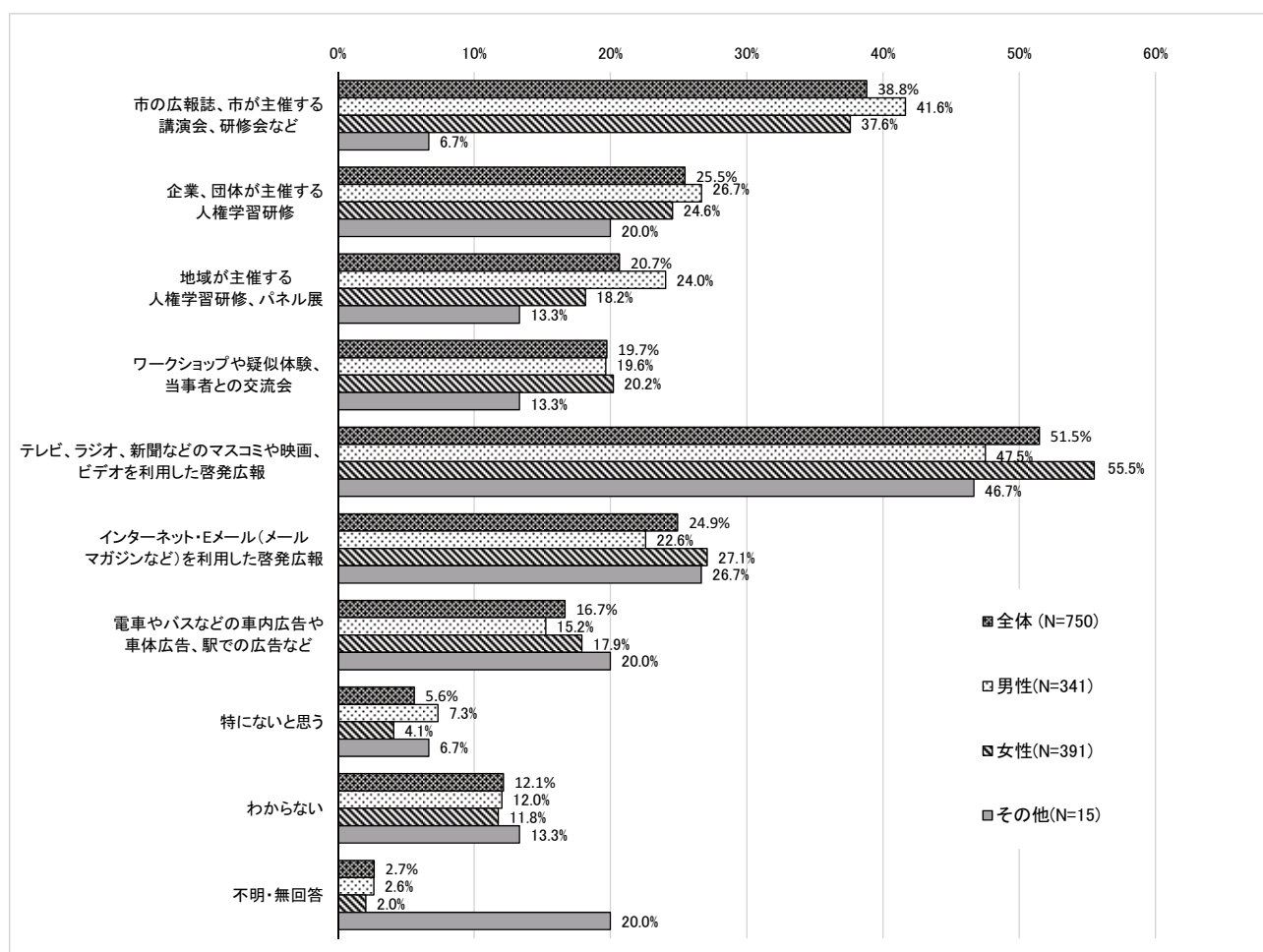
人権に関する研修会・学習会への出席回数について職業別にみると、「5回以上」と回答した割合が最も多いのは、「教職員」で72.7%となっており、次に多いのは、「公務員」で37.5%となっている。

また、「1～2回」と回答した割合が最も多いのは、「学生」で36.4%となっており、次に多いのは、「自営業」で31.0%となっている。

問38 あなたは人権の大切さを多くの人に知ってもらうにはどんな方法が効果的だと思いますか。当てはまる番号すべてを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目	市の広報誌、市が主催する講演会、研修会など	企業、団体が主催する人権学習研修	地域が主催する人権学習研修、パネル展	ワークショップや疑似体験、当事者との交流会	テレビ、ラジオ、新聞などのマスコミや映画、ビデオを利用した啓発広報	インターネット・Eメール(メールマガジンなど)を利用した啓発広報	電車やバスなどの車内広告や車体広告、駅での広告など	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数 291	191	155	148	386	187	125	42	91	20	750
	度数(%) 38.8%	25.5%	20.7%	19.7%	51.5%	24.9%	16.7%	5.6%	12.1%	2.7%	100.0%
男性	回答数 142	91	82	67	162	77	52	25	41	9	341
	度数(%) 41.6%	26.7%	24.0%	19.6%	47.5%	22.6%	15.2%	7.3%	12.0%	2.6%	45.5%
女性	回答数 147	96	71	79	217	106	70	16	46	8	391
	度数(%) 37.6%	24.6%	18.2%	20.2%	55.5%	27.1%	17.9%	4.1%	11.8%	2.0%	52.1%
その他	回答数 1	3	2	2	7	4	3	1	2	3	15
	度数(%) 6.7%	20.0%	13.3%	13.3%	46.7%	26.7%	20.0%	6.7%	13.3%	20.0%	2.0%
無回答	回答数 1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3
	度数(%) 33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.4%

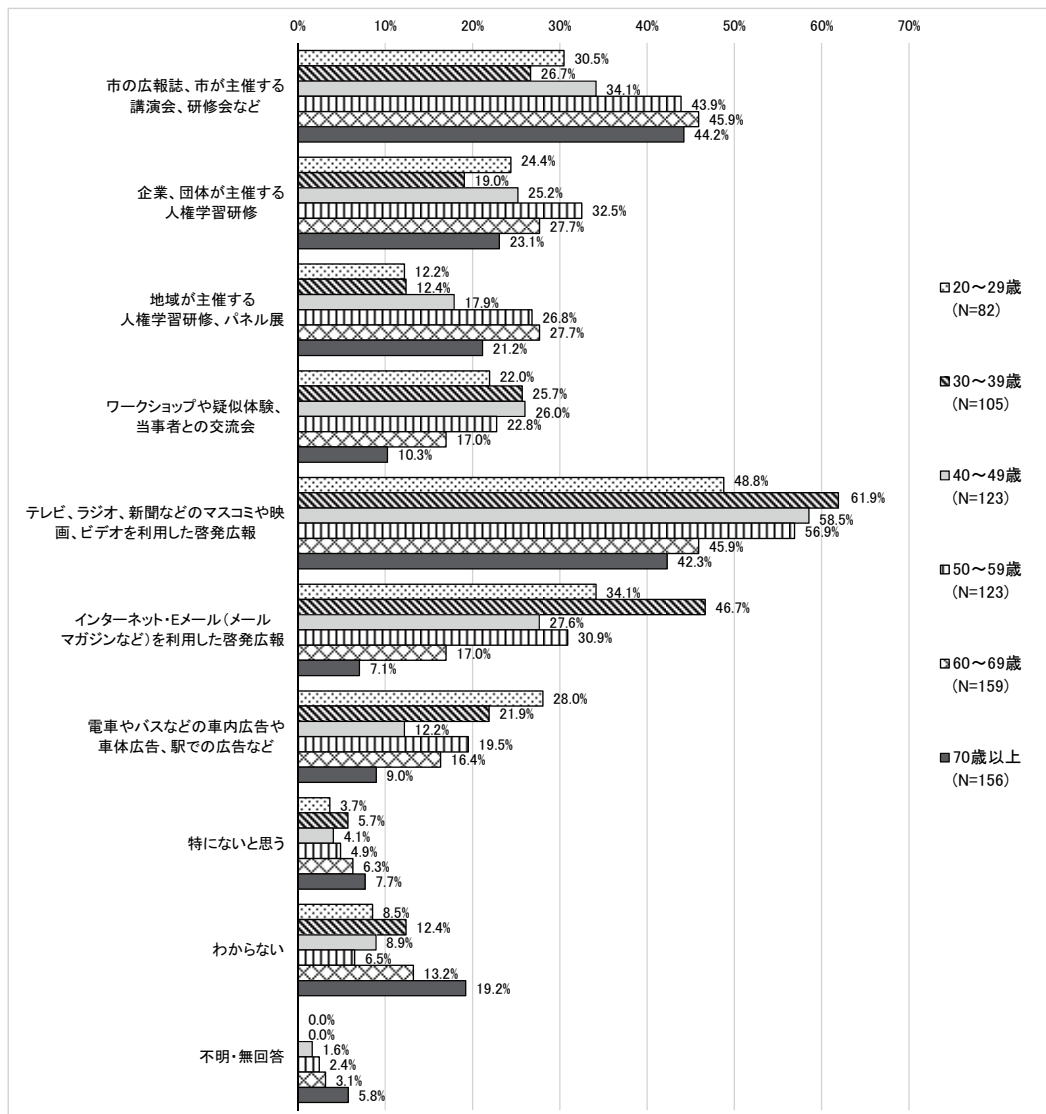


人権についての効果的な広報手段について、最も多かったのは、全体、男女とも「テレビ、ラジオ、新聞などのマスコミや映画、ビデオを利用した啓発広報」となっており、全体では51.5%となっている。

2番目が「市の広報誌、市が主催する講演会、研修会など」の38.8%、3番目が「企業、団体が主催する人権学習研修」の25.5%となっている。

## 2)年齢層別特徴

回答項目		市の広報誌、市が主催する講演会、研修会など	企業、団体が主催する人権学習研修	地域が主催する人権学習研修、パネル展	ワークショップや疑似体験、当事者との交流会	テレビ、ラジオ、新聞などのマスコミや映画、ビデオを利用した啓発広報	インターネット・Eメール（メールマガジンなど）を利用した啓発広報	電車やバスなどの車内広告や車体広告、駅での広告など	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	25	20	10	18	40	28	23	3	7	0	82
	度数(%)	30.5%	24.4%	12.2%	22.0%	48.8%	34.1%	28.0%	3.7%	8.5%	0.0%	
30～39歳	回答数	28	20	13	27	65	49	23	6	13	0	105
	度数(%)	26.7%	19.0%	12.4%	25.7%	61.9%	46.7%	21.9%	5.7%	12.4%	0.0%	
40～49歳	回答数	42	31	22	32	72	34	15	5	11	2	123
	度数(%)	34.1%	25.2%	17.9%	26.0%	58.5%	27.6%	12.2%	4.1%	8.9%	1.6%	
50～59歳	回答数	54	40	33	28	70	38	24	6	8	3	123
	度数(%)	43.9%	32.5%	26.8%	22.8%	56.9%	30.9%	19.5%	4.9%	6.5%	2.4%	
60～69歳	回答数	73	44	44	27	73	27	26	10	21	5	159
	度数(%)	45.9%	27.7%	27.7%	17.0%	45.9%	17.0%	16.4%	6.3%	13.2%	3.1%	
70歳以上	回答数	69	36	33	16	66	11	14	12	30	9	156
	度数(%)	44.2%	23.1%	21.2%	10.3%	42.3%	7.1%	9.0%	7.7%	19.2%	5.8%	
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	



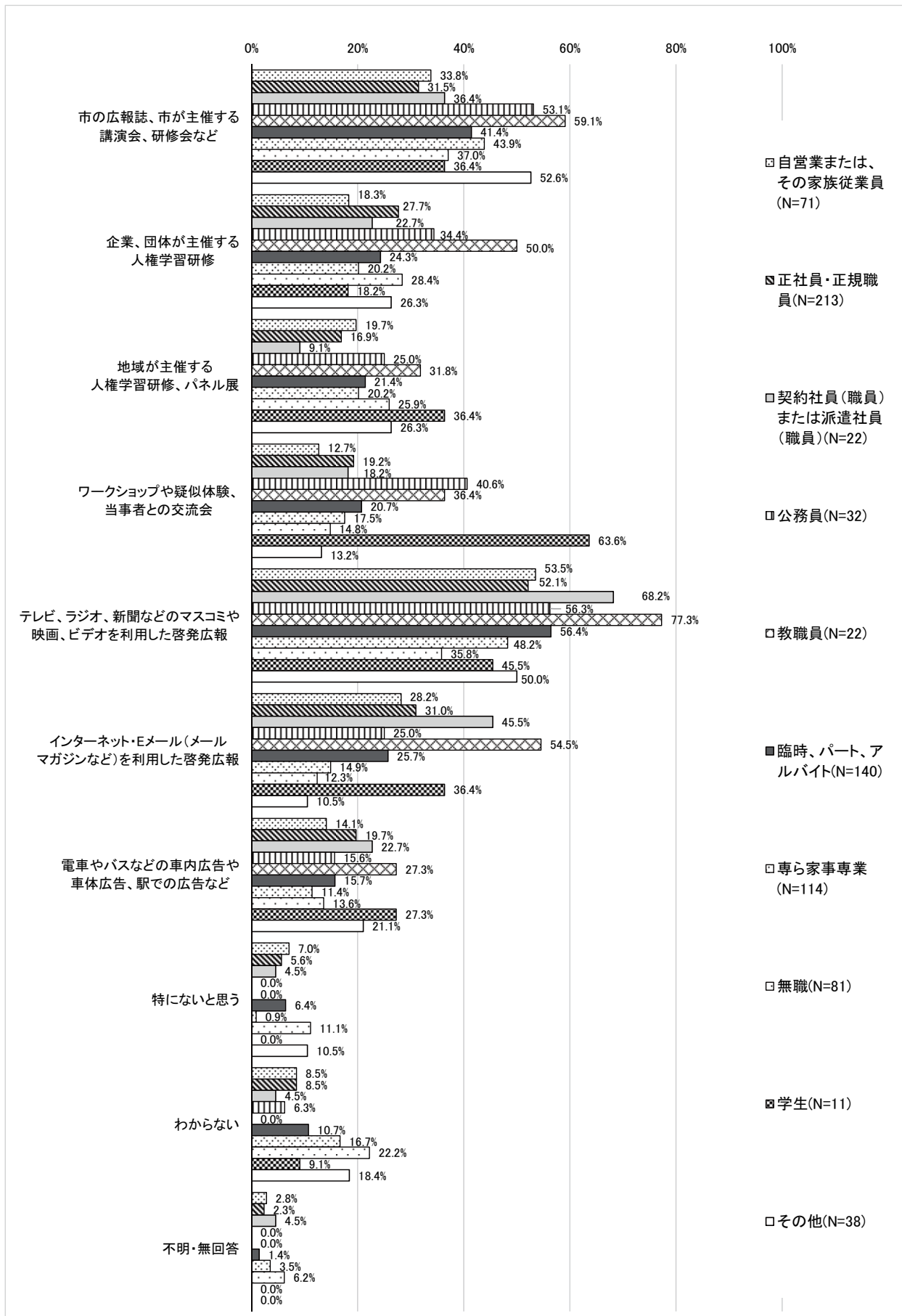
20～59歳は「テレビ、ラジオ、新聞などのマスコミや映画、ビデオを利用した啓発広報」と回答した割合が最も多く、60歳以上では「市の広報誌、市が主催する講演会、研修会など」が最も多かった。

また、20～39歳では「インターネット・Eメールを利用した啓発広報」と回答した人の割合が2番目に多かった。

3) 職業別特徴

回答項目		市の広報誌、市が主催する講演会、研修会など	企業、団体が主催する人権学習研修	地域が主催する人権学習研修、パネル展	ワークショップや疑似体験、当事者との交流会	テレビ、ラジオ、新聞などのマスコミや映画、ビデオを利用した啓発広報	インターネット・Eメール(メールマガジンなど)を利用した啓発広報
自営業または、その家族従業員	回答数	24	13	14	9	38	20
	度数(%)	33.8%	18.3%	19.7%	12.7%	53.5%	28.2%
正社員・正規職員	回答数	67	59	36	41	111	66
	度数(%)	31.5%	27.7%	16.9%	19.2%	52.1%	31.0%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	8	5	2	4	15	10
	度数(%)	36.4%	22.7%	9.1%	18.2%	68.2%	45.5%
公務員	回答数	17	11	8	13	18	8
	度数(%)	53.1%	34.4%	25.0%	40.6%	56.3%	25.0%
教職員	回答数	13	11	7	8	17	12
	度数(%)	59.1%	50.0%	31.8%	36.4%	77.3%	54.5%
臨時、パート、アルバイト	回答数	58	34	30	29	79	36
	度数(%)	41.4%	24.3%	21.4%	20.7%	56.4%	25.7%
専ら家事専業	回答数	50	23	23	20	55	17
	度数(%)	43.9%	20.2%	20.2%	17.5%	48.2%	14.9%
無職	回答数	30	23	21	12	29	10
	度数(%)	37.0%	28.4%	25.9%	14.8%	35.8%	12.3%
学生	回答数	4	2	4	7	5	4
	度数(%)	36.4%	18.2%	36.4%	63.6%	45.5%	36.4%
その他	回答数	20	10	10	5	19	4
	度数(%)	52.6%	26.3%	26.3%	13.2%	50.0%	10.5%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答項目		電車やバスなどの車内広告や車体広告、駅での広告など	特にないと思う	わからない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	10	5	6	2	71
	度数(%)	14.1%	7.0%	8.5%	2.8%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	42	12	18	5	213
	度数(%)	19.7%	5.6%	8.5%	2.3%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	5	1	1	1	22
	度数(%)	22.7%	4.5%	4.5%	4.5%	2.9%
公務員	回答数	5	0	2	0	32
	度数(%)	15.6%	0.0%	6.3%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	6	0	0	0	22
	度数(%)	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	22	9	15	2	140
	度数(%)	15.7%	6.4%	10.7%	1.4%	18.7%
専ら家事専業	回答数	13	1	19	4	114
	度数(%)	11.4%	0.9%	16.7%	3.5%	15.2%
無職	回答数	11	9	18	5	81
	度数(%)	13.6%	11.1%	22.2%	6.2%	10.8%
学生	回答数	3	0	1	0	11
	度数(%)	27.3%	0.0%	9.1%	0.0%	1.5%
その他	回答数	8	4	7	0	38
	度数(%)	21.1%	10.5%	18.4%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	0	1	4	1	6
	度数(%)	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.8%

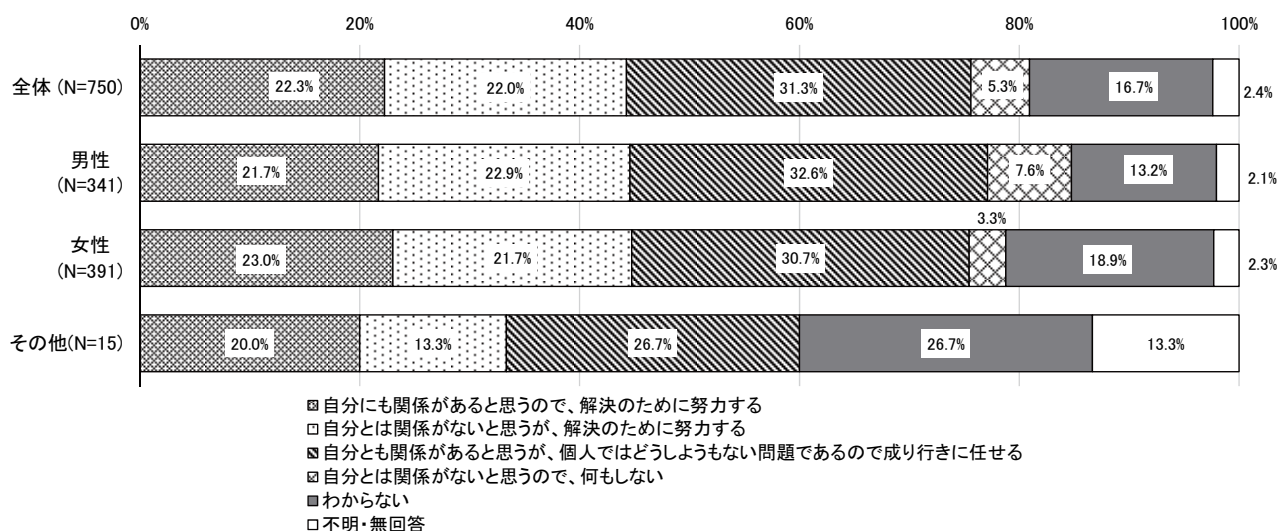


職業別にみても「テレビ、ラジオ、新聞などのマスコミや映画、ビデオを利用した啓発広報」と回答した人の割合が高い。学生は母数は小さい(N=11)ものの「ワークショップや疑似体験、当事者との交流会」と回答した人の割合が高い。

問39 様々な人権問題の解決とあなたとの関係について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。当てはまる番号1つを○で囲んでください。

1)全体及び性別の特徴

回答項目		自分にも関係があると思うので、解決のために努力する	自分とは関係がないと思うが、解決のために努力する	自分とも関係があると思うが、個人ではどうしようもない問題であるので成り行きに任せる	自分とは関係がないと思うので、何もしない	わからない	不明・無回答	回答者数
全体	回答数	167	165	235	40	125	18	750
	度数(%)	22.3%	22.0%	31.3%	5.3%	16.7%	2.4%	100.0%
男性	回答数	74	78	111	26	45	7	341
	度数(%)	21.7%	22.9%	32.6%	7.6%	13.2%	2.1%	45.5%
女性	回答数	90	85	120	13	74	9	391
	度数(%)	23.0%	21.7%	30.7%	3.3%	18.9%	2.3%	52.1%
その他	回答数	3	2	4	0	4	2	15
	度数(%)	20.0%	13.3%	26.7%	0.0%	26.7%	13.3%	2.0%
無回答	回答数	0	0	0	1	2	0	3
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.4%



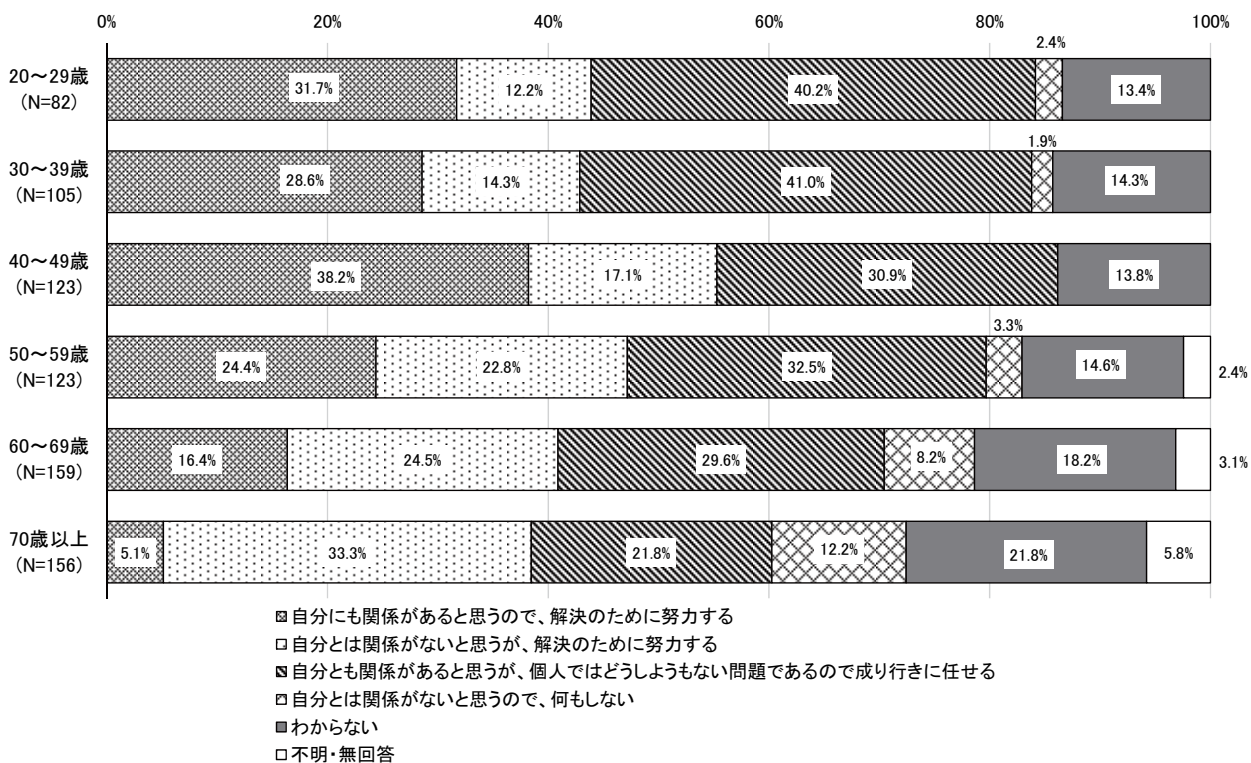
人権問題に対する姿勢について、全体的な傾向をみると、最も多いのは、「自分とも関係があると思うが、個人ではどうしようもない問題であるので成り行きに任せる」が最も多く、31.3%となっている。次に多いのは、「自分にも関係があると思うので、解決のために努力する」の22.3%となっている。

全体、男女別とも、「努力する」が4割強となっており、「成り行きにまかせる」及び「何もしない」の合計をやや上回る。



2)年齢層別特徴

回答項目		自分にも関係があると思うので、解決のために努力する	自分とは関係がないと思うが、解決のために努力する	自分とも関係があると思うが、個人ではどうしようもない問題であるので成り行きに任せる	自分とは関係がないと思うので、何もしない	わからない	不明・無回答	回答者数
20～29歳	回答数	26	10	33	2	11	0	82
	度数(%)	31.7%	12.2%	40.2%	2.4%	13.4%	0.0%	10.9%
30～39歳	回答数	30	15	43	2	15	0	105
	度数(%)	28.6%	14.3%	41.0%	1.9%	14.3%	0.0%	14.0%
40～49歳	回答数	47	21	38	0	17	0	123
	度数(%)	38.2%	17.1%	30.9%	0.0%	13.8%	0.0%	16.4%
50～59歳	回答数	30	28	40	4	18	3	123
	度数(%)	24.4%	22.8%	32.5%	3.3%	14.6%	2.4%	16.4%
60～69歳	回答数	26	39	47	13	29	5	159
	度数(%)	16.4%	24.5%	29.6%	8.2%	18.2%	3.1%	21.2%
70歳以上	回答数	8	52	34	19	34	9	156
	度数(%)	5.1%	33.3%	21.8%	12.2%	21.8%	5.8%	20.8%
無回答	回答数	0	0	0	0	1	1	2
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.3%

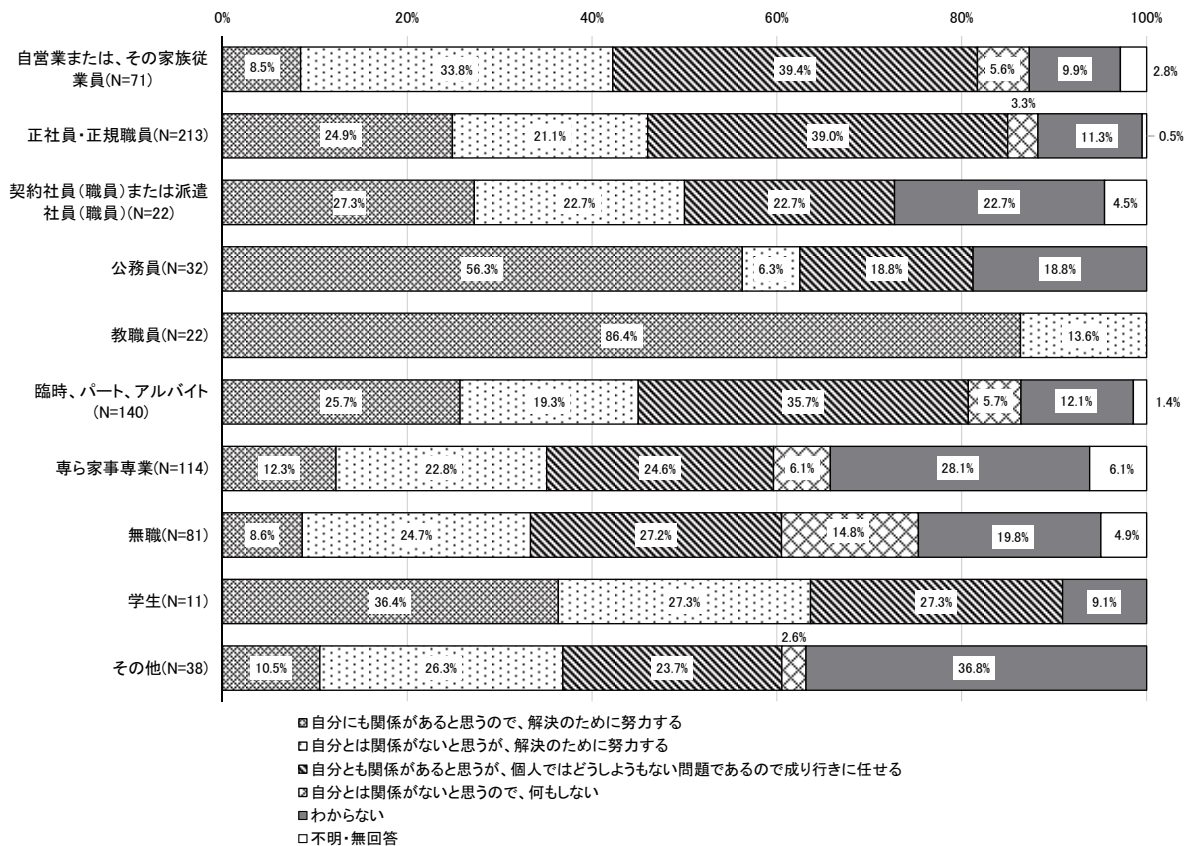


年齢別にみると、「努力する」が最も多いのは、40～49歳の年齢層となっており、半数を上回っている。

一方、「成り行きにまかせる」及び「何もしない」について、20～29歳、30～39歳の年齢層では、4割を超えており、若い世代は受動的な取り組み姿勢となっている。

3) 職業別特徴

回答項目		自分にも関係があると思うので、解決のために努力する	自分とは関係がないと思うが、解決のために努力する	自分とも関係があると思うが、個人ではどうしようもない問題であるので成り行きに任せる	自分とは関係がないと思うので、何もしない	わからない	不明・無回答	回答者数
自営業または、その家族従業員	回答数	6	24	28	4	7	2	71
	度数(%)	8.5%	33.8%	39.4%	5.6%	9.9%	2.8%	9.5%
正社員・正規職員	回答数	53	45	83	7	24	1	213
	度数(%)	24.9%	21.1%	39.0%	3.3%	11.3%	0.5%	28.4%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	6	5	5	0	5	1	22
	度数(%)	27.3%	22.7%	22.7%	0.0%	22.7%	4.5%	2.9%
公務員	回答数	18	2	6	0	6	0	32
	度数(%)	56.3%	6.3%	18.8%	0.0%	18.8%	0.0%	4.3%
教職員	回答数	19	3	0	0	0	0	22
	度数(%)	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
臨時、パート、アルバイト	回答数	36	27	50	8	17	2	140
	度数(%)	25.7%	19.3%	35.7%	5.7%	12.1%	1.4%	18.7%
専ら家事専業	回答数	14	26	28	7	32	7	114
	度数(%)	12.3%	22.8%	24.6%	6.1%	28.1%	6.1%	15.2%
無職	回答数	7	20	22	12	16	4	81
	度数(%)	8.6%	24.7%	27.2%	14.8%	19.8%	4.9%	10.8%
学生	回答数	4	3	3	0	1	0	11
	度数(%)	36.4%	27.3%	27.3%	0.0%	9.1%	0.0%	1.5%
その他	回答数	4	10	9	1	14	0	38
	度数(%)	10.5%	26.3%	23.7%	2.6%	36.8%	0.0%	5.1%
無回答	回答数	0	0	1	1	3	1	6
	度数(%)	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	0.8%



職業別にみると、公務員、教職員、学生で「自分にも関係があると思うので、解決のために努力する」と回答した割合が多かった。

問40 あなたは次の人権に関する宣言や法令等についてご存じですか。

【全体】

回答項目		知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らない	不明・無回答	回答者数
世界人権宣言	回答数	262	343	118	27	750
	度数(%)	34.9%	45.7%	15.7%	3.6%	100.0%
日本国憲法	回答数	566	148	15	21	750
	度数(%)	75.5%	19.7%	2.0%	2.8%	100.0%
水平社宣言	回答数	74	149	494	33	750
	度数(%)	9.9%	19.9%	65.9%	4.4%	100.0%
同和対策審議会答申	回答数	74	206	438	32	750
	度数(%)	9.9%	27.5%	58.4%	4.3%	100.0%
人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	回答数	79	250	389	32	750
	度数(%)	10.5%	33.3%	51.9%	4.3%	100.0%
「部落差別解消推進法」	回答数	83	255	380	32	750
	度数(%)	11.1%	34.0%	50.7%	4.3%	100.0%
別府市部落差別等を解消し人権を擁護する条例	回答数	49	139	531	31	750
	度数(%)	6.5%	18.5%	70.8%	4.1%	100.0%
「障害者差別解消法」	回答数	81	232	405	32	750
	度数(%)	10.8%	30.9%	54.0%	4.3%	100.0%
「ヘイトスピーチ解消法」	回答数	76	244	397	33	750
	度数(%)	10.1%	32.5%	52.9%	4.4%	100.0%

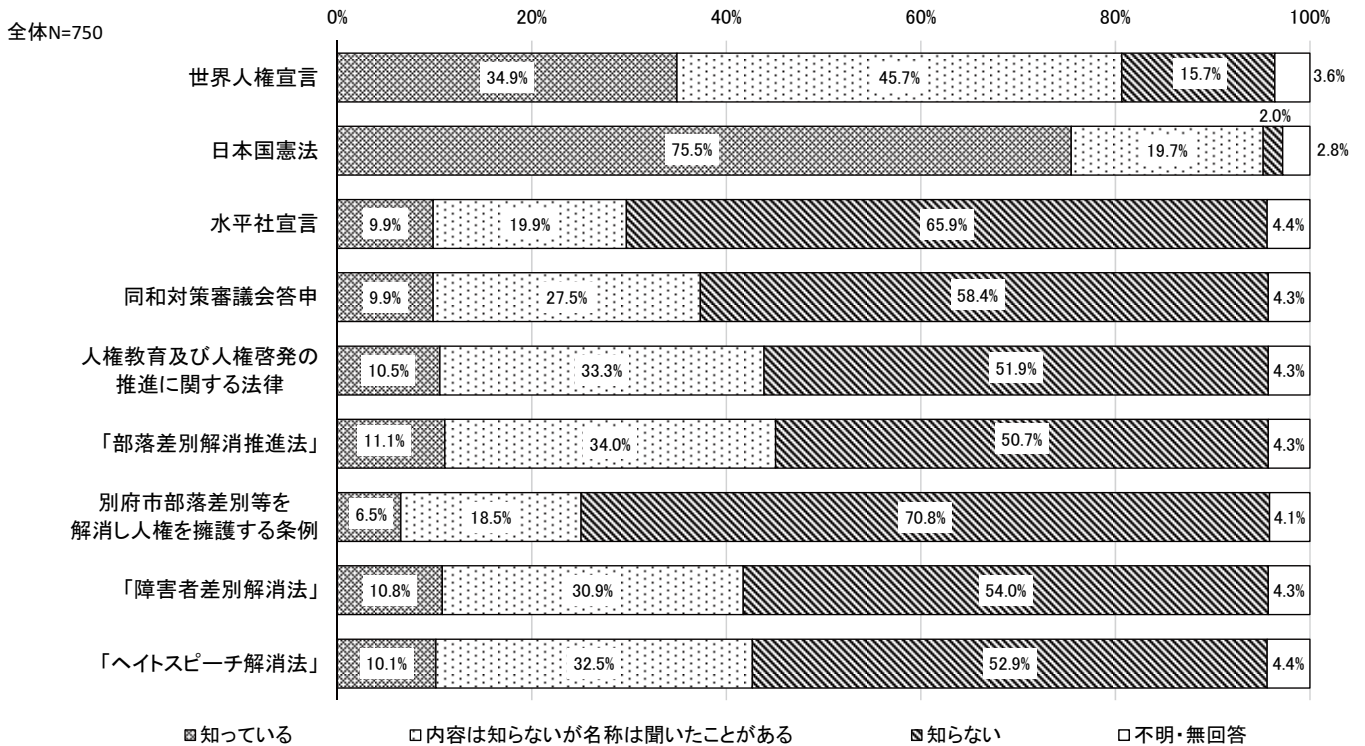
【男性】

回答項目		知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らない	不明・無回答	回答者数
世界人権宣言	回答数	125	154	48	14	341
	度数(%)	36.7%	45.2%	14.1%	4.1%	45.5%
日本国憲法	回答数	262	62	7	10	341
	度数(%)	76.8%	18.2%	2.1%	2.9%	45.5%
水平社宣言	回答数	43	74	207	17	341
	度数(%)	12.6%	21.7%	60.7%	5.0%	45.5%
同和対策審議会答申	回答数	41	90	194	16	341
	度数(%)	12.0%	26.4%	56.9%	4.7%	45.5%
人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	回答数	47	107	172	15	341
	度数(%)	13.8%	31.4%	50.4%	4.4%	45.5%
「部落差別解消推進法」	回答数	51	108	167	15	341
	度数(%)	15.0%	31.7%	49.0%	4.4%	45.5%
別府市部落差別等を解消し人権を擁護する条例	回答数	25	59	241	16	341
	度数(%)	7.3%	17.3%	70.7%	4.7%	45.5%
「障害者差別解消法」	回答数	39	108	179	15	341
	度数(%)	11.4%	31.7%	52.5%	4.4%	45.5%
「ヘイトスピーチ解消法」	回答数	44	119	161	17	341
	度数(%)	12.9%	34.9%	47.2%	5.0%	45.5%

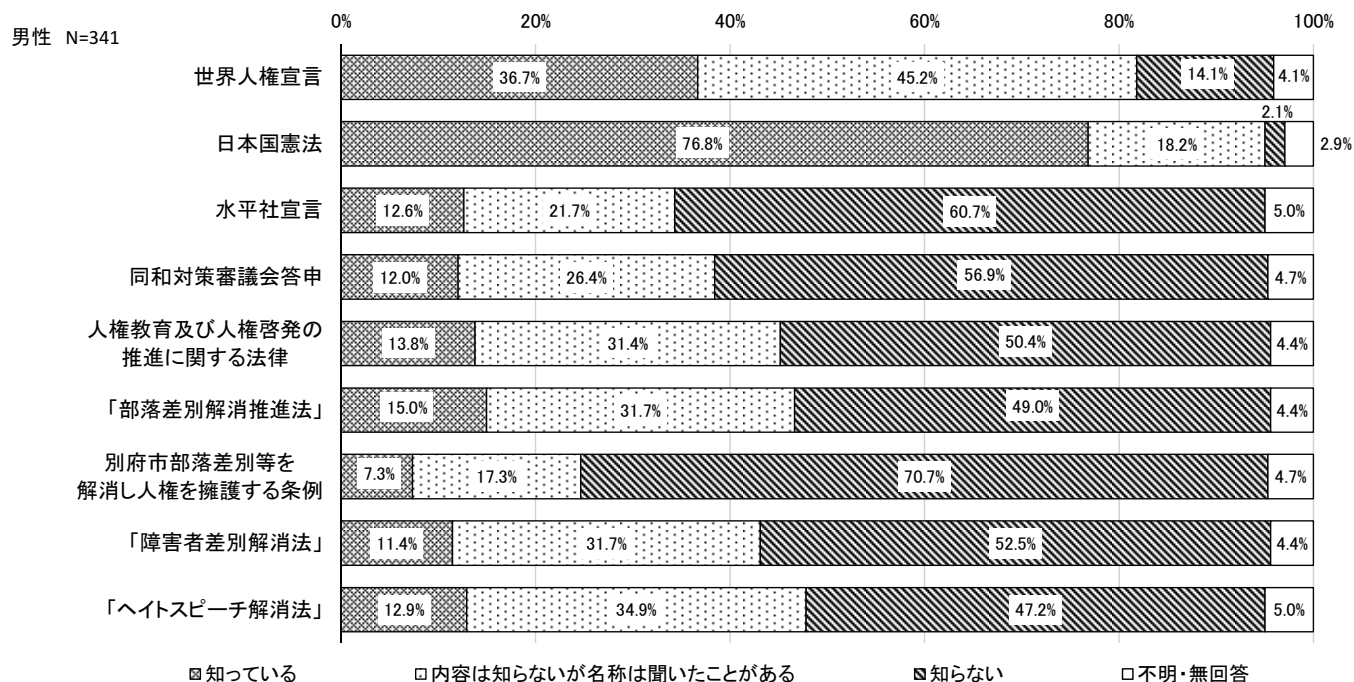
【女性】

回答項目		知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らない	不明・無回答	回答者数
世界人権宣言	回答数	131	184	65	11	391
	度数(%)	33.5%	47.1%	16.6%	2.8%	52.1%
日本国憲法	回答数	292	81	8	10	391
	度数(%)	74.7%	20.7%	2.0%	2.6%	52.1%
水平社宣言	回答数	30	73	273	15	391
	度数(%)	7.7%	18.7%	69.8%	3.8%	52.1%
同和対策審議会答申	回答数	32	109	236	14	391
	度数(%)	8.2%	27.9%	60.4%	3.6%	52.1%
人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	回答数	27	140	209	15	391
	度数(%)	6.9%	35.8%	53.5%	3.8%	52.1%
「部落差別解消推進法」	回答数	31	141	204	15	391
	度数(%)	7.9%	36.1%	52.2%	3.8%	52.1%
別府市部落差別等を解消し人権を擁護する条例	回答数	24	76	278	13	391
	度数(%)	6.1%	19.4%	71.1%	3.3%	52.1%
「障害者差別解消法」	回答数	42	116	218	15	391
	度数(%)	10.7%	29.7%	55.8%	3.8%	52.1%
「ヘイトスピーチ解消法」	回答数	30	118	229	14	391
	度数(%)	7.7%	30.2%	58.6%	3.6%	52.1%

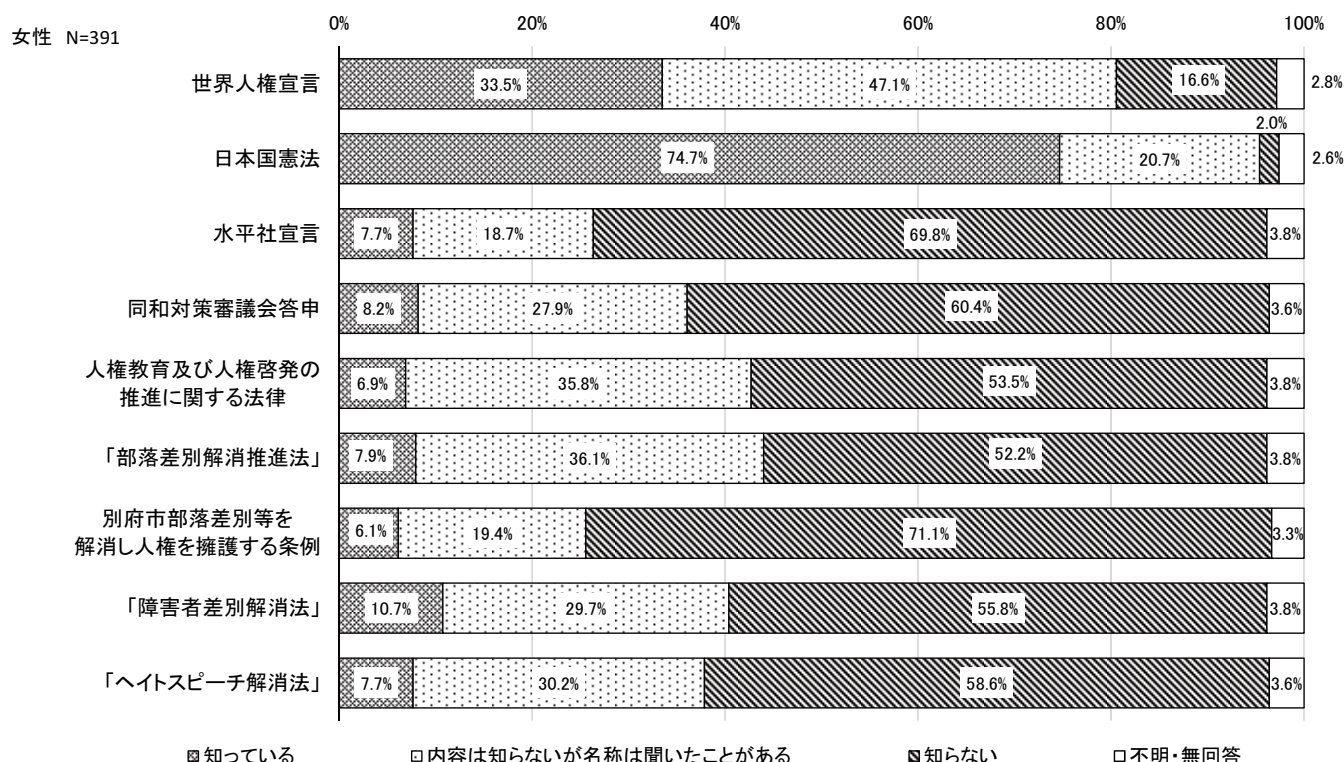
【全体】



## 【男性】



## 【女性】



人権に関する法律や宣言等について、認知度をみてみると、「知っている」が最も多いのは、「日本国憲法」で、75.5%の人が「知っている」と回答した。次に多いのは、「世界人権宣言」の 34.9%となっている。他は、1割前後の認知度となっており、認知や法律等の理解促進に努めていく必要がある。

特に「別府市部落差別等を解消し人権を擁護する条例」については、6.5%に留まっており、認知や理解促進をさらに進めていく必要がある。

また、性別による認知度の差はあまり見受けられなかった。

### 三 自由意見の記載内容の分析

問41 人権問題について、また、市の人権問題の取り組みなどについてのあなたの自由な意見をお聞かせください。

#### 1. 自由意見記載者の状況

回答者数	意見記載者数	意見記載件数	意見記載者の割合	記載件数の割合
750	244	258	32.5%	34.4%

#### 2 記載内容の状況

自由意見の記載欄に意見を記入する市民は、人権・同和問題に強い関心があり、尚、自分なりの意見をお持ちの方であると考え、全ての意見を下記の内容で分類し、その傾向を分析した。

##### A 人権教育・啓発の推進の取り組みについての意見

- ・意図的、計画的に対象者の年齢に応じた啓発や人権研修(教育)を続けていくことが何より大切ではないでしょうか？別府市の実情(高齢者、障がい者、外国人が多い町)を把握して特色ある研修(例えば体験型ワークショップ)ができるとよいと思います。
- ・人権について学んだのは小中学校の頃が主ですが、その頃のことでもしっかり記憶に残る内容でしたのでこういった授業は大切だと感じました。
- ・このようなアンケートの実施も含め、前向きな活動を継続されていると思います。完全な解決は難しいことだと思いますが市民が頭の片すみに常に意識することで少しずつ良い方向に進むのではないかと考えており、市の取り組みには意味があると思います。
- ・親やご年配の方の中には部落差別の意識を持った方々もいる気がします。そういう方への講習や学習の機会を増やすのもいいのではないかと思います。また、小学校等での人権問題についても幅広く長期的に教育していくべきだと思います。
- ・昨年からコロナの影響で市主催の人権学級やチャレンジ学級の開催が難しかったと思うので、各学校単位のPTAでDVDや勉強会みたいなのができると良いのかなあと思いました。人権学級だと昼間お仕事をしてる方も多い中、参加ができなかったりコロナの感染拡大も心配だったりするので、各学校単位のPTAで取り組めることがあればもっとたくさんの方々に知ってもらえるのかなと思うので、ぜひまた検討をお願いします。
- ・別府市内ではまだまだ部落差別問題をはじめ、あらゆる人権問題に関して無知な人が多いように感じます。もう少し人権啓発にお金をかけて中身を充実拡大し、一人でも多くの方が人権問題に触れる機会を作ってください。よろしくお願い致します。
- ・人権問題を皆に周知させるのはやはり地方自治体の広報活動が効果的だと思います。市報、地元テレビ、折り込みチラシ等で市民が目にする機会を増やすことが大事だと思います。
- ・若い人たちは市報とかを見ないので、SNS(ツイッターなど)で情報発信をやっていったほうが効果的ではないでしょうか？
- ・人権問題と一まとめになっている事で難しさを感じる。一つ一つを細かく解りやすく説明してもらえると、関心がある内容だけでも解決する努力をしようとするのではないのでしょうか。
- ・まずはこれらの問題を一人でも多くの市民に知っていただき、解消するための取り組みを強化することが大切だと考えます。

## B 人権教育・啓発に対する疑問の意見

- ・人権問題に対する市の取り組みをやっている事を聞くことがない。やっている場合、もっと目につく所に掲示しないと意味がない。
- ・小学校の時から部落などという言葉を知るのが違和感があった。今回のアンケートも被差別部落の用語が多くでてきており、その言葉を失くさない限り差別の認識はなくならないと思う。実際一度も身近に部落という地域や言葉を感じた事がないのに、授業やアンケートなどで用語が出てくると逆に気になって意識してしまう。
- ・市が本気で取り組んでいるのかが分からない。
- ・箱もの(別府市人権啓発センター)は税金のムダである。
- ・個別の人権問題において男性の人権問題を取り扱わないのはなぜですか。質問 7 の「女性」を「男性」に変えるだけだと思います。それとも男性に人権問題はないですか。
- ・令和の時代でも同和問題がある事すら知らない。同和問題の研修に行った事はあるがよく分からない。その他の人権問題には大いに興味はあるが、同和を利用し利益を得ようとする人もいる。同和は優遇されていると思う。国県市も今後もっと検討すべきだと考える。もっと貧しい生活を送っている人はたくさんいる事を知らないようだ。

## C 特に「寝た子を起こすな」の意見

- ・様々な人権問題は積極的に解決するために活動するべきだと思いますが、部落差別の問題は自然消滅のようになっていくのがよいのではないのでしょうか。
- ・部落問題は現在でもあるのでしょうか？学生時代に授業でビデオを見せられた記憶がありますが、こんなことが本当にあるのかと驚きました。知らなければ差別することも起こらないと思うので、子どもたちには教えなくていいのではないのでしょうか？
- ・人権に関する意識調査、勉強会をするたびに同和に関することが取り上げられますが、取り上げることで知らなくていい若い世代に広げていっているのではないのでしょうか？自分自身も知ったし、何も知らない子どもたちにも教え、そのたびに同和地区の方たちを傷つけていると感じます。世の中は常に変わっている中、同和について取り上げるべきか考える必要があると思います。
- ・この調査に協力したことで別府市にも部落差別があったのかと知る機会となった。差別で苦しむ人たちがいなくなることを願うが、そういう場所があるということを知りたくなかったと思いました。
- ・今の人たちは「部落」という言葉を知らない。そんなことをいうのは部落問題を金にしようと思っている人たちだけだと思う。放っておけば自然消滅する問題と思っている。あまり騒がない方がよいと思います。

## D 様々な人権問題についての意見

- ・同性婚(パートナーシップ条例)を九州で別府市がいち早く取り入れる事を希望している。パートナーシップが広く人にひらかれた観光都市の印象を一層強める効果の他にも国内外からの移住者が増え市が栄える結果になると考えている。
- ・近年ではネット等による誹謗中傷の問題があると思います。自殺した若者もいたりして、とても痛ましいことだと思います。
- ・別府は APU などもあるので外国人の方が多いと思うので例えばアパートのゴミの出し方などそういう所の考え方なども違うと思うので、サポートするなど暮らし方を教えていくことも必要かと思います。
- ・別府には他国籍の方、観光に訪れる他国の方、また APU などどちらかという外国の方も多い地域でもあるし、地域の活性化にもつながっている面もあるので、できるだけ人間として人権が阻害されることなく、お互いに気持ちよく生活できるように一市民として願い、努力していきたいと思う。
- ・障がい者や障がいのある方が働く施設に従事している方の賃金など、社会福祉に関するお金をより

充実してほしい。

- ・最近ではコロナに感染した留学生を入店拒否した店に注意する等ありましたが、細かい所に対応したのは大変よかったです。人は気付かないところで差別し、人権問題への意識が低いと思います。もっと身近な所から皆が気付いていかなければならないと思います。
- ・男性も人権について不遇な点があります。子どもの親権を母親が問題があるのに父親が獲得できないことがあることです。親権について男性が差別を受けている印象です。女性ばかりでなく男性側の差別をなくすように動くべきだと思います。

#### E その他の意見

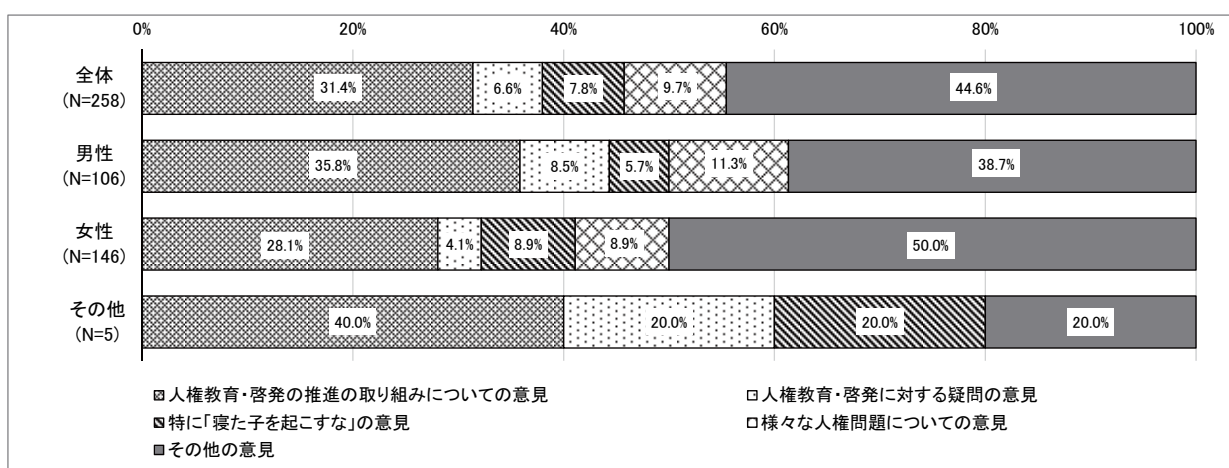
- ・今回初めてこのようなアンケートに記入したので全く分かりませんでした。様々な人権問題があることを知りました。一人の社会人として人権問題は切り離せないと思います。市政等を注視しつつ、少しでも早く問題が解消できるように見守りたいと思います。
- ・日々のニュースで小さい子どもや高齢者の弱者に対する許せないような人権問題を見るたびに胸が苦しくなります。早く気づいていればという事件を見るたびもっと良い方法が見つかるとういのに常に思います。
- ・人権って難しい言葉だと思います。人権って何だろうって考えると答えがひとつではなく、その人その時によって違うような気がします。いろんな法律があってもすべて知っている人は少数だと思うし、差別があった時に差別反対っていえるだけだと思います。一人ひとりがもっと気にして世の中を見渡せることも必要なのでは。
- ・人権問題＝同和と思っていた。別府市も国際化しているので消えていくと思う。
- ・人の個人情報などを調べるのは良くないと思う。調べられないように管理をより厳しくすべきだと思う。
- ・昔とは違い、現在は人々の個性、性格、価値観を重視し認め合う社会に少しずつ変化してきているように感じます。LGBT が世界中で認められ、理解が深まりつつあるように、人権についても差別する人の考え方自体が世間の目から外れるようになっていくことを期待します。
- ・アンケートされれば答えますが、特に自分の身にふりかかっているないので、特別重視はしていません。子どもの頃、親などから聞かされていましたが現在部落差別は多少あるのでしょうか？学校でのいじめや児童虐待の方が問題ではないでしょうか。
- ・人権といえば同和問題を思い出します。多様化した現代いろんな事があるあたりまえだと思います。いろんな思いがあります。結局は人と人とのつながりが大切だと思います。ヘイトスピーチについてや外国の方との接し方で思うのは、ヨーロッパなどではいろんな国の人々がいて問題があります。外国の方はその国のことをもっと理解することが大切だと思います。なんでもしてくれて当たり前じゃないと思います。権利と義務は同等なものだと思います。
- ・世の中にはいろんな人がいて、障がいがあっても個性としてとらえられる世の中になってほしいので、行政としては差別問題にはもっと取り組んでほしいと思う。
- ・不当な差別についてはなくすべきであるが、最近では性別欄のない履歴書等、差別ではなく区別として必要なものが差別として扱われるようになってきているように思える。弱者の声に耳を傾けることも必要かもしれないが、現在の風潮は過剰であるように感じる。また外国人や女性、障がい者への差別をなくしようというのは分かるが、その逆、すなわち日本人、男性、健常者への逆差別につながるようにする考慮も必要であると思う。
- ・優遇しすぎると反発を生むので難しい問題だと思いますが、住みやすい市になることを応援しています。



### 3 自由意見記載内容の分析

#### イ 自由意見記載者の全体及び性別の特徴

回答項目		人権教育・啓発の推進の取り組みについての意見	人権教育・啓発に対する疑問の意見	特に「寝た子を起こすな」の意見	様々な人権問題についての意見	その他の意見	記載者数
全体	回答数	81	17	20	25	115	258
	度数(%)	31.4%	6.6%	7.8%	9.7%	44.6%	100.0%
男性	回答数	38	9	6	12	41	106
	度数(%)	35.8%	8.5%	5.7%	11.3%	38.7%	100.0%
女性	回答数	41	6	13	13	73	146
	度数(%)	28.1%	4.1%	8.9%	8.9%	50.0%	100.0%
その他	回答数	2	1	1	0	1	5
	度数(%)	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%
無回答	回答数	0	1	0	0	0	1
	度数(%)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

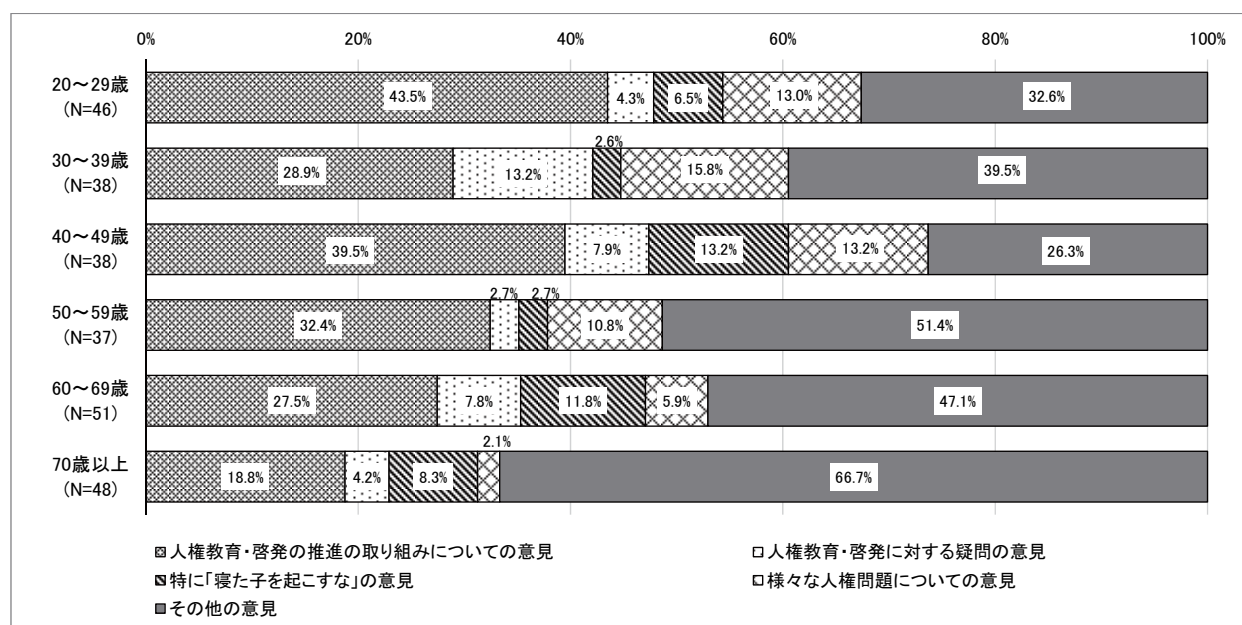


全体的にみると、「人権教育・啓発の推進の取り組みについての意見」が 31.4%と多く、「様々な人権問題についての意見」の 9.7%と合わせると 41.1%は、人権問題に対して積極的な取り組みを希望していると言える。「人権教育・啓発に対する疑問の意見」が 6.6%、「特に「寝た子を起こすな」の意見」が 7.8%と、人権教育・啓発に対して否定的な意見もある。

男女別にみると、女性が「人権教育・啓発の推進の取り組みについての意見」で 7.7 ポイント、「様々な人権問題についての意見」で 2.4 ポイント、男性よりも低い数値を示している。

ロ 自由意見記載者の年齢層別特徴

回答項目		人権教育・啓発の推進の取り組みについての意見	人権教育・啓発に対する疑問の意見	特に「寝た子を起こすな」の意見	様々な人権問題についての意見	その他の意見	記載者数
20～29歳	回答数	20	2	3	6	15	46
	度数(%)	43.5%	4.3%	6.5%	13.0%	32.6%	100.0%
30～39歳	回答数	11	5	1	6	15	38
	度数(%)	28.9%	13.2%	2.6%	15.8%	39.5%	100.0%
40～49歳	回答数	15	3	5	5	10	38
	度数(%)	39.5%	7.9%	13.2%	13.2%	26.3%	100.0%
50～59歳	回答数	12	1	1	4	19	37
	度数(%)	32.4%	2.7%	2.7%	10.8%	51.4%	100.0%
60～69歳	回答数	14	4	6	3	24	51
	度数(%)	27.5%	7.8%	11.8%	5.9%	47.1%	100.0%
70歳以上	回答数	9	2	4	1	32	48
	度数(%)	18.8%	4.2%	8.3%	2.1%	66.7%	100.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総数	回答数	81	17	20	25	115	258
	度数(%)	31.4%	6.6%	7.8%	9.7%	44.6%	100.0%

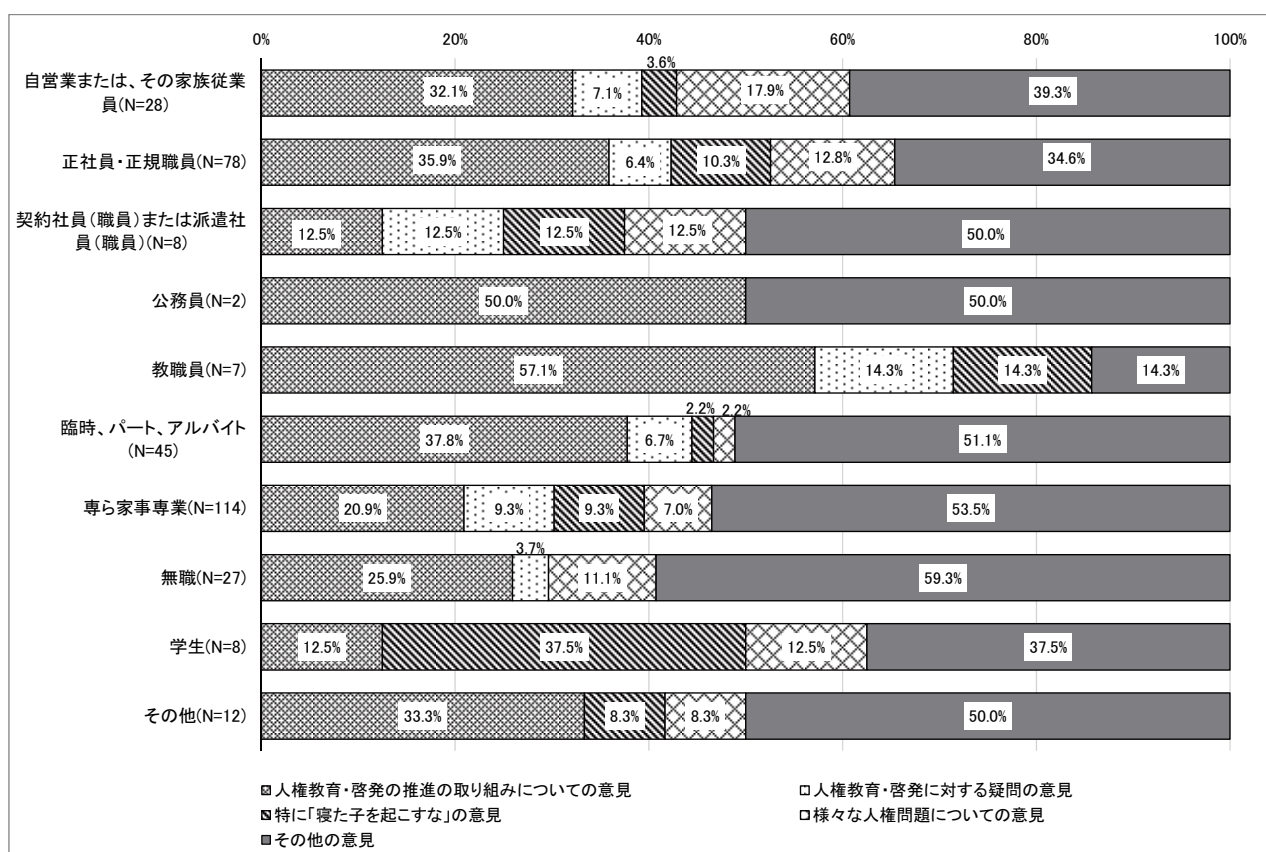


年齢別にみると、「人権教育・啓発の推進の取り組みについての意見」においては、20～29歳の43.5%が最も高く、次いで、40～49歳の39.5%、50～59歳の32.4%である。

また、40～49歳、60～69歳で「特に「寝た子を起こすな」の意見」が他の年齢層より高い。

## ハ 自由意見記載者の職業別特徴

回答項目		人権教育・啓発の推進の取り組みについての意見	人権教育・啓発に対する疑問の意見	特に「寝た子を起こすな」の意見	様々な人権問題についての意見	その他の意見	記載者数
自営業または、その家族従業員	回答数	9	2	1	5	11	28
	度数(%)	32.1%	7.1%	3.6%	17.9%	39.3%	100.0%
正社員・正規職員	回答数	28	5	8	10	27	78
	度数(%)	35.9%	6.4%	10.3%	12.8%	34.6%	100.0%
契約社員(職員)または派遣社員(職員)	回答数	1	1	1	1	4	8
	度数(%)	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	50.0%	100.0%
公務員	回答数	1	0	0	0	1	2
	度数(%)	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%
教職員	回答数	4	1	1	0	1	7
	度数(%)	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	100.0%
臨時、パート、アルバイト	回答数	17	3	1	1	23	45
	度数(%)	37.8%	6.7%	2.2%	2.2%	51.1%	100.0%
専ら家事専業	回答数	9	4	4	3	23	43
	度数(%)	20.9%	9.3%	9.3%	7.0%	53.5%	100.0%
無職	回答数	7	1	0	3	16	27
	度数(%)	25.9%	3.7%	0.0%	11.1%	59.3%	100.0%
学生	回答数	1	0	3	1	3	8
	度数(%)	12.5%	0.0%	37.5%	12.5%	37.5%	100.0%
その他	回答数	4	0	1	1	6	12
	度数(%)	33.3%	0.0%	8.3%	8.3%	50.0%	100.0%
無回答	回答数	0	0	0	0	0	0
	度数(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	回答数	81	17	20	25	115	258
	度数(%)	31.4%	6.6%	7.8%	9.7%	44.6%	100.0%



職業別にみると、公務員、教職員に、「人権教育・啓発の推進の取り組みについての意見」や「様々な人権問題についての意見」が他の職業に比べて高い数値を示している。それに比べて、学生、契約社員または派遣社員に、「寝た子を起こすな」の意見が多いのが特徴である。

# じんけんもんだい かん べっぶしみんいしきちょうさ きょうりよく ねが 人権問題に関する別府市民意識調査のご協力について(お願い)

へいそ しせい たい りかい きょうりよく  
平素から市政に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

べっぶし す ひと おとず ひと かがや じんけんそんちょう すいしん ねん  
別府市では、住む人も訪れる人もいきいきと輝く人権尊重のまちづくりを推進するため、5年  
ごと(し)に市民意識調査(し)を行い、市民(しみん)の皆さま(みな)の人権問題(じんけんもんだい)に関するご意見(いけん)を把握(はあく)して、必要(ひつよう)とされ  
る施策(しさく)の推進(すいしん)を図(はか)っています。

この調査(ちょうさ)は住民登録(じゅうみんとうろく)をされている20歳(さい)以上(じょう)の方(かた)の中(なか)から、無作為(むさくい)に選(えら)ばせていただきました  
2,040名(めい)の皆さま(みな)にお届(とど)けしております。いただきましたご回答(かいとう)は、内容(ないよう)をそのまま公表(こうひよう)すること  
なく、設問(せつもん)ごとに集計(しゅうけい)、考察(こうさつ)を加(くわ)え、報告書(ほうこくしょ)を作成(さくせい)してホームページ(し)などでお知らせ(よてい)する予定(よてい)  
すので、どうか率直(そつちよく)なご意見(いけん)をお聞(き)かせください。

できるだけ正確(せいさく)に把握(はあく)したいと考(かんが)えておりますので、本調査(ほんちょうさ)の趣旨(しゆし)をご理解(りかい)いただき、多く(おお)  
みな 皆さま(みな)のご協力(きょうりよく)をお願(ねが)い申し上(あ)げます。

れいわ ねん がつ べっぶし  
令和2年11月 別府市

## きにゆう ご記入にあたって

- 1) 封筒(ふうとう)のあて名(な)のご本人(ほんにん)が回答(かいとう)してください。なお、ご本人(ほんにん)による記入(きにゆう)が難(むずか)しい場合は、ご  
家族(かぞく)などの方(かた)が聞(き)きとって代筆(だいひつ)して下さ(ねが)るようお願い(ねが)します。
- 2) 黒色(くろいろ)のボールペン(こ)など、なるべく濃(こ)くはつきり(きにゆう)と記入(ひつきようぐ)できる筆記用具(しよう)をご使用(し)してください。
- 3) 調査(ちょうさ)につきましては無記名(むきめい)で行(おこな)います。当(あ)てはまる回答(かいとう)の番号(ばんごう)を○で困(かこ)んでください。  
間違(まちが)えた場合は、×で消(け)して正(ただ)しい番号(ばんごう)を選(えら)んでください。
- 4) この調査(ちょうさ)についてわかんないこと(か)がありましたら、下(か)記(き)へお問(と)い合(あ)わせ願(ねが)います。
- 5) ご記入(きにゆう)が終(お)わりましたら、同封(どうふう)の返送(へんそう)用(よう)封筒(ふうとう)に入れて、 月(がつ) 日(にち)までにお近(ちか)くのポス  
ト(とうかん)に投函(とうかん)してください。

と あ さき  
問い合わせ先

べっぶしやくしょ せいかつかんきょうぶ じんけんどうわきょういくけいはつか  
別府市役所 生活環境部 人権同和教育啓発課

でんわ ちよくつう  
電話(でんわ): (0977)21-1291(直通)

# 1. あなたご自身(宛名のご本人)についておたずねします

A あなたの性別を教えてください。

\*本調査の「関心のある人権問題」や「女性と人権問題」について、男女の考え方を比較するために性別をおたずねしますが、記入は任意とします。

1. 男性

2. 女性

3. 回答しません、その他

B あなたの年齢を教えてください。\*令和2(2020)年10月1日現在の満年齢

1. 20～29歳

4. 50～59歳

2. 30～39歳

5. 60～69歳

3. 40～49歳

6. 70歳以上

C あなたの職業を教えてください。

1. 自営業(農業・林業・漁業・商工サービス業など)または、その家族従業員

2. 企業・団体の正社員・正規職員

3. 企業・団体の契約社員(職員)または派遣社員(職員)

4. 公務員(国、県、市町村などの行政機関に勤務)

5. 教職員

6. 臨時、パート、アルバイト(職種は問いません)

7. 家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)

8. 無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)

9. 学生

10. その他(1～9のいずれにも該当しない方)

## 2. 人権問題全般についておたずねします

### 質問1

「基本的人権は侵すことのできない永久の権利である」と日本国憲法で保障されていますが、今の日本で人権は尊重されていると思いますか。(当てはまる番号1つを○で囲んでください)

1. 尊重されていると思う
2. ある程度尊重されていると思う
3. あまり尊重されていないと思う
4. 尊重されていないと思う
5. わからない

### 質問2

あなたは人権問題にどの程度関心を持っていますか。(当てはまる番号1つを○で囲んでください)

1. たいへん関心がある
2. 関心がある
3. あまり関心がない
4. 関心がない

### 質問3

日本における人権問題について、あなたの関心があるのはどの問題ですか。(当てはまる番号すべてを○で囲んでください)

1. 女性
2. 子ども
3. 高齢者
4. 障がい者
5. 部落差別問題 (同和問題)
6. アイヌの人々
7. 中国帰国者
8. 在日韓国・朝鮮人
9. 外国人
10. HIV (エイズウイルス) 感染者・エイズ患者
11. ハンセン病患者・回復者等
12. 刑を終えて出所した人
13. 犯罪被害者やその家族等
14. インターネットによる人権侵害 (プライバシー侵害や誹謗・中傷など)
15. 北朝鮮当局によって拉致された被害者やその家族等
16. ホームレス
17. 性的指向 (異性愛、同性愛、両性愛等)
18. 性別違和 (身体の性と心の性が一致しない人)
19. 東日本大震災に伴う人権問題

**質問 4** あなた自身これまで差別されたり人権を侵害されたりしたとおもったことがありますか。それはどのようなことで思いましたか。(当てはまる番号すべてを○で囲んでください)

1. あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口
2. 名誉・信用の毀損、侮辱
3. 公務員の不当な扱い
4. 暴力、強迫、強要
5. 悪臭・騒音等の公害
6. 差別的または不利益な取り扱い（人種・信条・性別・社会的身分等により就職や、結婚等の社会生活の上で不平等または不利益な扱い）
7. 地域社会での嫌がらせ
8. 学校でのいじめ
9. 職場での嫌がらせ
10. 使用者による時間外労働の強制等の不当な扱い
11. 社会福祉施設等での施設職員からの不当な扱い
12. プライバシーの侵害
13. セクシャルハラスメント（性的嫌がらせ）
14. ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーからの暴力）
15. 児童虐待
16. なんとなく差別されているような感じ
17. 答えたくない
18. 差別をされたり人権を侵害されたりしたとおもったことがない

**質問 5** あなたは差別をされたり人権を侵害されたりしたとおもったときどのように対処しましたか。(当てはまる番号すべてを○で囲んでください)

1. 相手に抗議した
2. 身近な人に相談した
3. 相談機関に相談した
4. 弁護士に相談した
5. 警察に相談した
6. 抗議も相談もしなかった
7. 何もしないでがまんした
8. 差別をされたり人権を侵害されたりしたとおもったことがない

## 質問 6

あなたは差別をされたり人権を侵害されたりしたと思った場合に相談できる機関(場所)や団体があることを知っていますか。(当てはまる番号すべてを○で囲んでください)

1. 法務局
2. 県庁や市役所、町村役場の担当課
3. 警察署
4. 弁護士 (または弁護士会)
5. 差別をなくすための人権運動団体
6. NPO などの民間団体
7. 知らない

## 3. 個別の人権問題についておたずねします

## 質問 7

あなたは女性に関することで現在どのような人権問題があると思いますか。(当てはまる番号すべてを○で囲んでください)

1. 男女の固定的な役割分担意識 (「男は仕事、女は家庭」など) に基づく差別的取扱いを受けること
2. 職場における差別待遇 (採用、昇任、賃金) を受けること
3. ドメスティック・バイオレンス (配偶者やパートナーからの暴力)
4. セクシュアルハラスメント (性的嫌がらせ)
5. 強姦、強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春 (いわゆる「援助交際」なども含む)、ストーカー行為
6. 女性のヌード写真などを掲載した雑誌、新聞やアダルトビデオ、ポルノ雑誌等女性を性の対象ととらえた風潮
7. 女性自身が固定的な役割分担意識を解消できていないなど、女性自身に人権問題を解決しようとする意識が薄いこと
8. 特にないと思う
9. わからない



## 質問 8

あなたは高齢者に関することで現在どのような人権問題があると思いますか。(当てはまる番号すべてを○で囲んでください)

1. 経済的な自立が難しいこと
2. 働ける能力を発揮する機会が少ないこと
3. 悪徳商法の被害者が多いこと
4. 家庭内での看護や介護において、劣悪な扱いや虐待を受けること
5. 医療機関や社会福祉施設において、劣悪な扱いや虐待を受けること
6. 邪魔者扱いにされ、つまはじきにされること
7. 一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること
8. アパートなどへの入居を拒否されること
9. 特にないと思う
10. わからない

## 質問 9

あなたは子どもに関することで現在どのような人権問題があると思いますか。(当てはまる番号すべてを○で囲んでください)

1. いじめを受けること
2. 体罰を受けること
3. 虐待を受けること
4. いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをすること
5. インターネット上で被害を受けること
6. 進学先や就職先の選択などの子ども本人の希望(意見)を大人が無視すること
7. 学力による評価が優先し、多様な能力が評価されないこと
8. 家庭の経済状況が理由で、子どもが自己実現できないこと(自己実現:自分の可能性を開いたり、能力を発揮したり、希望をかなえたりすること)
9. 児童売春・児童買春・児童ポルノなどの対象となること
10. 性的行為や暴力シーンを子どもに見せること
11. 夜遅くまで子どもを連れてまわるなど、大人のペースで生活をおくること
12. 特にないと思う
13. わからない

## 質問10

あなたは障がい者に関する事で現在どのような人権問題があると思いますか。(当てはまる番号すべてを○で囲んでください)

1. 結婚や就職・職場などで不利な扱いを受けること
2. 差別的な言動をされること
3. 悪徳商法の被害者が多いこと
4. アパート等への入居を拒否されること
5. スポーツ・文化活動・地域活動に自由に参加できないこと
6. じろじろ見られたり避けられたりすること
7. 自立した生活をおくるための社会的支援が不十分であること
8. 移動、情報アクセス、コミュニケーションなどで合理的配慮が行われていないこと
9. 親亡きあと等の問題
10. 特にないと思う
11. わからない

## 質問11

あなたは、障がいのある人に対する「合理的配慮」という言葉を聞いたことがありますか。  
(当てはまる番号1つを○で囲んでください)

1. 聞いたことがあります、その内容も知っている
2. 聞いたことがある
3. 聞いたことがない

## 質問12

あなたは日本に居住している外国人に関する事で現在どのような人権問題があると思いますか。(当てはまる番号すべてを○で囲んでください)

1. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
2. 結婚問題で周囲の反対を受けること
3. 就職・職場で不利な扱いを受けること
4. 差別的な言動をされること
5. アパートなどへの入居を拒否されること
6. 宿泊施設、店舗などへの入店を拒否されること
7. 風習や習慣などの違いが受け入れられないこと
8. じろじろ見られたり避けられたりすること
9. 特にないと思う
10. わからない

## 質問13

あなたは、「ヘイトスピーチ」という言葉を聞いたことがありますか。(当てはまる番号1つを○で囲んでください)

1. 聞いたことがあります、その内容も知っている
2. 聞いたことがある
3. 聞いたことがない

## 質問14

あなたは犯罪被害者やその家族などに関する事で現在どのような人権問題があると思いますか。(当てはまる番号すべてを○で囲んでください)

1. 犯罪行為によって精神的なショックを受けること
2. 犯罪行為によって経済的負担を強いられること
3. 事件について周囲でうわさ話をされること
4. 警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと
5. 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
6. 刑事手続きに必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと
7. 報道によってプライバシーに関する事が公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること
8. 特にないと思う
9. わからない

## 質問15

あなたはインターネットによる人権侵害に関することで現在どのような人権問題があると思いますか。(当てはまる番号すべてを○で囲んでください)

1. 他人を誹謗、中傷する表現を掲載されること
2. 他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること
3. 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること
4. 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること
5. ネットポルノが存在していること
6. プライバシーに関する情報が掲載されること
7. 特にないと思う
8. わからない

## 質問16

あなたは性的指向や性自認に関することで現在どのような人権問題があると思いますか。(当てはまる番号すべてを○で囲んでください)

1. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
2. 差別的な言動をされること
3. 就職・職場で不利な扱いを受けること
4. アパートなどの入居を拒否されること
5. 宿泊施設、店舗などへの入店や施設利用などを拒否されること
6. じろじろ見られたり避けられたりすること
7. 特にないと思う
8. わからない

※性的指向とは、同性愛・異性愛・両性愛のように好きになる相手の性別がどうかということ。性自認とは自分の性別をどう思っているかということ。

## 質問17

感染症患者など(ハンセン病患者・回復者、HIV感染者、エイズ患者など)に関する  
人権上の問題について現在どのような人権問題があると思いますか。(当てはまる番号すべてを  
○で囲んでください)

1. 結婚や就職・職場などで不利な扱いを受けること
2. 病院での治療や入院を拒否されること
3. 宿泊施設、店舗などの利用、サービスの提供を拒否されること
4. 悪い噂や病気に関する情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られないこと
5. 日ごろの付き合いを断られたり、避けられたりすること
6. 感染症についての学習機会が少ないことで、正しい知識や理解が得られてないこと
7. 特にないと思う
8. わからない

## 質問18

あなたは東日本大震災やそれに伴う福島第一原子力発電所の事故の発生により、  
現在被災者にどのような人権問題があると思いますか。(当てはまる番号すべてを○で囲んでく  
ださい)

1. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
2. 差別的な言動をされること
3. アパートなどの入居を拒否されること
4. 宿泊施設、店舗などへの入店や施設利用などを拒否されること
5. 学校、幼稚園などへの入学や入園を拒否されること
6. 結婚や婚約について差別されること
7. 避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかみや虐待
8. 食物についての風評被害
9. 特にないと思う
10. わからない

#### 4. 部落差別問題(同和問題)についておたずねします

質問19 あなたは被差別部落(旧同和地区)の人を見下したり排除しようとする差別意識を持つ人がいると思いますか。(当てはまる番号1つを○で囲んでください)

1. 差別意識を持っている人はもういなくなった
2. ほとんどの人が差別意識を持っていない
3. なかには差別意識を持っている人がいる
4. 差別意識を持っている人はまだ多い
5. わからない

質問20 あなたが部落差別問題(同和問題)をはじめて知ったのはいつ頃ですか。(当てはまる番号1つを○で囲んでください)

1. 6歳未満(小学校入学前)
2. 6歳～12歳(小学校のころ)
3. 12歳～15歳(中学校のころ)
4. 15歳～18歳未満(高等学校、就職したころ)
5. 18歳～22歳未満(大学、専門学校、就職したころ)
6. 22歳以上
7. 覚えていない
8. 部落差別問題(同和問題)を知らない

### 質問 21

あなたが<sup>ぶらくさべつもんだい</sup>部落差別問題(同和問題)をはじめ<sup>し</sup>て知<sup>なん</sup>ったきっかけは何ですか。(当てはまる<sup>あ</sup>番号<sup>ばんごう</sup>1つを○で<sup>かこ</sup>囲んでください)

1. <sup>かぞく</sup>家族、<sup>しんせき</sup>親戚から<sup>き</sup>聞いた
2. <sup>ゆうじん</sup>友人、<sup>きんじよ</sup>近所の人、<sup>しよくば</sup>職場の人から<sup>き</sup>聞いた
3. <sup>がっこう</sup>学校の<sup>じゆぎやう</sup>授業で<sup>なら</sup>習った
4. テレビ・ラジオ・<sup>しんぶん</sup>新聞などのマスコミを<sup>つう</sup>通じて<sup>し</sup>知った
5. <sup>けん</sup>県や<sup>しちやうそん</sup>市町村の<sup>こウほうし</sup>広報紙や<sup>パンフレット</sup>パンフレットなどで<sup>し</sup>知った
6. <sup>ぶらくさべつもんだい</sup>部落差別問題(同和問題)の<sup>しゆかい</sup>集会や<sup>けんしゆかい</sup>研修会で<sup>し</sup>知った
7. <sup>おぼ</sup>覚えていない
8. <sup>ぶらくさべつもんだい</sup>部落差別問題(同和問題)を<sup>し</sup>知らない

### 質問 22

あなたは「<sup>ひ</sup>被差別<sup>ぶらくしゅつしんしゃ</sup>部落出身者は<sup>こわ</sup>怖い」というような<sup>ないよう</sup>内容を見たり<sup>み</sup>聞いたり<sup>き</sup>したことがありますか。(当てはまる<sup>あ</sup>番号<sup>ばんごう</sup>1つを○で<sup>かこ</sup>囲んでください)

1. ある

2. ない

### 質問 23

質問22で「ある」と<sup>こた</sup>答えた方<sup>かた</sup>におたずねします。

それは<sup>だれ</sup>誰から、<sup>なに</sup>何によって<sup>み</sup>見たり<sup>き</sup>聞いたり<sup>あ</sup>しましたか。(当てはまる<sup>あ</sup>番号<sup>ばんごう</sup>すべてを○で<sup>かこ</sup>囲んでください)

- |   |  |
|---|--|
| 1. <sup>かぞく</sup> 家族                      | 7. <sup>しちやうそんしよくいん</sup> 市町村職員                      |
| 2. <sup>しんせき</sup> 親戚                     | 8. <sup>み</sup> 見も <sup>し</sup> 知らない <sup>ひと</sup> 人 |
| 3. <sup>きんじよ</sup> 近所の人                   | 9. <sup>しんぶん</sup> 新聞の <sup>きじ</sup> 記事              |
| 4. <sup>ゆうじん</sup> 友人                     | 10. <sup>しよせき</sup> 書籍・ <sup>ざっし</sup> 雑誌            |
| 5. <sup>しよくば</sup> 職場の人                   | 11. インターネット  |
| 6. <sup>がっこう</sup> 学校の <sup>せんせい</sup> 先生 | 12. その他 <sup>た</sup>                                 |

## 質問 24

質問22で「ある」と答えた方におたずねします。

その話を見たり聞いたりした時、どう感じましたか。(当てはまる番号1つを○で囲んでください)

1. そのとおりと思った
2. そういう見方もあるのかと思った
3. そういうことはないと思った
4. 特に何も思わなかった

## 質問 25

あなたは部落差別問題(同和問題)に関して現在どのような問題が起きていると思いますか。(当てはまる番号すべてを○で囲んでください)

1. 結婚問題で反対されること
2. 就職・職場で不利な扱いをされること
3. 差別的な発言があること
4. 差別的な落書きがあること
5. 身元調査をされること
6. 地域の活動やつきあいで不利な扱いをされること
7. 被差別部落への居住が敬遠されること
8. インターネットにおいて差別的な情報が飛び交っていること
9. 特に問題は起きてない
10. わからない



## 質問 26

あなたはこれまで<sup>がっこう</sup>学校・<sup>しょくば</sup>職場・<sup>ちいき</sup>地域などで<sup>ぶらくさべつもんだい</sup>部落差別問題（<sup>どうわもんだい</sup>同和問題）についての<sup>がくしゅう</sup>学習や<sup>けんしゅう</sup>研修を受けたことがありますか。（<sup>あ</sup>当てはまる<sup>ばんごう</sup>番号すべてを○で<sup>かこ</sup>囲んでください）

1. <sup>しょうがっこう</sup>小学校
2. <sup>ちゅうがっこう</sup>中学校
3. <sup>こうとうがっこう</sup>高等学校
4. <sup>だいがく</sup>大学
5. <sup>こうみんかんとう</sup>公民館等<sup>こうぎ</sup>の講座
6. <sup>しょくば</sup>職場<sup>けんしゅう</sup>の研修
7. はっきり<sup>おぼ</sup>覚えていない
8. 受けたことはない

## 質問 27

それはどのような<sup>ないよう</sup>内容だったのでしょうか。（<sup>あ</sup>当てはまる<sup>ばんごう</sup>番号すべてを○で<sup>かこ</sup>囲んでください）

1. <sup>さべつ</sup>差別はなぜいけないのか
2. <sup>ぶらくさべつたいさく</sup>部落差別対策<sup>ひつようせい</sup>の必要性
3. <sup>さべつ</sup>差別<sup>きび</sup>の厳しさ
4. <sup>きび</sup>厳しい<sup>みぶんせいど</sup>身分制度
5. <sup>かこ</sup>過去の<sup>ひ</sup>被差別<sup>ぶらく</sup>部落<sup>きび</sup>の厳しい<sup>せいかつ</sup>生活
6. <sup>ぶらくさべつ</sup>部落差別<sup>れきし</sup>の歴史
7. <sup>た</sup>他の<sup>じんけんもんだい</sup>人権問題<sup>かんけい</sup>との関係
8. 「<sup>ね</sup>寝た<sup>こ</sup>子を<sup>お</sup>起こす<sup>ろん</sup>な論」の<sup>あやま</sup>誤り
9. <sup>ひとり</sup>一人ひとりが<sup>どりよく</sup>努力すべきこと
10. <sup>じんけん</sup>人権<sup>たいせつ</sup>の大切さ
11. <sup>きょうかしょ</sup>教科書<sup>むしゅうはいふ</sup>の無償配布
12. <sup>しゅうしょくじ</sup>就職時<sup>ぜんこくこうとうがくこうとういつおうぼようし</sup>の全国高等学校統一応募用紙
13. <sup>おぼ</sup>覚えていない

### 質問 28

こうした学習を受けたことについて今どう感じていますか。(当てはまる番号1つを○で囲んでください)

1. 学習を受けてよかったと思っている
2. 学習を受けたことはよいが、内容は改善したほうがよい
3. 受けないほうがよかったと思っている
4. よくわからない

### 質問 29

学校や職場、日常生活の中で誰かが被差別部落出身者に対する差別的な発言をしたときあなたはこういった態度を取るとおもいますか。(当てはまる番号1つを○で囲んでください)

1. 差別的な発言であることを指摘して差別について話し合う
2. 表向きは話を合わせるが、どうにかして差別はいけないことを伝える
3. 表向きは話を合わせ、何もしない
4. 同調して自分も差別的な言葉を言ってしまう
5. 他の話題に変えようとする
6. 何もせず、その場は黙っている
7. 差別はいけないとおもっていても、何もできない

### 質問 30

日頃親しく付き合っている職場の友人や近所の人被差別部落出身者だとわかった場合あなたはどのようにしますか。(当てはまる番号1つを○で囲んでください)

1. これまでと同じようにつきあう
2. 一度は考えるが、変わらずにつきあおうと思う
3. つきあうことは変わらないが、何となく気をつかうと思う
4. 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていくと思う
5. つきあいはやめてしまうと思う

### 質問 31

あなたのお子さんの結婚相手を考える際相手の人柄や性格以外で気になること(気になったこと)をお答えください。(当てはまる番号すべてを○で囲んでください)

1. 相手の学歴
2. 相手の経済力
3. 相手の職業
4. 相手の家柄
5. 相手の容姿
6. 相手の宗教
7. 相手の国籍・民族
8. 相手が被差別部落出身者かどうか
9. 相手の家族に障がい者がいるかどうか
10. 相手の家族の病気及び病歴
11. 気にしない
12. その他

### 質問 32

あなたのお子さんが被差別部落の人と結婚するとしたら、あなたはどのようにしますか。(当てはまる番号1つを○で囲んでください)

1. 被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない
2. できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない
3. 反対するが、本人の意思が強ければやむをえない
4. 絶対に反対する
5. わからない
6. 部落差別問題(同和問題)を知らない

### 質問 33

あなたは就職しゅうしょくや結婚けっこんのときにその相手方あいてがたなどの身元調査みもとちょうさをすることについてどのように考えかんがますか。(当てはまる番号あ1つを○で囲かこんでください)

1. 絶対にやめるべきだぜったい
2. やめた方がよいほう
3. やむを得ないことだえ
4. 当然必要なことだとうぜんひつよう
5. わからない

### 質問 34

被差別部落ひさべつぶらくの人たちひとに対する就職差別たいしゅうしょくさべつや結婚差別けっこんさべつは将来なくすことができるとおもいますか。(当てはまる番号あ1つを○で囲かこんでください)

1. そう思うおも
2. どちらかといえばそう思うおも
3. どちらかといえばそう思わないおも
4. そう思わないおも
5. わからない
6. 差別さべつがおこっていることを知らないし

質問 35

あなたが住宅を購入したり借りたりするなど住まいを選ぶ際に価格や立地条件が希望にあっても次のような物件の場合避けることがありますか。

(7項目それぞれについて4段階選択)

	㊦避けると 思う	㉑どちらか といえば避 けると 思う	㉒どちらかとい えば避け ない と思う	㉓まったく 気に しない
1. 被差別部落の地域内である	1	2	3	4
2. 近隣に被差別部落がある	1	2	3	4
3. 近隣に低所得者など、生活が 困難な人が多く住んでいる	1	2	3	4
4. 近隣に外国籍の住民が多 く住んでいる	1	2	3	4
5. 近隣に精神科の病院や障 がい者施設がある	1	2	3	4
6. 近隣に老人ホームなどの 高齢者施設がある	1	2	3	4
7. 近隣に保育所(園)や幼稚園 がある	1	2	3	4

質問 36

日本には様々な言い伝えや考え方がありますがあなたの考えにより近いのはどれですか。

(4項目それぞれについて4段階選択)

	㊦当てはま る と思う	㉑どちらか といえば当 てはまると 思う	㉒どちらか といえば当 てはまらな い と思う	㉓まったく 当 てはまらな い
1. 結婚式を行う時、「大安」 「仏滅」などにこだわる	1	2	3	4
2. 葬儀を行う時、「友引」や 「清め塩」を気にする	1	2	3	4
3. 血液型によって性格や相性 や運勢が決まる	1	2	3	4
4. 姓名判断(占い)や方角判断 にこだわる	1	2	3	4

## 5. 人権問題解決のための啓発事業や市の取り組みについておたずねします

質問 37 あなたはこれまでに人権に関する講演会や研修・学習会などに何回くらい参加しましたか。(当てはまる番号1つを○で囲んでください)

1. 1回もない                      2. 1～2回                      3. 3～4回                      4. 5回以上

質問 38 あなたは人権の大切さを多くの人に知ってもらうにはどんな方法が効果的だと思いますか。(当てはまる番号すべてを○で囲んでください)

1. 市の広報誌、市が主催する講演会、研修会など
2. 企業、団体が主催する人権学習研修
3. 地域が主催する人権学習研修、パネル展
4. ワークショップや疑似体験、当事者との交流会
5. テレビ、ラジオ、新聞などのマスコミや映画、ビデオを利用した啓発広報
6. インターネット・Eメール（メールマガジンなど）を利用した啓発広報
7. 電車やバスなどの車内広告や車体広告、駅での広告など
8. 特にないと思う
9. わからない

質問 39 様々な人権問題の解決とあなたとの関係について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(当てはまる番号1つを○で囲んでください)

1. 自分にも関係があると思うので、解決のために努力する
2. 自分とは関係がないと思うが、解決のために努力する
3. 自分とも関係があると思うが、個人ではどうしようもない問題であるので成り行きに任せる
4. 自分とは関係がないと思うので、何もしない
5. わからない



---

---

人権問題に関する別府市民意識調査報告書

発行年月 令和3(2021)年3月

発行者 別府市生活環境部人権同和教育啓発課  
〒874-8511  
別府市上野口町1番15号  
電話 0977-21-1291

編集 株式会社ワーキングルーム

---

---